

令和 7 年度札幌市障がい福祉施策に係る障がい児者実態等調査

報 告 書

2026年3月

札幌市

令和 7 年度札幌市障がい福祉施策に係る障がい児者実態等調査

報告書

目次

1	調査概要	1
1. 1	調査目的	1
2	アンケート調査概要	2
2. 1	調査対象	2
2. 2	調査基準日.....	2
2. 3	調査抽出数・回収数・回収率.....	3
2. 4	調査期間	4
2. 5	集計・分析の留意事項.....	4
3	アンケート調査結果	5
3. 1	障がい者調査.....	6
3. 2	障がい児調査.....	76
3. 3	施設入所者調査.....	131
3. 4	精神科病院調査.....	144
3. 5	市民調査	157
3. 6	事業所調査.....	181
3. 7	企業調査	218
4	ヒアリング調査概要	242
4. 1	調査目的	242
5	個別のヒアリング調査結果	243
5. 1	当事者団体.....	243
5. 2	事業所	255
5. 3	企業.....	259

1 調査概要

1. 1 調査目的

本業務は、さっぽろ障がい者プラン 2024 の改定作業を含めた札幌市の障がい福祉施策に係る今後の方向性の検討のために、障がいのある方の生活実態や取り巻く課題等を調査・分析することを目的とする。

具体的な調査方法は以下のとおりである。

① アンケート調査

障がい者、障がい児、施設入所者、精神科病院入院患者、障害福祉サービス等事業所、企業及び市民を対象としたアンケートの実施

② ヒアリング調査

アンケート調査では把握が難しい実態・課題について、障がい当事者団体、障害福祉サービス等事業所、企業へのヒアリングの実施

2 アンケート調査概要

2.1 調査対象

本調査における調査対象は次表のとおりである。

調査種別	調査対象
障がい者調査	<ul style="list-style-type: none">● 札幌市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の被交付者● 特定医療費（指定難病）受給者証所持者（いずれも18歳以上）
障がい児調査	<ul style="list-style-type: none">● 札幌市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の被交付者● 特定医療費（指定難病）受給者証所持者（いずれも18歳未満）
施設入所者調査	<ul style="list-style-type: none">● 札幌市内の障がい者入所施設の利用者
精神科病院入院患者調査	<ul style="list-style-type: none">● 札幌市内の精神科病院の入院患者
市民調査	<ul style="list-style-type: none">● 札幌市内に居住する18歳以上の市民
事業所調査	<ul style="list-style-type: none">● 札幌市が指定している障害福祉サービス等提供事業所
企業調査	<ul style="list-style-type: none">● 札幌市内に所在する企業

2.2 調査基準日

令和7年12月1日現在の状況について回答をいただいた。

2. 3 調査抽出数・回収数・回収率

本調査における対象抽出数・回収数・回収率は次表のとおりである。

調査種別	母数	抽出数	回収数	回収率(%)	調査方法
1 障がい者調査 (身体障害者手帳所持者) (療育手帳所持者) (精神障害者保健福祉手帳所持者) (難病)	78,409 17,498 36,874 25,250	6,450 (2,000) (2,000) (2,000) (450)	2,164	33.6	郵送 インターネット
2 障がい児調査 (身体障害者手帳所持者) (療育手帳所持者) (精神障害者保健福祉手帳所持者) (難病)	1,302 5,393 417 107	1,050 (450) (450) (100) (50)	430	41.0	郵送 インターネット
3 施設入所者調査	28 施設	28	14	50.0	インターネット
4 精神科病院入院患者調査	37 施設	37	11	29.7	郵送 インターネット
5 市民意識調査	1,711,563 市内 18 歳以上人口 (令和 7 年 1 月 1 日時点)	3,000	969	32.3	郵送 インターネット
6 事業所調査	5,326	1,350	402	29.8	インターネット
7 企業意識調査	93,610	1,000	245	24.5	郵送 インターネット

注 1…身体障害者手帳所持者については、障がい区分（視覚、聴覚、平衡機能、音声・言語・そしゃく機能、肢体不自由、内部障がい）および障がい程度（重度、中度、軽度）の比率により各区分を層化し、各層から無作為に抽出した。療育手帳所持者については、療育手帳種別の比率により層化し、各層から無作為に抽出した。精神障害者保健福祉手帳所持者については、精神障害者保健福祉手帳種別の比率により層化し、各層から無作為に抽出した。

注 2…身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者及び精神障害者保健福祉手帳所持者の母数は、令和 7 年 3 月 31 日時点

注 3…事業所調査の母数は、令和 7 年 3 月 31 日時点。なお、抽出数について、まず 2,000 事業者を抽出し、同一事業者において複数のサービス種別で指定を受けている場合があるため、これらの重複等を除いた 1,350 事業所を対象として調査を実施した。

【アンケート調査概要】

2. 4 調査期間

令和8年1月26日～令和8年2月16日

(7. 企業調査のみ令和8年2月19日～令和8年3月6日)

2. 5 集計・分析の留意事項

「無回答」とは、回答が記載されていないなどの理由によって回答内容が不明であることを示す。

回答率（各回答の百分比）は小数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。

設問文に『（複数回答）』とあるのは、2つ以上の回答を可としたものであり、その百分比の合計は100.0%を超える場合がある

グラフにおける「n」は、比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答者に相当するのかを示すものである。

3 アンケート調査結果

1. 障がい者調査
2. 障がい児調査
3. 施設入所者調査
4. 精神科病院入院患者調査
5. 市民調査
6. 事業所調査
7. 企業調査

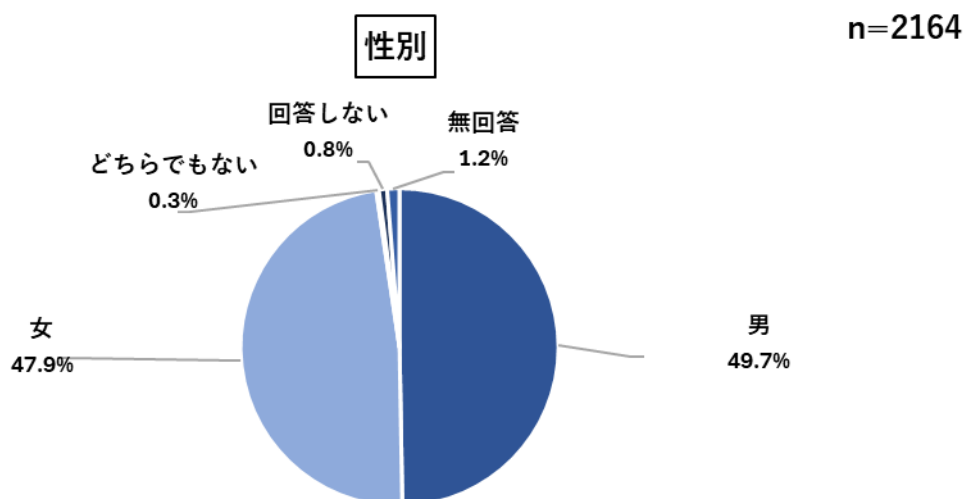
【1. 障がい者調査】

3. 1 障がい者調査

1 あなたのこと、世帯の状況について

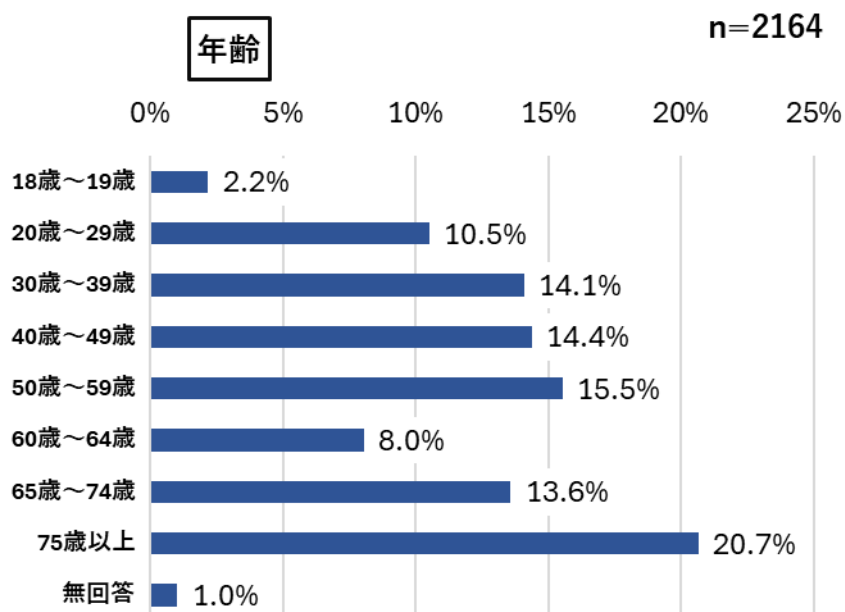
問1 あなたの性別に○をつけてください。

性別については、「男」が49.7%、「女」が47.9%となっている。



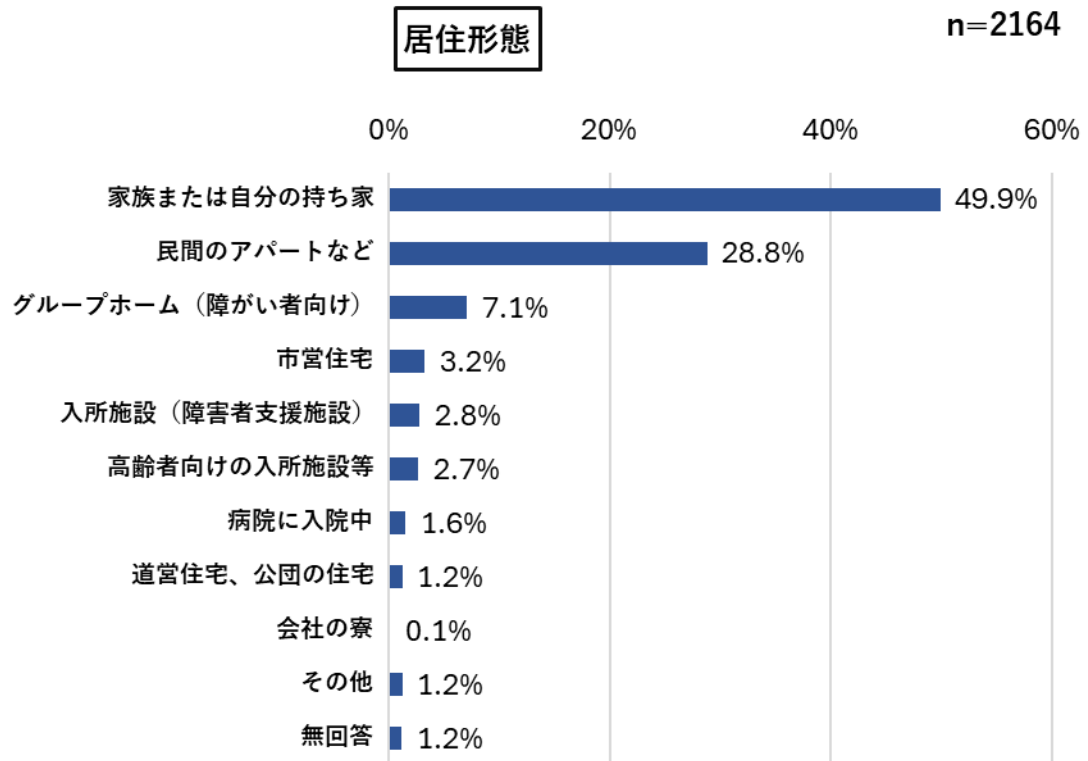
問2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。
(令和7年12月1日現在)

年齢については、「75歳以上」が20.7%と最も高く、次いで「50歳～59歳」が15.5%、「40歳～49歳」が14.4%となっている。



問3 あなたは、現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

居住形態については、「家族または自分の持ち家」が49.9%と最も高く、次いで「民間のアパートなど」が28.8%、「グループホーム(障がい者向け)」が7.1%となっている。



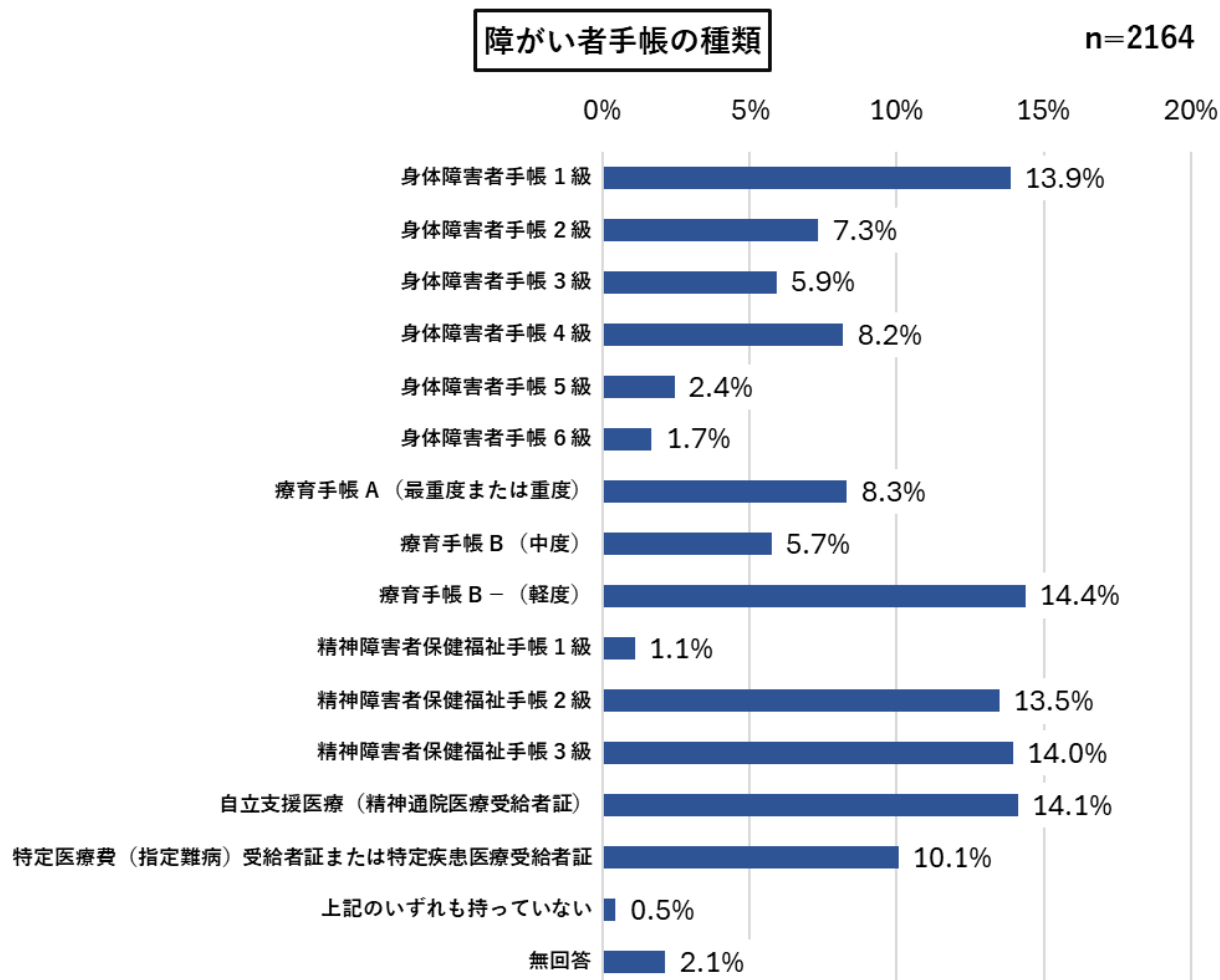
その他の回答の一部を抜粋する。

- 社宅・公務員官舎等の会社・官公庁住宅
- 家族・友人・血縁のない家族との同居

【1. 障がい者調査】

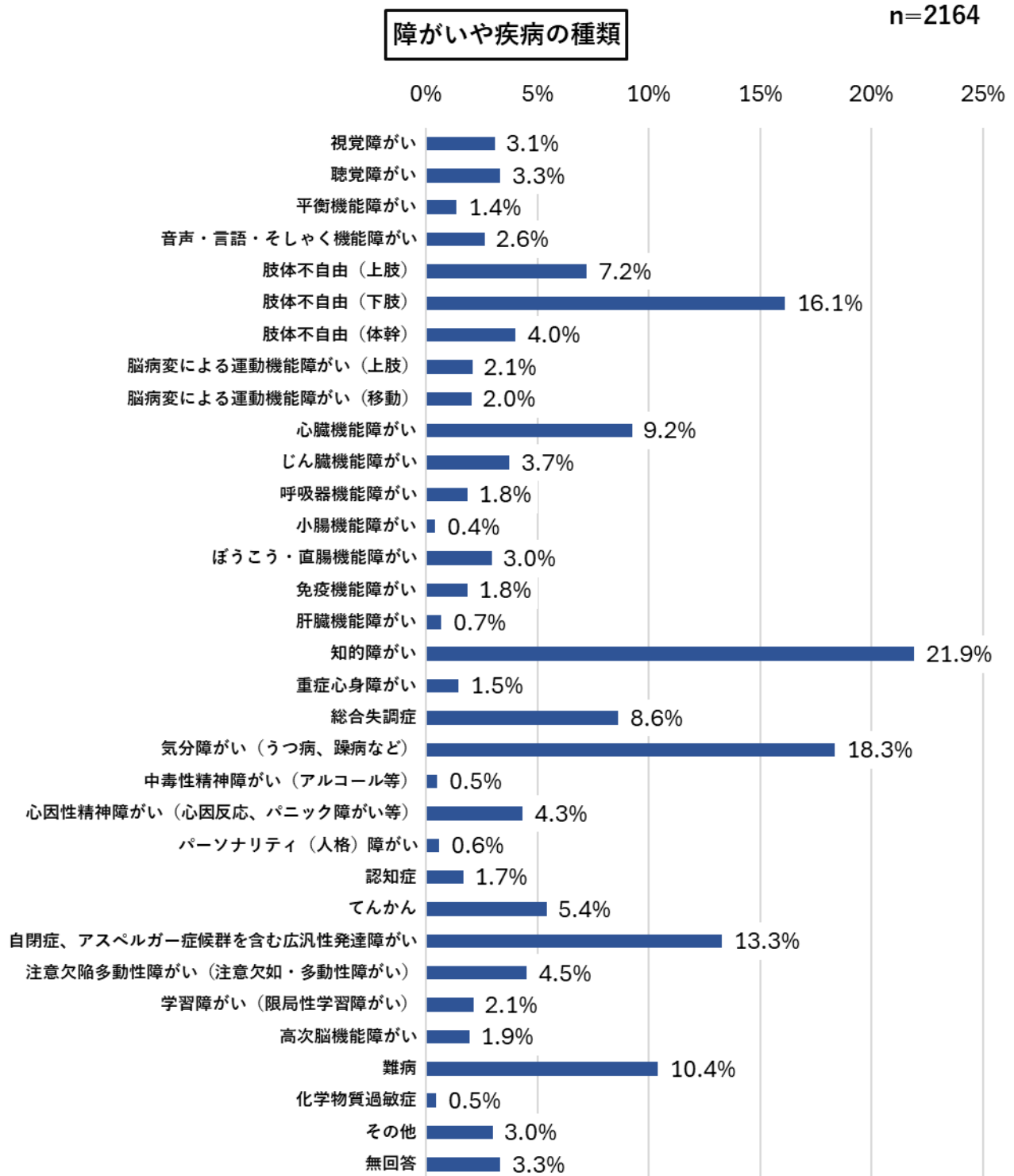
問4 あなたが持っている障がい者手帳などの種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい者手帳の種類については、「療育手帳 B-(軽度)」14.4%と最も高く、次いで「自立支援医療(精神通院医療受給者証)」が14.1%、「精神障害者保健福祉手帳 3級」が14.0%となっている。



問5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

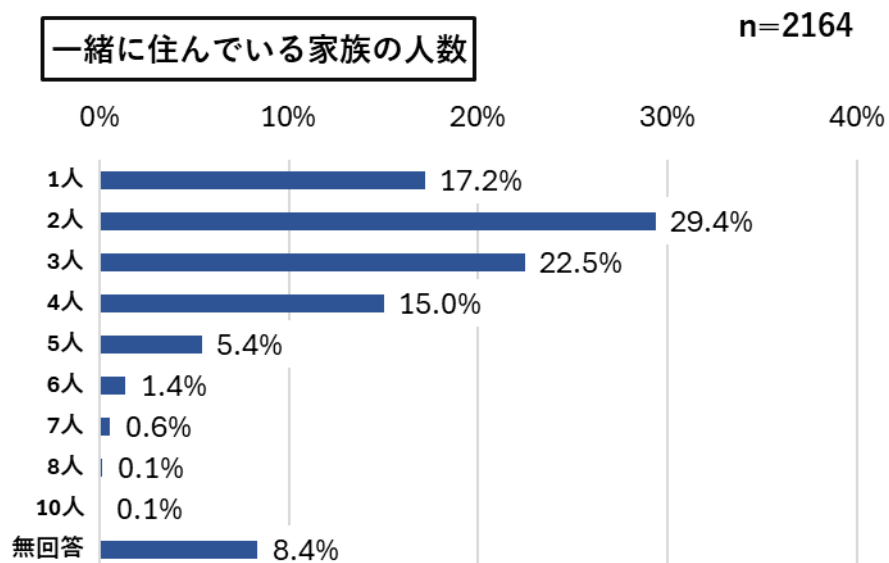
障がいや疾病の種類については、「知的障がい」が21.9%と最も高く、次いで「気分障がい(うつ病、躁病など)」が18.3%、「肢体不自由(下肢)」が16.1%となっている。



【1. 障がい者調査】

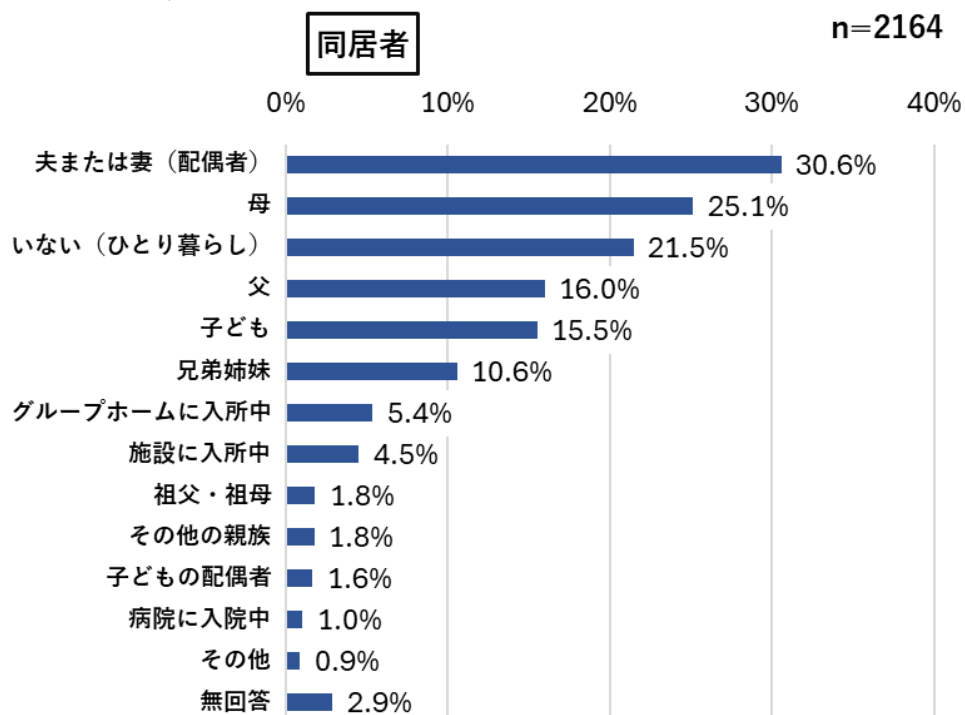
問6 (1) あなたは何人家族ですか。

一緒に住んでいる家族の人数については、「2人」が29.4%と最も高く、次いで「3人」が22.5%、「1人」が17.2%となっている。



問6 (2) あなたがいっしょに住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

同居者については、「夫または妻」が30.6%と最も高く、次いで「母」が25.1%、「いない（ひとり暮らし）」が21.5%となっている。

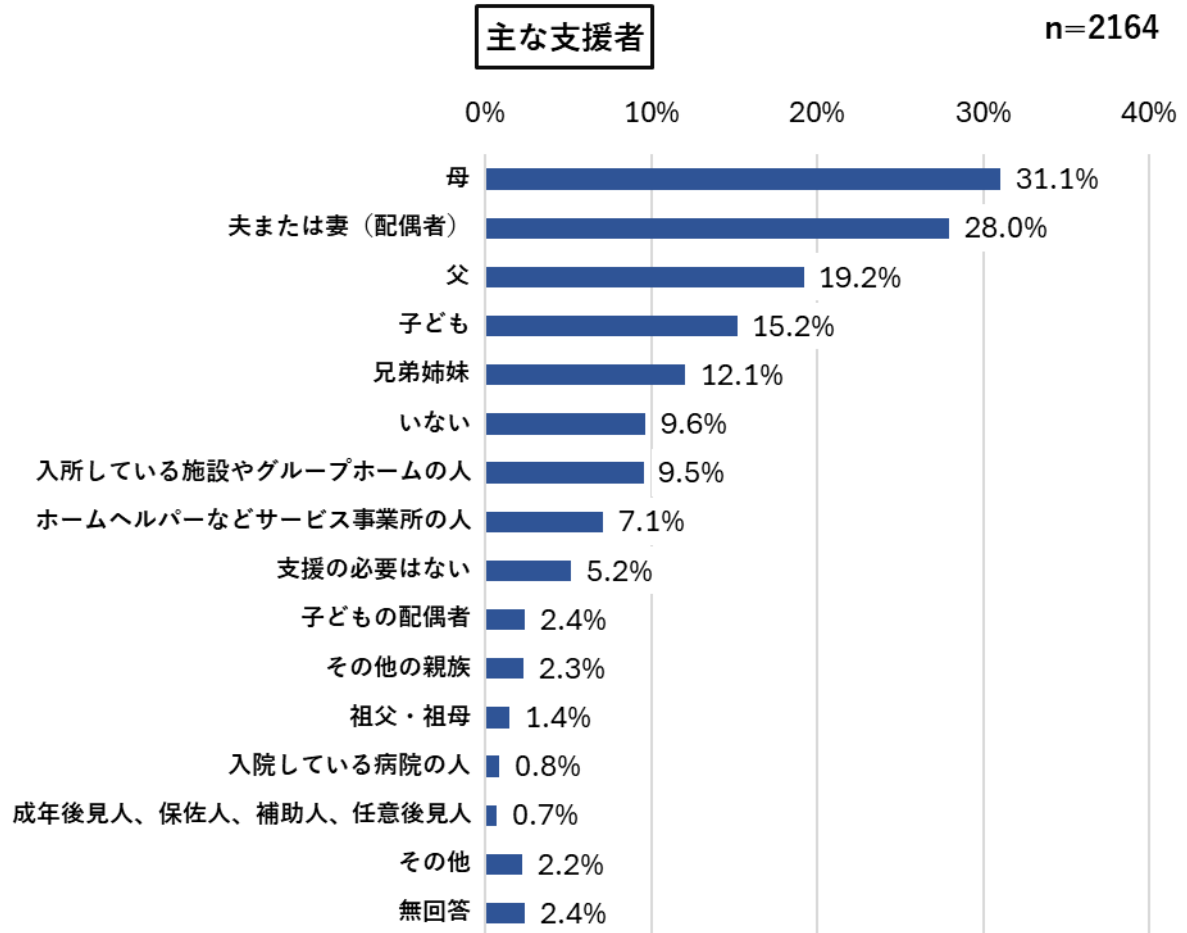


その他の回答の一部を抜粋する。

- 孫
- シェアハウス等の同居人

問7 あなたの主な支援者はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。1～8を選んだ場合は、支援者の年代もお答えください。

主な支援者については、「母」が31.1%と最も高く、次いで「夫または妻」が28.0%、「父」が19.2%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

- パートナー・彼氏/彼女・事実婚・内縁者
- 医療（主治医・病院・デイケア・相談室）
- 訪問看護・ソーシャルワーカー
- 会社の人・上司

支援者の年代

支援者	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
父	0.0%	0.0%	0.3%	4.3%	24.0%	29.3%	30.4%	10.5%	1.3%
母	0.0%	0.0%	0.2%	6.2%	24.8%	28.4%	28.4%	11.2%	0.9%
夫または妻	0.0%	1.4%	5.3%	8.8%	13.0%	23.2%	30.8%	15.5%	1.9%
兄弟姉妹	2.6%	12.2%	14.3%	20.4%	21.3%	13.0%	12.2%	3.9%	0.0%
祖父・祖母	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	28.6%	53.6%	10.7%
子ども	5.4%	13.0%	12.7%	22.1%	26.1%	16.7%	3.7%	0.3%	0.0%
子どもの配偶者	0.0%	0.0%	10.2%	18.4%	38.8%	20.4%	12.2%	0.0%	0.0%
その他の親族	8.3%	6.3%	6.3%	8.3%	31.3%	10.4%	22.9%	6.3%	0.0%

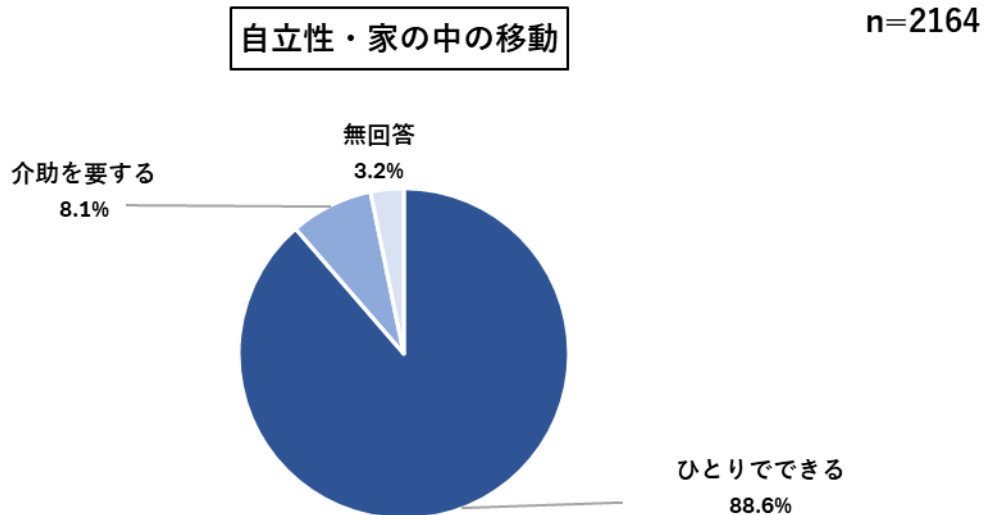
【1. 障がい者調査】

2 心身の状況について

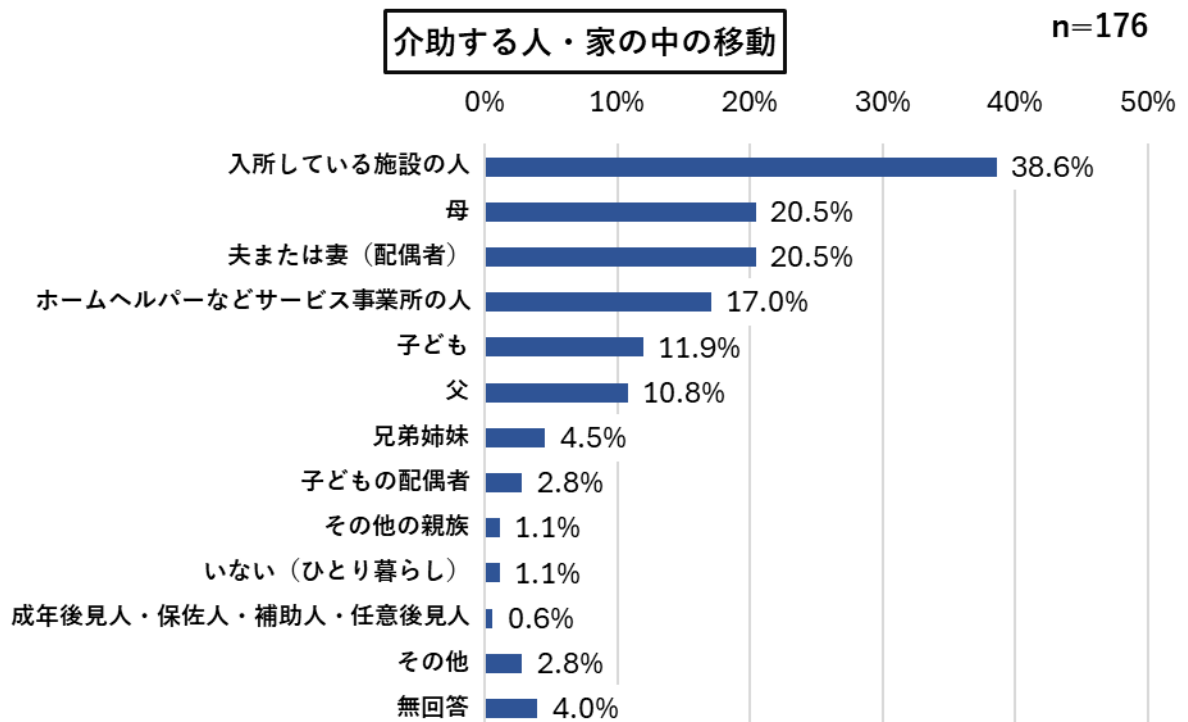
問8 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりでできますか。また、介助が必要な場合には誰が支援していますか。それぞれの項目について、あてはまる記号・番号に○をつけてください。

家の中の移動

家の中の移動については、「ひとりでできる」が88.6%となっている。

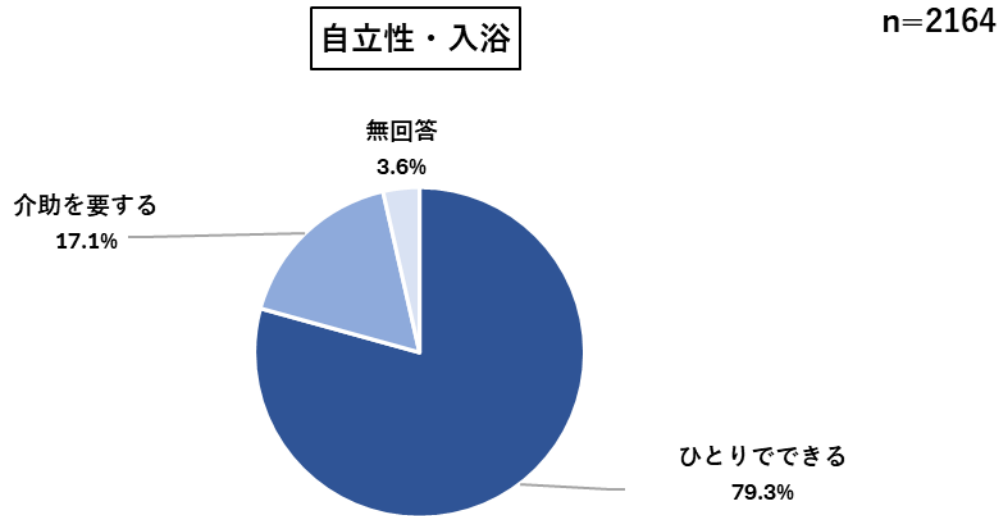


介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「入所している施設の人」が38.6%と最も高く、次いで「母」「夫または妻（配偶者）」が20.5%となっている。

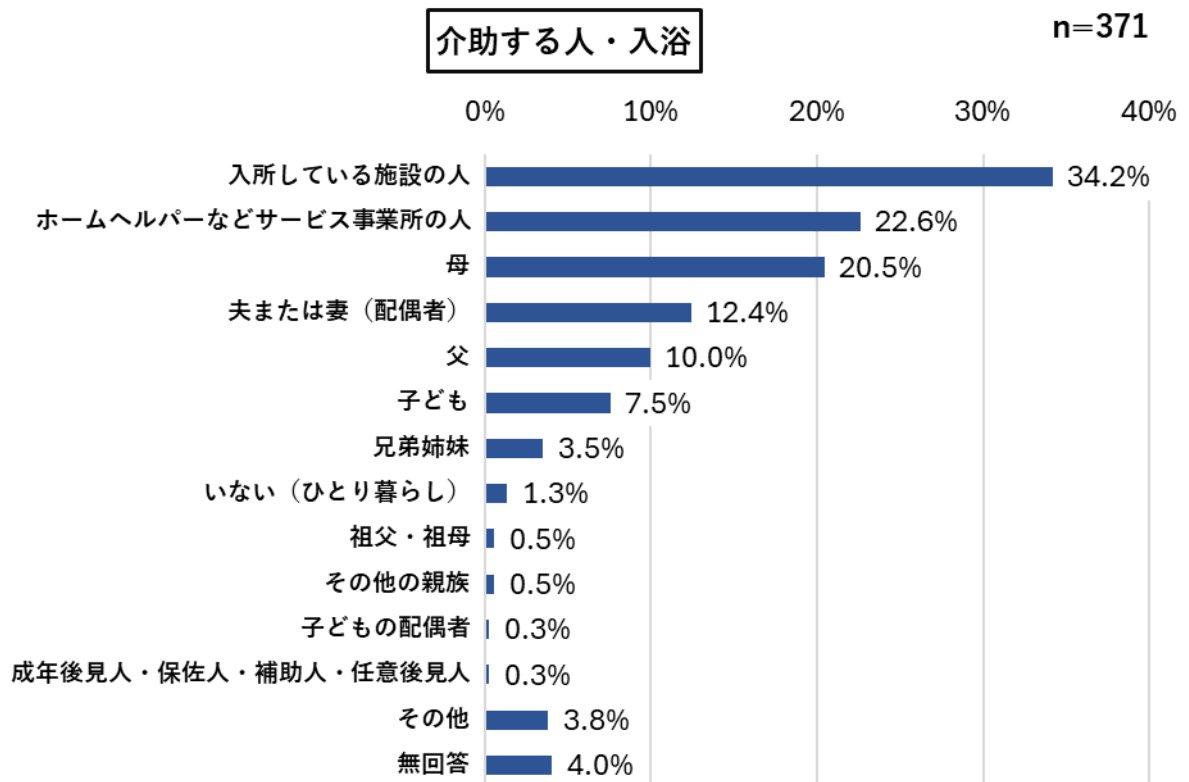


入浴

入浴については、「ひとりでできる」が79.3%となっている。



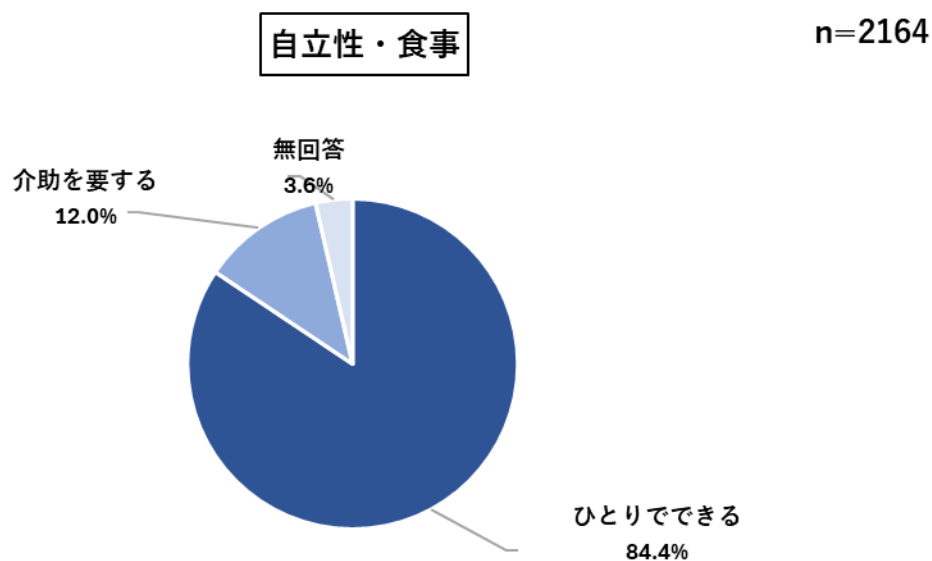
また、介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「入所している施設の人」が34.2%と最も高く、次いで「ホームヘルパーなどサービス事業所の人」が22.6%、「母」が20.5%となっている。



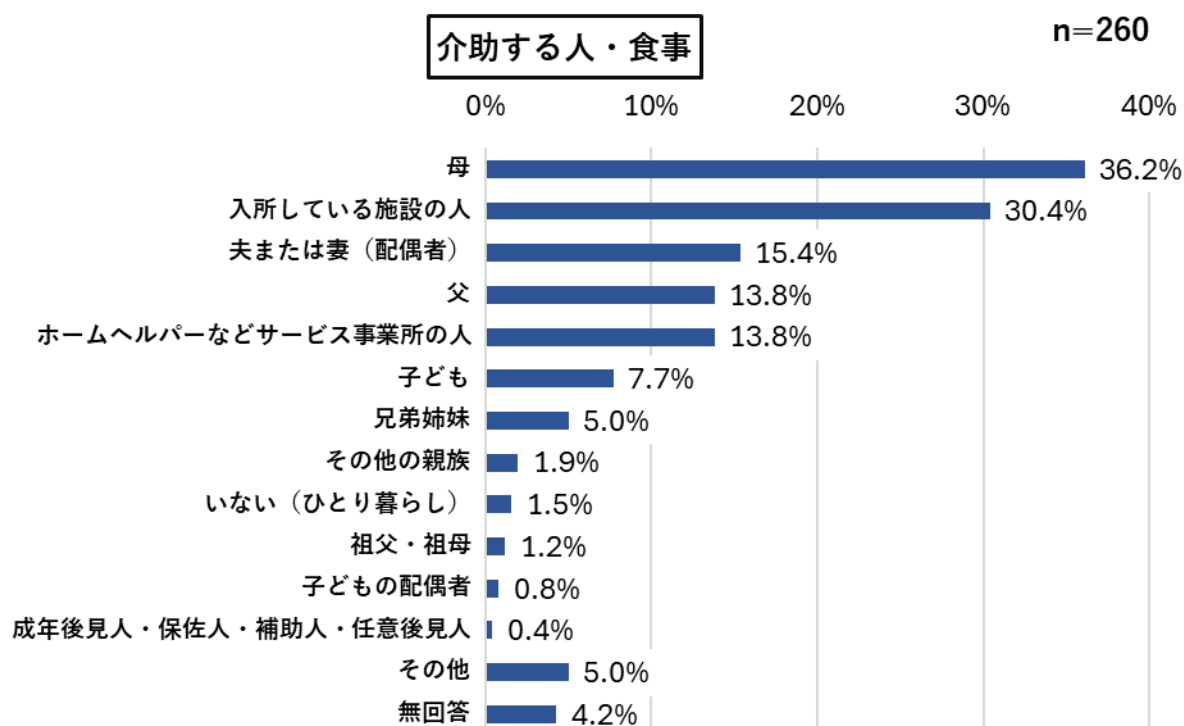
【1. 障がい者調査】

食事

食事については、「ひとりでできる」が84.4%となっている。

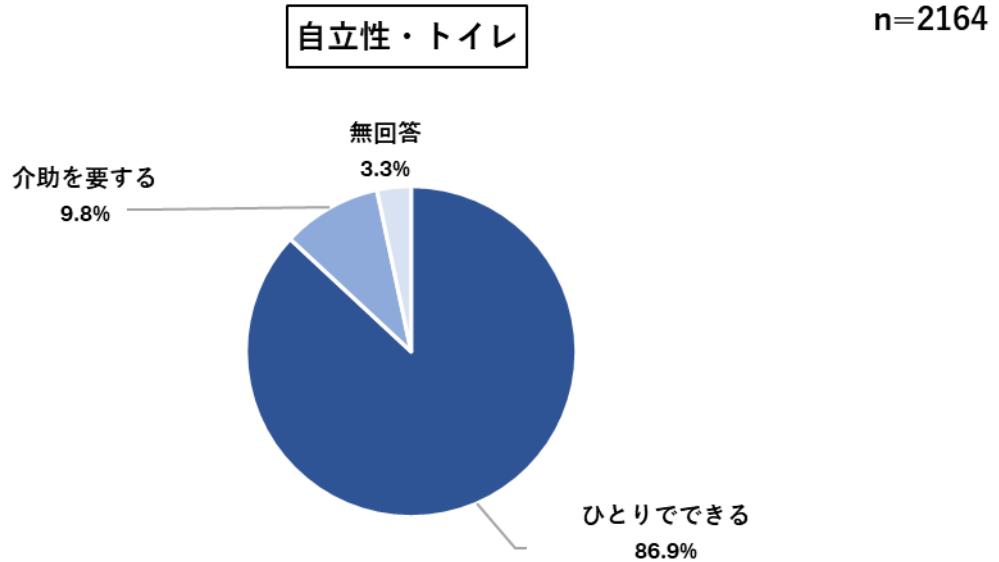


介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が36.2%と最も高く、次いで「入所している施設の人」が30.4%、「夫または妻(配偶者)」が15.4%となっている。

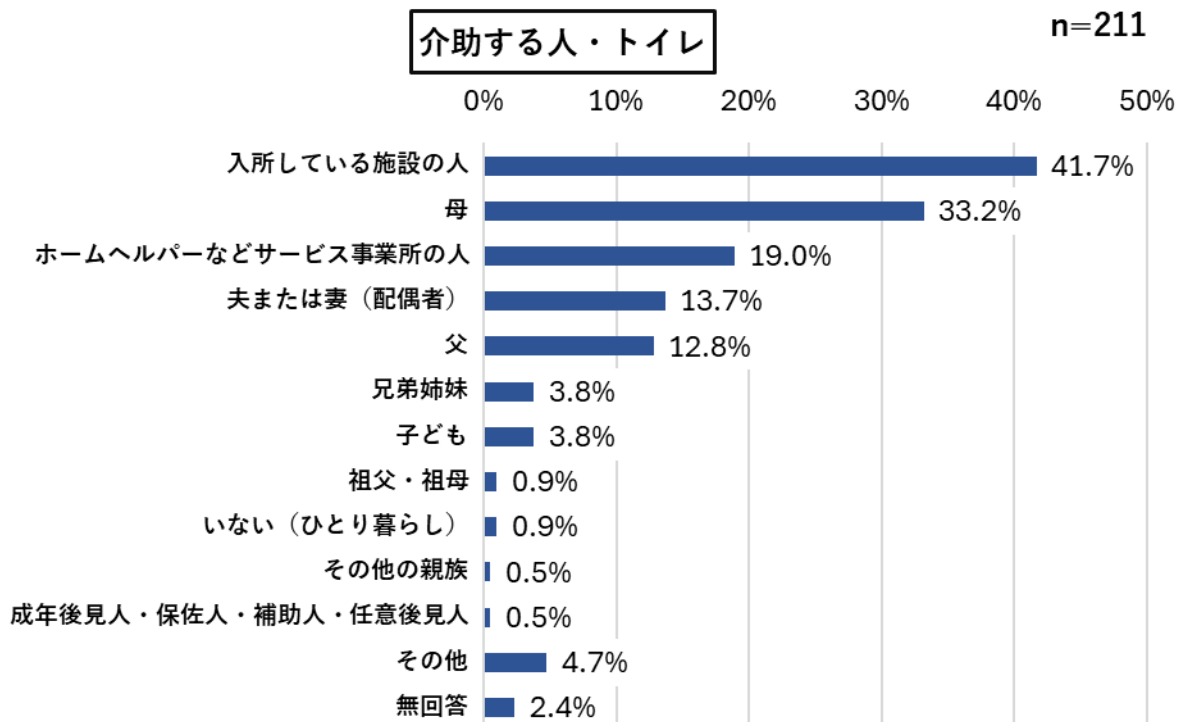


トイレ

トイレについては、「ひとりでできる」が86.9%となっている。



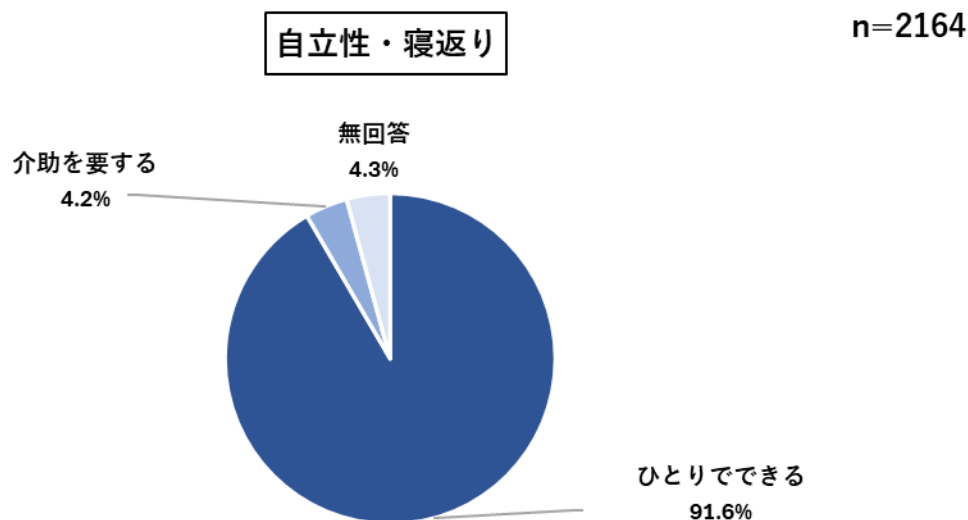
また、介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「入所している施設の人」が41.7%と最も高く、次いで「母」が33.2%、「ホームヘルパーなどサービス事業所の人」が19.0%となっている。



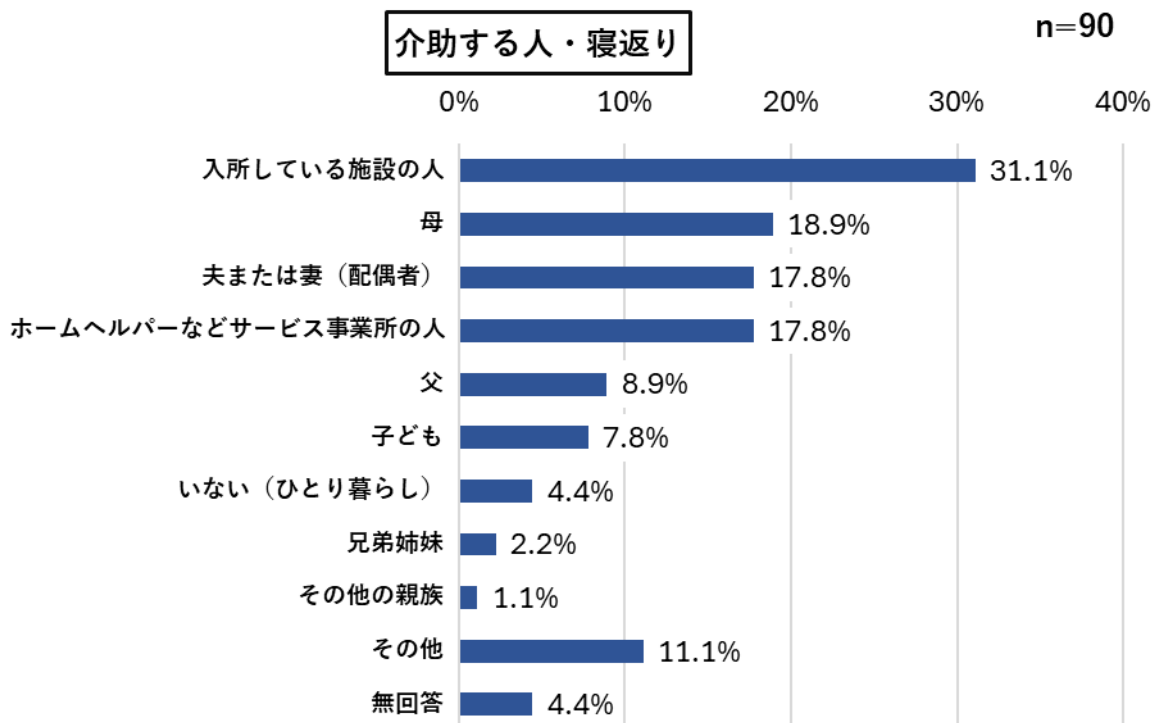
【1. 障がい者調査】

寝返り

寝返りについては、「ひとりでできる」が91.6%となっている。



また、介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「入所している施設の人」が31.1%と最も高く、次いで「母」が18.9%、「夫または妻(配偶者)」が17.8%となっている。

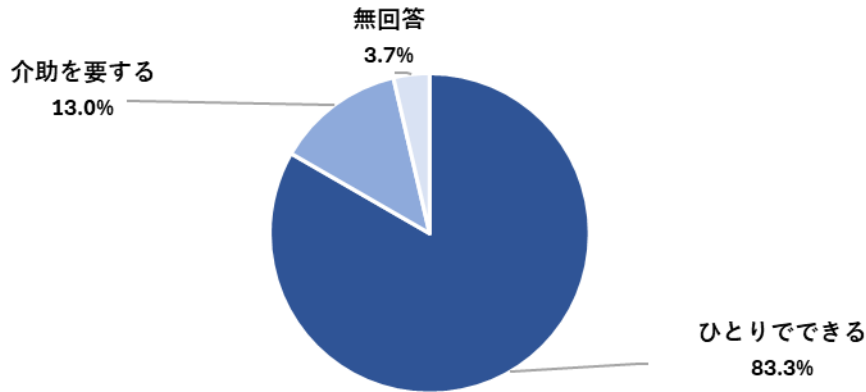


着替えや洗顔、歯みがき、ひげそりなど

着替えや洗顔、歯みがき、ひげそりなどについては、「ひとりでできる」が 83.3%となっている。

自立性・着替えや洗顔、歯みがき、ひげそりなど

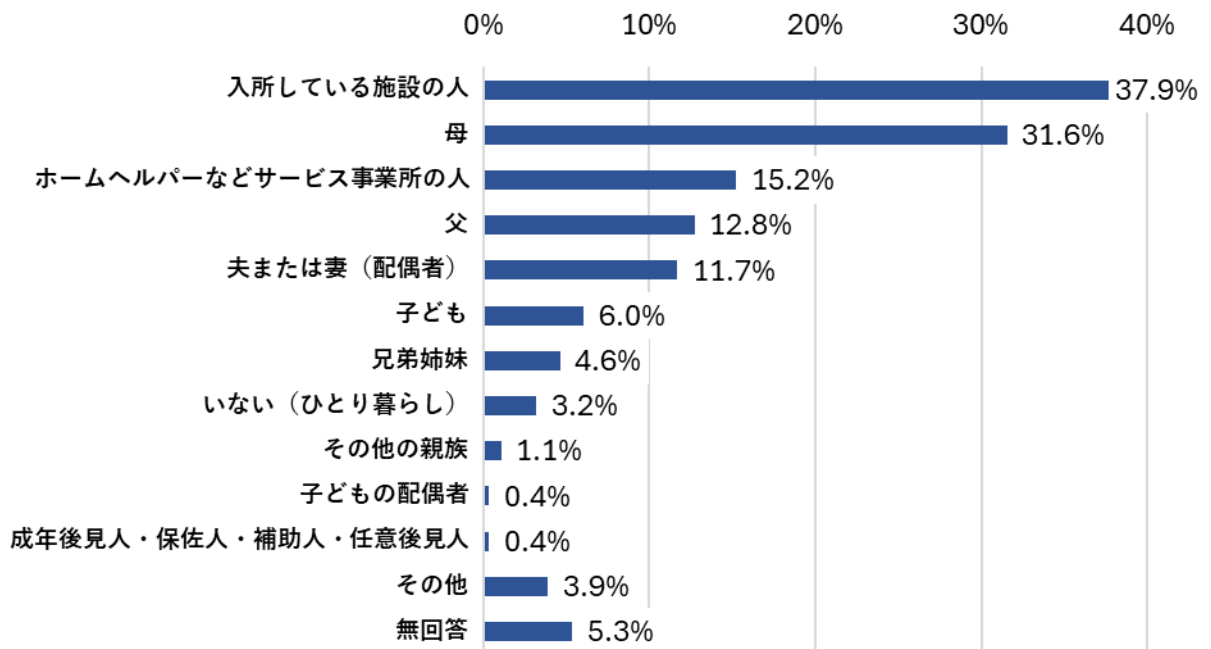
n=2164



また、介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「入所している施設の人」が 37.9%と最も高く、次いで「母」が 31.6%、「ホームヘルパーなどサービス事業所の人」が 15.2%となっている。

介助する人・着替えや洗顔、歯みがき、ひげそりなど

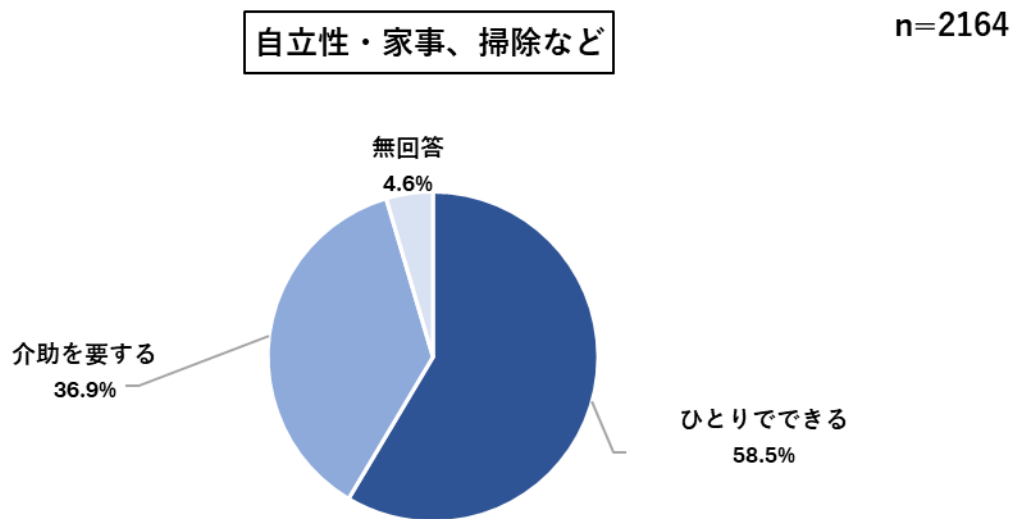
n=282



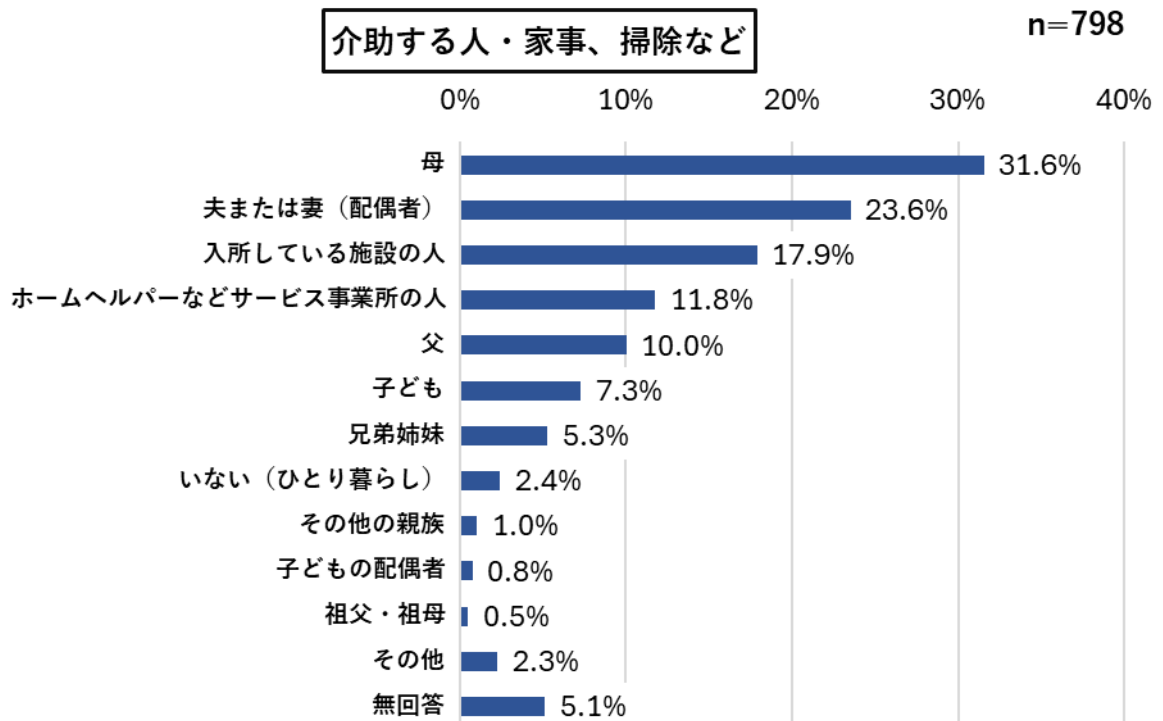
【1. 障がい者調査】

家事、掃除など

家事、掃除などについては、「ひとりでできる」が58.5%となっている。

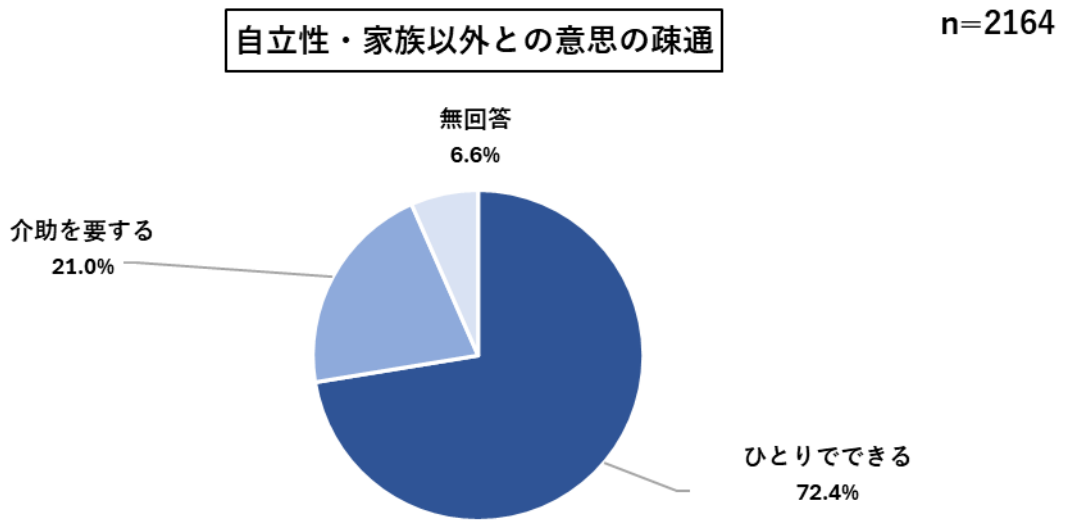


また、介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が31.6%と最も高く、次いで「夫または妻(配偶者)」が23.6%、「入所している施設の人」が17.9%となっている。

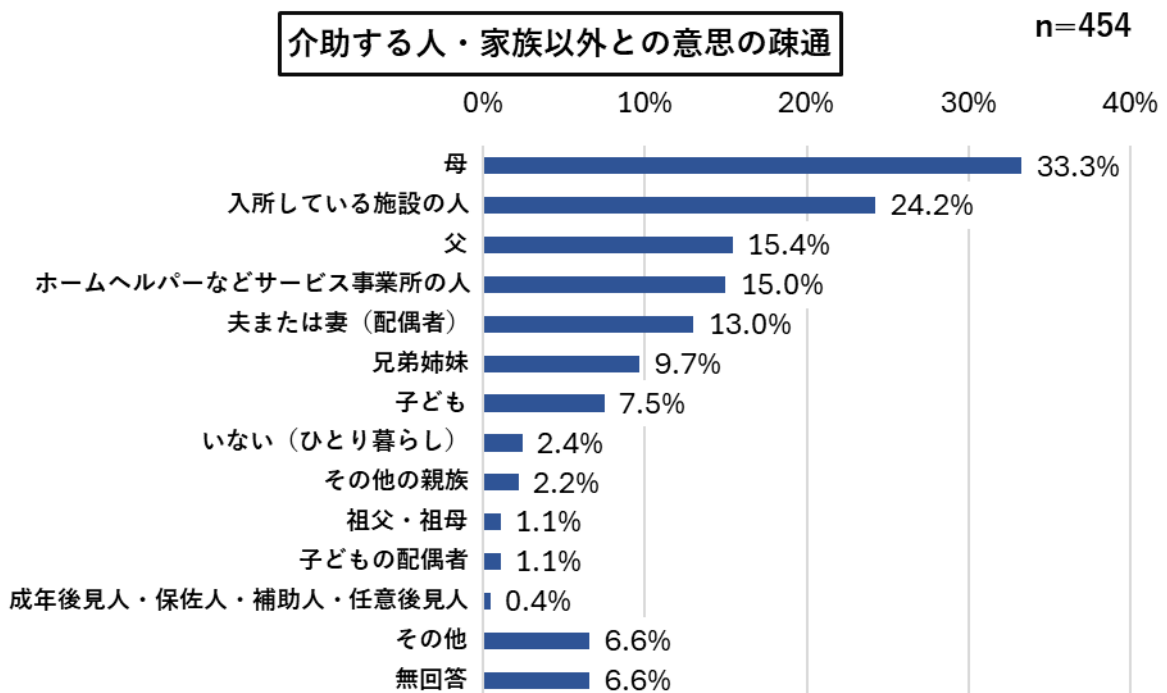


家族以外との意思の疎通

家族以外との意思の疎通については、「ひとりでできる」が72.4%となっている。



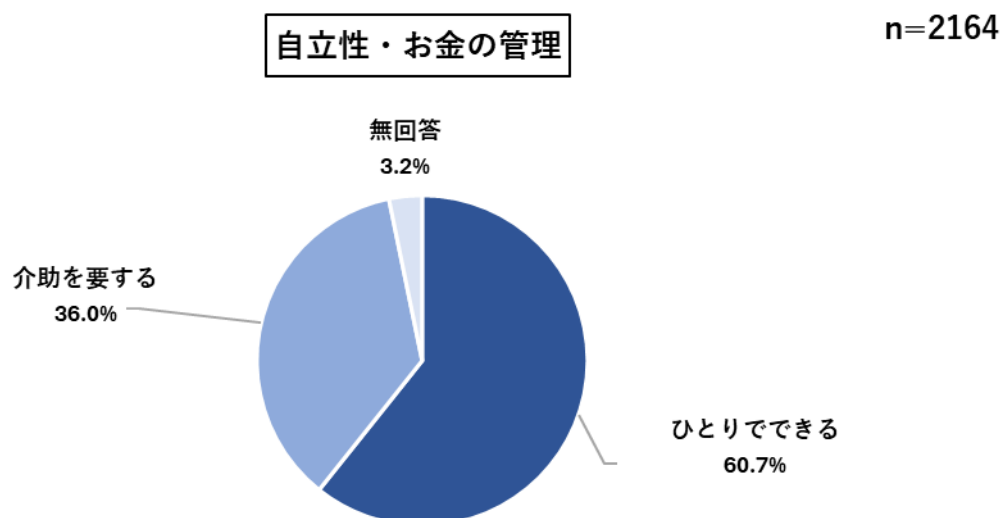
また、介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が33.3%と最も高く、次いで「入所している施設の人」が24.2%、「父」が15.4%となっている。



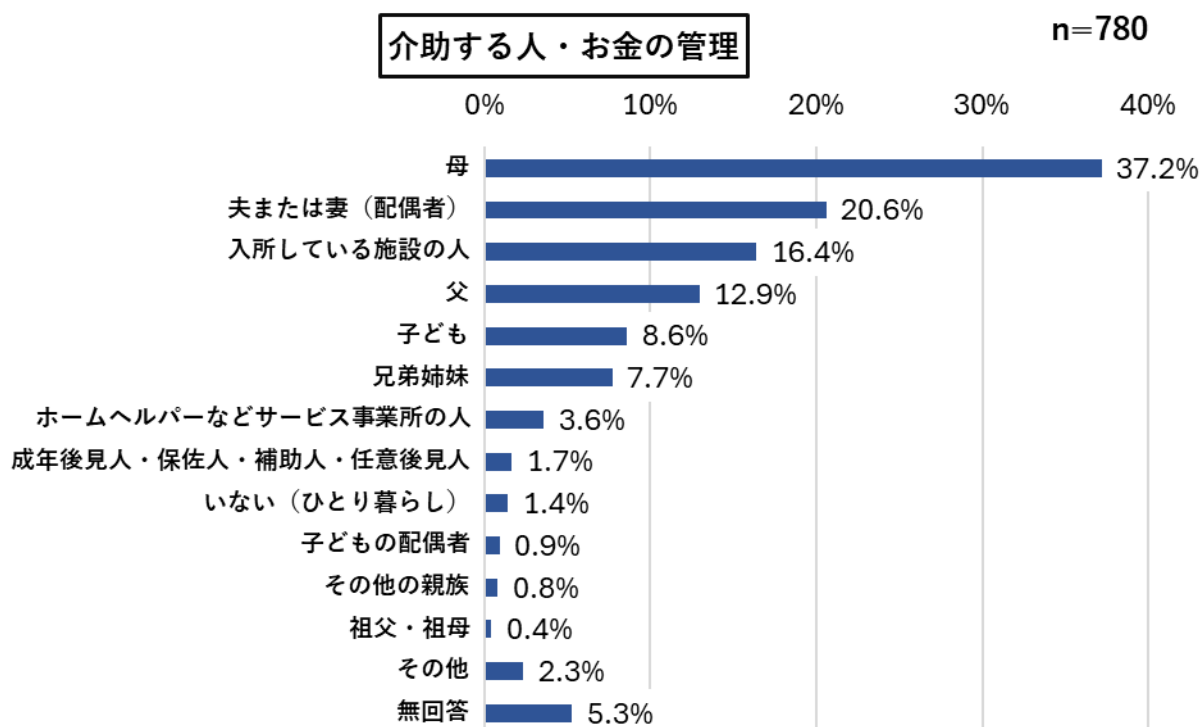
【1. 障がい者調査】

お金の管理

お金の管理については、「ひとりでできる」が60.7%となっている。

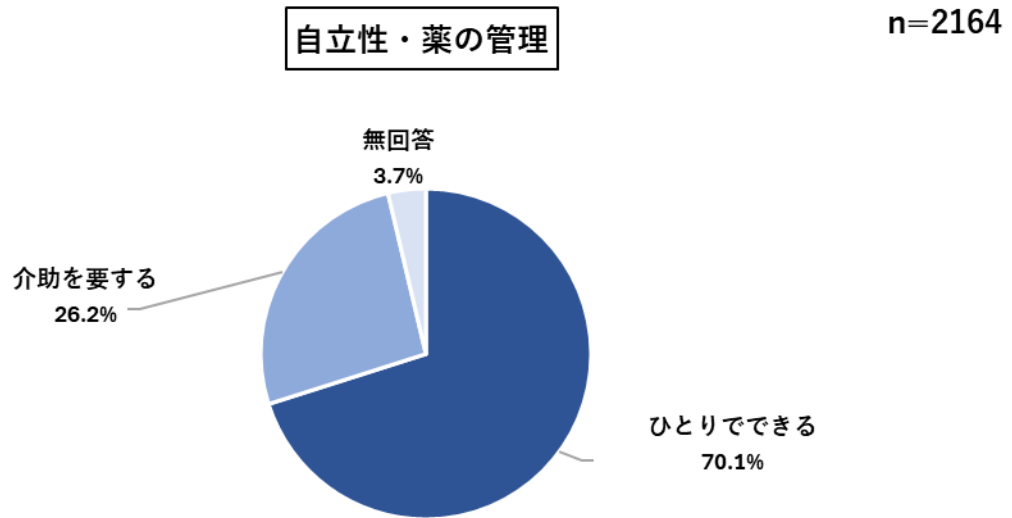


また、介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が37.2%と最も高く、次いで「夫または妻(配偶者)」が20.6%、「入所している施設の人」が16.4%となっている。

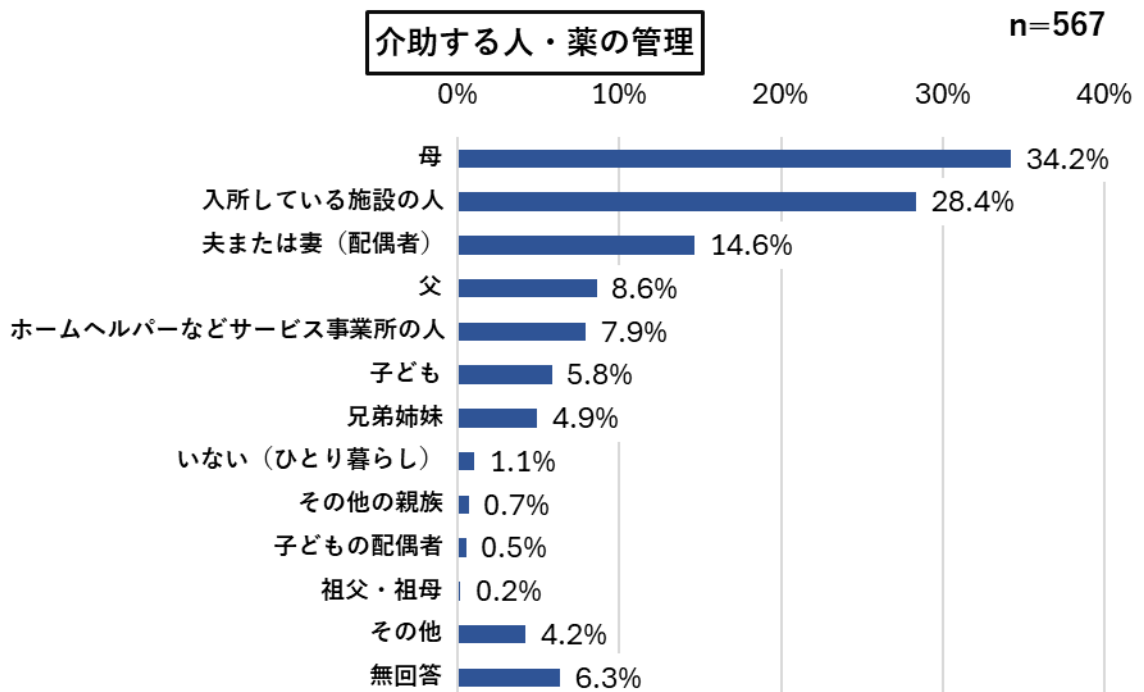


薬の管理

薬の管理については、「ひとりでできる」が70.1%となっている。



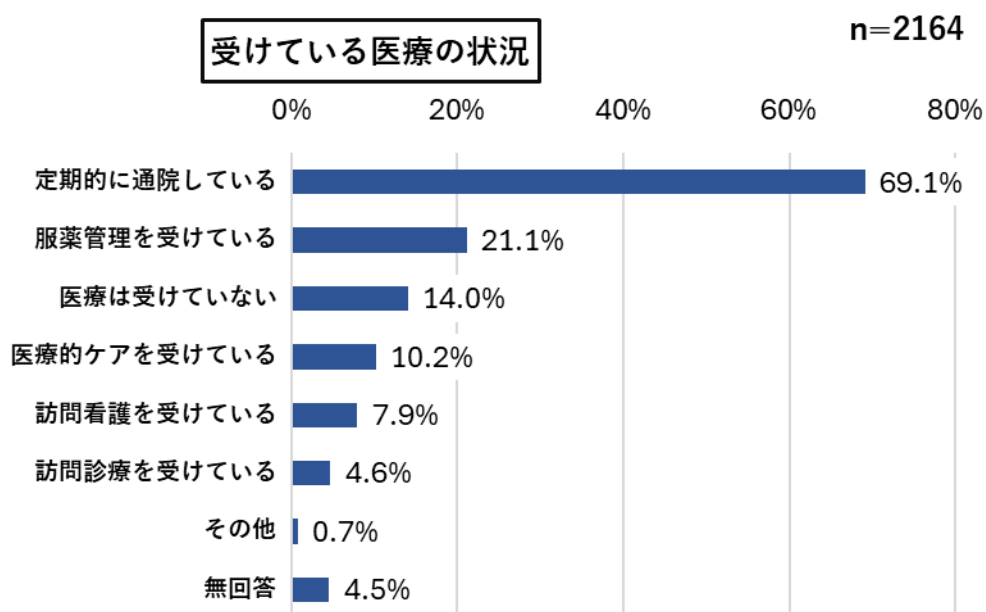
また、介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が34.2%と最も高く、次いで「入所している施設の人」が28.4%、「夫または妻(配偶者)」が14.6%となっている。



【1. 障がい者調査】

問9 あなたが現在受けている医療の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

受けている医療の状況については、「定期的に通院している」が69.1%と最も高く、次いで「服薬管理を受けている」が21.1%、「医療は受けていない」が14.0%となっている。



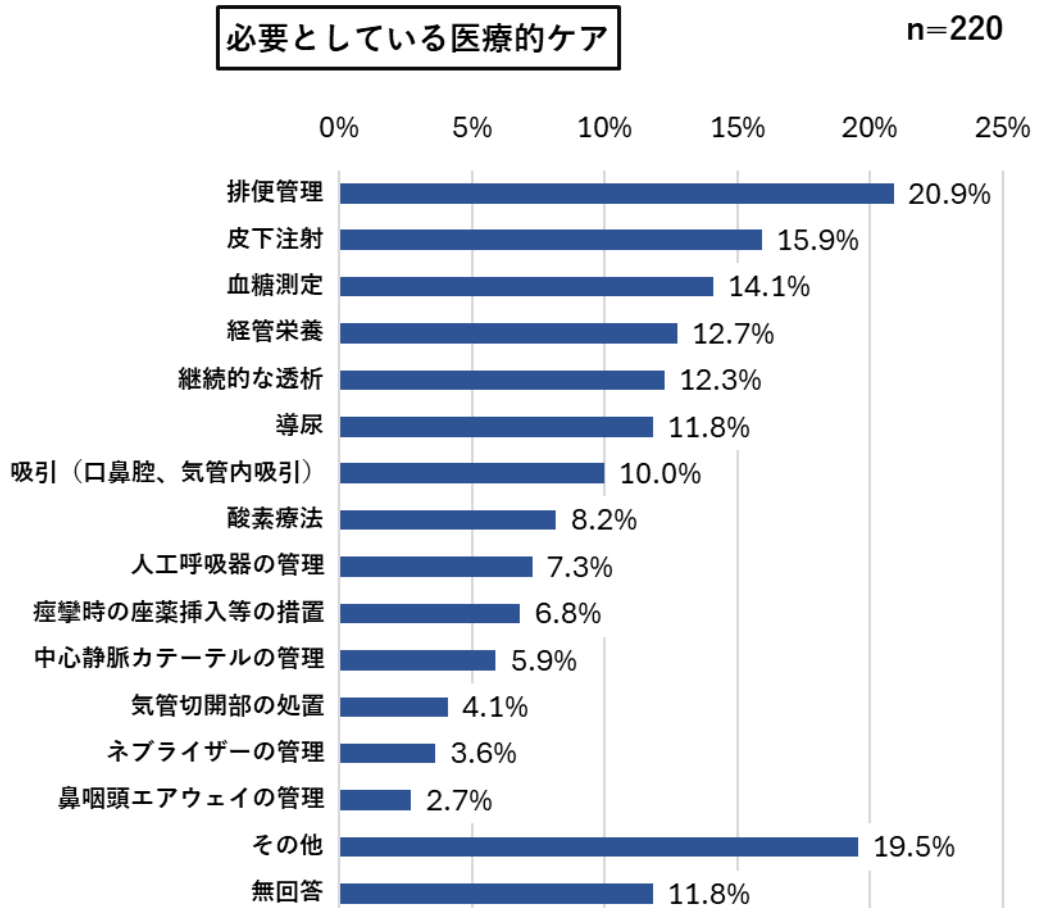
その他の回答の一部を抜粋する。

- 入院中
- リハビリ中・訪問訓練
- オンライン診察
- 痛い時のみ・不定期受診

問9で「1 医療的ケアを受けている」と回答した人にお聞きします

問 10-1 あなたが現在必要としている、医療的ケアの種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

医療的ケアの種類については、「排便管理」が20.9%と最も高く、次いで「その他」が19.5%、「皮下注射」が15.9%となっている。

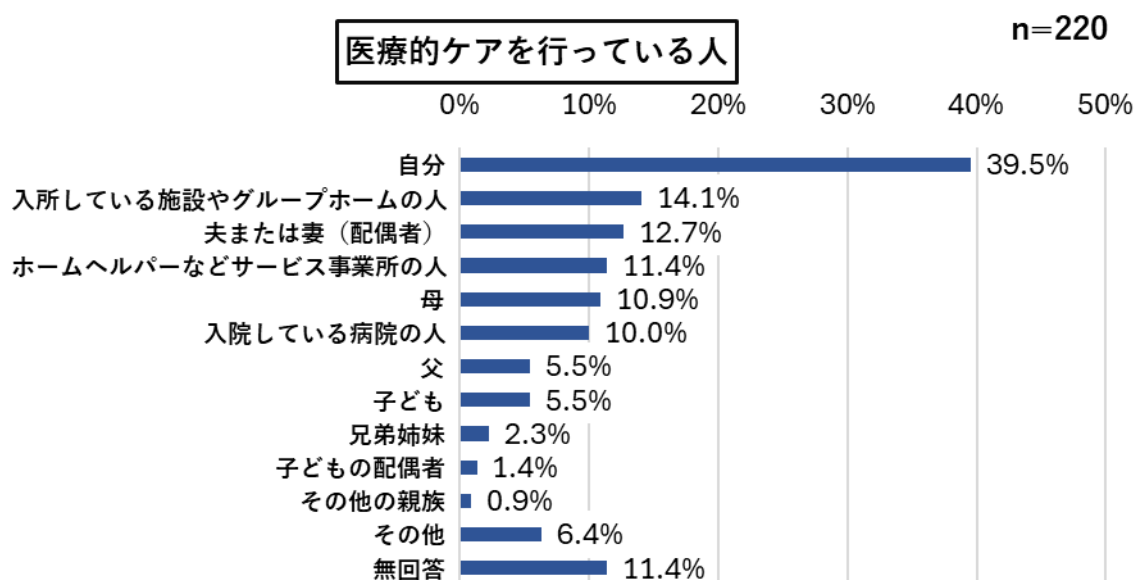


【1. 障がい者調査】

問9で「1 医療的ケアを受けている」と回答した人にお聞きします

問 10-2 あなたの医療的ケアを行っている人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。2～9を選んだ場合は、支援者の年代もお答えください。

医療的ケアを行っている人については、「自分」が39.5%と最も高く、次いで「入所している施設やグループホームの人」が14.1%、「夫または妻(配偶者)」が12.7%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

- 通院先の病院・病院スタッフ（看護師含む）
- 訪問看護・訪問医師
- 医療機器（機械）会社の担当

支援者の年代

支援者	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
父	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	27.3%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%
母	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	43.5%	21.7%	26.1%	4.3%	0.0%
夫または妻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	19.2%	34.6%	42.3%	0.0%
兄弟姉妹	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
祖父・祖母	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子ども	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	50.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%
子どもの配偶者	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
その他の親族	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

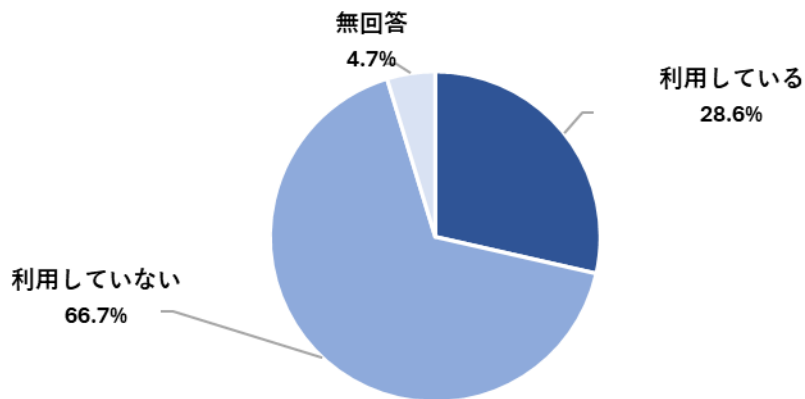
3 障がい福祉サービスについて

問 11 あなたは、現在、居宅介護などの障がい福祉サービス(障害者総合支援法)を利用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がい福祉サービスの利用状況については、「利用していない」が66.7%と最も高く、次いで「利用している」が28.6%、「無回答」が4.7%となっている。

福祉サービスの利用

n=2164



問 11 で「1利用している」と回答した人にお聞きします

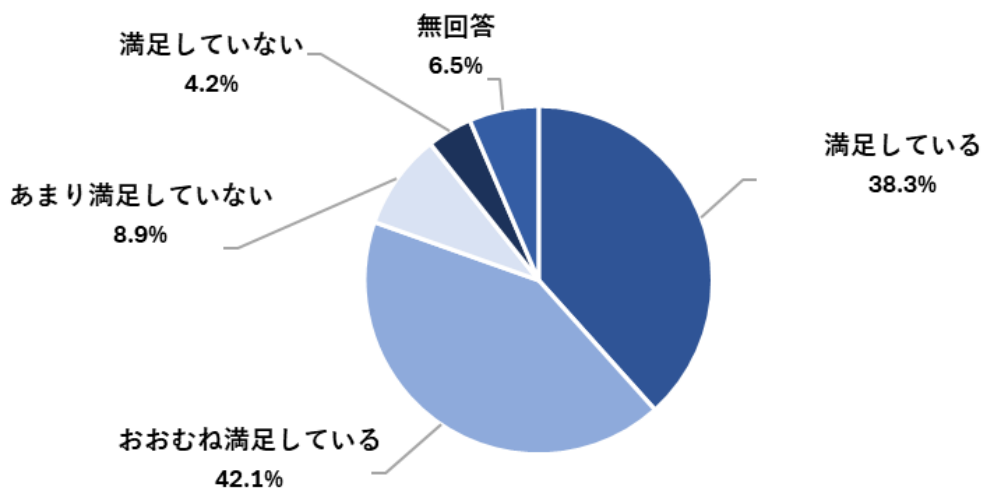
問 12-1 あなたは、現在受けている障がい福祉サービス(障害者総合支援法)に満足していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数のサービスを利用されている方は、最も利用頻度の高いサービスについてお答えください。

サービスの量

障がい福祉サービスの量の満足度については、「おおむね満足している」が42.1%と最も高く、次いで「満足している」が38.3%、「あまり満足していない」が8.9%となっている。

サービスの量

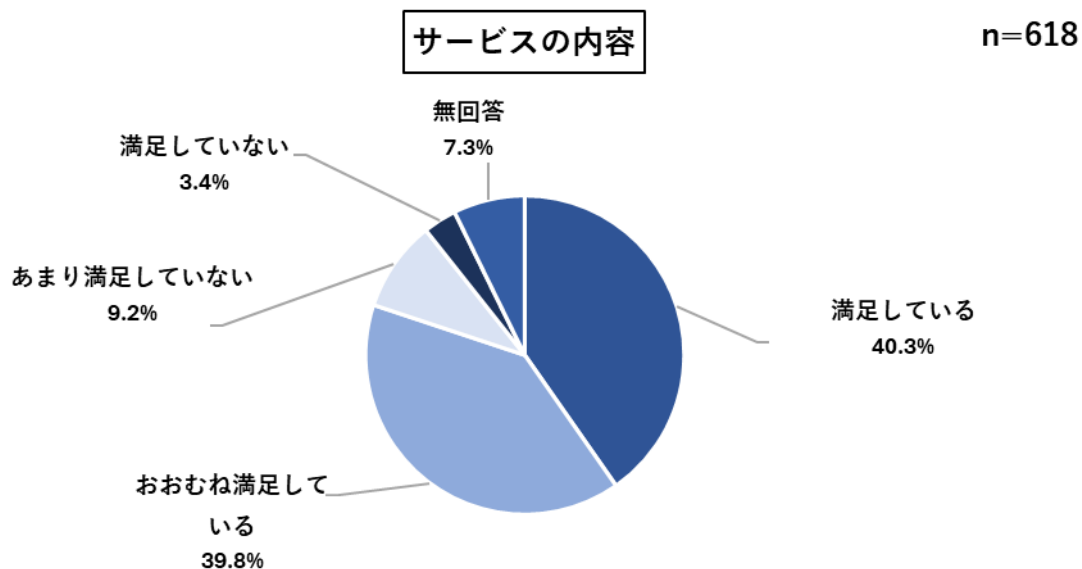
n=618



【1. 障がい者調査】

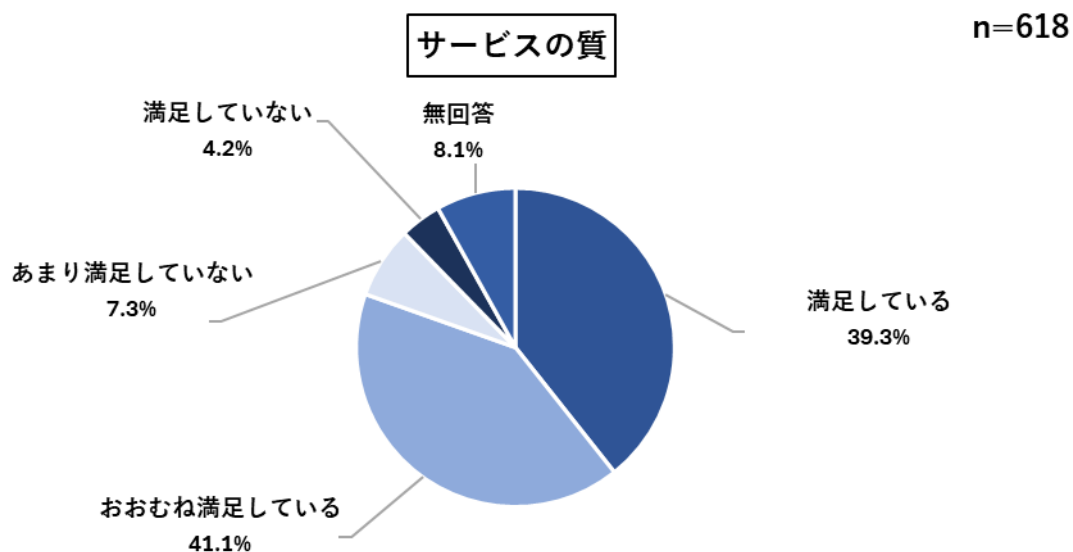
サービスの内容

障がい福祉サービスの内容の満足度については、「満足している」が40.3%と最も高く、次いで「おおむね満足している」が39.8%、「あまり満足していない」が9.2%となっている。



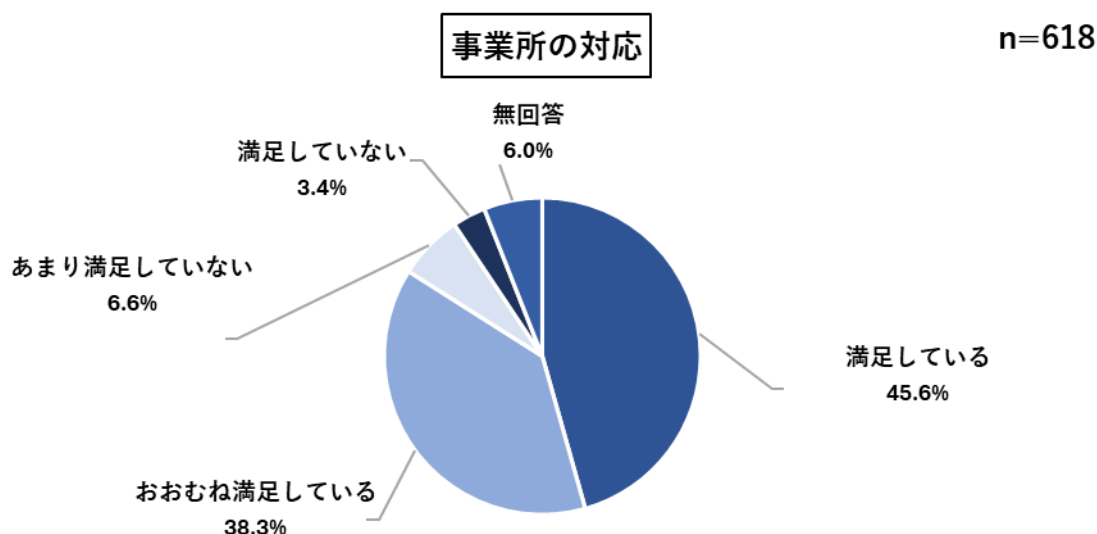
サービスの質

障がい福祉サービスの質の満足度については、「おおむね満足している」が41.1%と最も高く、次いで「満足している」が39.3%、「あまり満足していない」が7.3%となっている。



事業所の対応

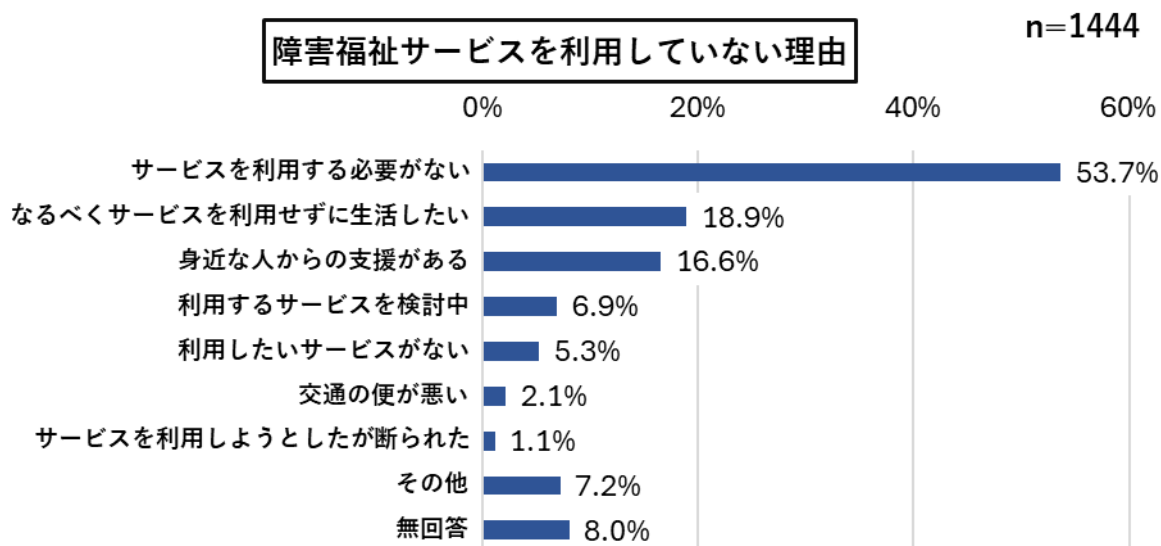
障がい福祉サービスの事業所の対応の満足度については、「満足している」が45.6%と最も高く、次いで「おおむね満足している」が38.3%、「あまり満足していない」が6.6%となっている。



問 11 で「2 利用していない」と回答した人にお聞きします。

問 12-2 利用していない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

利用していない理由については、「サービスを利用する必要がない」が53.7%と最も高く、次いで「なるべくサービスを利用せずに生活したい」が18.9%、「身近な人からの支援がある」が16.6%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

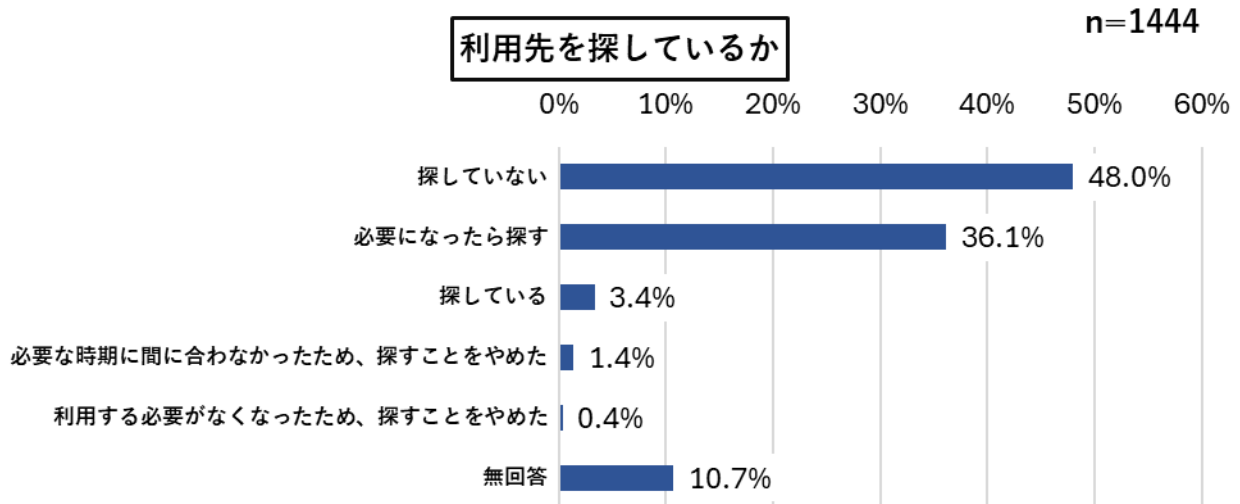
- 情報不足・内容がわからない・知らなかった
- 入院/入所中・介護保険サービス等を既に利用中
- 金銭面・時間面の負担、対象外などの条件面
- 対人不安・人が怖い・抵抗感・信用できない

【1. 障がい者調査】

問 11 で「2 利用していない」と回答した人にお聞きします。

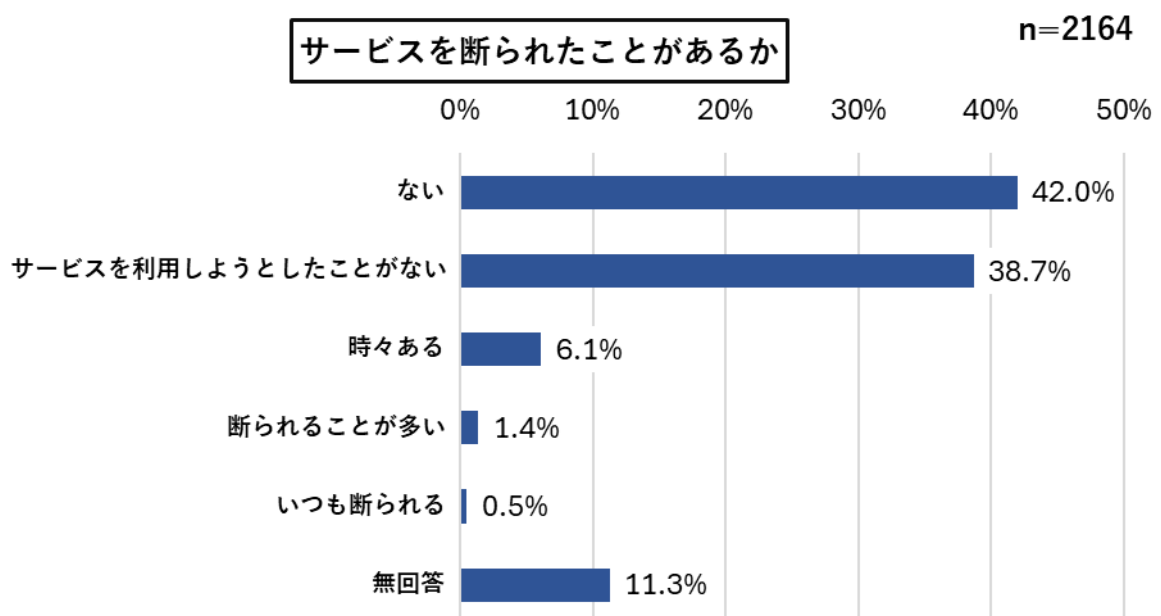
問 12-3 現在、利用先を探していますか。

利用先を探しているかについては、「探していない」が 48.0%と最も高く、次いで「必要になったら探す」が 36.1%、「探している」が 3.4%となっている。



問 12-4 サービスを利用しようとしたが断られたことはありますか。

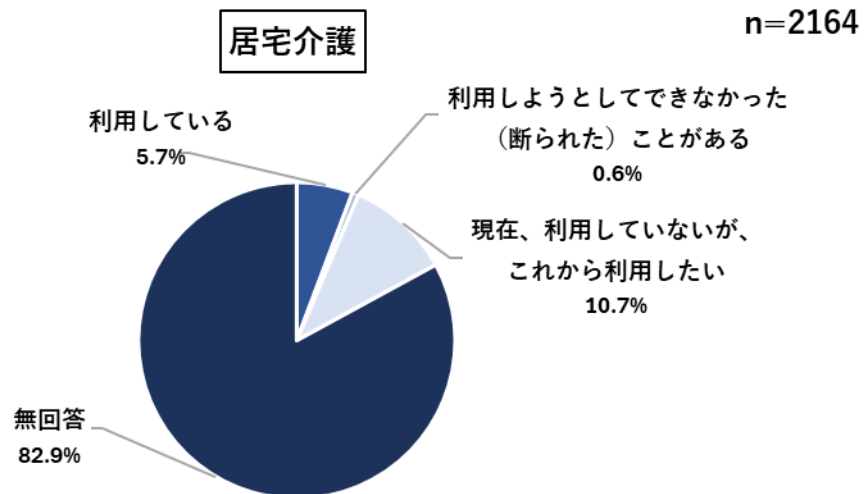
断られた経験については、「ない」が 42.0%と最も高く、次いで「サービスを利用したことがない」が 38.7%、「時々ある」が 6.1%となっている。



問 13 次のサービスについて、あてはまるものがあれば○をつけてください。

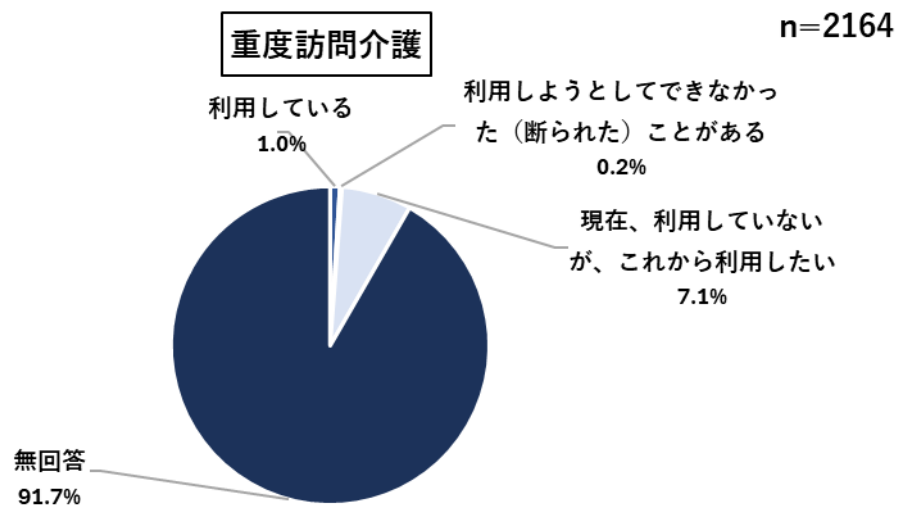
居宅介護

居宅介護については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が10.7%と最も高く、次いで「利用している」が5.7%、「利用しようとしてできなかった(断られた)ことがある」が0.6%となっている。



重度訪問介護

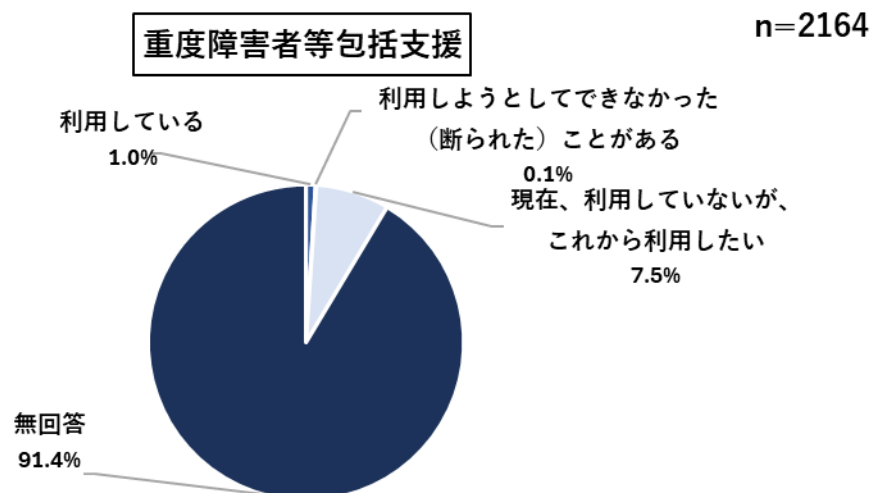
重度訪問介護については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が7.1%と最も高く、次いで「利用している」が1.0%、「利用しようとしてできなかった(断られた)ことがある」が0.2%となっている。



【1. 障がい者調査】

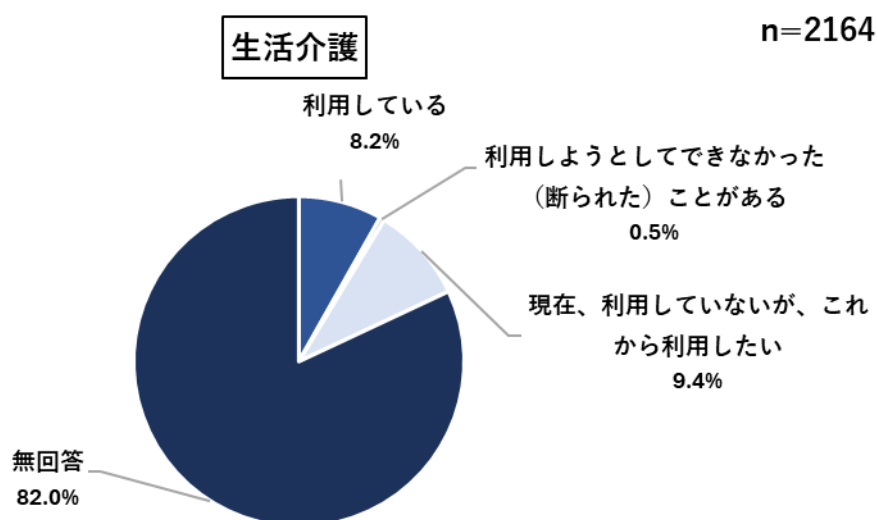
重度障害者等包括支援

重度障害者等包括支援については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が7.5%と最も高く、次いで「利用している」が1.0%、「利用しようとしてできなかった(断られた)ことがある」が0.1%、「利用しようとしてできなかった(断られた)ことがある」が0.1%となっている。



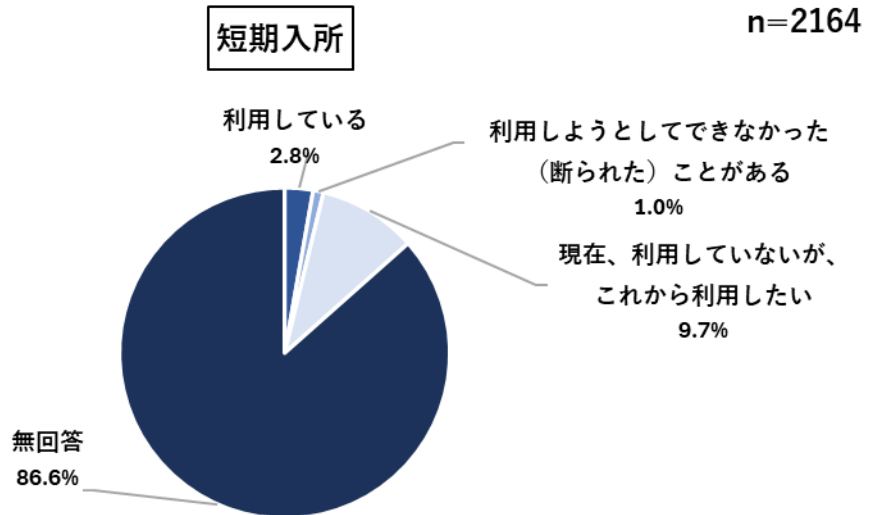
生活介護

生活介護については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が9.4%と最も高く、次いで「利用している」が8.2%、「利用しようとしてできなかった(断られた)ことがある」が0.5%となっている。



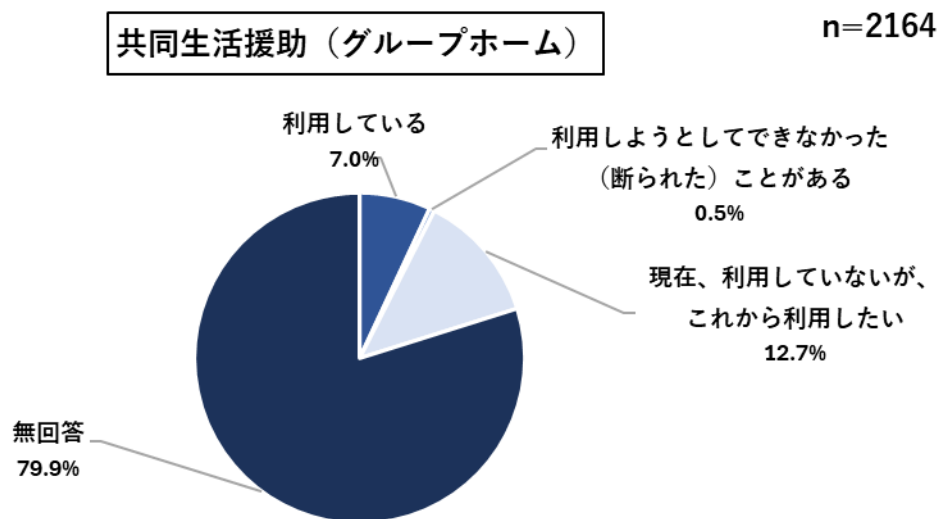
短期入所

短期入所については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が9.7%と最も高く、次いで「利用している」が2.8%、「利用しようとしてできなかった(断られた)ことがある」が1.0%、「利用しようとしてできなかった(断られた)ことがある」が1.0%となっている。



共同生活援助(グループホーム)

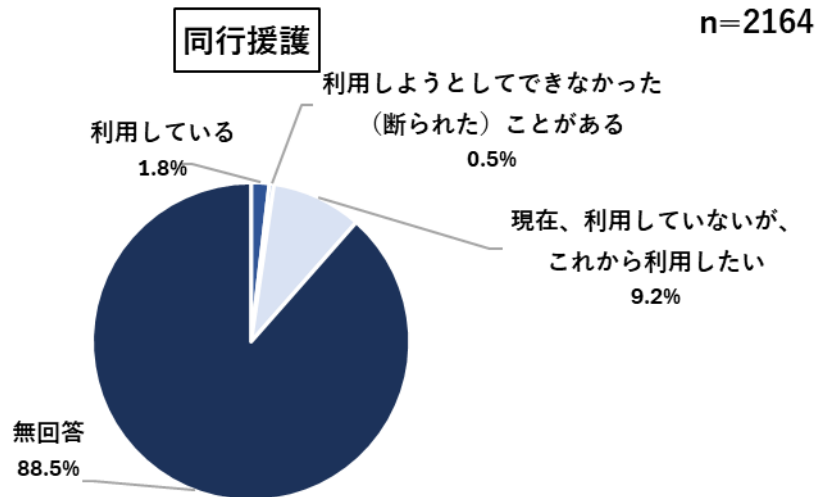
共同生活援助(グループホーム)については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が12.7%と最も高く、次いで「利用している」が7.0%、「利用しようとしてできなかった(断られた)ことがある」が0.5%となっている。



【1. 障がい者調査】

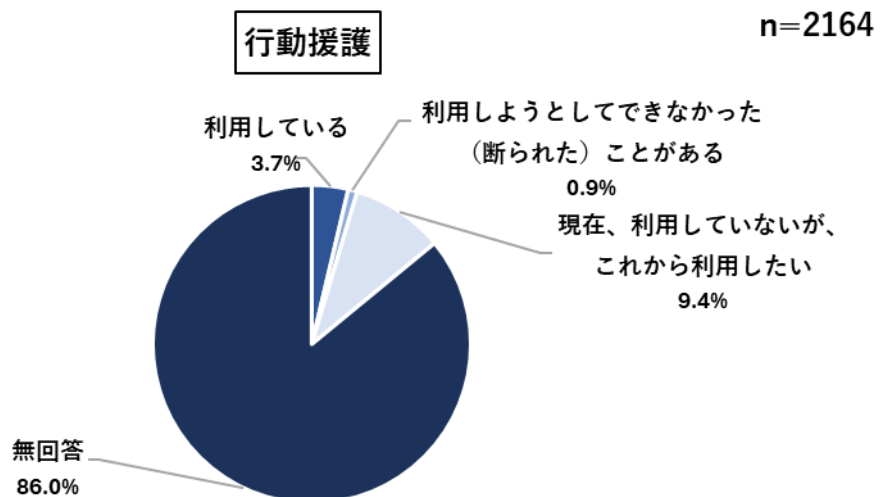
同行援護

同行援護については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が9.2%と最も高く、次いで「利用している」が1.8%、「利用しようとしてできなかった(断られた)ことがある」が0.5%となっている。



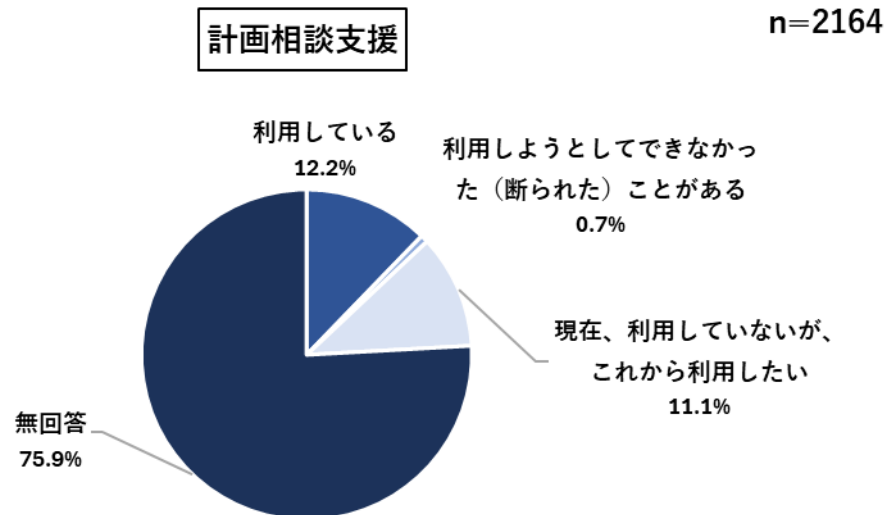
行動援護

行動援護については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が9.4%と最も高く、次いで「利用している」が3.7%、「利用しようとしてできなかった(断られた)ことがある」が0.9%となっている。



計画相談支援

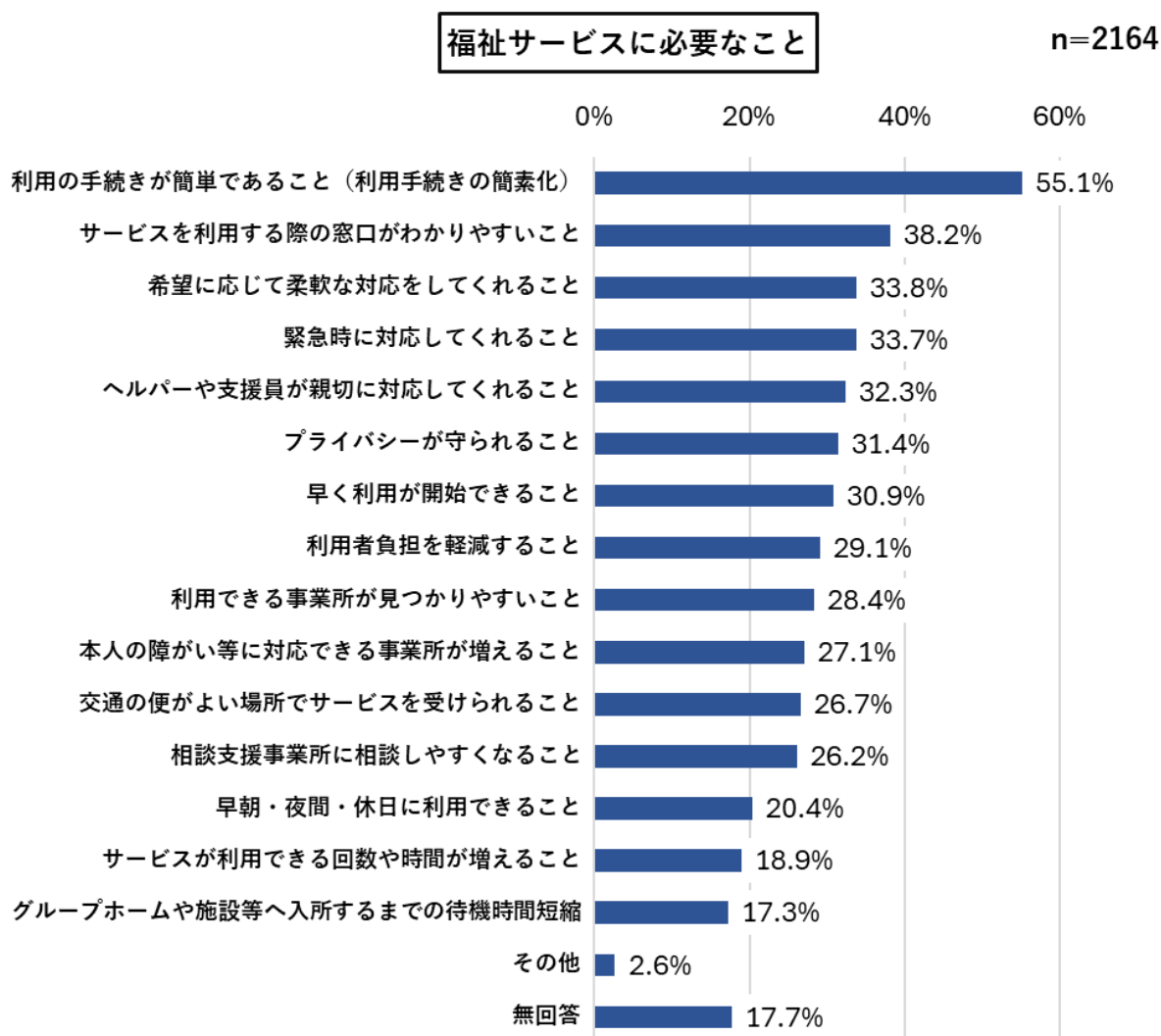
計画相談支援については、「利用している」が12.2%と最も高く、次いで「現在、利用していないが、これから利用したい」が11.1%、「利用しようとしてできなかった(断られた)ことがある」が0.7%となっている。



【1. 障がい者調査】

問 14 あなたは、障がい福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい福祉サービスを利用しやすくするために必要なことについては、「利用の手続きが簡単であること(利用手続きの簡素化)」が55.1%と最も高く、次いで「サービスを利用する際の窓口がわかりやすいこと」が38.2%、「希望に応じて柔軟な対応をしてくれること」が33.8%となっている。



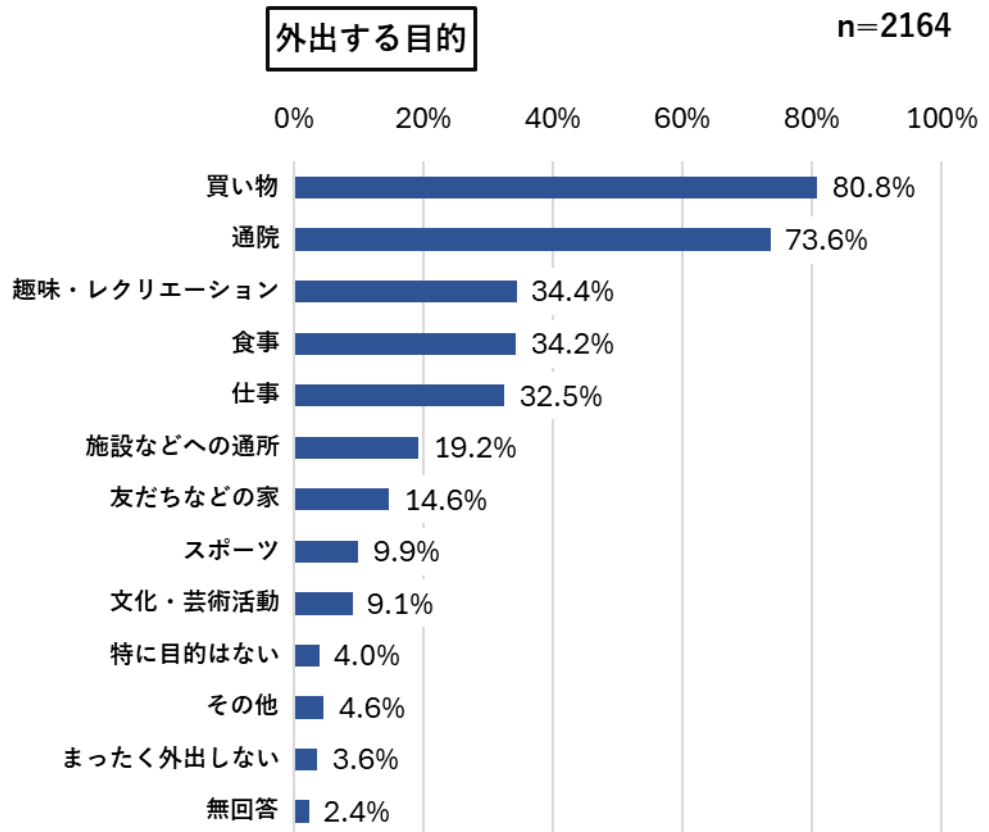
その他の回答の一部を抜粋する。

- 料金・自己負担の軽減
- 人材不足・待遇改善(支援員・介護職の処遇)
- 手続きの簡素化・オンライン化・迅速化
- 医療的ケアの質の担保(カメラ設置等)

4 外出の状況について

問 15 あなたが外出する目的は何ですか。あてはまるものすべてに
○をつけてください。

外出の目的については、「買い物」が80.8%と最も高く、次いで「通院」が73.6%、「趣味・レクリエーション」が34.4%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

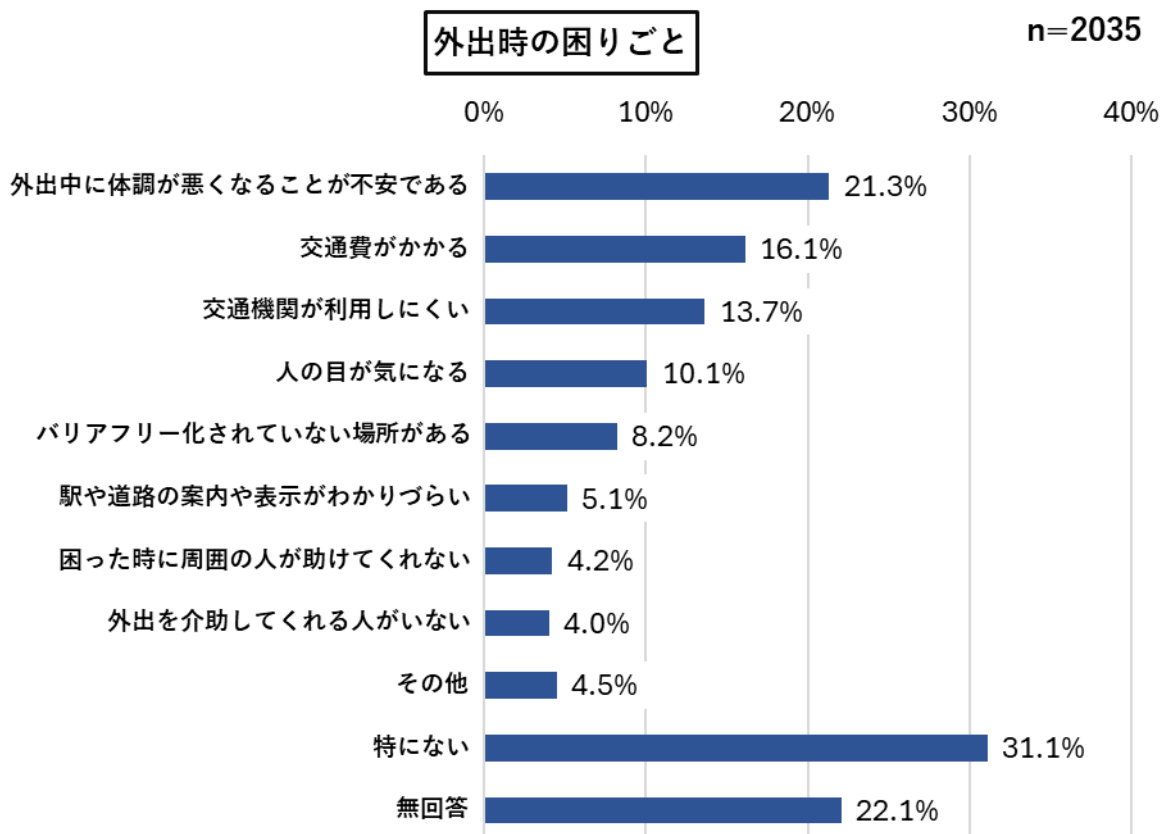
- 散歩・ウォーキング・ラジオ体操等の健康維持
- 実家・家族宅・自宅への外泊
- 通学・学習・学校関連
- 旅行・イベント・コンサート・ボランティア

【1. 障がい者調査】

問 15 で「12 まったく外出しない」以外を回答した人にお聞きします。

問 16 外出するときに困っていることは何ですか。あてはまるものをすべてに○をつけてください。

外出時の困りごとについては、「特にない」が 31.1%と最も高く、次いで「外出中に体調が悪くなることが不安である」が 21.3%、「交通費がかかる」が 16.1%となっている。



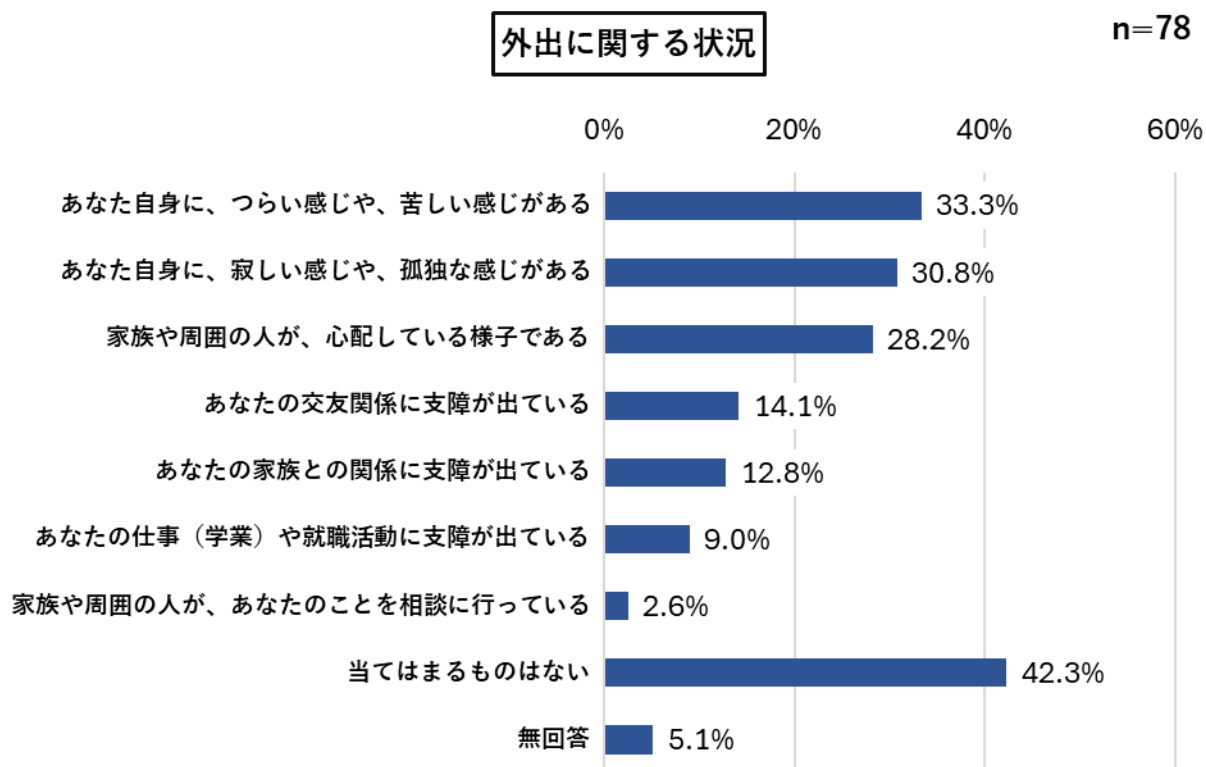
その他の回答の一部を抜粋する。

- トイレ（オストメイト・介助同伴可・数の不足）と休める場所の不足
- 冬季の雪道、段差、階段等が危険
- 人目が怖い

問 15 で「12 まったく外出しない」を回答した人にお聞きします。

問 17 近年、社会全体のつながりが希薄化している中で、「孤独・孤立」が問題となっていますが、あなたの外出状況に関連して、あなたやあなたの周りの人の現在の状況としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

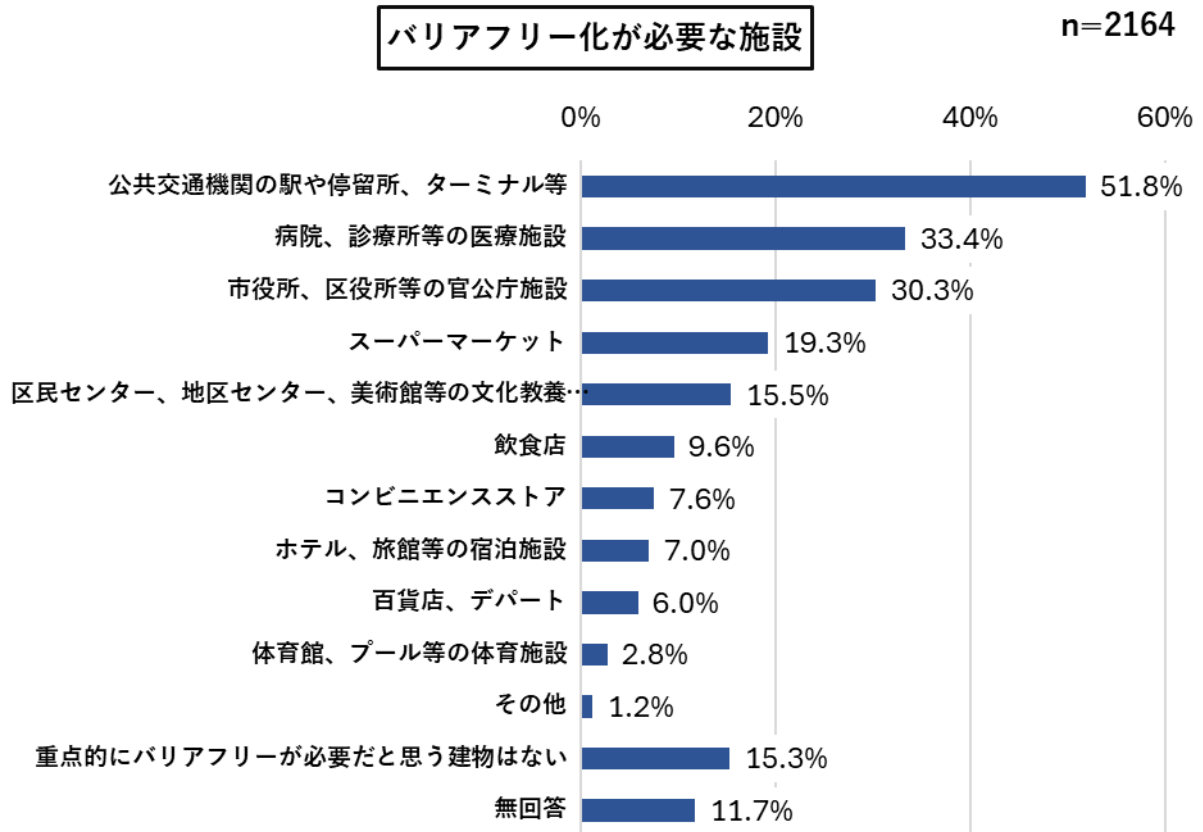
あなたやあなたの周りの人の現在の状況としては、「当てはまるものはない」が 42.3%と最も高く、次いで「あなた自身に、つらい感じや、苦しい感じがある」が 33.3%、「あなた自身に、寂しい感じや、孤独な感じがある」が 30.8%となっている。



【1. 障がい者調査】

問 18 あなたは今後、特にどの建物を優先してバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

バリアフリー化が必要な施設については、「公共交通機関の駅や停留所、ターミナル等」が51.8%と最も高く、次いで「病院、診療所等の医療施設」が33.4%となっている。



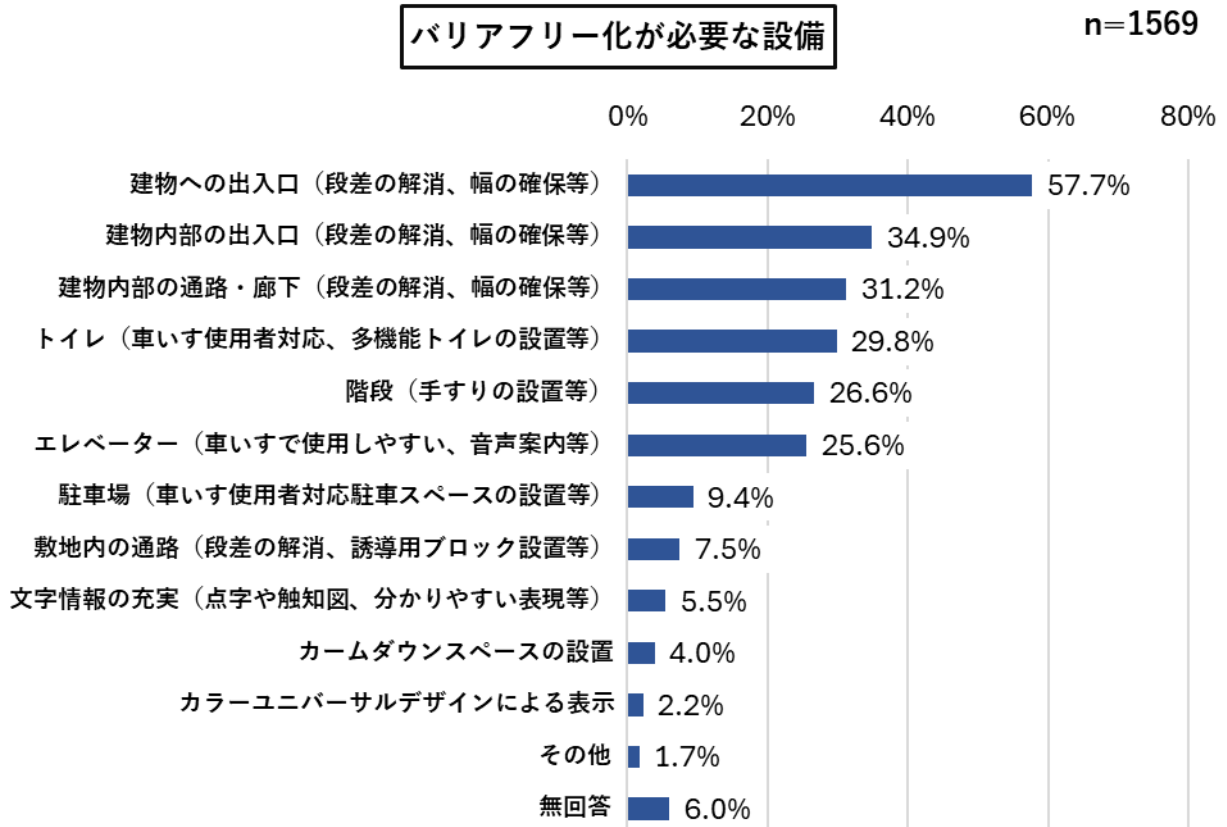
その他の回答の一部を抜粋する。

- 自宅・マンションの共用部
- 歩道・道路（凸凹・段差・除雪・滑り止め）
- チカホ等、公的通路と民間ビル接続部
- バスの段差・UD化（乗降しやすさ）
- 公衆トイレ／入浴施設のバリアフリー

問 18 で「重点的にバリアフリーが必要だと思う建物はない」「その他」以外を 1 つでも選んだ人にお聞きします。

問 19 あなたは、問 18 で選択した建物について、今後、特にどの設備を優先してバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。あてはまるものを 3 つまで選んで○をつけてください。

バリアフリー化が必要な設備については、「建物への出入口(段差の解消、幅の確保等)」が 57.7%と最も高く、次いで「建物内部の出入口(段差の解消、幅の確保等)」が 34.9%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

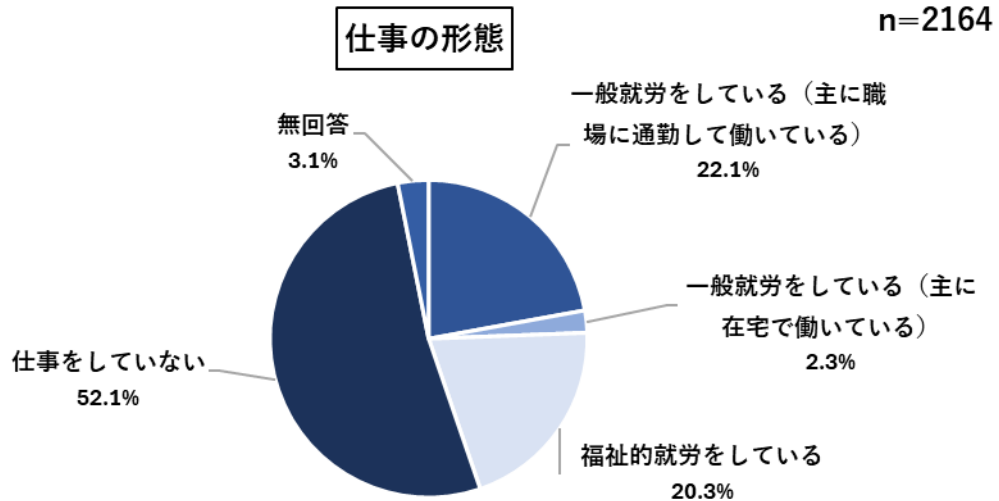
- 休憩用の椅子・ベンチの設置
- 除雪・滑り対策・安全な横断
- 案内・表示のわかりやすさ (スッキリ表示)

【1. 障がい者調査】

5 仕事について

問 20 あなたは現在、どのような形で仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

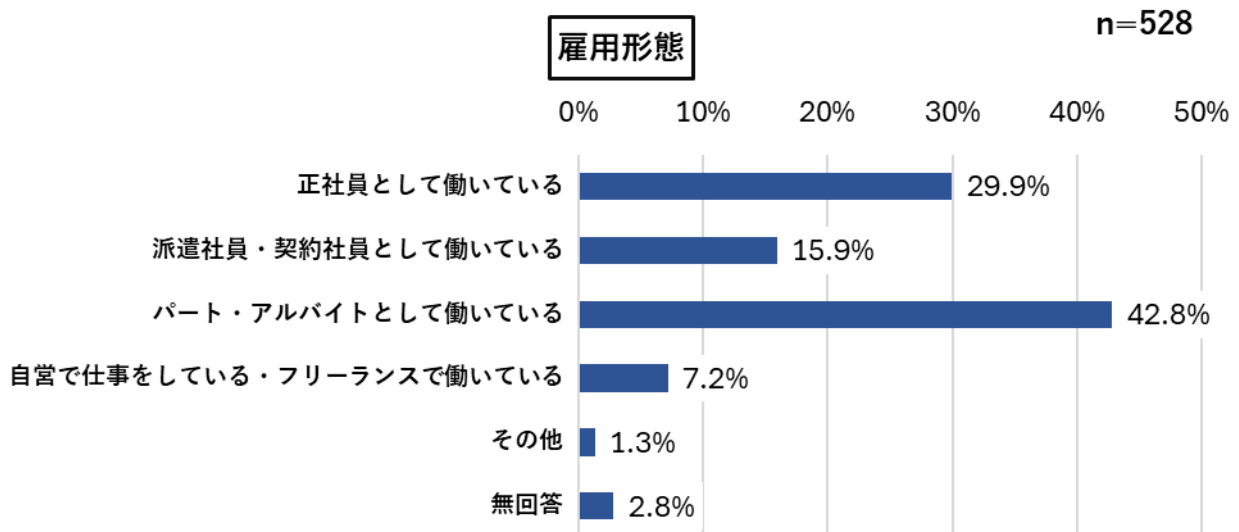
仕事の形態については、「仕事をしていない」が52.1%と最も高く、次いで「一般就労をしている(主に職場に通勤して働いている)」が22.1%、「福祉的就労をしている」が20.3%となっている。



問 20 で「1 一般就労をしている(主に在宅で働いている)」「2 一般就労をしている(主に職場に通勤して働いている)」と答えた人にお聞きします。

問 21-1 どのような形で雇用されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

雇用形態については、「パート・アルバイトとして働いている」が42.8%と最も高く、次いで「正社員として働いている」が29.9%、「派遣社員・契約社員として働いている」が15.9%となっている。



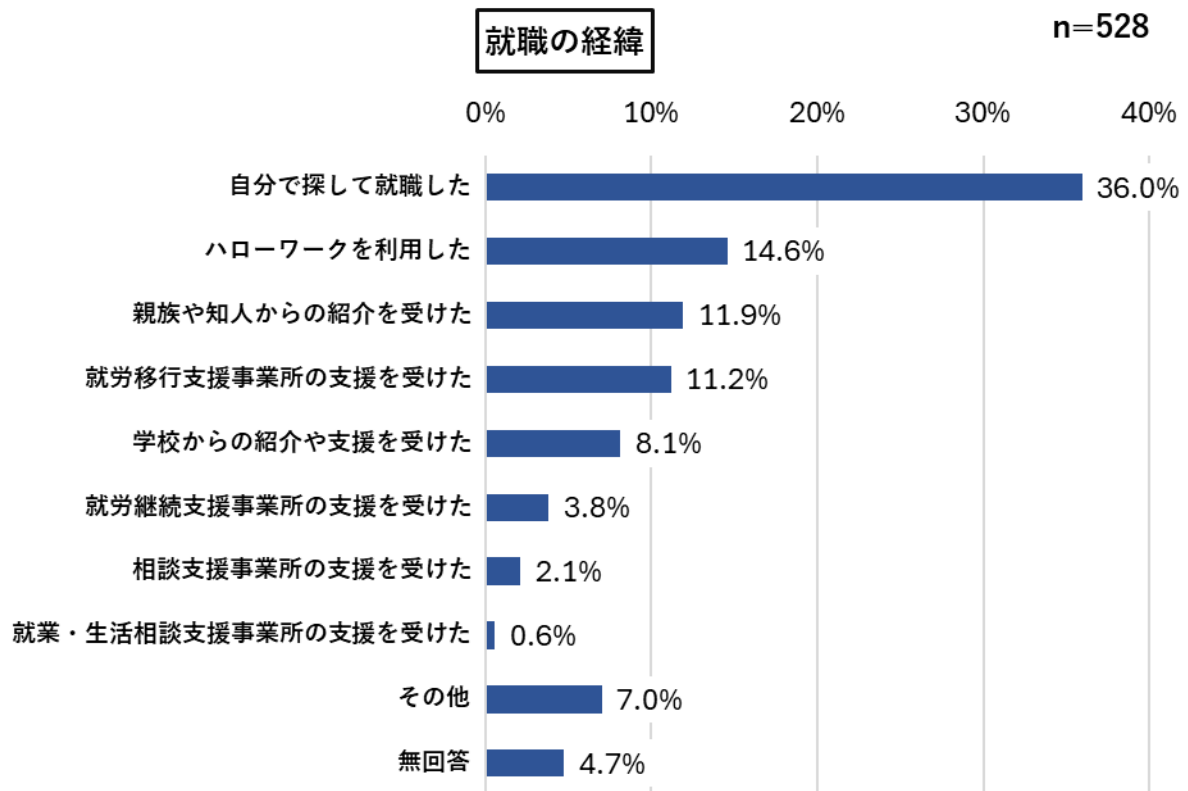
その他の回答の一部を抜粋する。

- 青色専従者

問 20 で「1 一般就労をしている（主に在宅で働いている）」「2 一般就労をしている（主に職場に通勤して働いている）」と答えた人にお聞きします。

問 21-2 あなたはどのようにして、現在の仕事に就きましたか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

就職の経緯については、「自分で探して就職した」が 36.0%と最も高く、次いで「ハローワークを利用した」が 14.6%、「親族や知人からの紹介を受けた」が 11.9%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

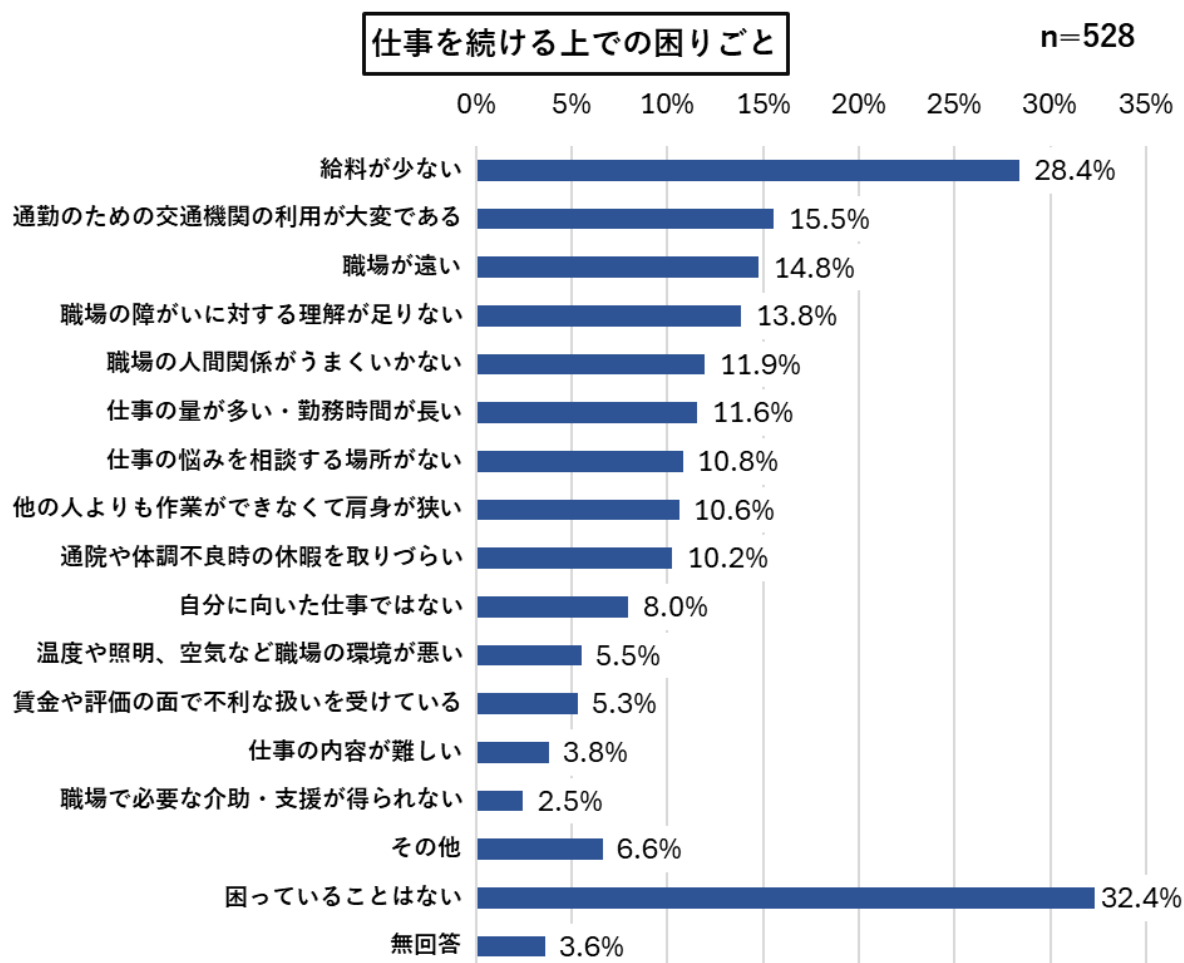
- 前職継続・復職・正社員からの延長
- 通所先・訪問看護等からの誘いや紹介
- ボランティアからの発展

【1. 障がい者調査】

問 20 で「1 一般就労をしている（主に在宅で働いている）」「2 一般就労をしている（主に職場に通勤して働いている）」と答えた人にお聞きします。

問 21-3 あなたが現在の仕事を続けていくうえで、困っていることはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事を続ける上での困りごとについては、「困っていることはない」が 32.4%と最も高く、次いで「給料が少ない」が 28.4%、「通勤のための交通機関の利用が大変である」が 15.5%となっている。



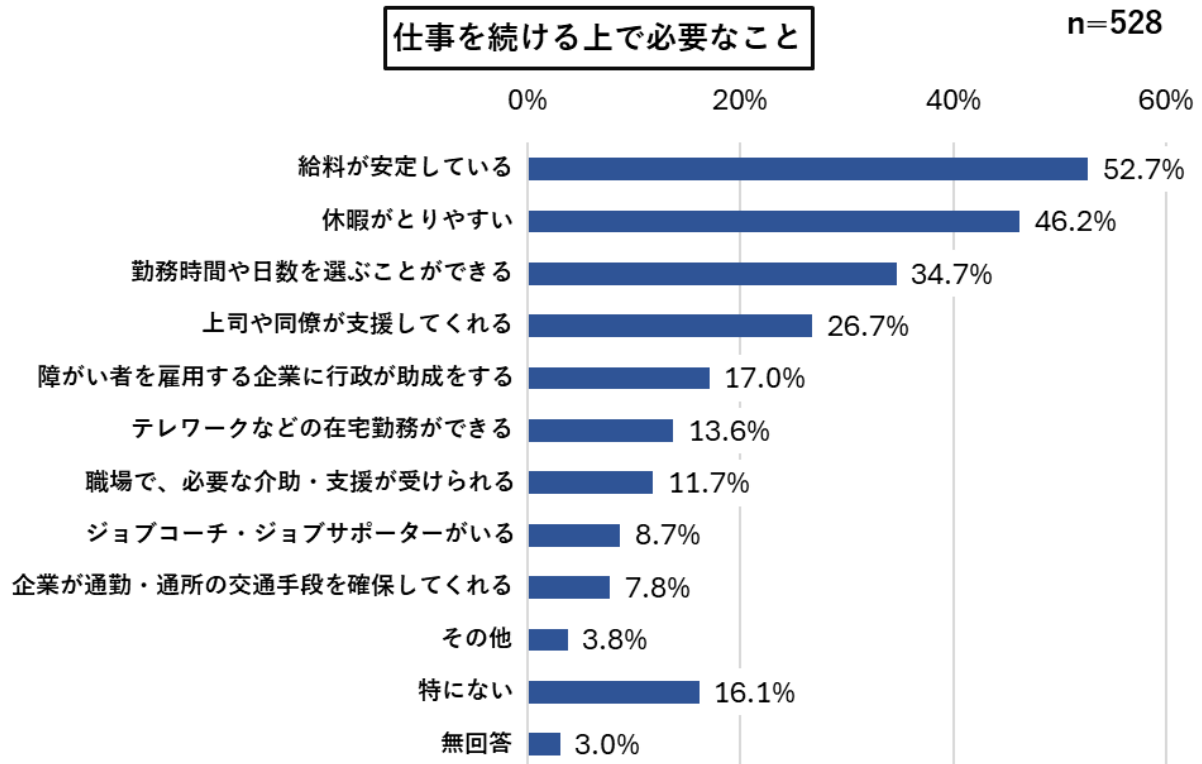
その他の回答の一部を抜粋する。

- 体調悪化・病状による継続困難
- 雇用の安定性・時短/有期・低賃金の不安
- 職場での差別・ハラスメント

問 20 で「1 一般就労をしている（主に在宅で働いている）」「2 一般就労をしている（主に職場に通勤して働いている）」と答えた人にお聞きします。

問 21-4 あなたが現在の仕事を続けていくうえで、必要だと思うことはどんなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事を続ける上で必要なことについては、「給料が安定している」が 52.7%と最も高く、次いで「休暇がとりやすい」が 46.2%、「勤務時間や日数を選ぶことができる」が 34.7%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

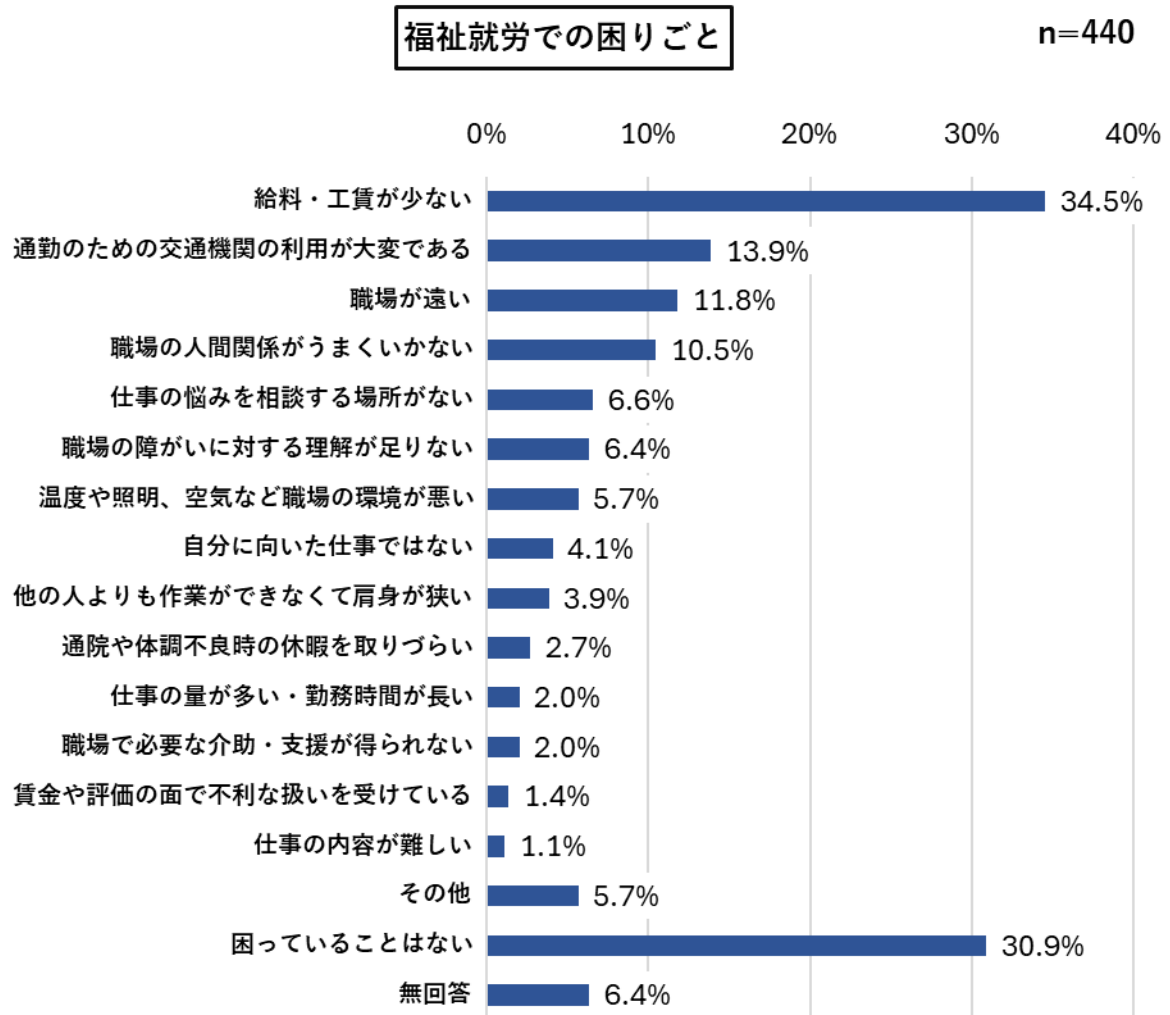
- 正社員・長期雇用の機会／有期からの転換
- 職場環境の改善・差別解消・理解促進
- 体調の安定・体力維持／柔軟な働き方（時短等）
- フリーランス・自営業が仕事をしやすい仕組み／契約整備
- 資格・運転免許取得／Wワーク等のスキル向上

【1. 障がい者調査】

問 20 で「3 福祉的就労をしている」と答えた人にお聞きします。

問 22-1 あなたが作業をするうえで困っていることはありますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

福祉的就労での困りごとについては、「給料・工賃が少ない」が34.5%と最も高く、次いで「困っていることはない」が30.9%、「通勤のための交通機関の利用が大変である」が13.9%となっている。



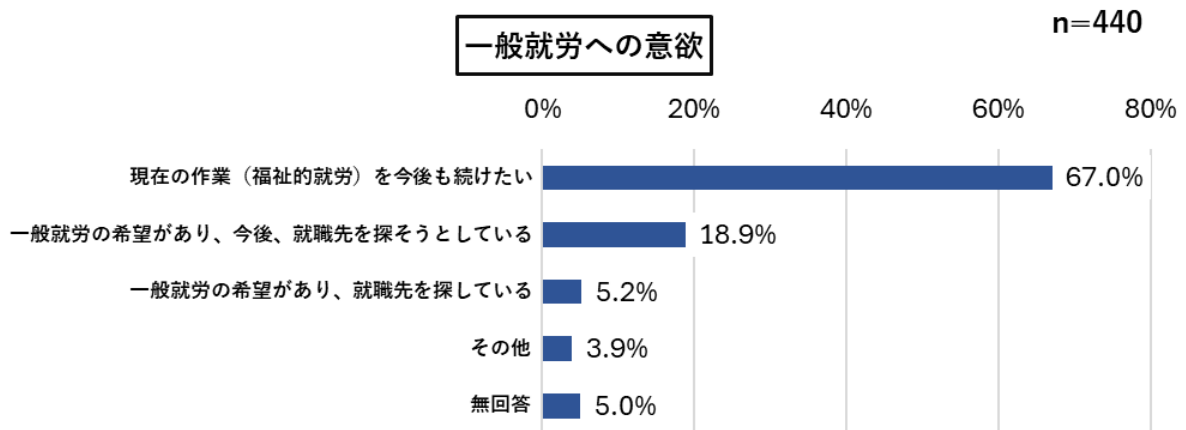
その他の回答の一部を抜粋する。

- 作業の少なさ・やりがい不足
- 職員の知識不足・パワハラ・対応の質の問題
- 体調起因で在宅化・通所切り替えの難しさ

問 20 で「3 福祉的就労をしている」と答えた人にお聞きします。

問 22-2 あなたは今後、一般就労をしたいと思えますか。あてはまるもの 1つ に○をつけてください。

一般就労への意欲については、「現在の作業を今後も続けたい」が 67.0%と最も高く、次いで「一般就労の希望があり、今後、就職先を探そうとしている」が 18.9%、「一般就労の希望があり、就職先を探している」が 5.2%となっている。



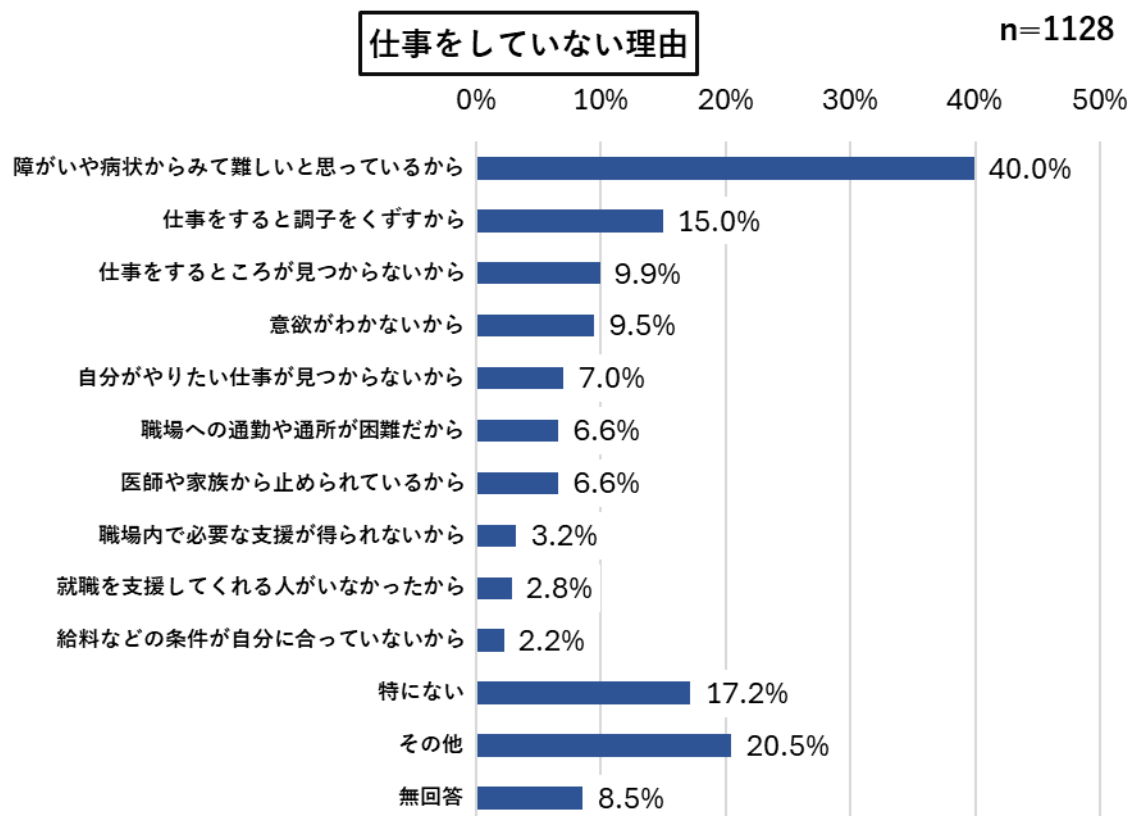
- その他の回答の一部を抜粋する。
- 書道教室を開きたい
- わからない

【1. 障がい者調査】

問 20 で「4 仕事をしていない」と答えた人にお聞きします。

問 23-1 あなたが仕事をしていない理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事をしていない理由については、「障がいや病状からみて難しいと思っているから」が40.0%と最も高く、次いで「その他」が20.5%、「特にない」が17.2%となっている。



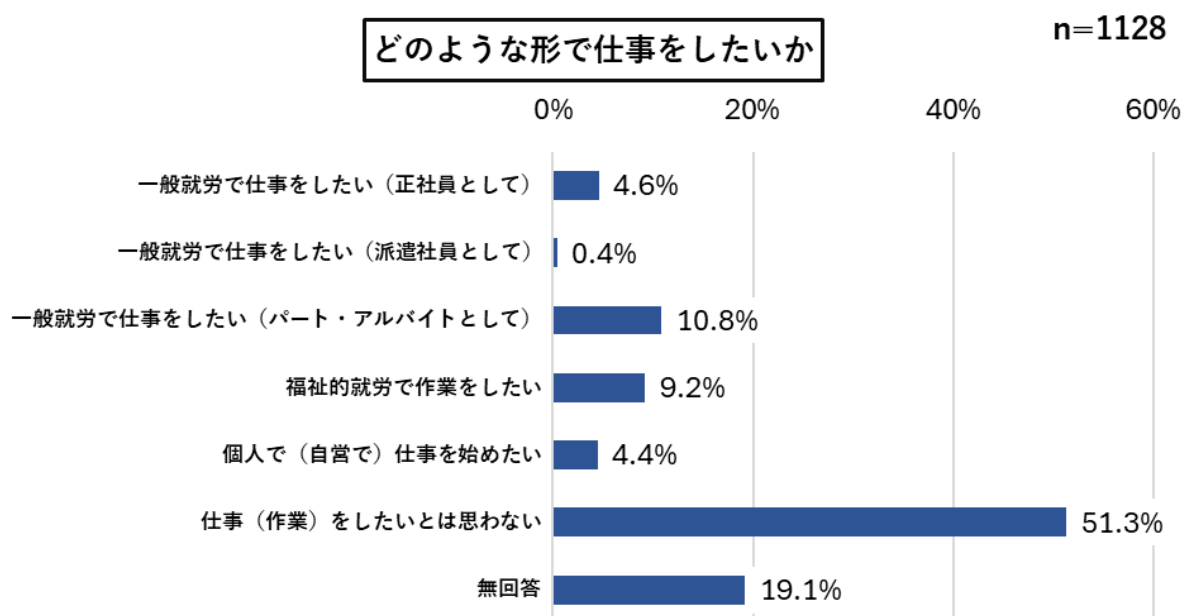
その他の回答の一部を抜粋する。

- 高齢・年金生活・定年後
- 学生（在学中）
- 家事・育児・介護等の家庭事情
- 求職中だが条件が合わない

問 20 で「4 仕事をしていない」と答えた人にお聞きします。

問 23-2 あなたは今後、どのような形で仕事をしたいと思いますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

希望する仕事の形態については、「仕事（作業）をしたいとは思わない」が 51.3% と最も高く、次いで「一般就労で仕事をしたい（パート・アルバイトとして）」が 10.8%、「福祉的就労で作業をしたい」が 9.2% となっている。

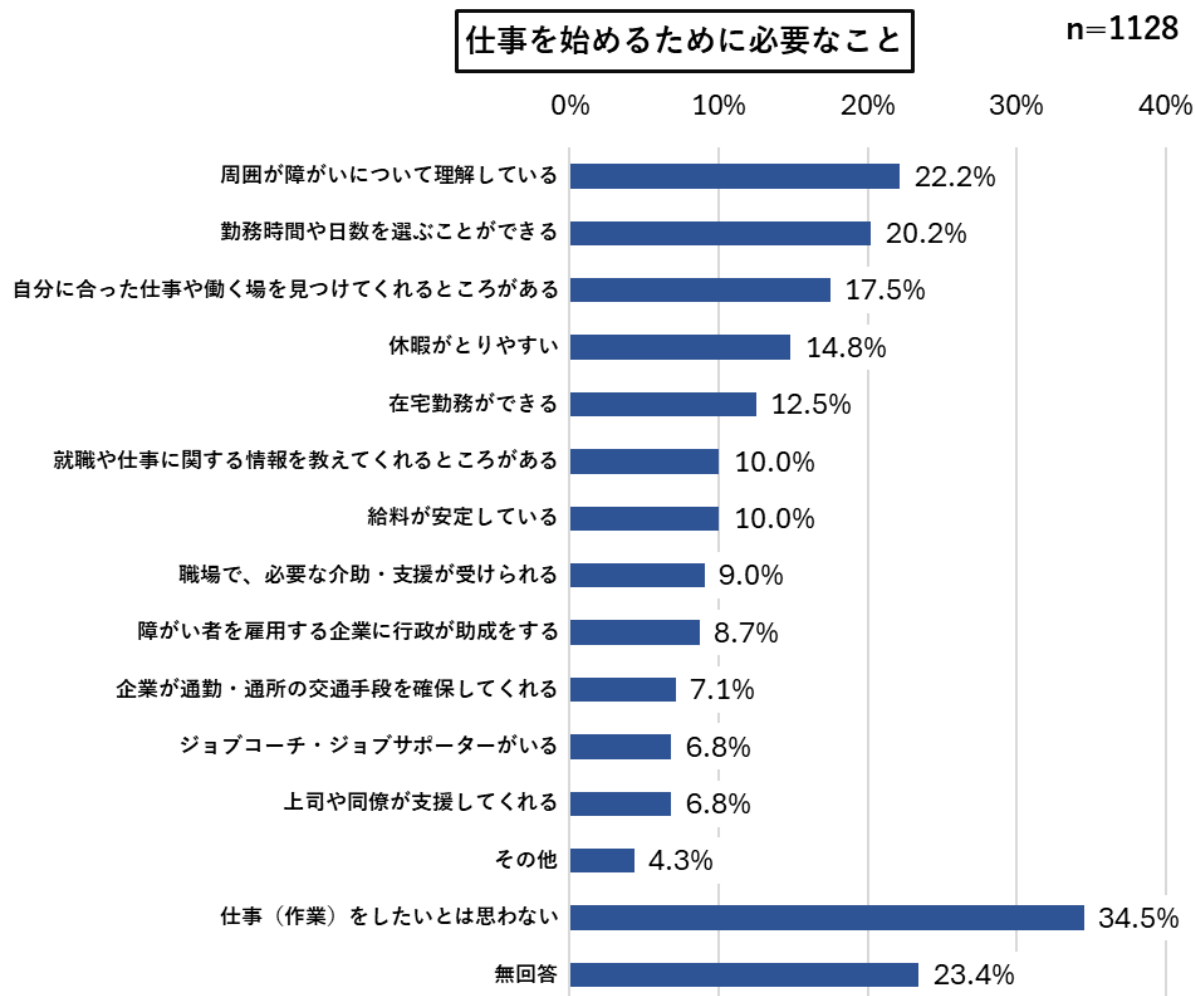


【1. 障がい者調査】

問 20 で「4 仕事をしていない」と答えた人にお聞きします。

問 23-3 あなたが仕事を始める上で必要なことは何だと思えますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事を始める上で必要なことについては、「仕事（作業）をしたいとは思わない」が 34.5%と最も高く、次いで「無回答」が 23.4%、「周囲が障がいについて理解している」が 22.2%となっている。



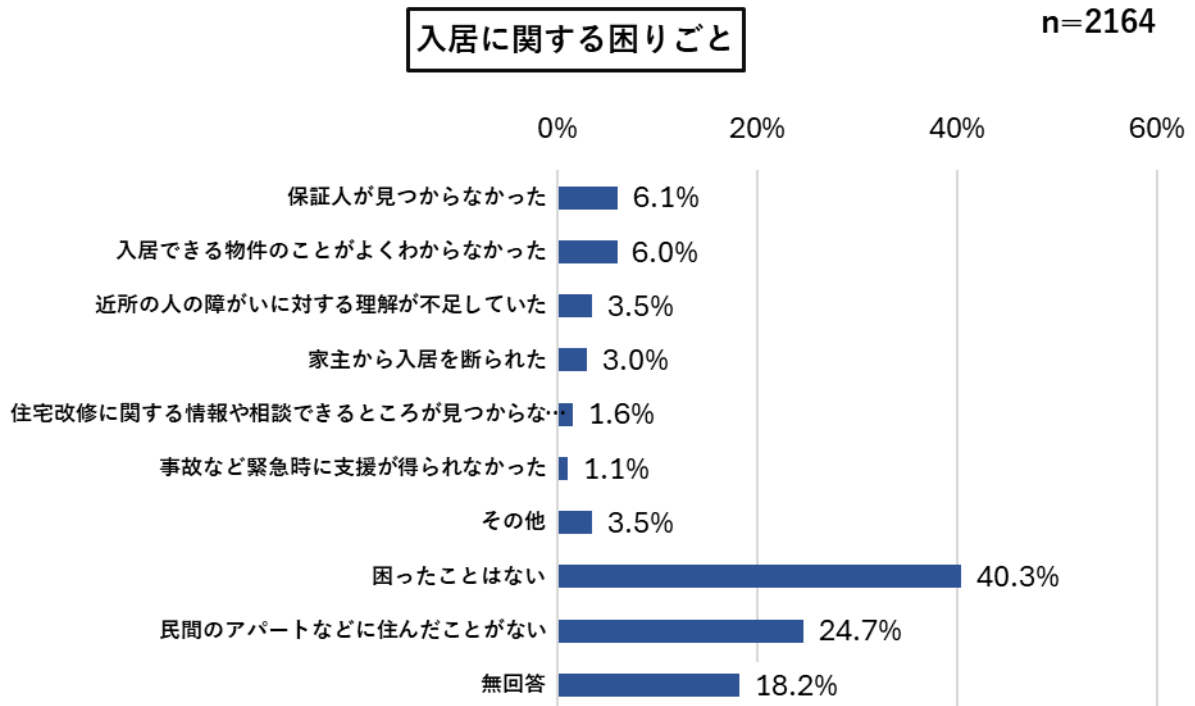
その他の回答の一部を抜粋する。

- 税・所得条件（かからない範囲等）
- 障がいのため働けない
- 高齢なので働いていない

6 生活の場について

問 24 あなたは、これまでに民間のアパート、公営住宅（道営・市営）などへの入居で困ったことはありますか。また、それは、どのようなことでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

入居に関する困りごとについては、「困ったことはない」が40.3%と最も高く、次いで「民間のアパートなどに住んだことがない」が24.7%、「無回答」が18.2%となっている。



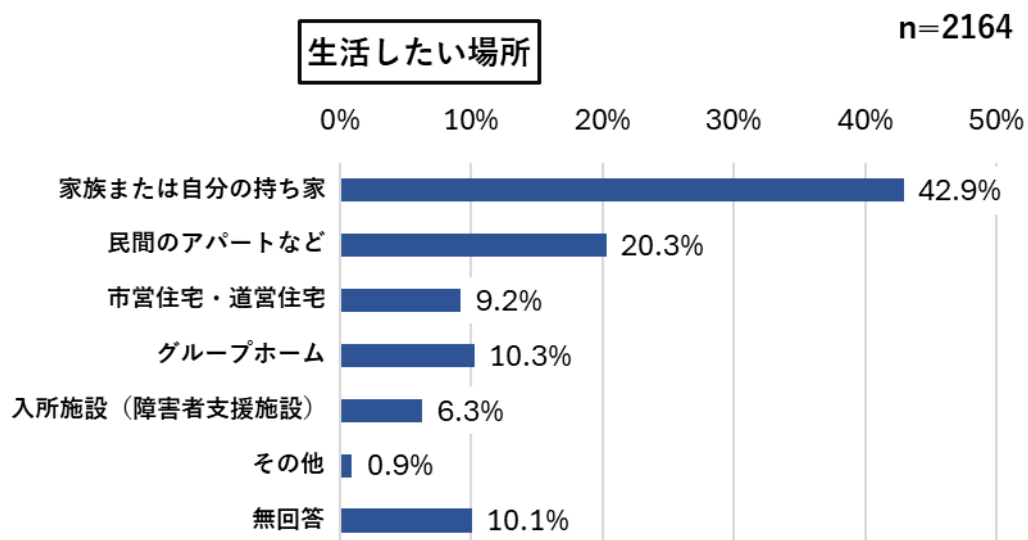
その他の回答の一部を抜粋する。

- 入居差別・保証人・緊急連絡先の要件で断られる
- 家賃・初期費用が高い
- 寒さ・老朽・除雪負担
- バリアフリー不足（階段のみ・EVなし・段差）
- 近隣騒音・迷惑・管理対応の悪さ等トラブル
- 情報・相談窓口不足
- 公営住宅抽選に当たらない

【1. 障がい者調査】

問 25 あなたは今後、どのような場所で生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

生活したい場所については、「家族または自分の持ち家」が42.9%と最も高く、次いで「民間のアパートなど」が20.3%、「グループホーム」が10.3%となっている。



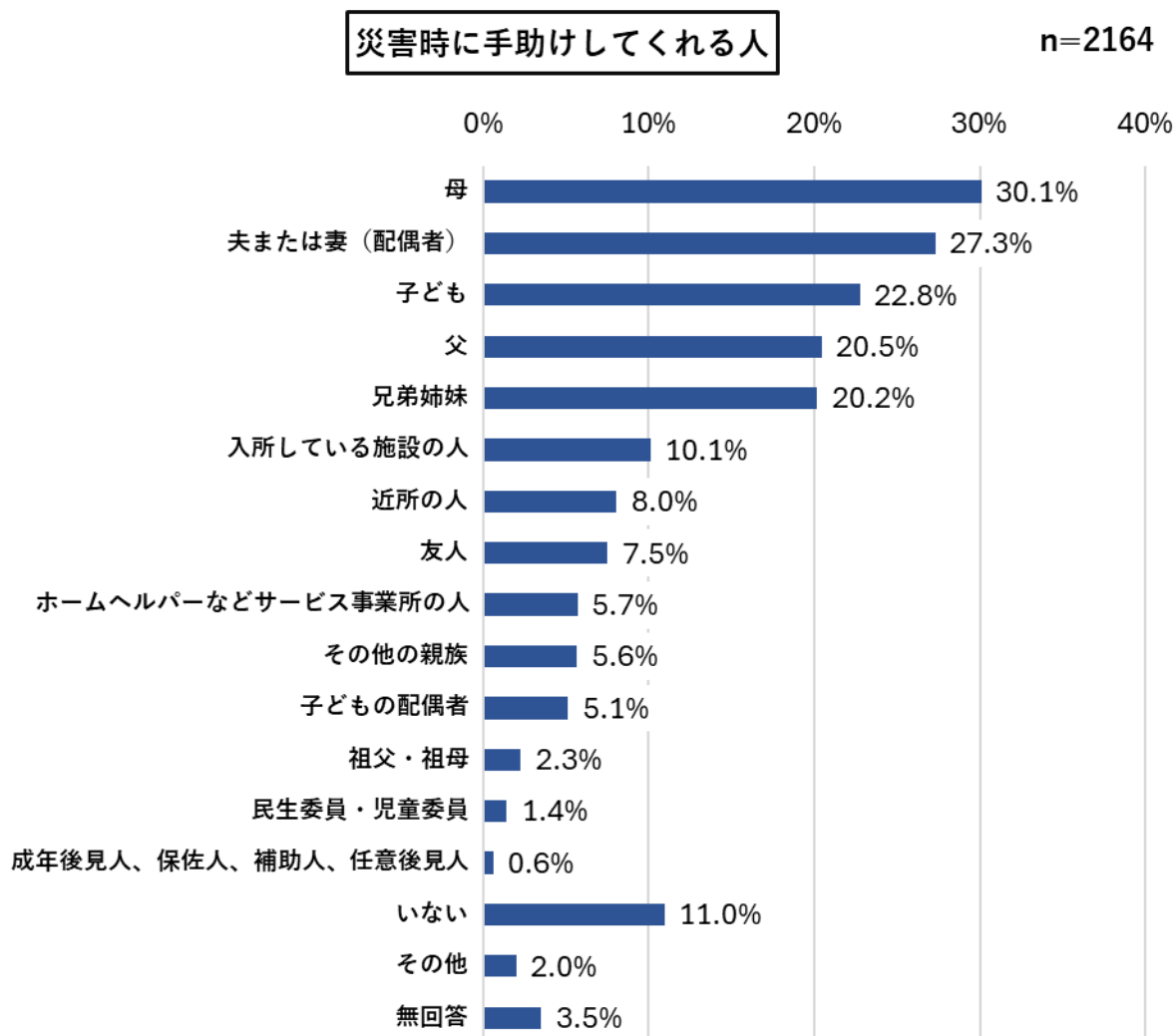
その他の回答の一部を抜粋する。

- シェアハウス
- サ高住・ケアハウス等の高齢者住宅
- 病院・ホスピス等の医療系

7 防災について

問 26 災害時に手助けしてくれる人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害時に手助けしてくれる人については、「母」が30.1%と最も高く、次いで「夫または妻」が27.3%、「子ども」が22.8%となっている。



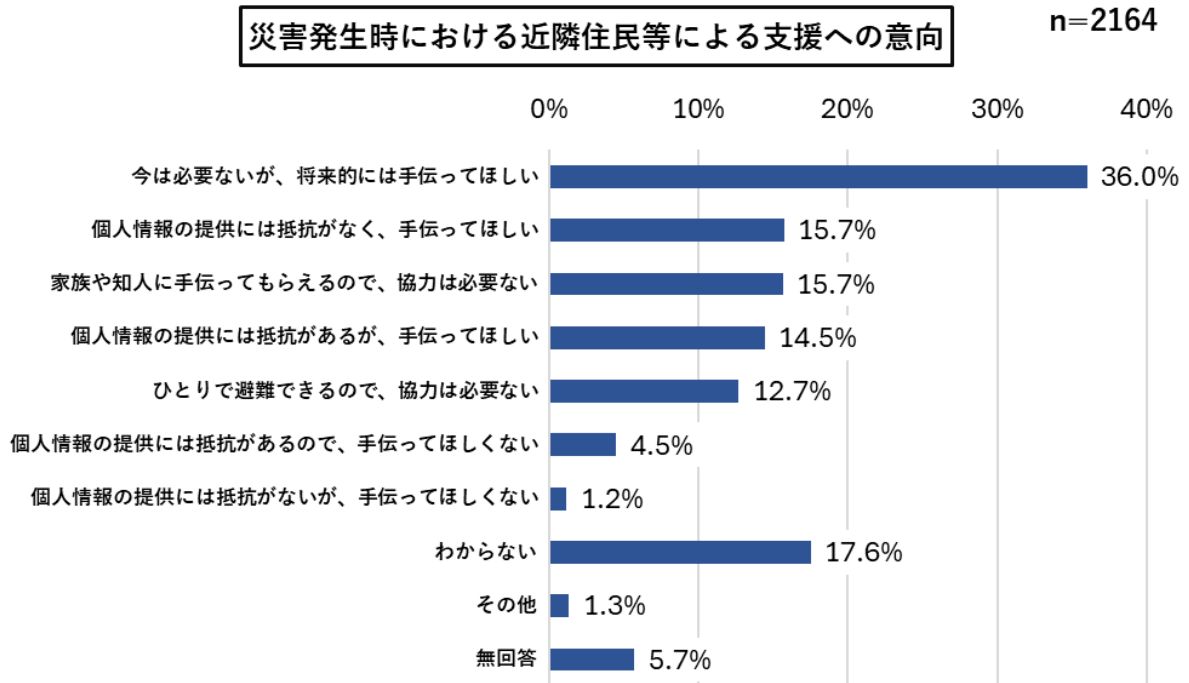
その他の回答の一部を抜粋する。

- 病院職員・看護師（入院中）
- 彼氏・恋人・パートナー・内縁者
- 孫
- 同居人
- 職場関係者
- 身元保証会社・生活保護課担当

【1. 障がい者調査】

問 27 あらかじめ近所の人やボランティアに避難の手伝いをお願いすることについてどのように思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害発生時における近隣住民等による支援への意向については、「今は必要ないが、将来的には手伝ってほしい」が36.0%と最も高く、次いで「わからない」が17.6%、「個人情報提供には抵抗がなく、手伝ってほしい」が15.7%となっている。

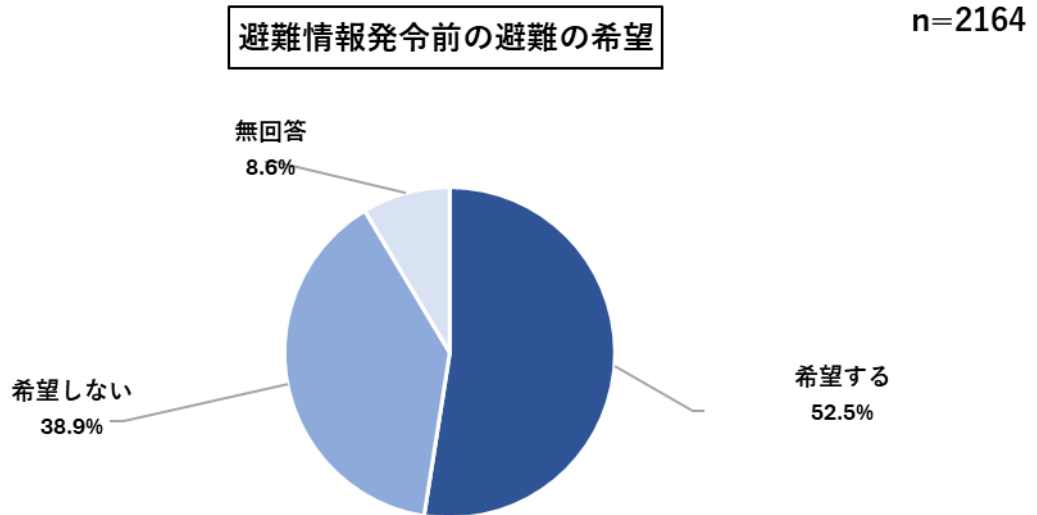


その他の回答の一部を抜粋する。

- 避難しない
- プライバシー・女性単身の安全配慮が必要

問 28 洪水や土砂災害の恐れがある場合、自治体から避難情報が発令される前の段階で、避難を希望しますか。

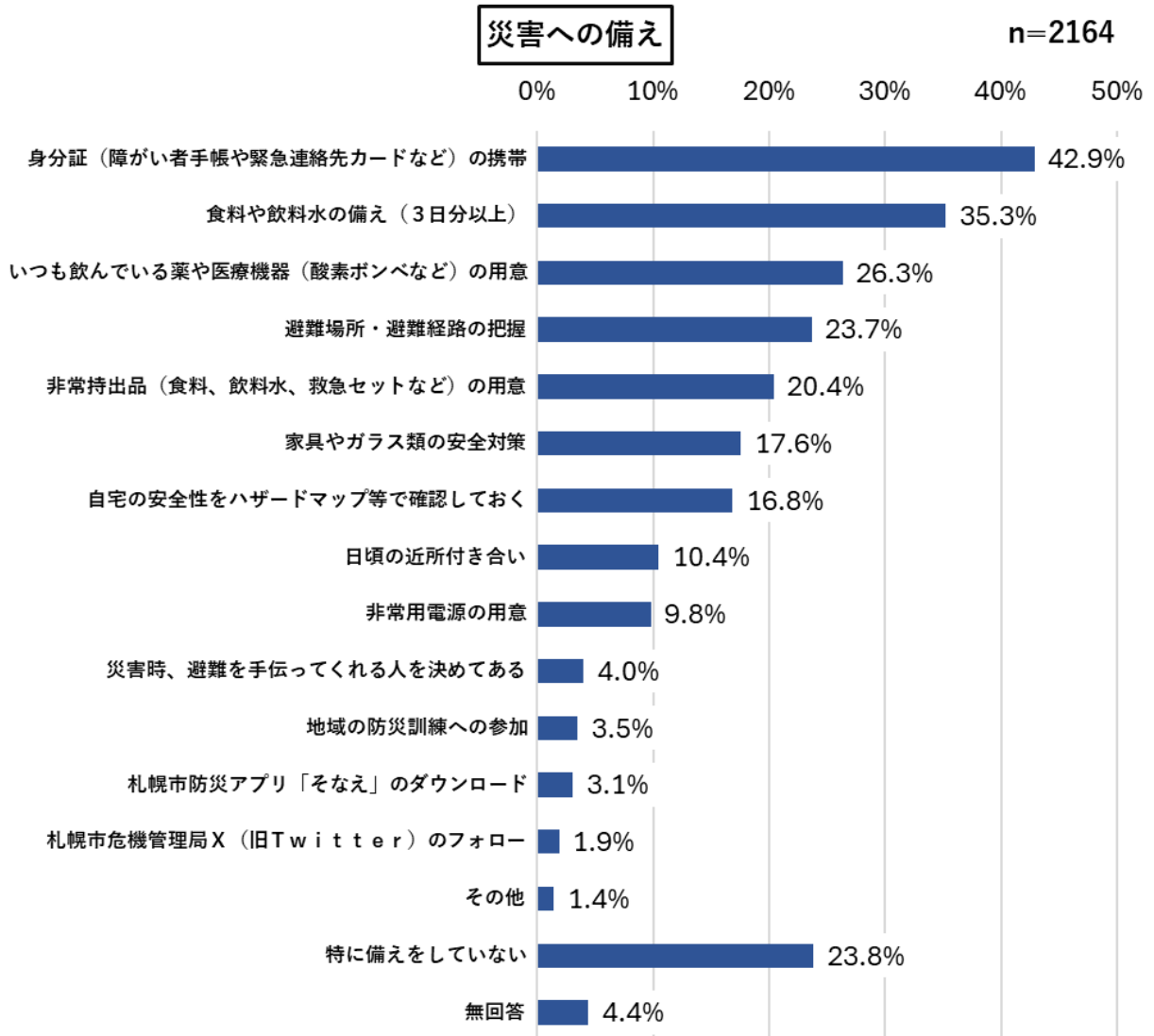
避難情報発令前の避難の希望については、「希望する」が 52.5%、「希望しない」が 38.9%、「無回答」が 8.6%となっている。



【1. 障がい者調査】

問 29 あなたは、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害への備えについては、「身分証(障がい者手帳や緊急連絡先カードなど)の携帯」が42.9%と最も高く、次いで「食料や飲料水の備え(3日間以上)」が35.3%、「いつも飲んでいる薬や医療機器(酸素ボンベなど)の用意」が26.3%となっている。

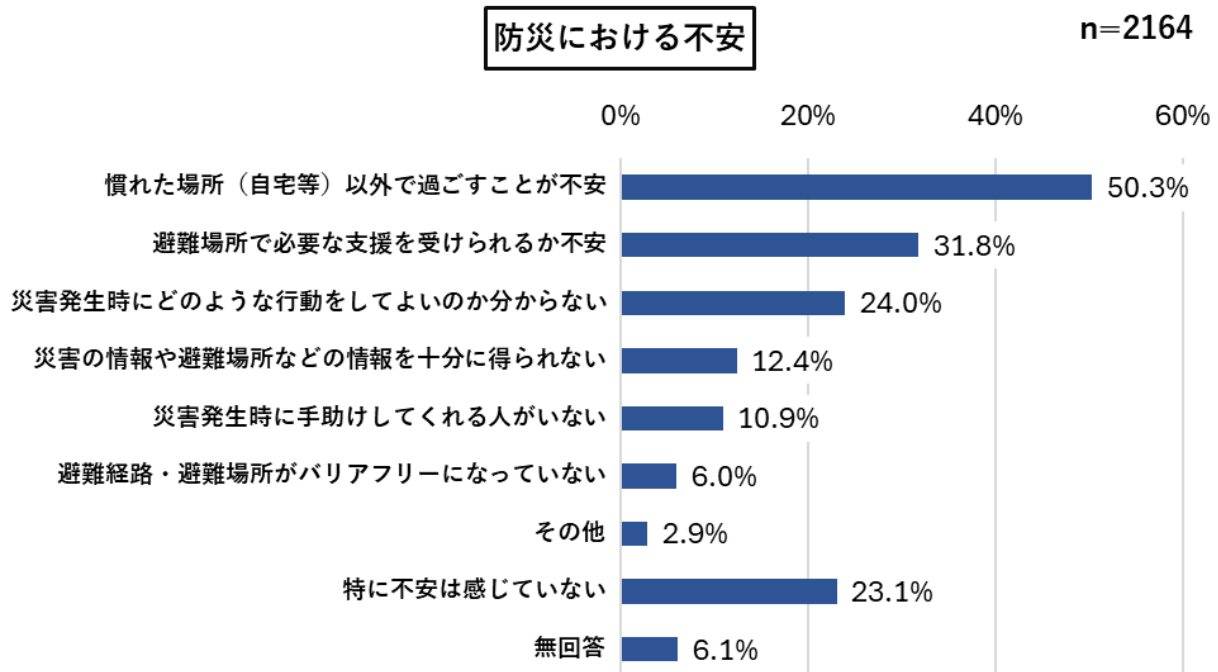


その他の回答の一部を抜粋する。

- 入院・家族任せで未実施・できない
- 生活に余裕がなく備えられない

問 30 あなたは、防災に関して不安に感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

防災における不安については、「慣れた場所（自宅等）以外で過ごすことが不安」が50.3%と最も高く、次いで「避難場所に必要な支援を受けられるか不安」が31.8%、「災害発生時にどのような行動をしてよいのか分からない」が24.0%となっている。



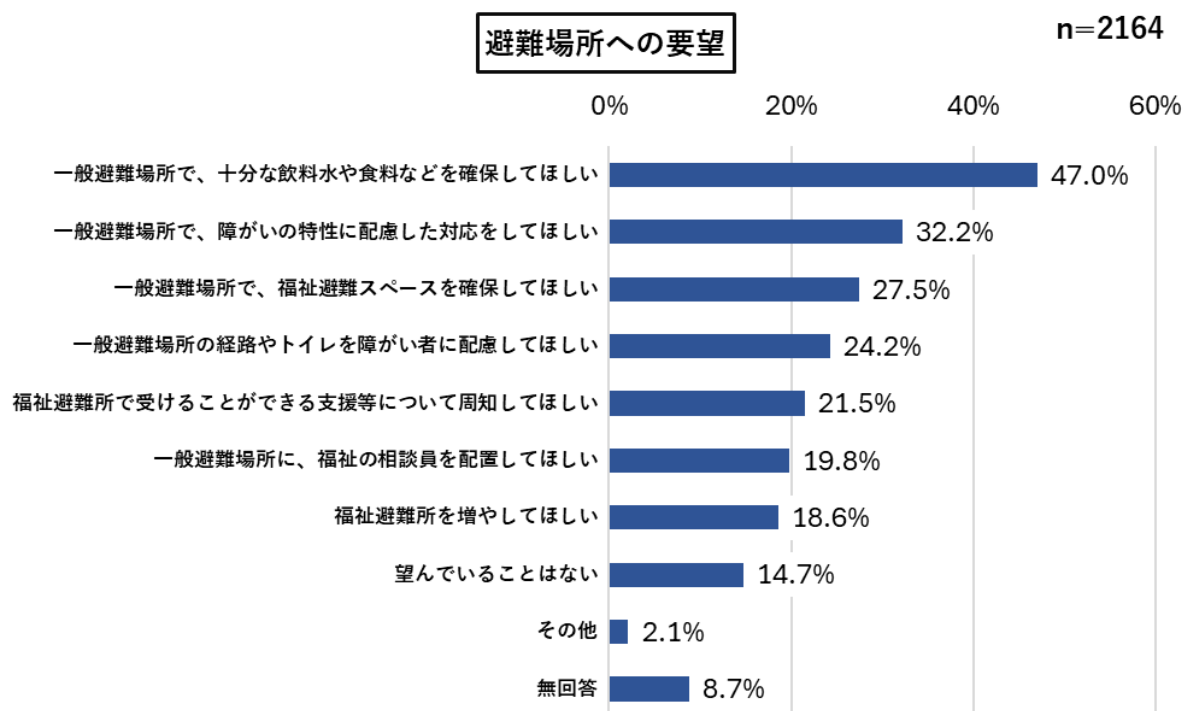
その他の回答の一部を抜粋する。

- ペット同伴可否の不安
- 避難所の騒音・感覚過敏・プライバシーの懸念
- 医療・薬・透析等の継続が不安
- 移動が困難である

【1. 障がい者調査】

問 31 避難場所について、あなたが望んでいることは、どのようなことでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

避難場所への要望については、「一般避難場所で、十分な飲用水や食料などを確保してほしい」が47.0%と最も高く、次いで「一般避難場所で、障がいの特性や程度に配慮した対応をしてほしい」が32.2%、「一般避難場所で、福祉避難スペースを確保してほしい」が27.5%となっている。

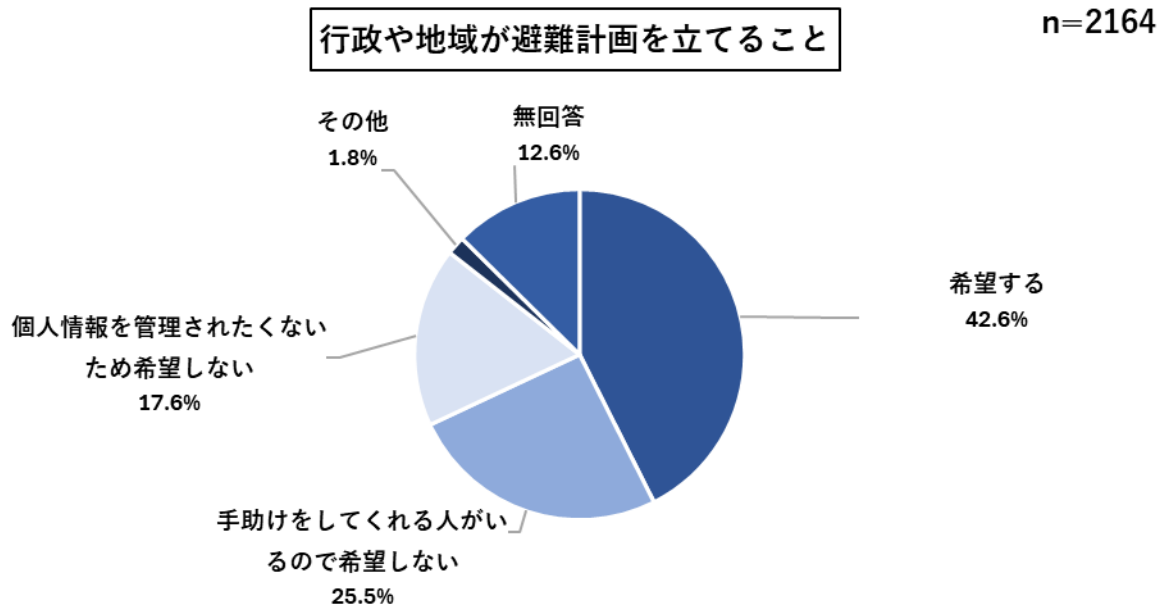


その他の回答の一部を抜粋する。

- ペット同伴／預かりの仕組み
- 個室・テント等パーソナルスペースの確保
- 薬・治療食・注射保管（冷蔵）等の医療対応
- 無香料・感覚過敏配慮・静穏環境

問 32 あなたが避難のためにどのような避難行動をとればよいのかについて、行政や地域が、計画を立てることを希望しますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

行政や地域が避難計画を立てることについては、「希望する」が42.6%と最も高く、次いで「手助けをしてくれる人がいるので希望しない」が25.5%、「個人情報を管理されたくないため希望しない」が17.6%となっている。

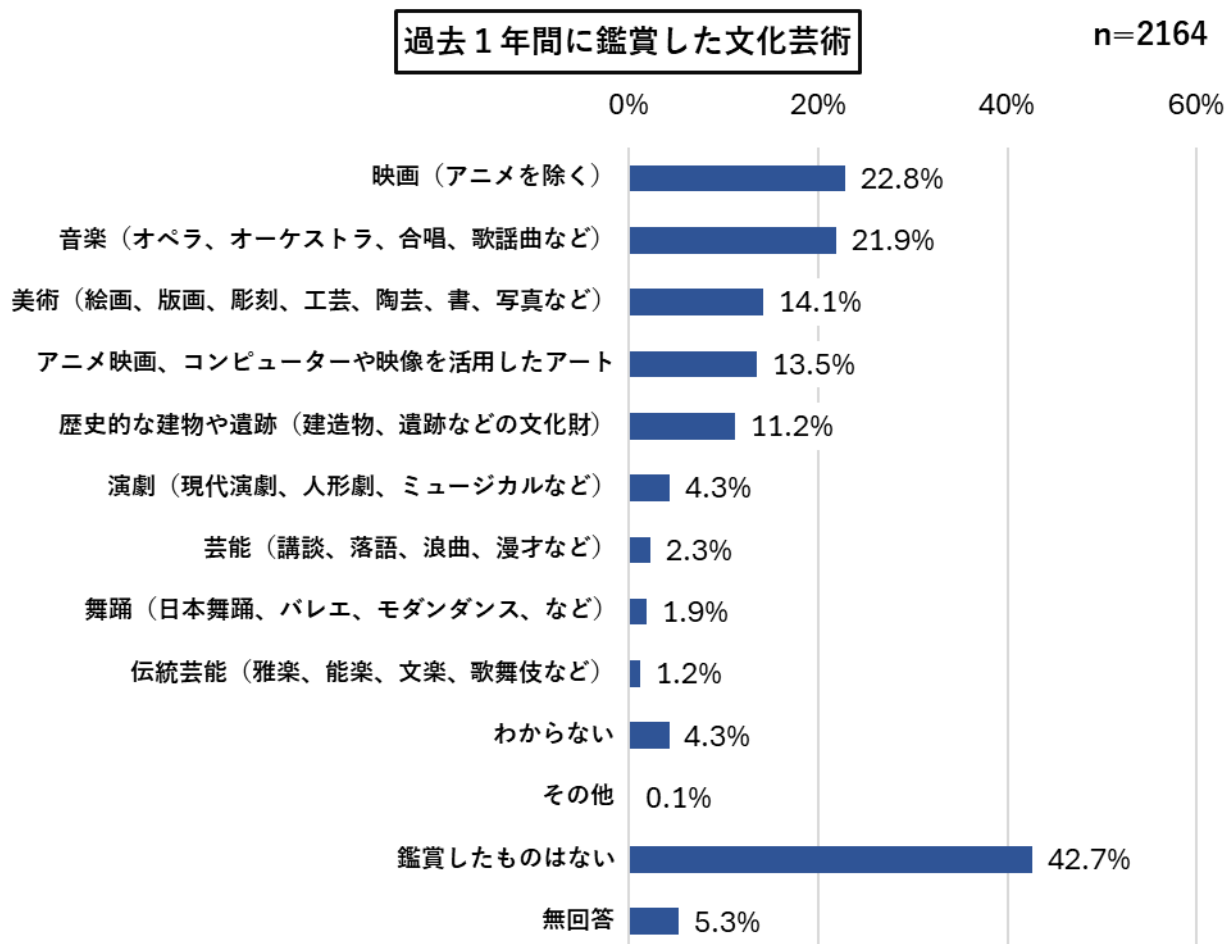


【1. 障がい者調査】

8 文化・芸術について

問 33 あなたは過去1年間に文化芸術を直接鑑賞しましたか。また、鑑賞した種類はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

過去1年間の文化芸術鑑賞状況については、「鑑賞したものはない」が42.7%と最も高く、次いで「映画」が22.8%、「音楽」が21.9%となっている。

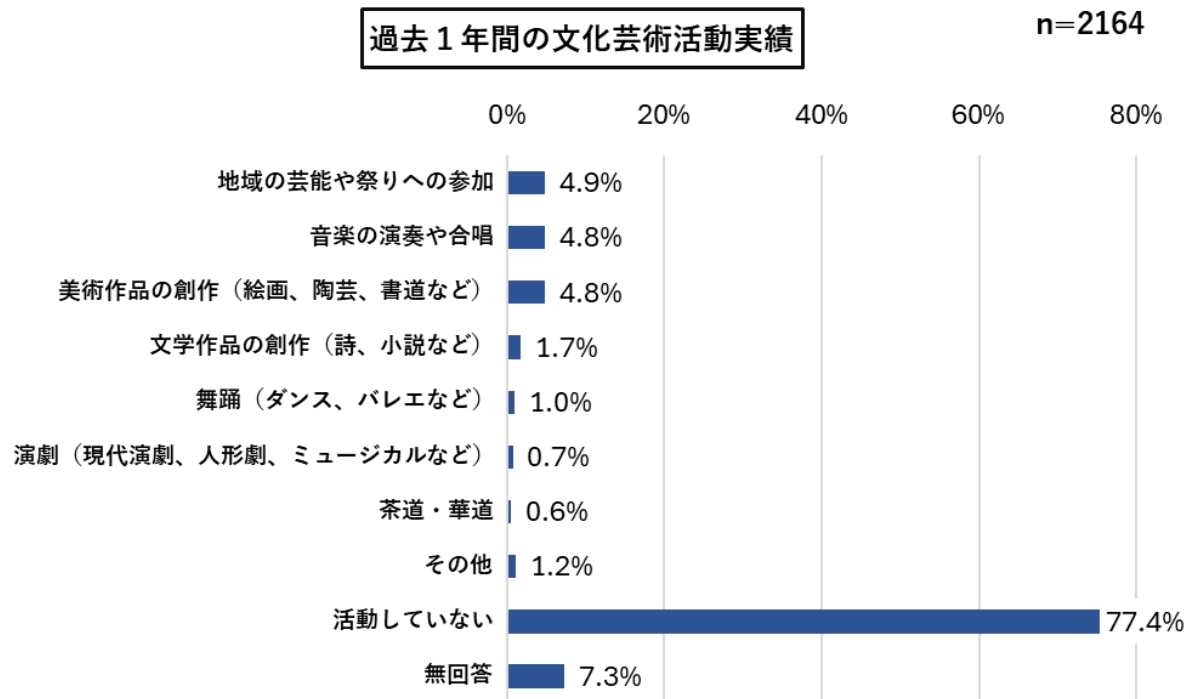


その他の回答の一部を抜粋する。

- 原画展
- 特撮番組のショー
- 朗読

問 34 あなたは過去1年間に文化芸術に関わる活動を実施しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

過去1年間の文化芸術活動実績については、「活動していない」が77.4%と最も高く、次いで「地域の芸能や祭りへの参加」が4.9%、「音楽の演奏や合唱」が4.8%となっている。



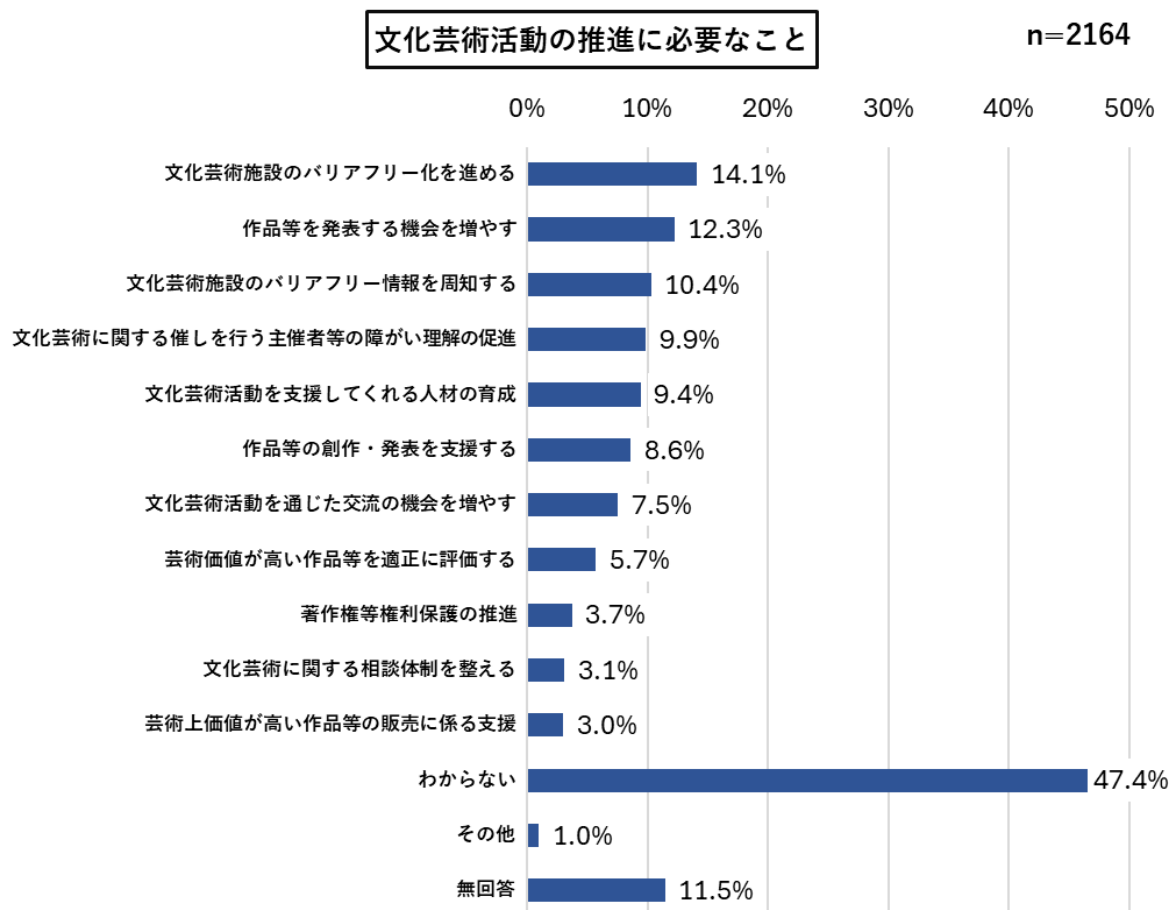
その他の回答の一部を抜粋する。

- 朗読会
- イラスト制作
- LINE スタンプ制作
- ハンドメイド

【1. 障がい者調査】

問 35 あなたは、障がいのある人による文化芸術活動の推進について、何が必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

文化芸術活動の推進に必要な事項については、「わからない」が47.4%と最も高く、次いで「文化芸術施設のバリアフリー化を進める」が14.1%、「作品等を発表する機会を増やす」が12.3%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

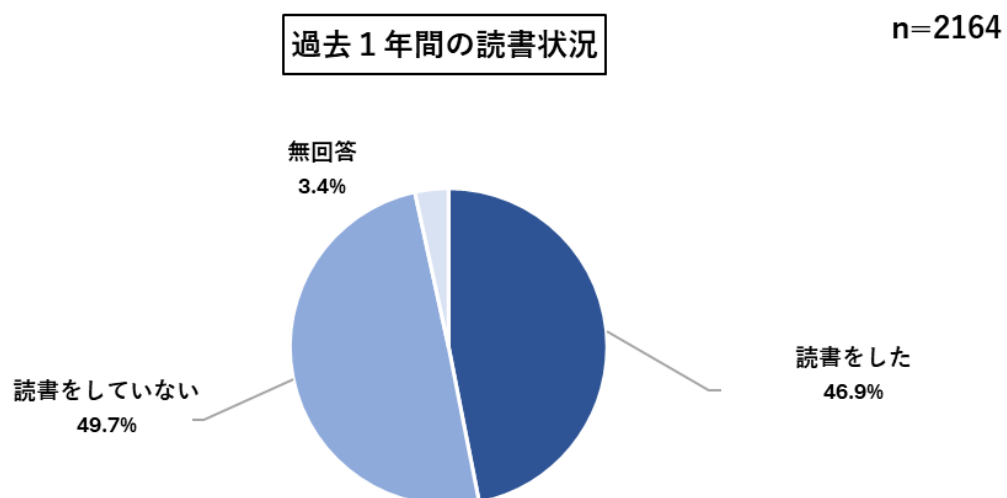
- 経済的支援（入場料・活動費助成・安価化）
- 情報提供（先生・場所の情報）
- オンライン鑑賞の拡充

9 読書について

※以下の設問について、「読書」には一般書籍のほか、新聞やオーディオブックを含みますが、漫画は含みません。

問 36 あなたは過去1年間に読書をしましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

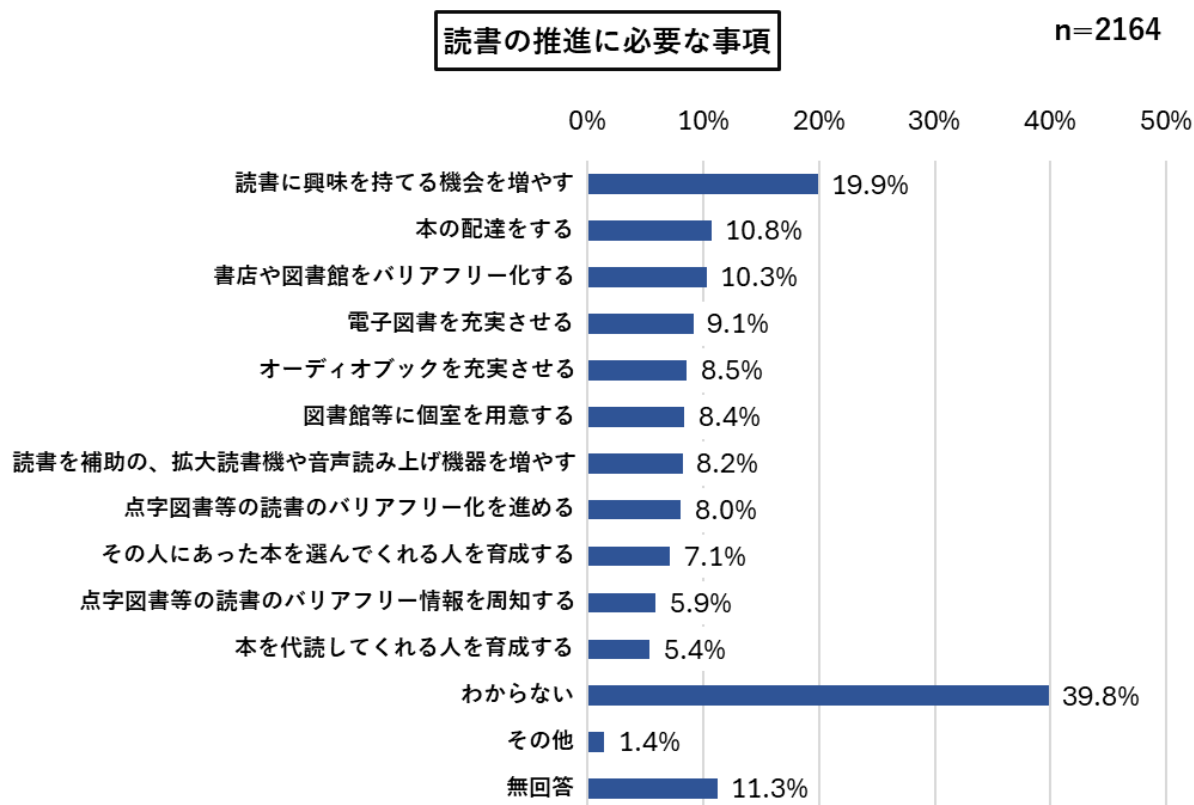
過去1年間の読書状況については、「読書をしていない」が49.7%と最も高く、次いで「読書をした」が46.9%「無回答」が3.4%となっている。



【1. 障がい者調査】

問 37 あなたは、障がいのある人の読書の推進について、何が必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

読書の推進に必要な事項については、「わからない」が39.8%と最も高く、次いで「読書に興味を持てる機会を増やす」が19.9%、「本の配達をする」が10.8%となっている。



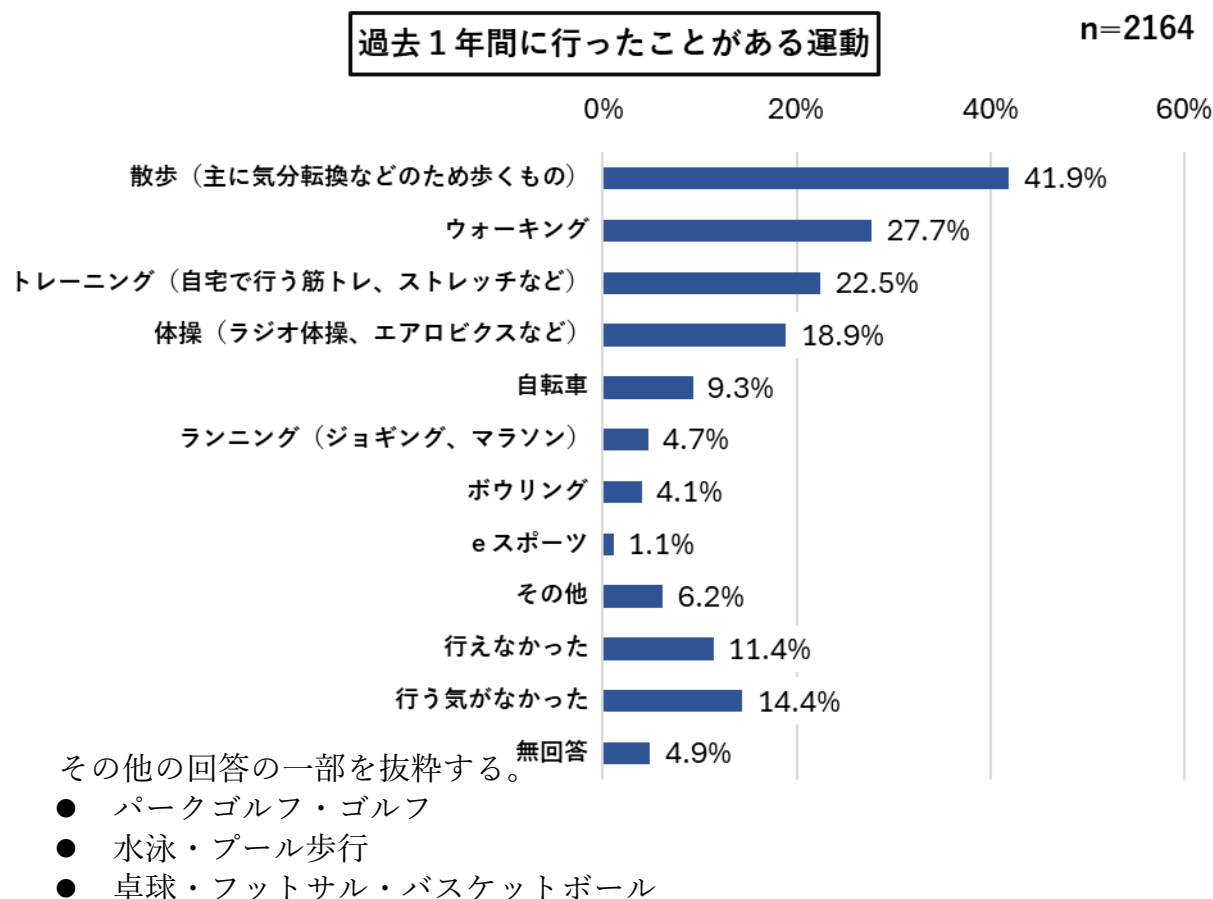
その他の回答の一部を抜粋する。

- ふりがな／ユニバーサルフォント
- 図鑑・文字のない本／映像コンテンツ
- 図書館環境（立地）
- 経済支援（図書カード等）

10 スポーツについて

問 38 あなたは、過去1年間に、行ったことがある運動（スポーツ）はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

過去1年間に行ったことがある運動については、「散歩」が41.9%と最も高く、次いで「ウォーキング」が27.7%、「トレーニング」が22.5%となっている。



e スポーツの具体例

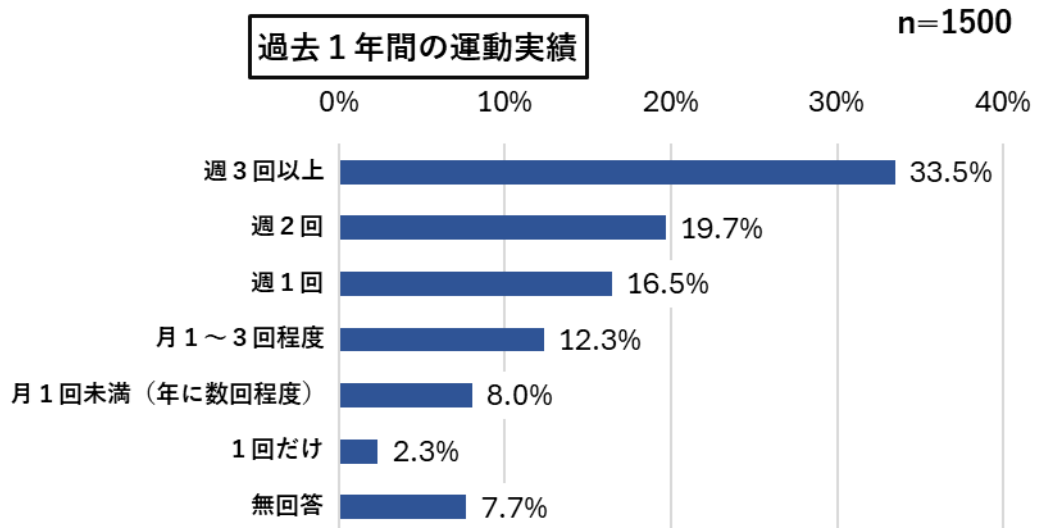
カテゴリー	具体例
FPS / TPS	Apex Legends / Fortnite / スプラトゥーンシリーズ / PC FPS ゲーム全般
MOBA	League of Legends (LoL)
対戦格闘ゲーム	ストリートファイター6 / 格闘ゲーム全般
MMORPG / PC オンライン	PC MMORPG / PC オンライン FPS
パズル・アクション	テトリス
サンドボックス	Minecraft (マインクラフト)
レース / スポーツ系	マリオカート / Switch スポーツ / ゴルフ / バドミントン / 野球 / レースゲーム

【1. 障がい者調査】

問 38 で「行えなかった」「行う気がなかった」以外を選んだ人にお聞きします。

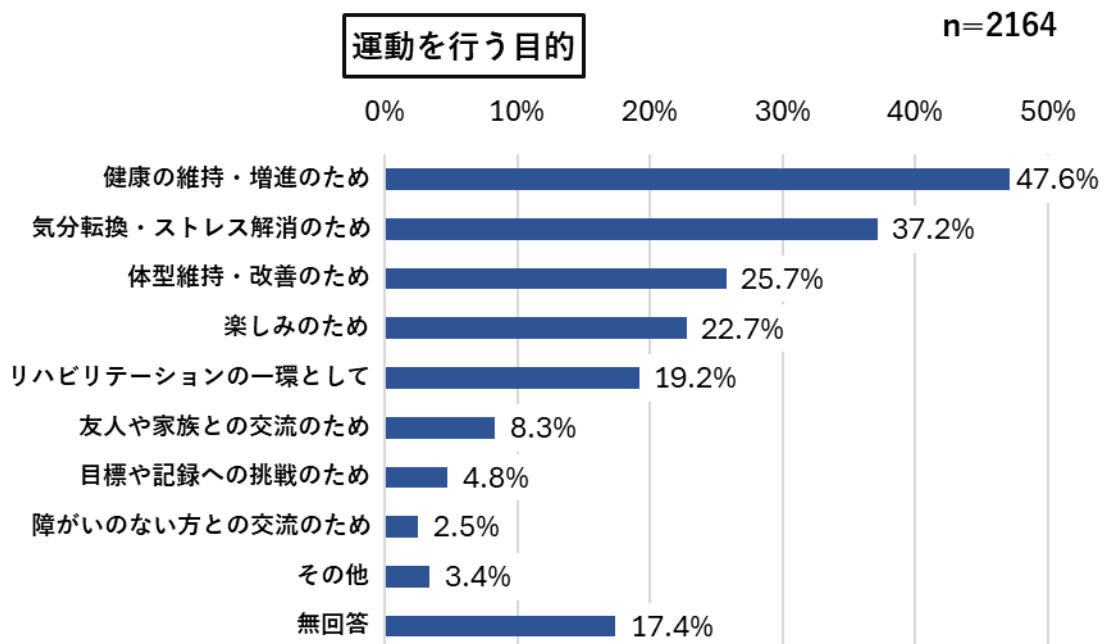
問 39 あなたは、過去1年間に、どれくらいの運動（スポーツ）をしましたか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

過去1年間の運動実績については、「週3回以上」が33.5%と最も高く、次いで「週2回」が19.7%、「週1回」が16.5%となっている。



問 40 あなたが運動（スポーツ）を行う目的はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

運動を行う目的については、「健康の維持・増進」が47.6%と最も高く、次いで「気分転換・ストレス解消」が37.2%、「体型維持・改善のため」が25.7%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

- 学校の授業の一環

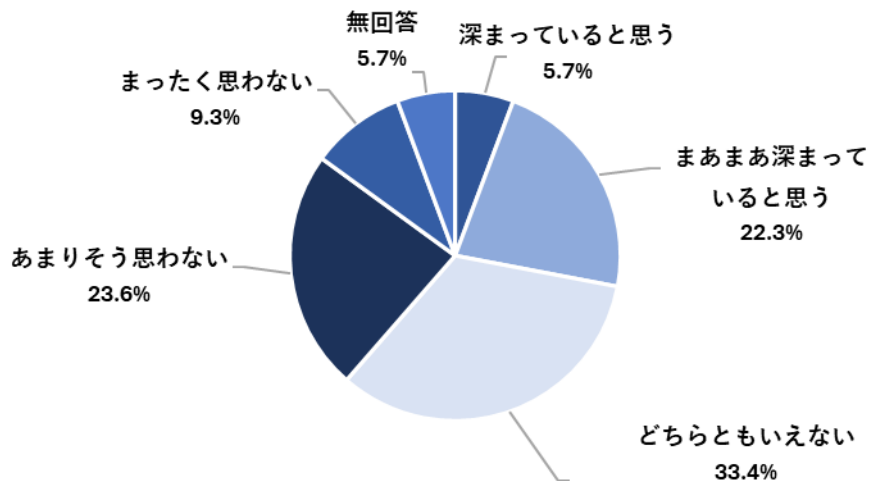
11 制度や政策等について

問 41 あなたは、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある人に対する市民の理解度については、「どちらともいえない」が33.4%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が23.6%、「まあまあ深まっていると思う」が22.3%となっている。

障がいのある人に対する市民の理解度

n=2164

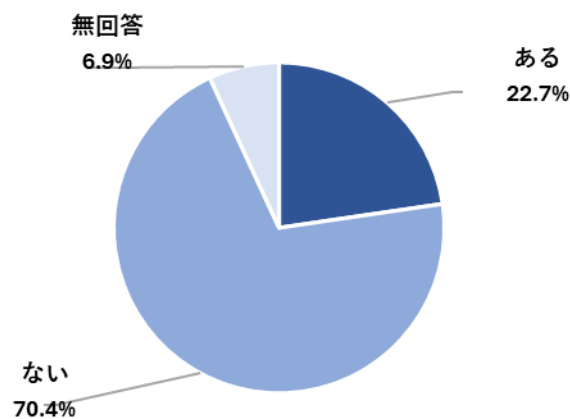


問 42 あなたは過去3年間で、障がいがあるために差別をうけるなど、いやな思いをしたことがありますか。

差別経験の有無については、「ない」が70.4%と最も高く、次いで「ある」が22.7%、「無回答」が6.9%となっている。

差別経験の有無

n=2164

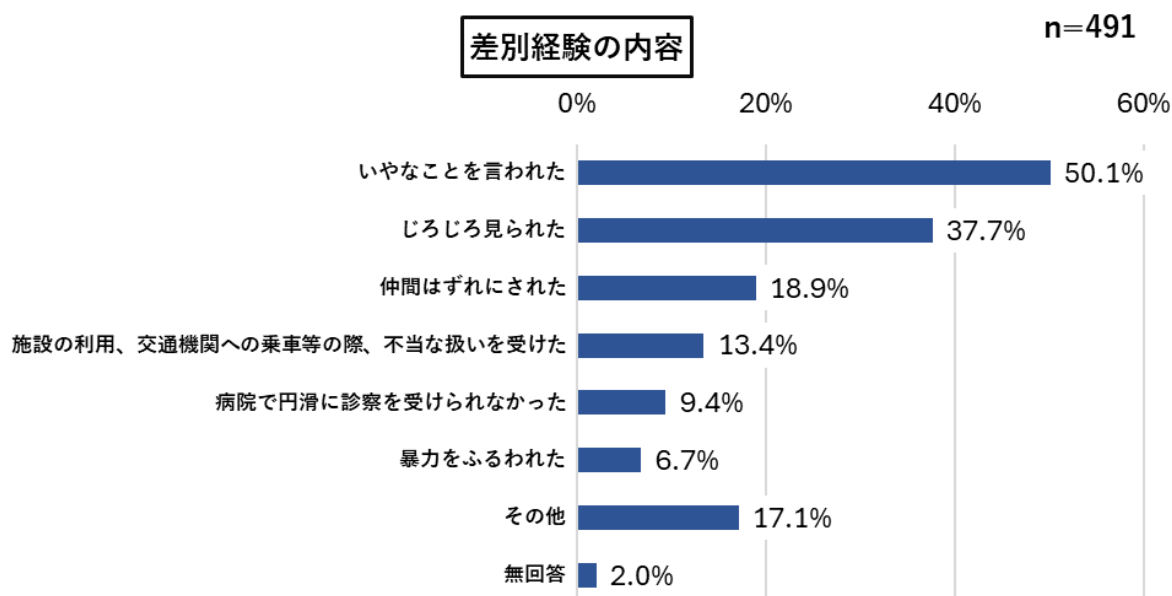


【1. 障がい者調査】

問 42 で「1 ある」と回答した人にお聞きします。

問 43 どのようなことでいやな思いをしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

差別経験の内容については、「いやなことを言われた」が 50.1%と最も高く、次いで「じろじろ見られた」が 37.7%、「仲間はずれにされた」が 18.9%となっている。

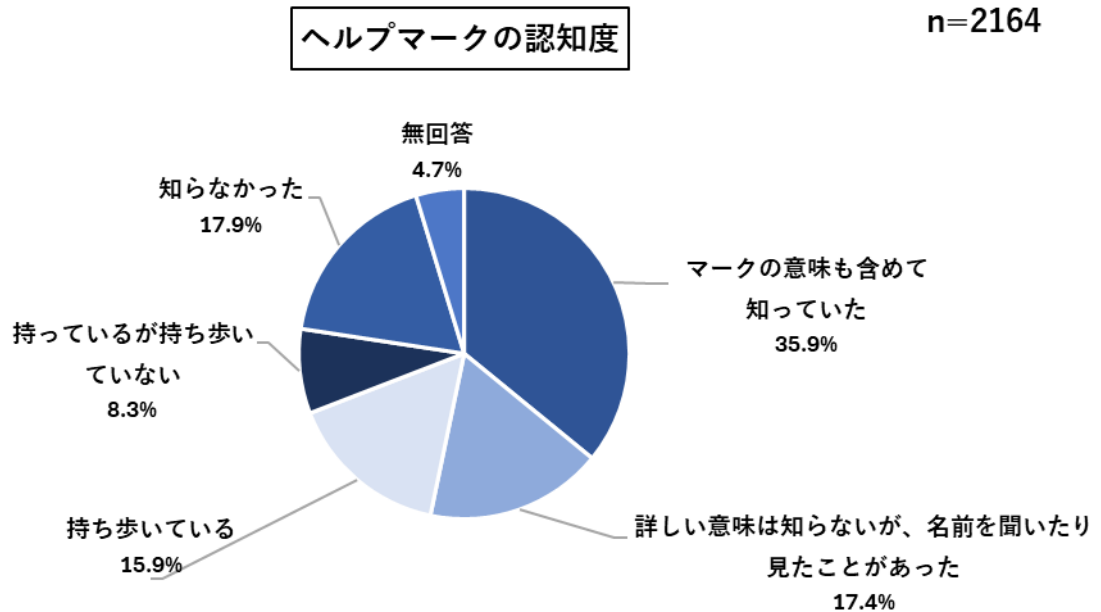


その他の回答の一部を抜粋する。

- 就労・採用・職場での差別・ハラスメント
- 医療機関での不当対応・面談拒否・暴言等
- 住まい（賃貸）での入居拒否・差別
- ネット中傷・社会の偏見（見た目理解されない等）

問 44 札幌市では、「ヘルプマーク」を配布しております。これは、外見からは障がいがあることがわからない人などが、周囲の方々に援助や配慮が必要なことを知らせることができるマークです。あなたは、このマークがあることを知っていたり、持っていたりしますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

ヘルプマークの認知度については、「マークの意味も含めて知っていた」が35.9%と最も高く、次いで「知らなかった」が17.9%、「詳しい意味は知らなかったが、名前を聞いたことや見たことがあった」が17.4%となっている。

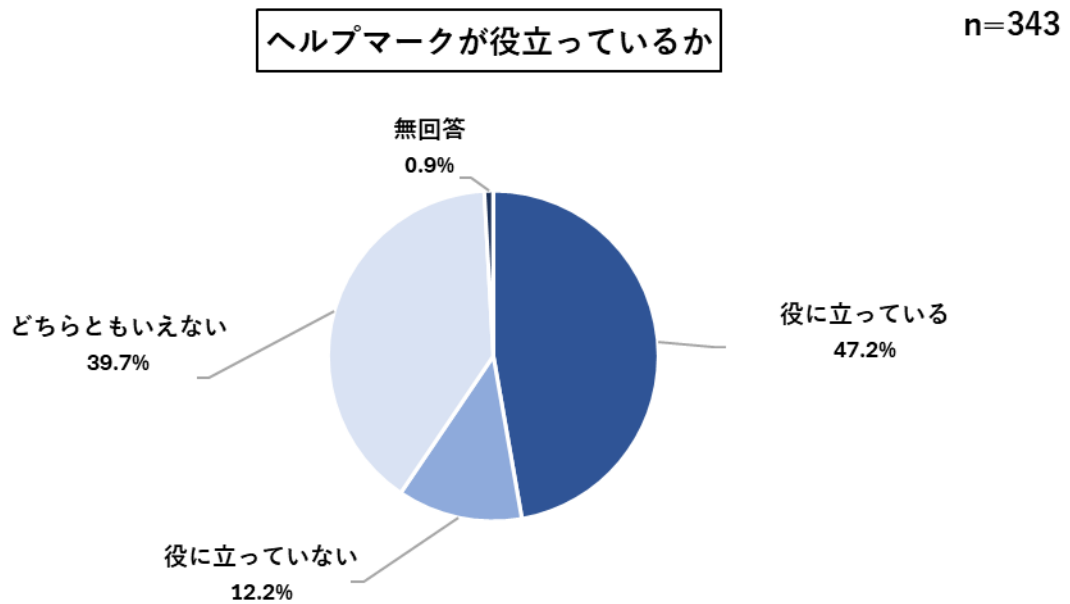


【1. 障がい者調査】

問 44 で「3持ち歩いている」と回答した人にお聞きします。

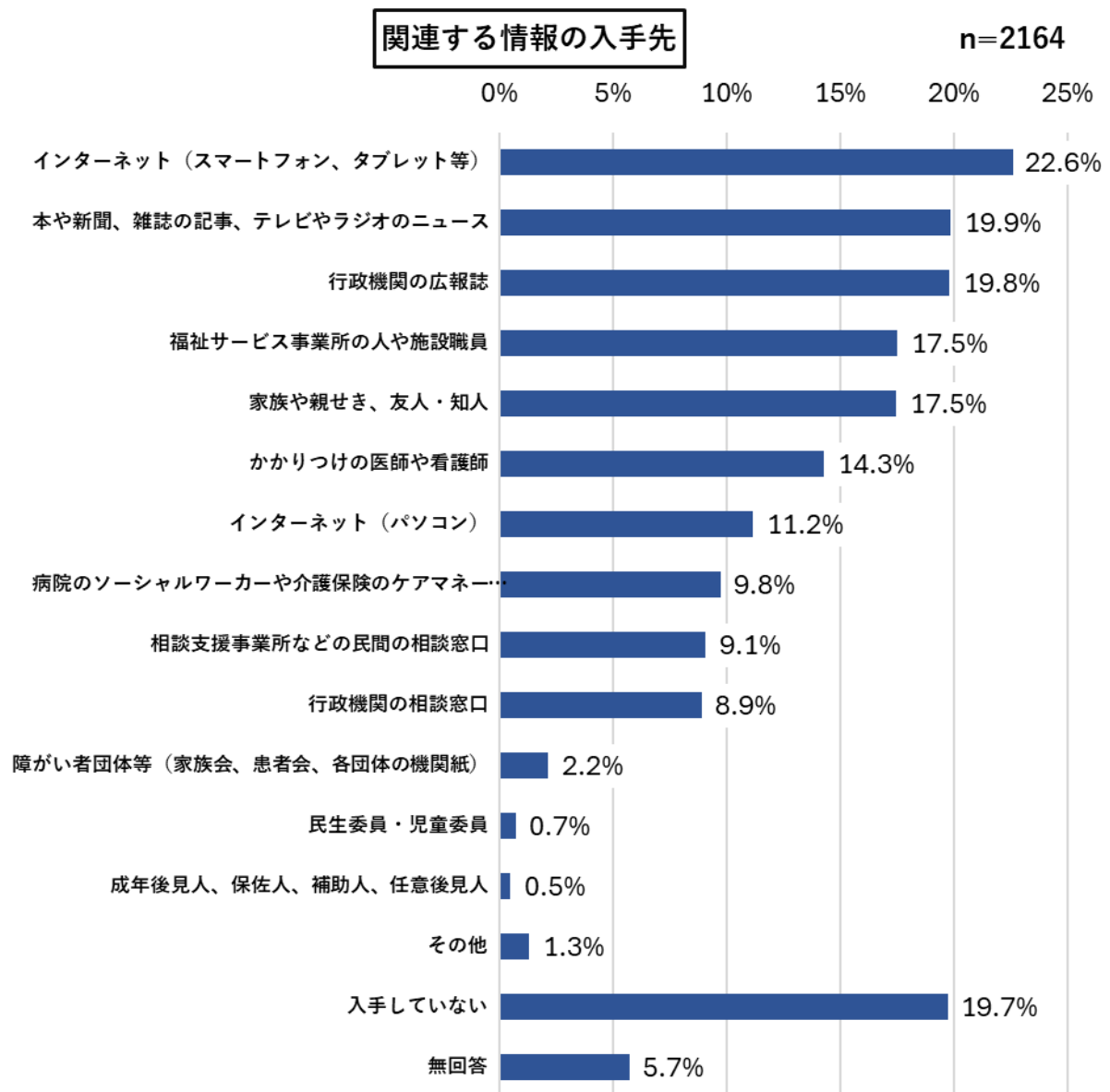
問 45 あなたはヘルプマークが役に立っていると思いますか。

ヘルプマークが役立っているかについては、「役に立っている」が47.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が39.7%、「役に立っていない」が12.2%となっている。



問 46 あなたは、障がいまたは障がい福祉サービスの情報をどのように入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

関連する情報の入手先については、「インターネット（スマートフォン、タブレット等）」が22.6%と最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が19.9%、「行政機関の広報誌」が19.8%となっている。



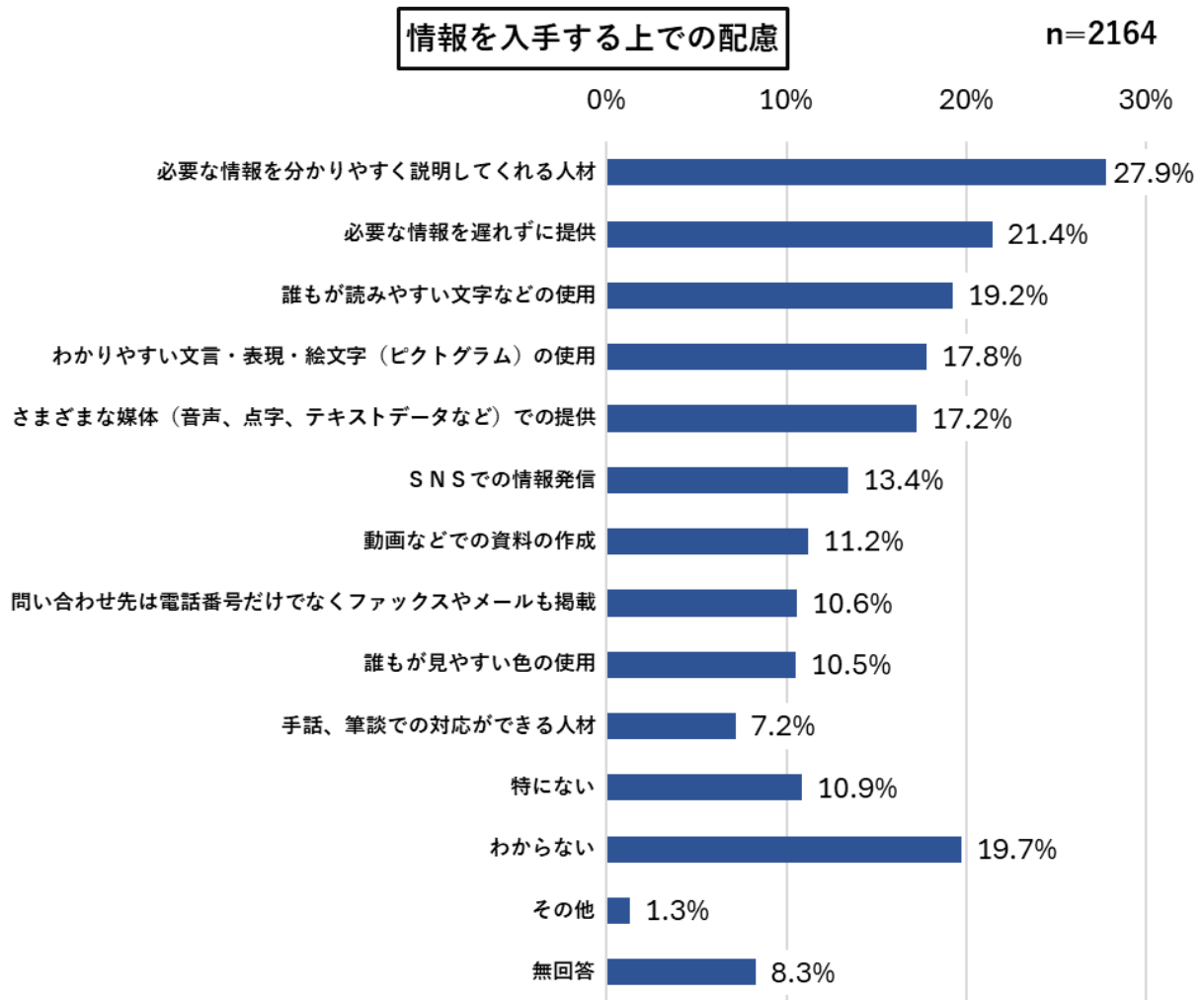
その他の回答の一部を抜粋する。

- 医師・病院・相談室／デイケア・訪問看護
- 区役所の掲示・パンフレット
- 学校の先生

【1. 障がい者調査】

問 47 あなたは、情報を入手する上で、どのような配慮があると良いと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

情報を入手する上での配慮については、「必要な情報を分かりやすく説明してくれる人材」が27.9%と最も高く、次いで「必要な情報を遅れずに提供」が21.4%、「誰もが読みやすい文字などの使用」が19.2%となっている。

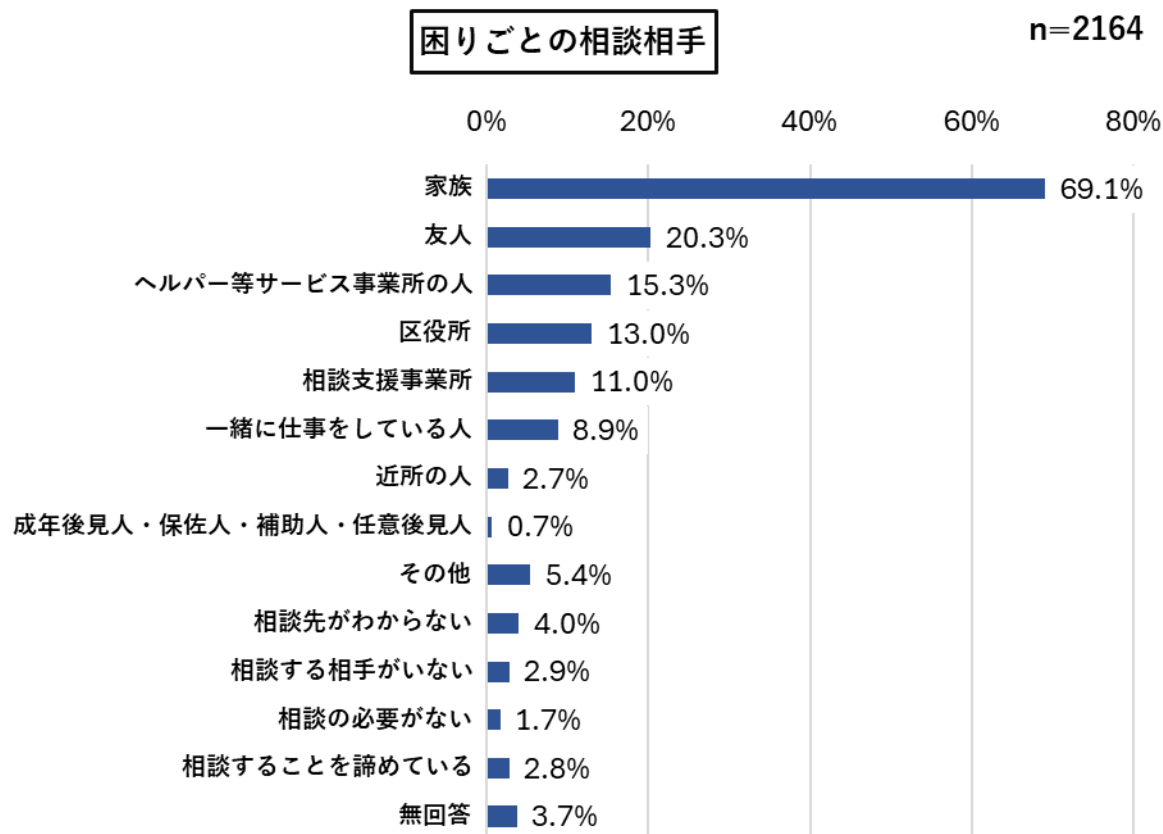


その他の回答の一部を抜粋する。

- 紙媒体・電話など非デジタルの充実
- 個別ニーズに合う情報アプリ・ポータル（障がい特性対応）
- 分かりやすい資料（やさしい日本語）

問 48 あなたは困ったことがあった時、誰に相談していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

困ったことの相談先については、「家族」が69.1%と最も高く、次いで「友人」が20.3%、「ヘルパー等サービス事業所の人」が15.3%となっている。



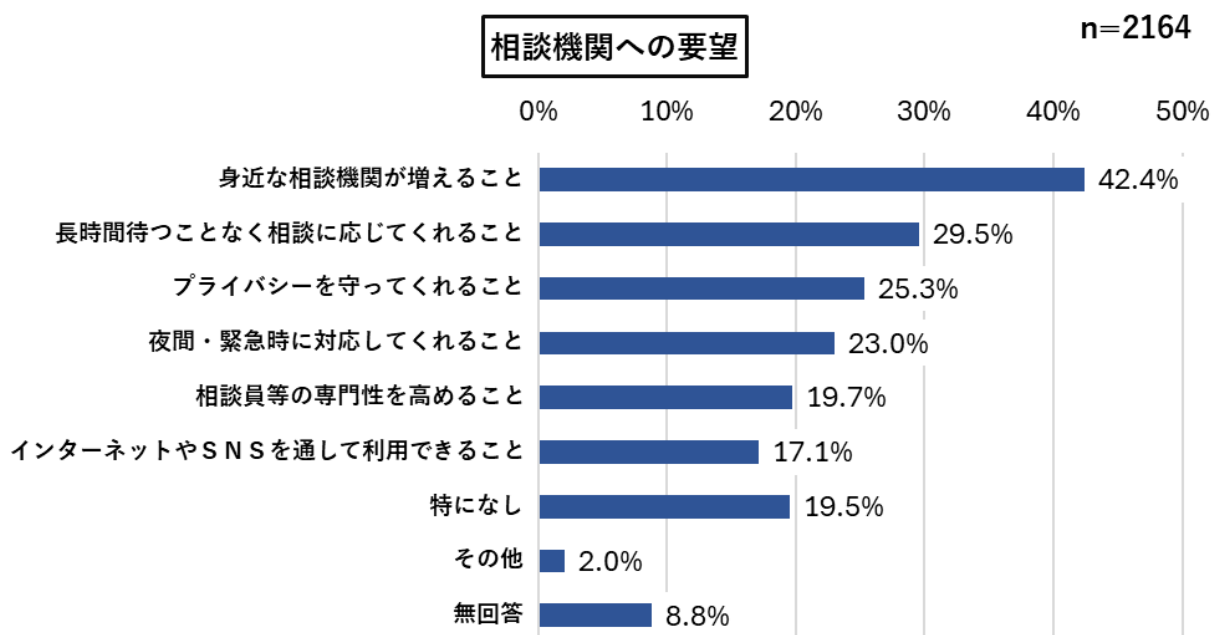
その他の回答の一部を抜粋する。

- 主治医・病院スタッフ・カウンセラー
- 訪問看護・ソーシャルワーカー・ケアマネージャー
- 民生委員
- AI/ChatGPT

【1. 障がい者調査】

問 49 あなたは、相談機関に関して、どのようなことがあれば、利用しやすいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

相談機関への要望については、「身近な相談機関が増えること」が42.4%と最も高く、次いで「長時間待つことなく相談に応じてくれること」が29.5%、「プライバシーを守ってくれること」が25.3%となっている。

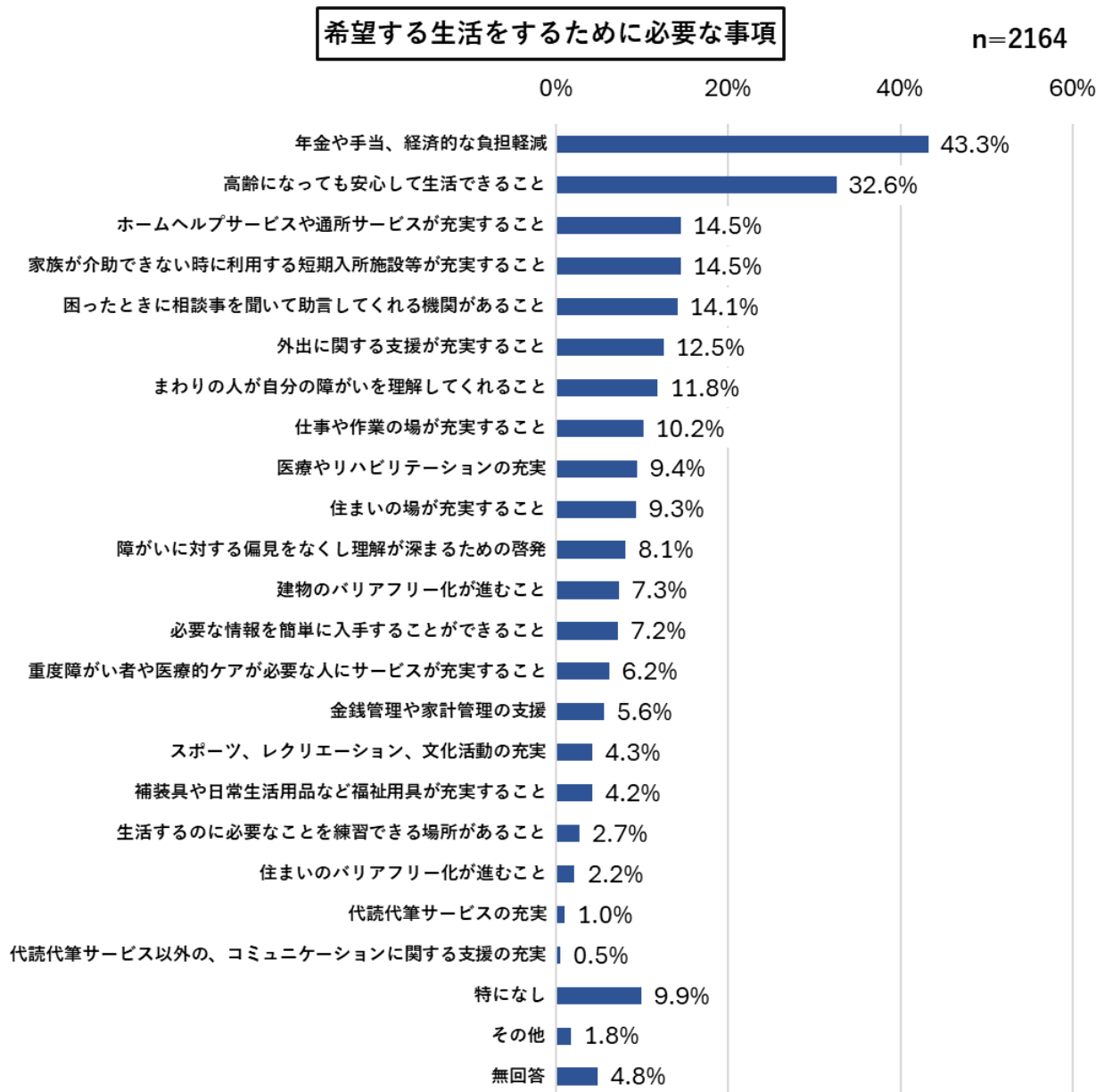


その他の回答の一部を抜粋する。

- 相談員の増員・固定化（頻繁交代防止）・態度の改善
- アクセス性（オンライン・土日・訪問可）
- 連携強化（確実に制度・機関へつなぐ）
- 分かりやすい説明

問 50 あなたが今後、希望する生活をするためには、どのようなことがあればよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

希望する生活をするために必要な事項については、「年金や手当、経済的な負担軽減」が43.3%と最も高く、次いで「高齢になっても安心して生活できること」が32.6%、「ホームヘルプサービスや通所サービスが充実すること」「家族が介助できない時に利用する短期入所施設等が充実すること」が14.5%となっている。



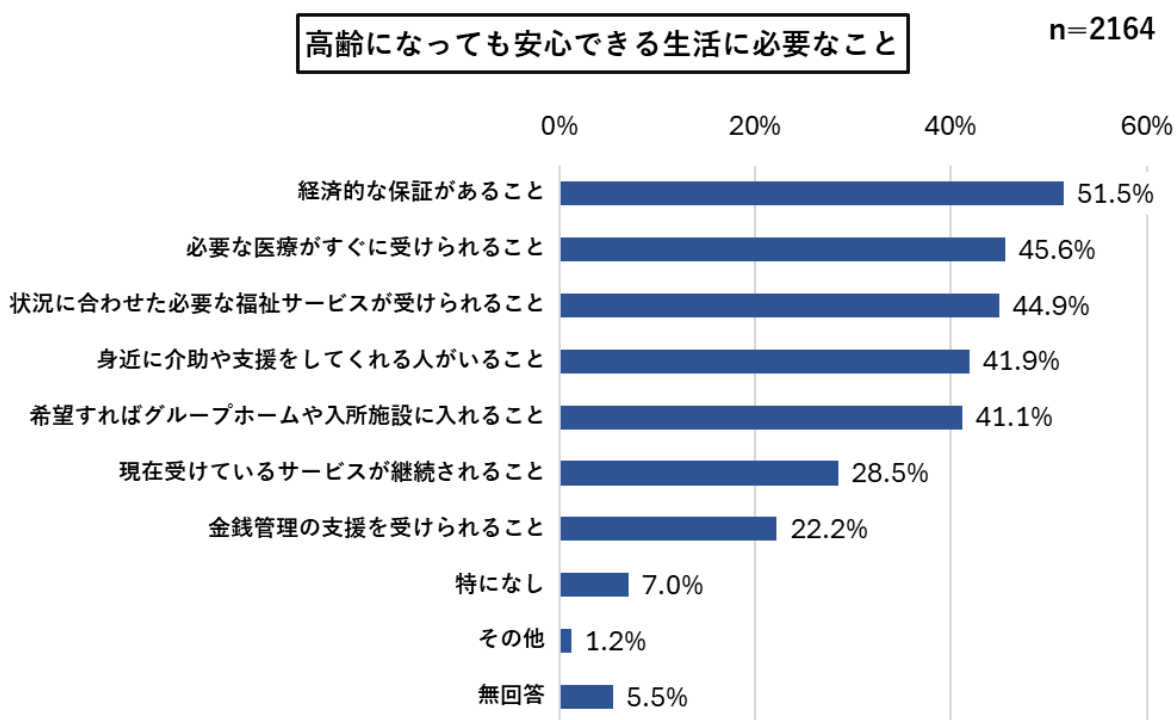
その他の回答の一部を抜粋する。

- 障害年金の条件見直し
- 健康な心

【1. 障がい者調査】

問 51 あなたは、将来について、どのようなことがあれば、高齢になっても安心して生活できると思いますか。あてはまるものをすべてに○をつけてください。

自身が高齢化した際に必要な事項については、「経済的な保証があること」が51.5%と最も高く、次いで「必要な医療がすぐに受けられること」が45.6%、「状況に合わせた必要な福祉サービスが受けられること」が44.9%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

- 住まい（市営住宅・賃貸可否・ペット共生）
- 相談・法的支援・情報提供の拡充

問 52 その他ご意見やご要望があればご記入ください。（自由記述）

自由意見については、333 件の回答が寄せられた。回答の一部を以下に抜粋する。

- いずれ一人暮らしになった時に身近に相談できる人が居てくれると安心できます。
- そもそも、情報に触れられる機会自体が少ないと感じるので、気軽に情報にアクセスできるようにしてほしいと思います。
- 将来のことを考えると不安です。より手厚いサービスを期待します。
- 週辺の住民も高齢者が多く、何かあったらと不安な面もあります。地域のサポートもはっきりせず、もう少し身近なサポートがわかる様なシステムがわかればいいなあと思っています。
- 一般就労をずっとしています。転職した時、初めは有休がないので通院時、欠勤になってしまいます。そういう時に欠勤にならないような対策をしてほしいです。
- 夫も高齢となって来ています。私は足が悪いので、冬の雪かきが心配です。足以外でも持病があるので、冬の外出は不安になって来ました。
- 障害を持っている人が安心して生活したり仕事できるよう、障害についての理解を多くの人が持つと、社会が良くなると思います。同じような悩みを持つ人と話して、気持ちが楽になった経験があるので、障害者同士の交流の場も必要だと思います。
- まだまだ白い目で見えてくる人が多いのが、現実です。皆さんにご理解して頂けるように、いろいろと発信してもらえるようにしてほしいです。親の方が先に亡くなるので、心配はつきないです。
- 障害者枠の仕事として何度か働きましたが、まわりは何もあまり理解はなかった。もっと職場で理解ある所が増えたらと思う。相談出来る所があれば、良いなと思います。（信頼できる人など）
- 人それぞれのスキルに合った仕事があればよいと思う。障がいの人でも安心して仕事ができる企業が、今後少しずつでも増えればよいと思います。
- 重度の人を受け入れてくれる GH が少なく、高齢の母と二人暮らしでは、災害があっても避難するには不安。今はサービスを受けているけれど、母がいなくなったらどうしていいか不安です。
- 障害者にまだまだ冷たいです。私たちは、だれでも障害者になります。交通事故、認知症など、人の力を借りないと生きて行けませんよね。ひとりひとりの心が、やさしくなれたらと願ってます。よろしくお願いします。
- 身体は丈夫でも自分から友達を作り余暇を楽しむようなことはできない。社会参加を兼ねて楽しめる機会があれば良い。日々の生活の安心も大切だが、心の豊かさやリフレッシュも大切だと思います。
- 福祉に携わる方たちの待遇改善。介護する方たちの生きがい、生活の保障がないとされる方も申し訳ないです。

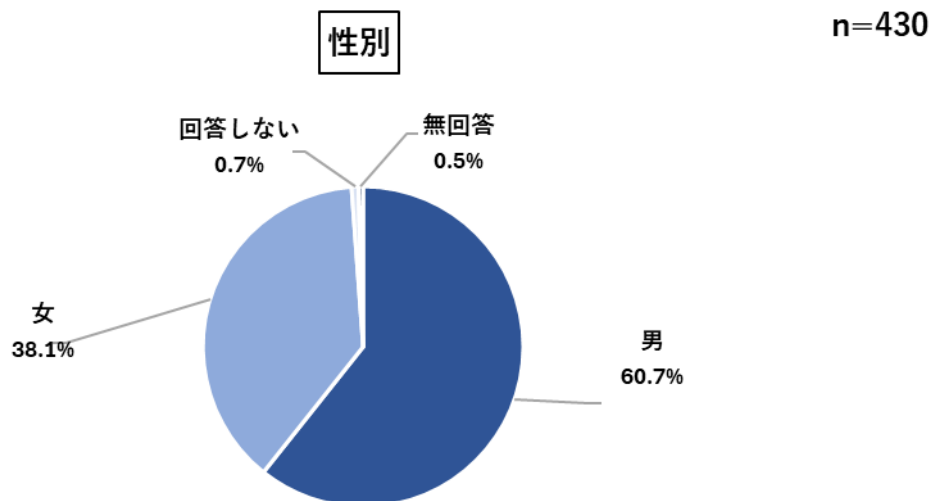
【2. 障がい児調査】

3. 2 障がい児調査

1 あなたのこと、世帯の状況について

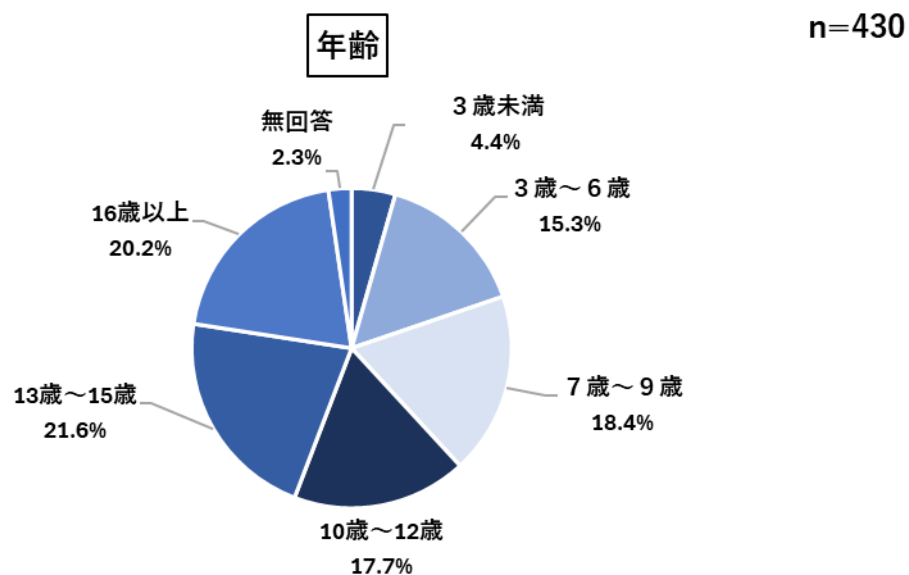
問1 あなたの性別に○をつけてください。

性別については、「男」が60.7%、「女」が38.1%となっている。



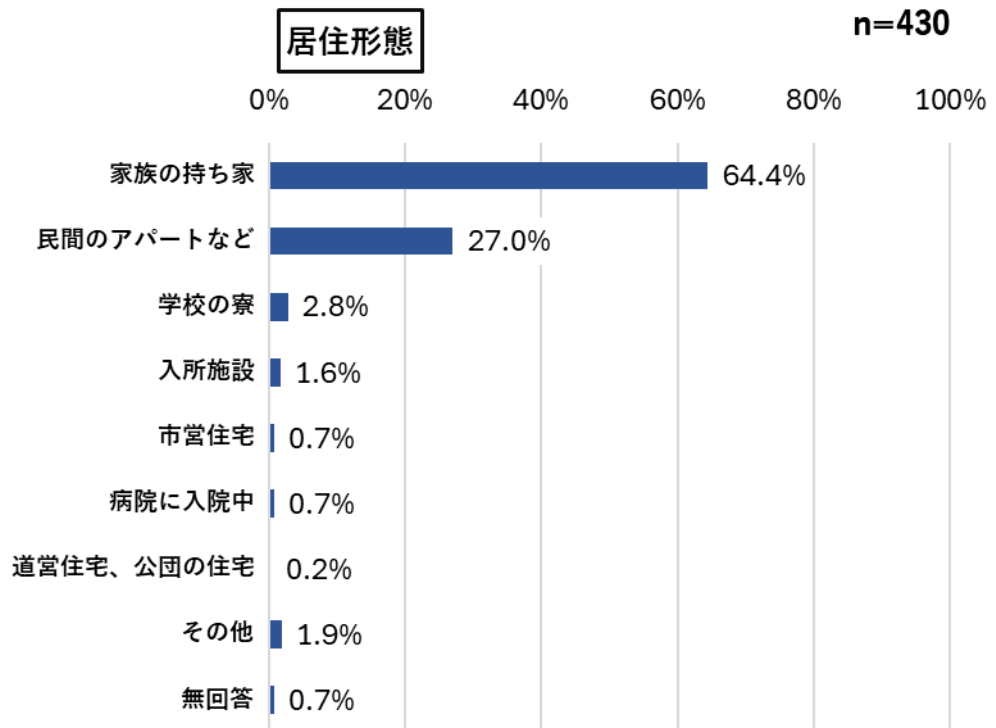
問2 あなたの年齢（令和7年12月1日現在）

年齢については、「13歳～15歳」が21.6%と最も高く、次いで「16歳以上」が20.2%、「7歳～9歳」が18.4%となっている。



問3 現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

居住形態については、「家族の持ち家」が64.4%と最も高く、次いで「民間のアパートなど」が27.0%、「学校の寮」が2.8%となっている。



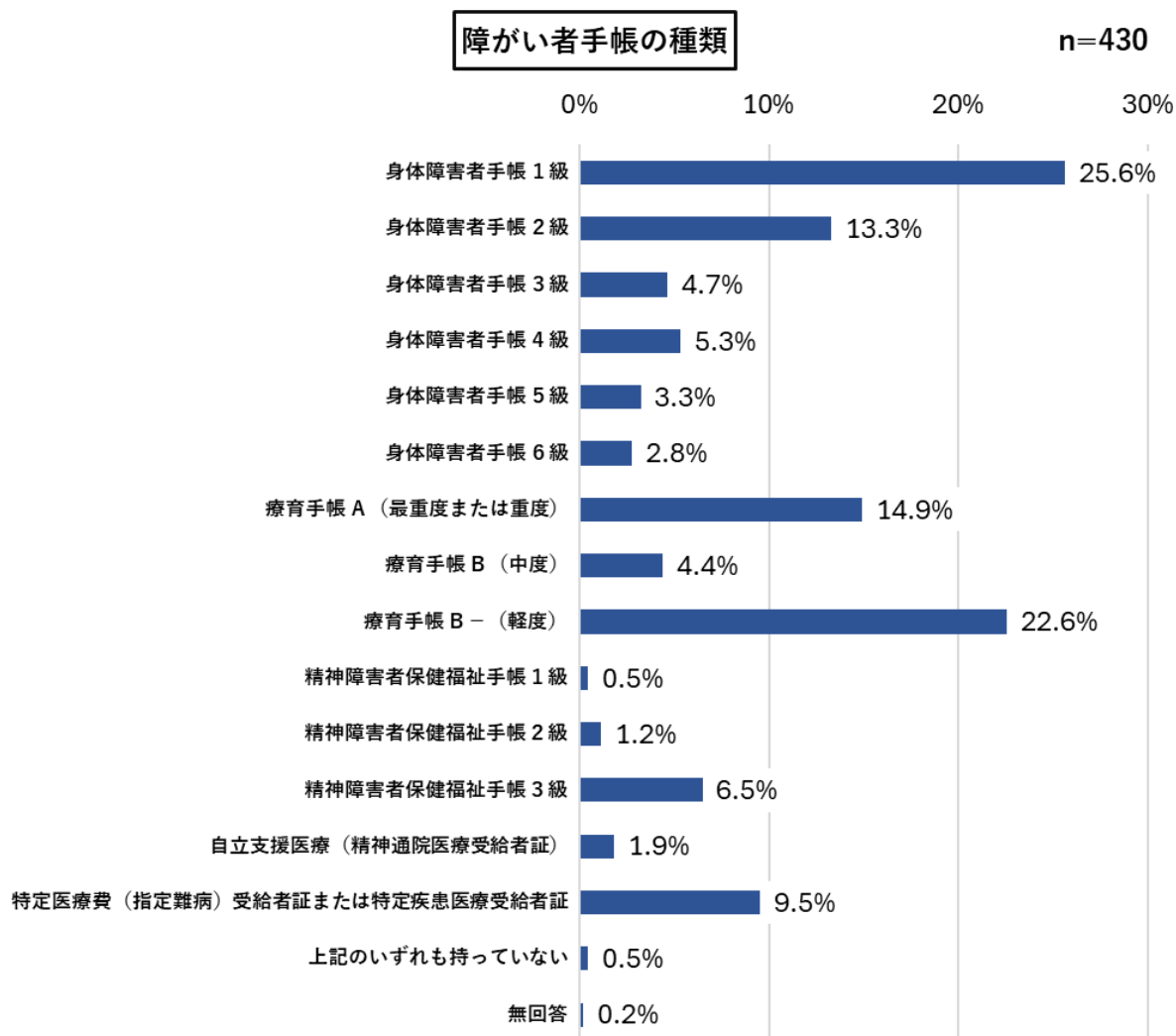
その他の回答の一部を抜粋する。

- 賃貸借家の居住
- 社宅（家族／会社）
- 国家公務員宿舎

【2. 障がい児調査】

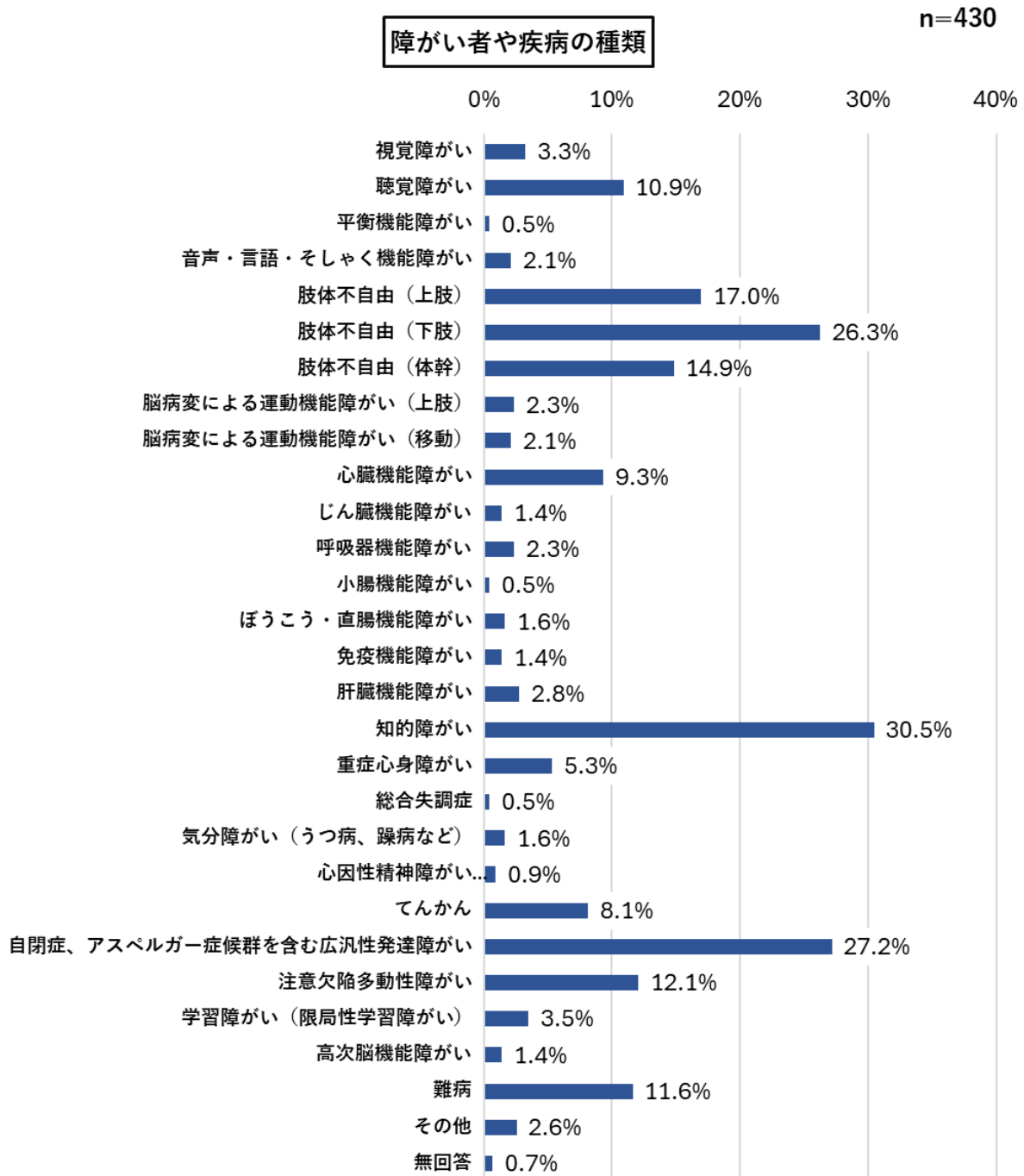
問4 あなたが持っている障がい者手帳の種類はどれですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

障がい者手帳の種類については、「身体障害者手帳1級」が25.6%と最も高く、次いで「療育手帳B－（軽度）」が22.6%、「療育手帳A（最重度または重度）」が14.9%となっている。



問5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいや疾病の種類については、「知的障がい」が30.5%と最も高く、次いで「自閉症、アスペルガー症候群を含む広汎性発達障がい」が27.2%、「肢体不自由（下肢）」が26.3%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

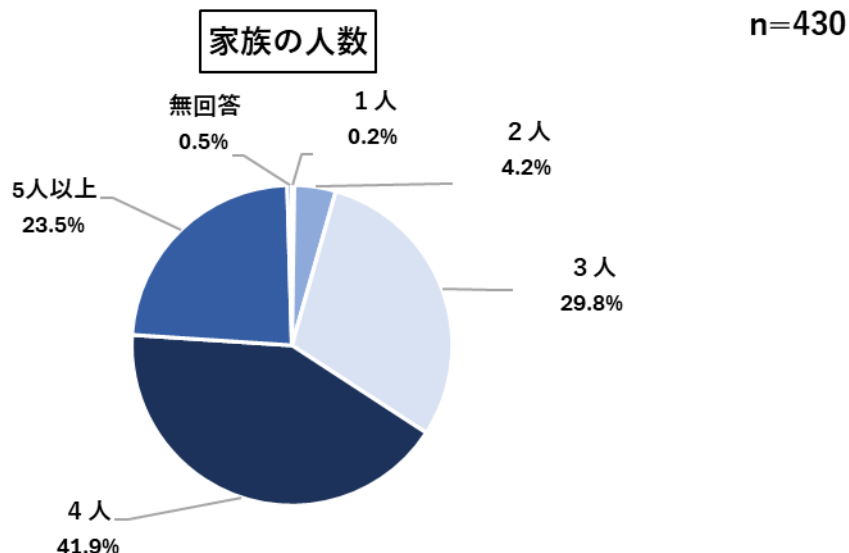
- 発達性協調運動障害（DCD）
- 自閉症／知的障害グレー

【2. 障がい児調査】

問6 家族のことについておしえてください。

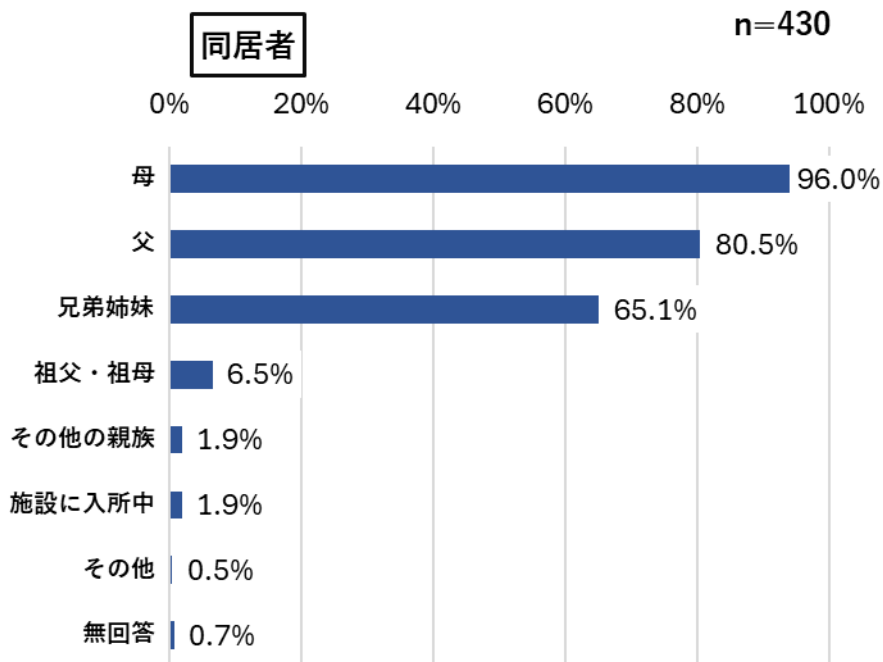
(1) あなたは何人家族ですか。

一緒に住んでいる家族の人数については、「4人以上」が41.9%と最も高く、次いで「3人」が29.8%となっている。



(2) あなたがいっしょに住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

同居者については、「母」が96.0%と最も高く、次いで「父」が80.5%、「兄弟姉妹」が65.1%となっている。

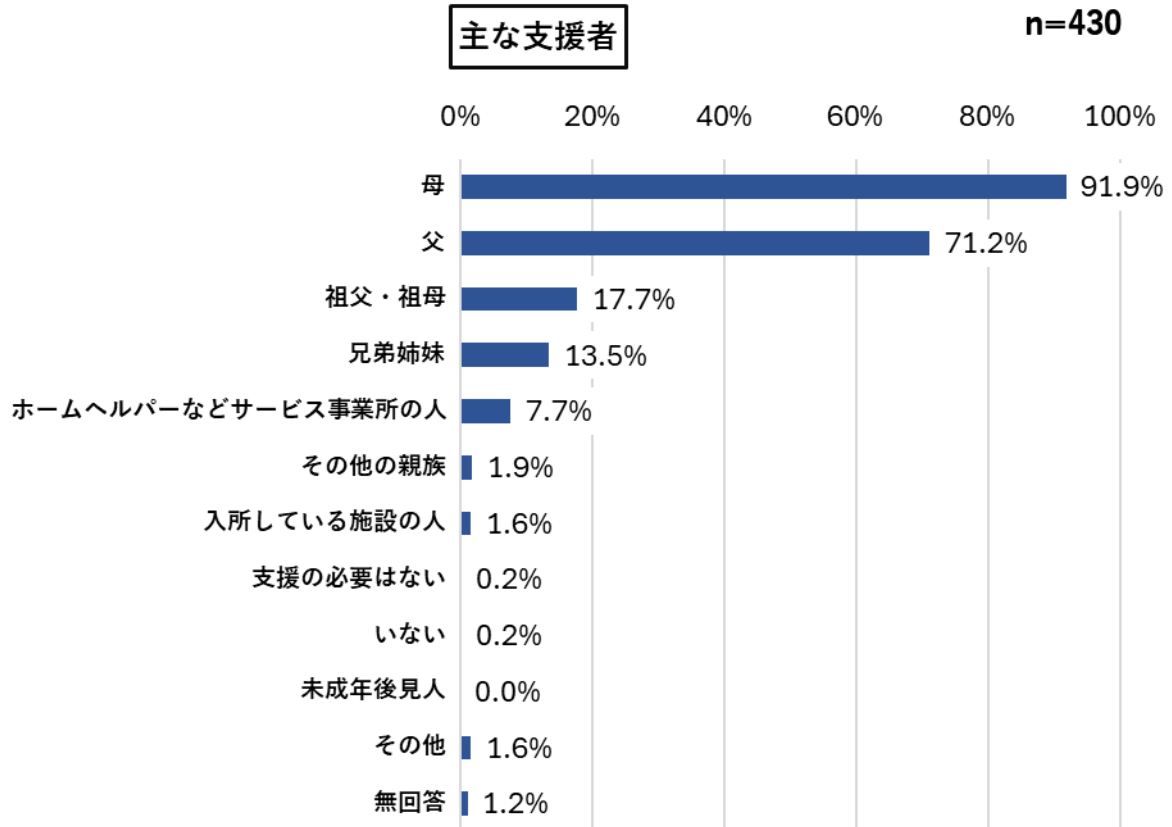


その他の回答の一部を抜粋する。

- 配偶者
- 学校の寮

問7 あなたの主な支援者はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。1～5を選んだ場合は、支援者の年代もお答えください。

主な支援者については、「母」が91.9%と最も高く、次いで「父」が71.2%、「祖父・祖母」が17.7%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

- 放課後等デイサービス・児童発達支援
- 医療職（訪問看護師・主治医）
- 家族（配偶者）
- 学校関係（看護師・部活・聾学校）

支援者の年代については、下記の通りとなっている。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
父	0.0%	1.0%	20.9%	54.5%	22.3%	1.0%	0.3%	0.0%
母	0.0%	1.8%	23.4%	58.1%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
兄弟姉妹	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
祖父・祖母	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	29.7%	60.8%	4.1%
その他の親族	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%

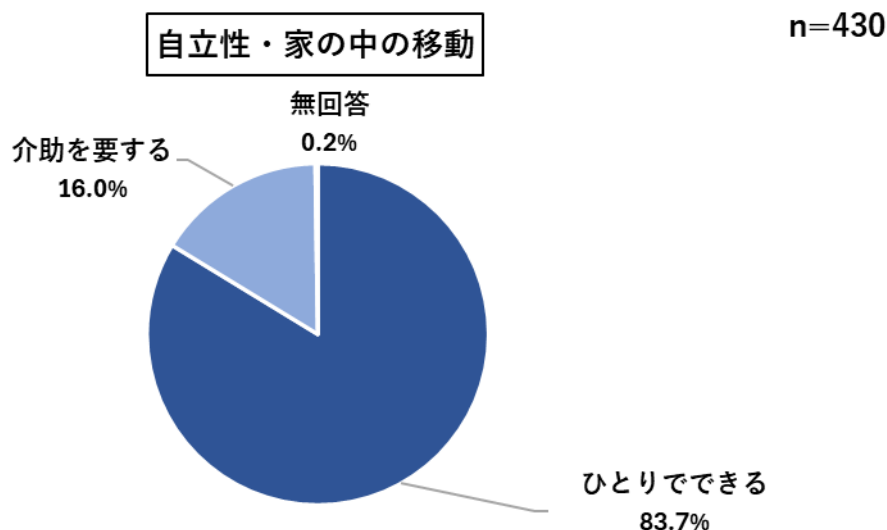
【2. 障がい児調査】

2 あなたの生活の状況について

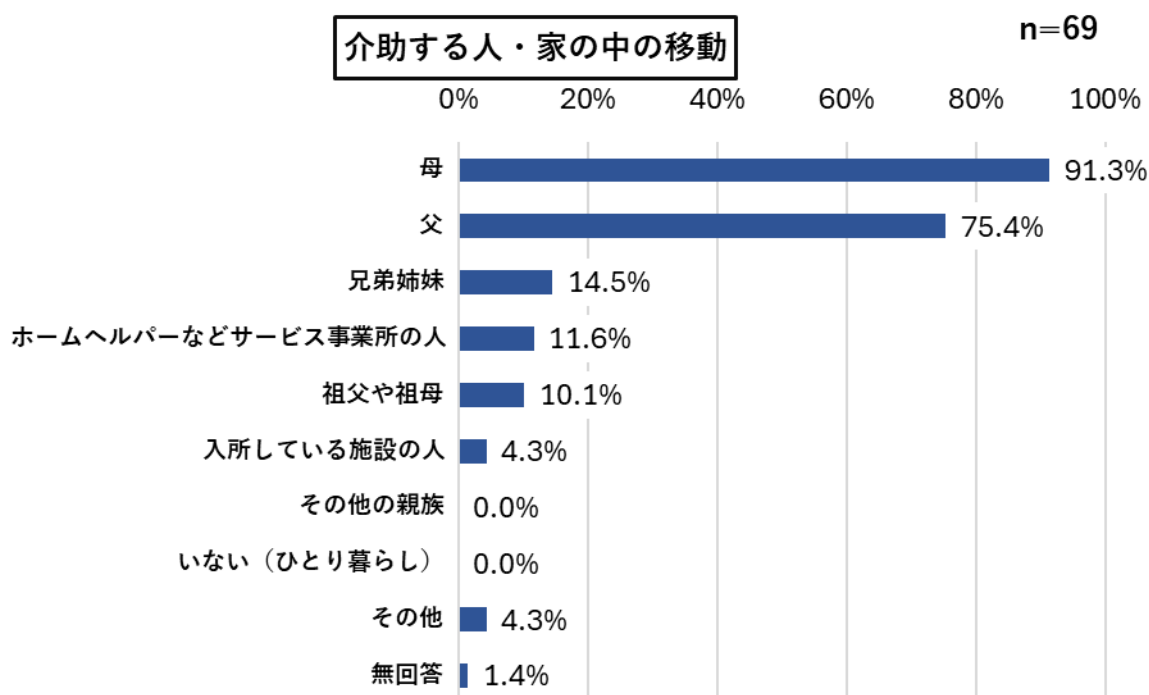
問8 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりでできますか、また、介助が必要な場合には誰が支援していますか。それぞれの項目について、あてはまる記号（ア・イ）・番号（1～9）に○をつけてください。

家の中の移動

家の中の移動については、「ひとりでできる」が83.7%となっている。

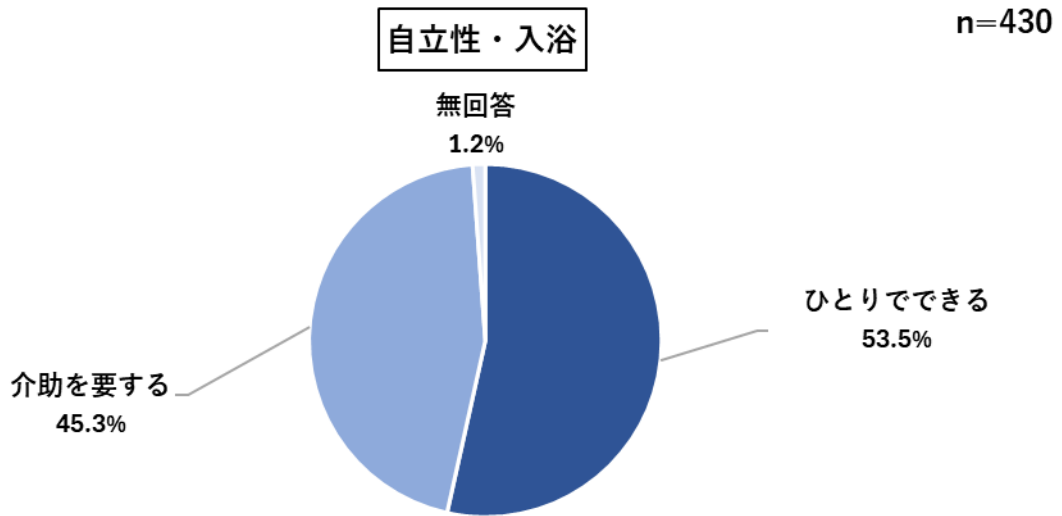


介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が91.3%と最も高く、次いで「父」が75.4%となっている。

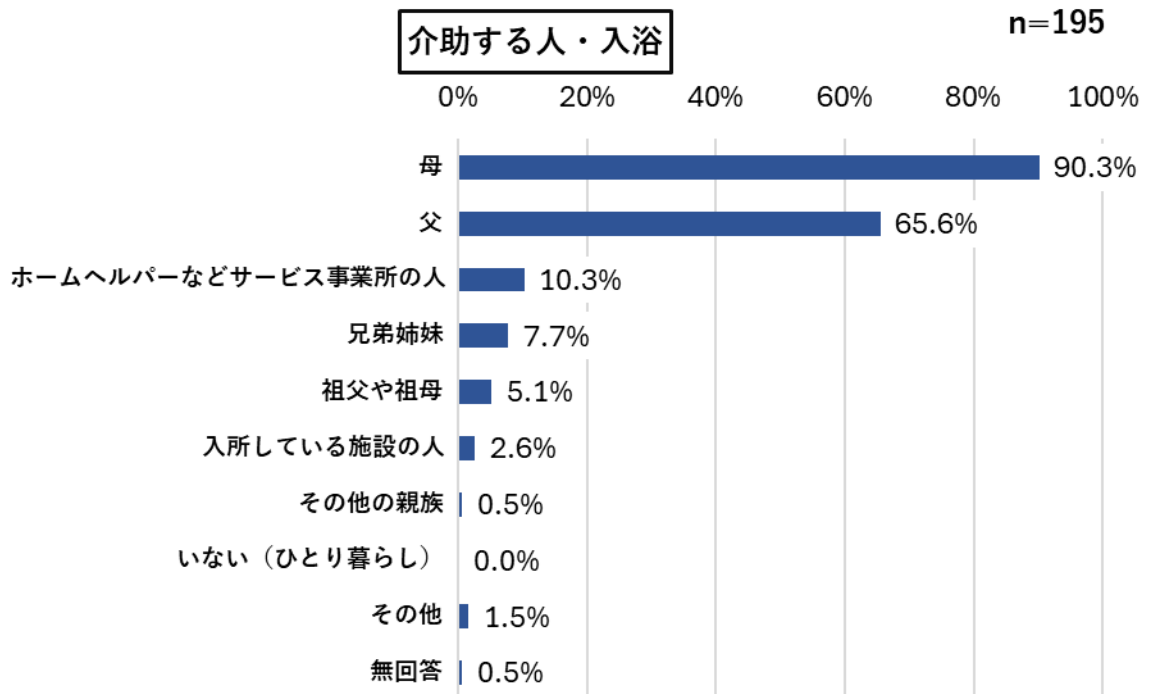


入浴

入浴については、「ひとりでできる」が53.5%となっている。



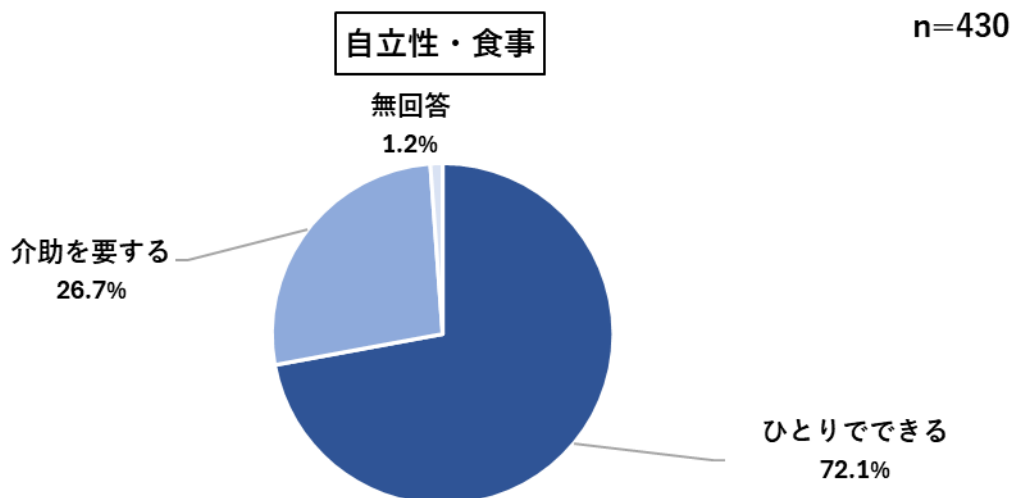
介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が90.3%と最も高く、次いで「父」が65.6%、「ホームヘルパーなど事業所の人」が10.3%となっている。



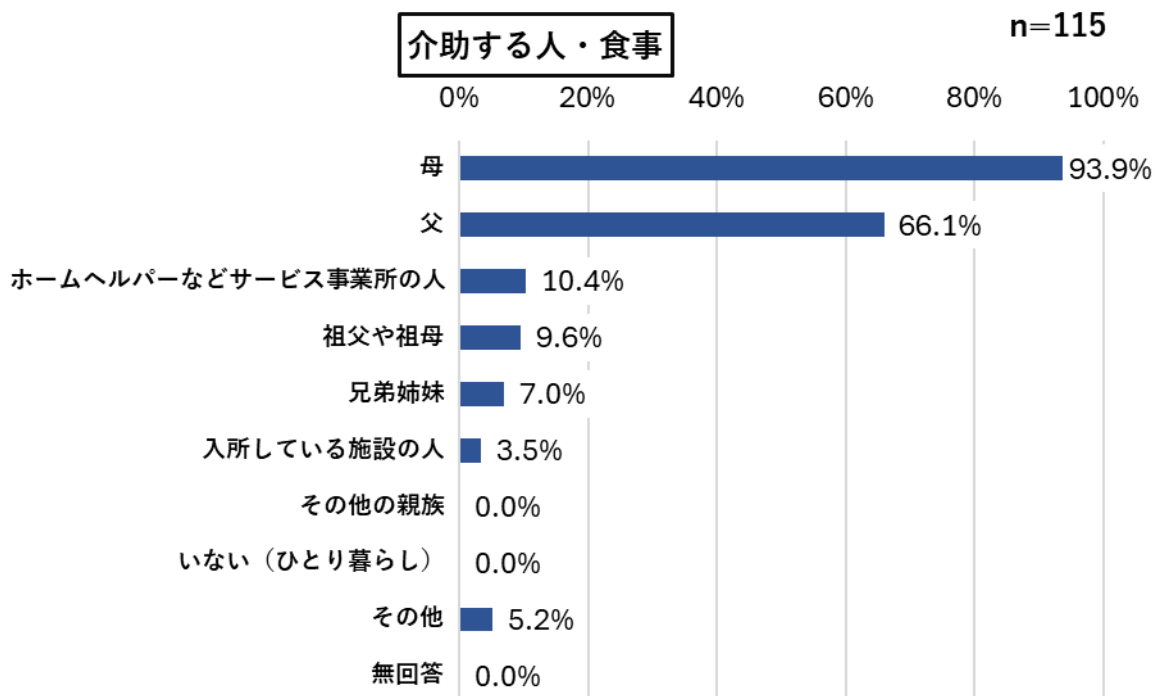
【2. 障がい児調査】

食事

食事については、「ひとりでできる」が72.1%となっている。

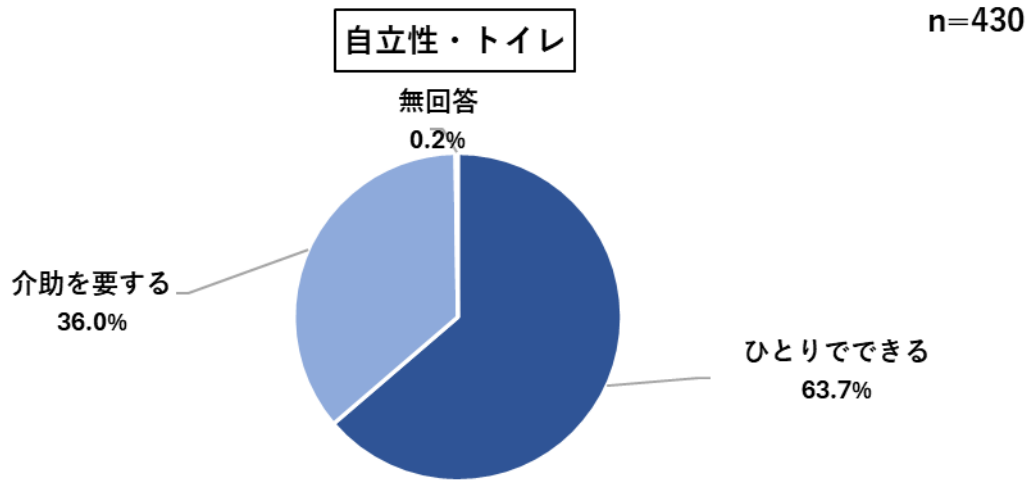


介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が93.9%と最も高く、次いで「父」が66.1%、「ホームヘルパーなどサービス事業所の人」が10.4%となっている。

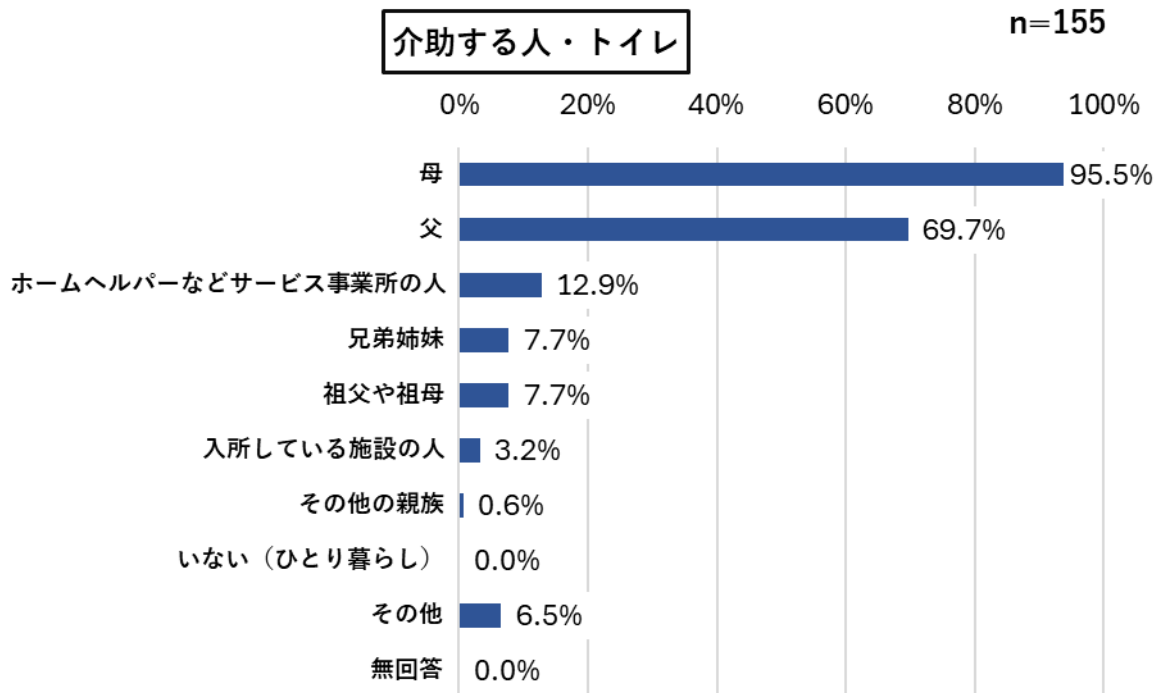


トイレ

トイレについては、「ひとりでできる」が63.7%となっている。



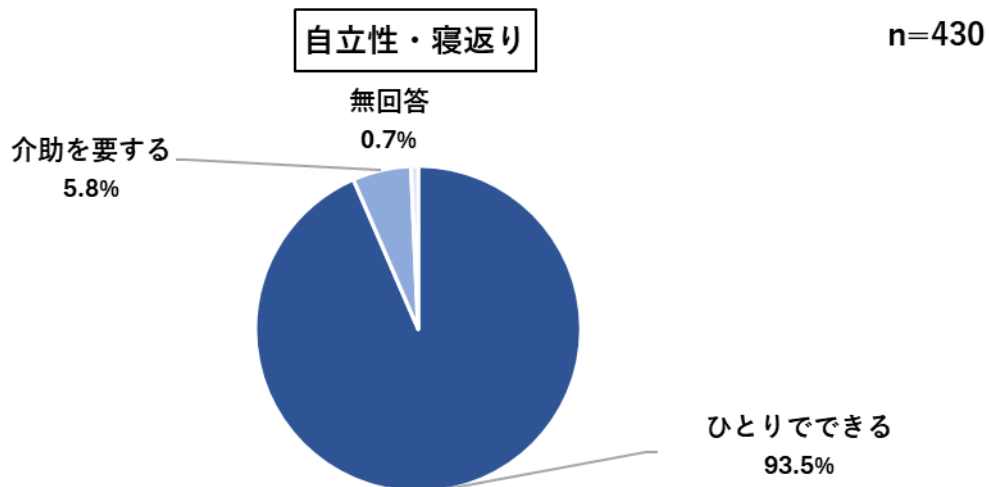
介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が95.5%と最も高く、次いで「父」が69.7%、「ホームヘルパーなど事業所の人」が12.9%となっている。



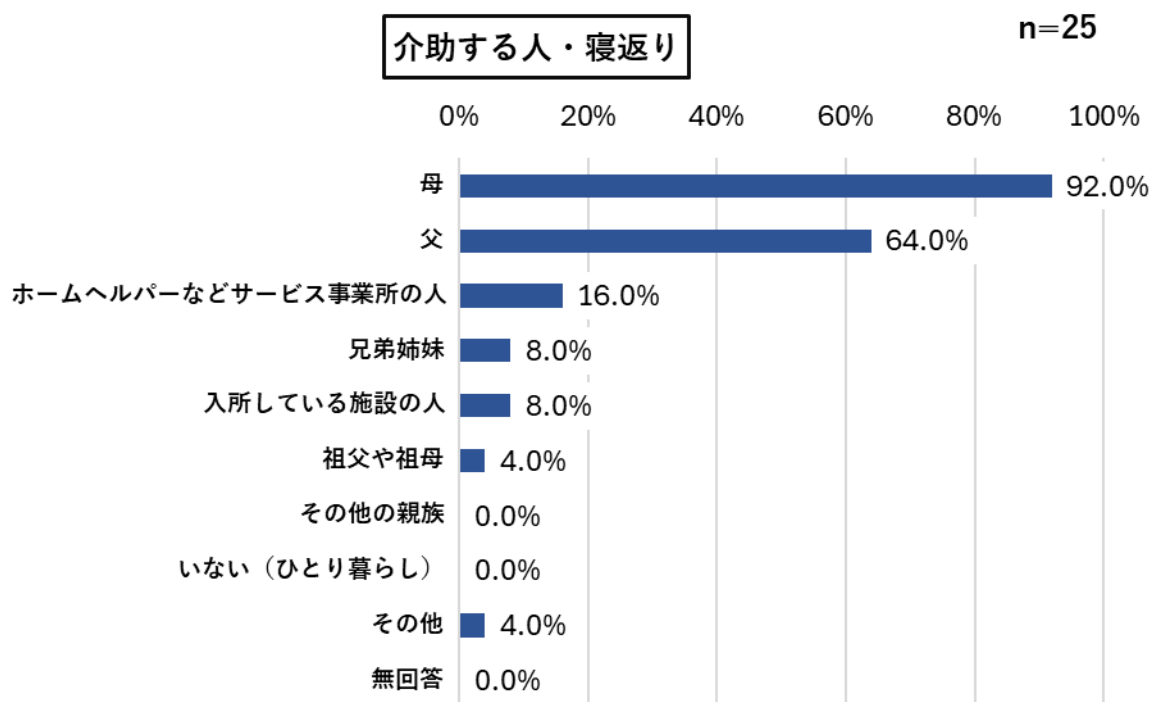
【2. 障がい児調査】

寝返り

寝返りについては、「ひとりでできる」が93.5%となっている。

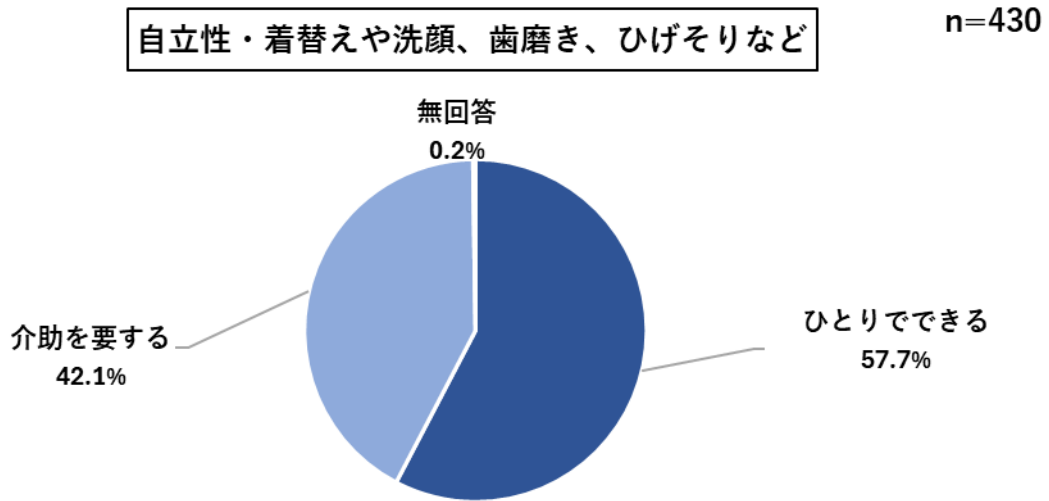


介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が92.0%と最も高く、次いで「父」が64.0%、「ホームヘルパーなど事業所の人」が16.0%となっている。

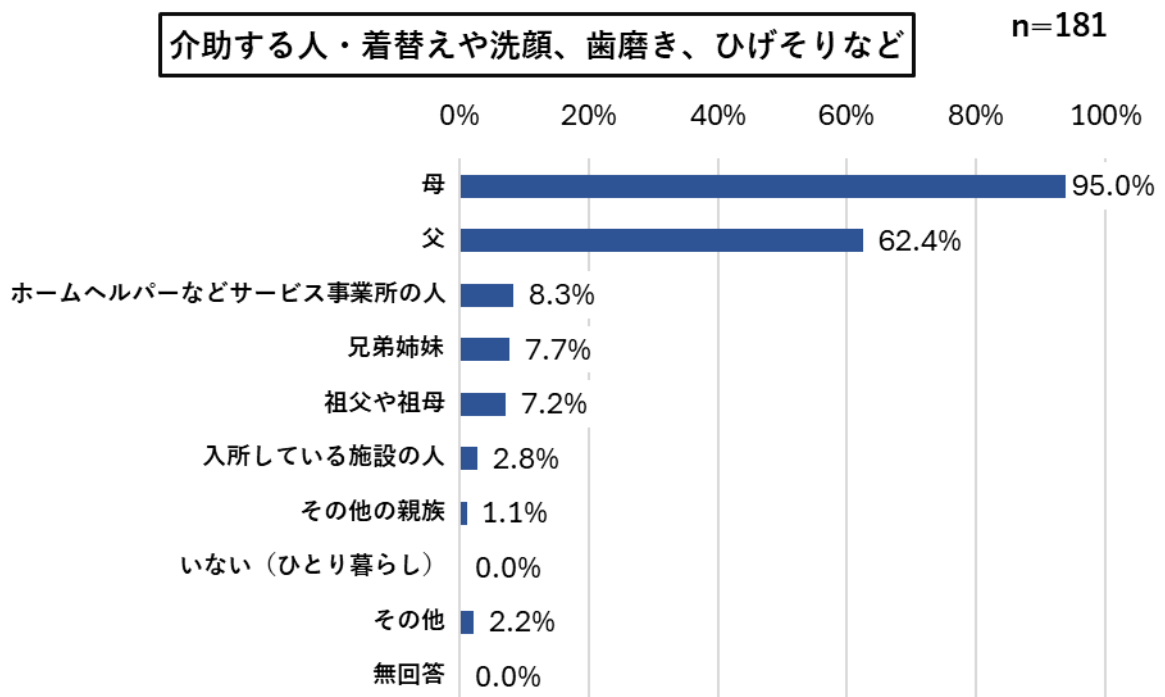


着替えや洗顔、歯磨き、ひげそりなど

着替えや洗顔、歯磨き、ひげそりなどについては、「ひとりでできる」が57.7%となっている。



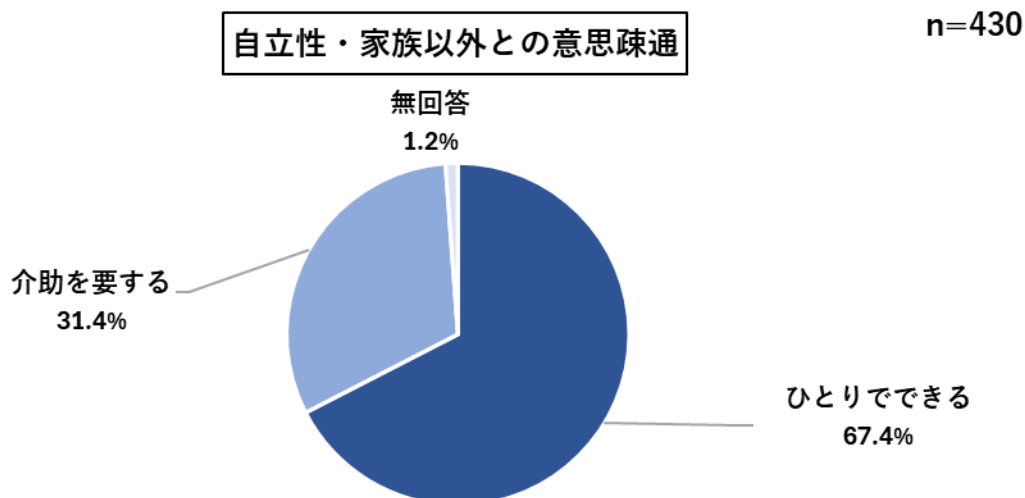
また、介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が95.0%と最も高く、次いで「父」が62.4%、「ホームヘルパーなど事業所の人」が8.3%となっている。



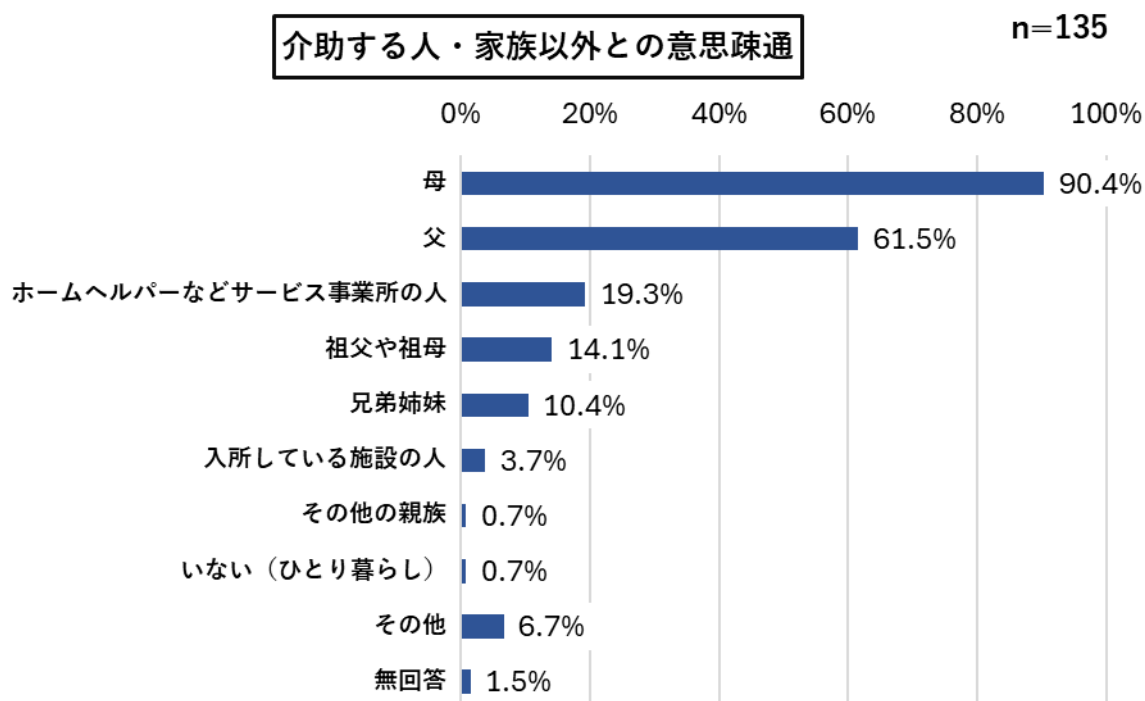
【2. 障がい児調査】

家族以外との意思疎通

家族以外との意思疎通については、「ひとりでできる」が67.4%となっている。

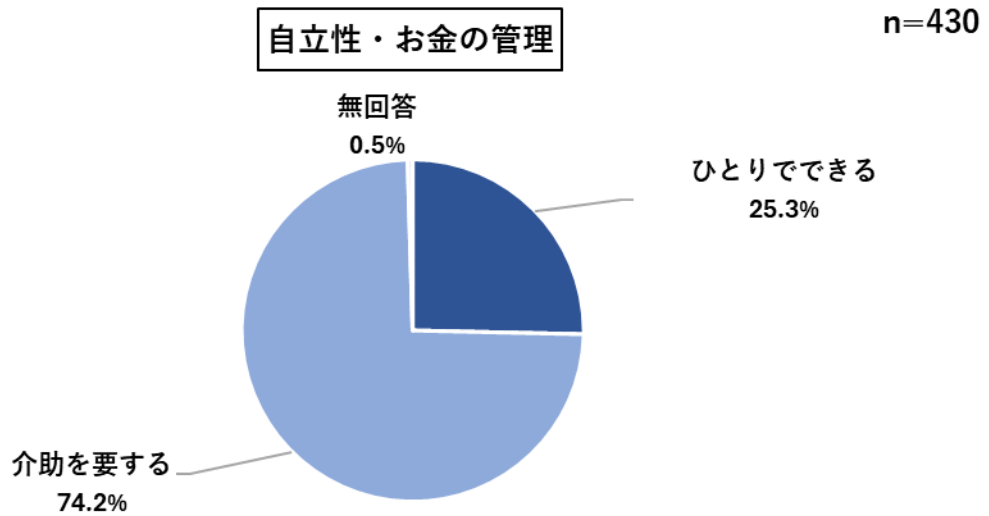


介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が90.4%と最も高く、次いで「父」が61.5%、「ホームヘルパーなど事業所の人」が19.3%となっている。

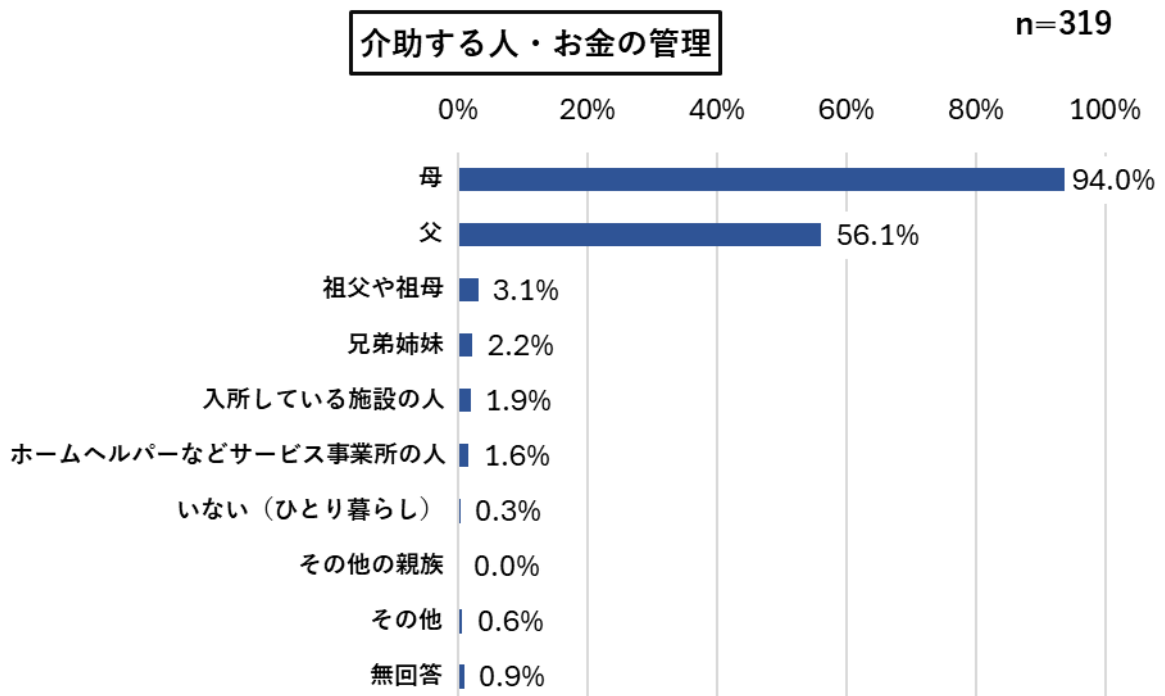


お金の管理

お金の管理については、「介助を要する」が74.2%となっている。



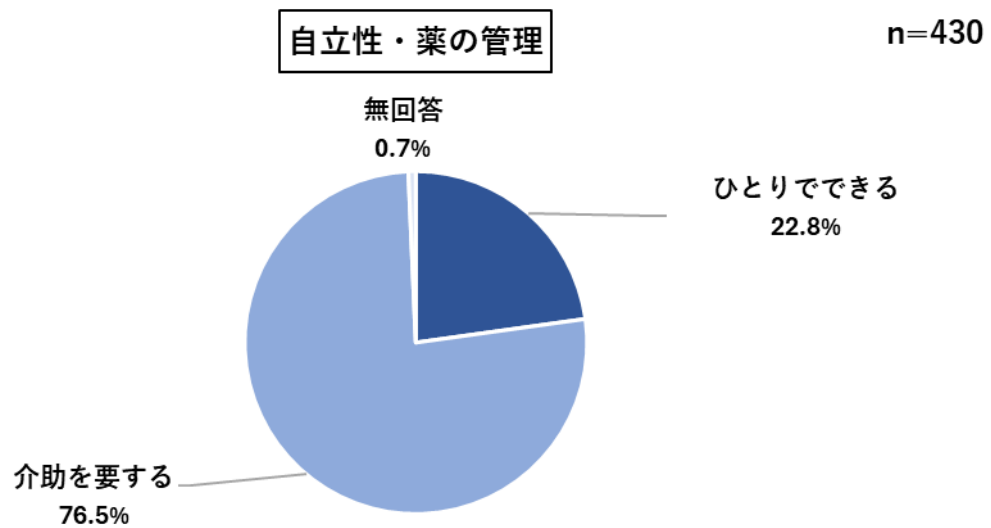
介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が94.0%と最も高く、次いで「父」が56.1%、「祖父や祖母」が3.1%となっている。



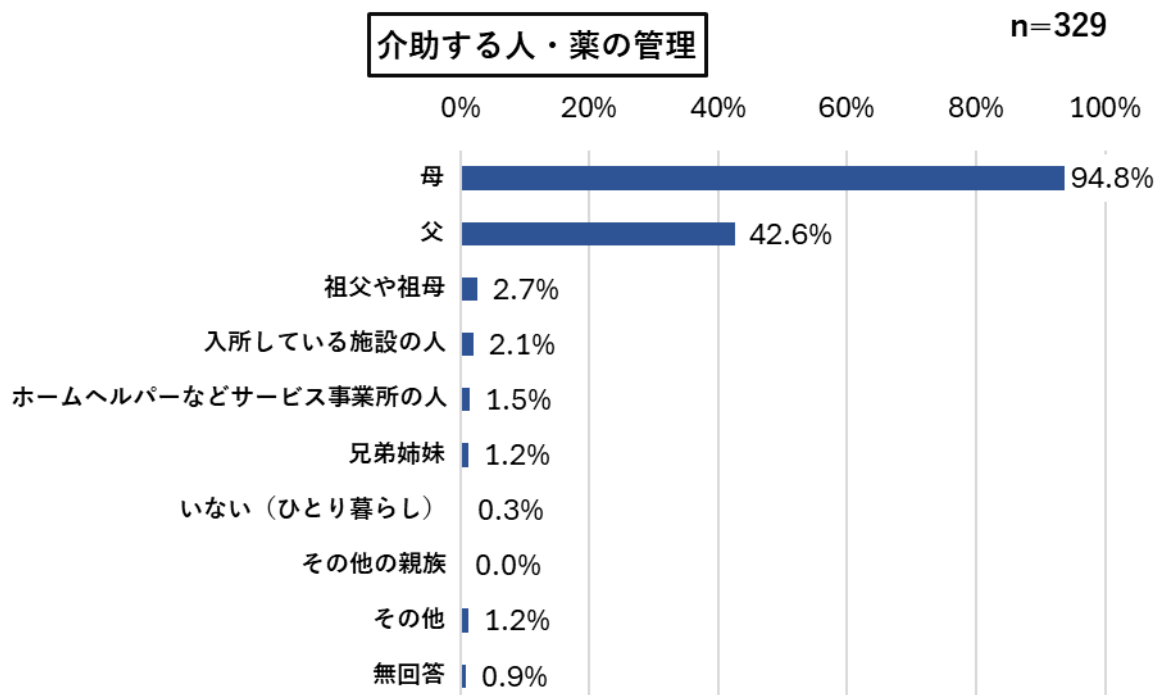
【2. 障がい児調査】

薬の管理

薬の管理については、「介助を要する」が76.5%となっている。

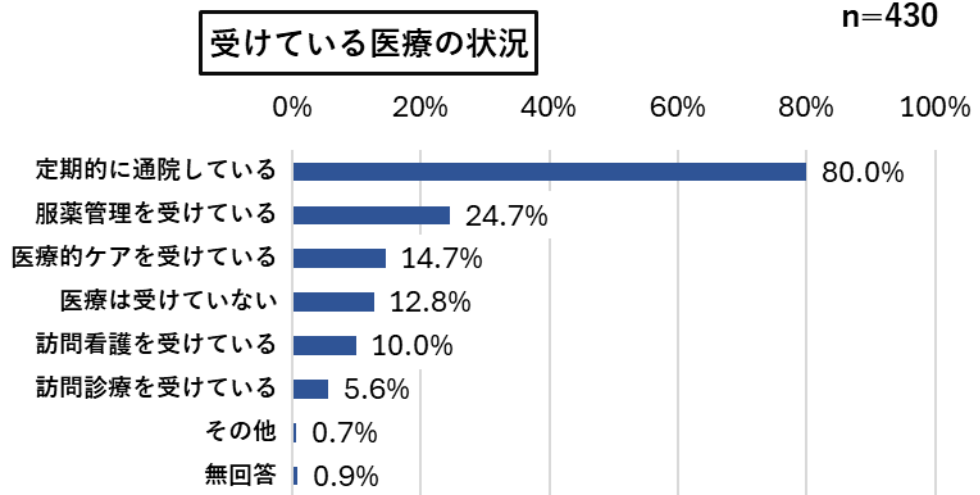


また、介助が必要な場合に誰が支援しているかについては、「母」が94.8%と最も高く、次いで「父」が42.6%、「祖父や祖母」が2.7%となっている。



問9 あなたが現在受けている医療の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

受けている医療の状況については、「定期的に通院している」が80.0%と最も高く、次いで「服薬管理を受けている」が24.7%、「医療的ケアを受けている」が14.7%となっている。



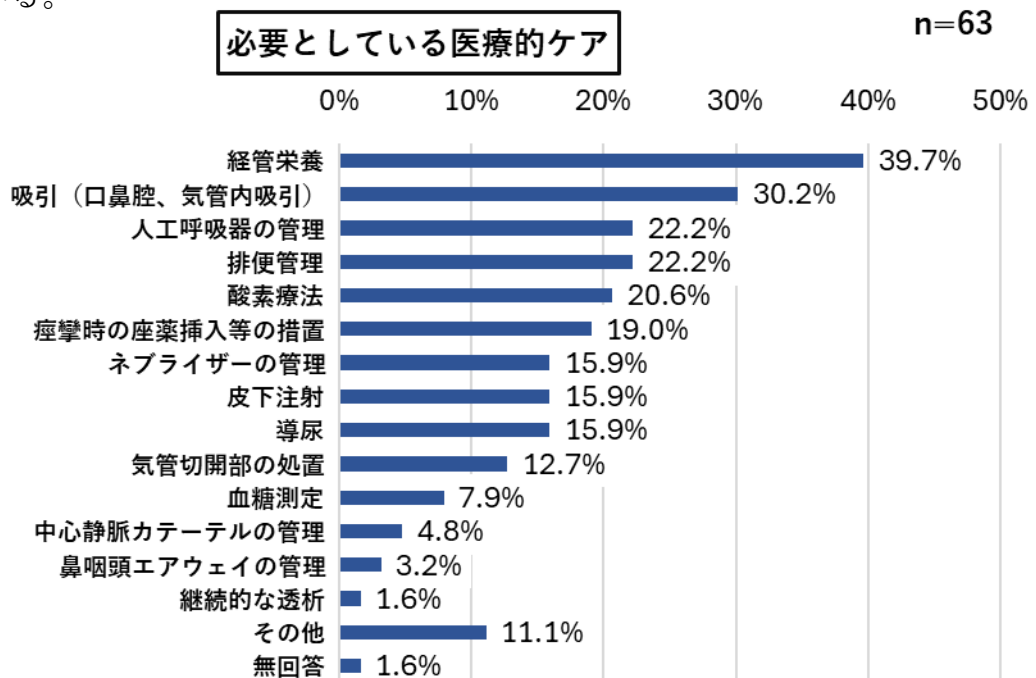
その他の回答の一部を抜粋する。

- 行動が気になる時の通院
- リハビリ

問9で「1 医療的ケアを受けている」と回答した人にお聞きします。

問10-1 あなたが現在必要としている、医療的ケアの種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

医療的ケアの種類については、「経管栄養」が39.7%と最も高く、次いで「吸引（口鼻腔、気管内吸引）」が30.2%、「人工呼吸器の管理」「排便管理」が22.2%となっている。

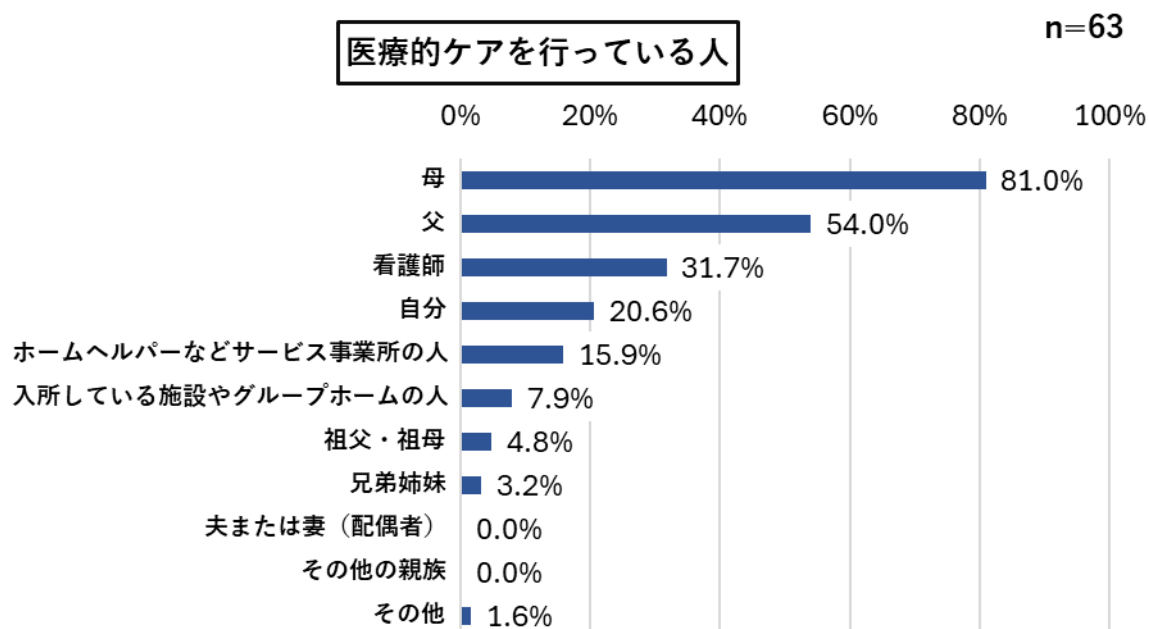


【2. 障がい児調査】

問9で「1 医療的ケアを受けている」と回答した人にお聞きします。

問10-2 あなたの医療的ケアを行っている人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。2～7を選んだ場合は、支援者の年代もお答えください。

医療的ケアを行っている人については、「母」が81.0%と最も高く、次いで「父」が54.0%、「看護師」が31.7%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

- 理学療法士
- 保育園看護師

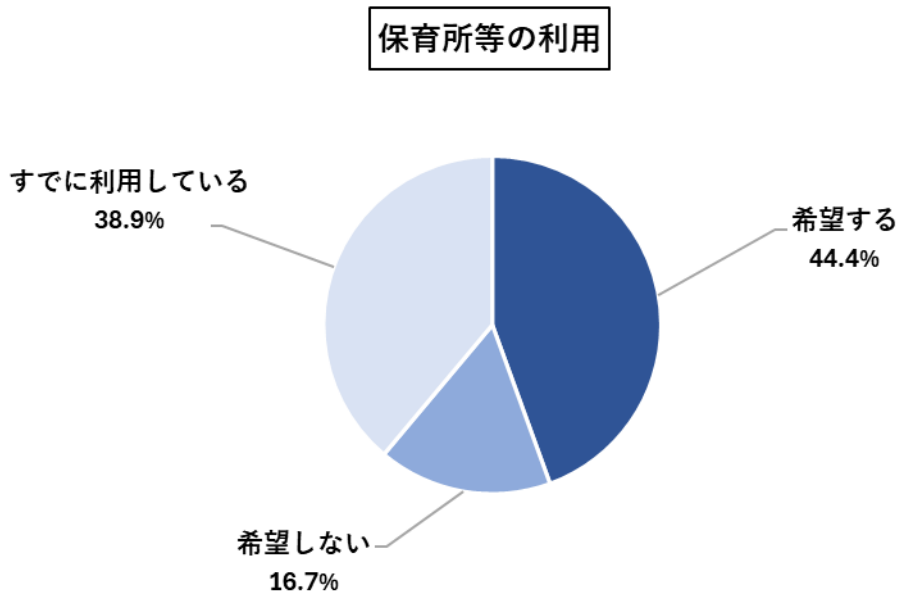
支援者の年代は下記のとおり。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
父	0.0%	0.0%	31.4%	54.3%	14.3%	0.0%	0.0%
母	0.0%	0.0%	40.4%	50.0%	9.6%	0.0%	0.0%
夫または妻（配偶者）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
兄弟姉妹	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
祖父・祖母	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
その他の親族	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問9で「1 医療的ケアを受けている」と回答した人にお聞きします。

問 10-3 小学校就学前のお子さんのいる保護者の方にお聞きします。医療的ケアを受けている小学校就学前のお子さんについて、定期的に保育所等を利用することを希望しますか。

保育所等の利用については、「希望する」が44.4%と最も高く、次いで「すでに利用している」が38.9%「希望しない」が16.7%となっている。

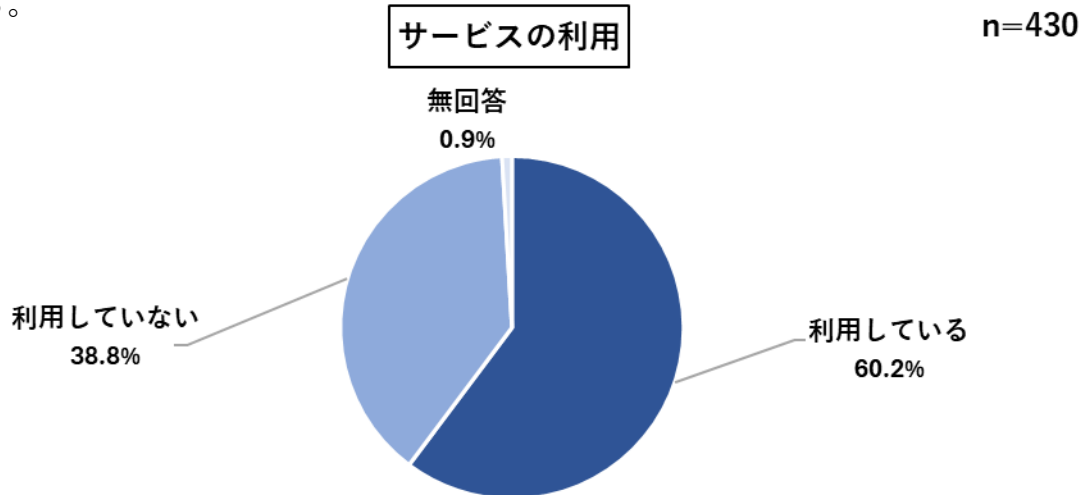


【2. 障がい児調査】

3 障がい福祉サービスについて

問 11 あなたは現在、居宅介護などの障がい福祉サービス（障害者総合支援法）、児童発達支援などの障がい児通所支援（児童福祉法）を利用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

サービスの利用については、「利用している」が60.2%と最も高く、次いで「利用していない」が38.8%、「無回答」が0.9%となっている。

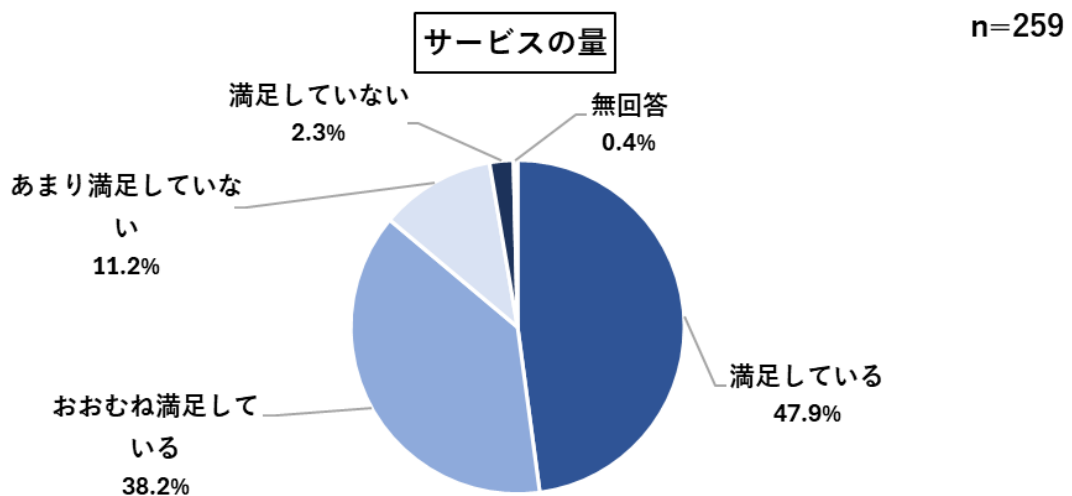


問 11 で「1利用している」と回答した人にお聞きします。

問 12 あなたは、現在受けている障がい福祉サービス（障害者総合支援法）または障がい児通所支援（児童福祉法）に満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数のサービスを利用されている方は、最も利用頻度の高いサービスについてお答えください。

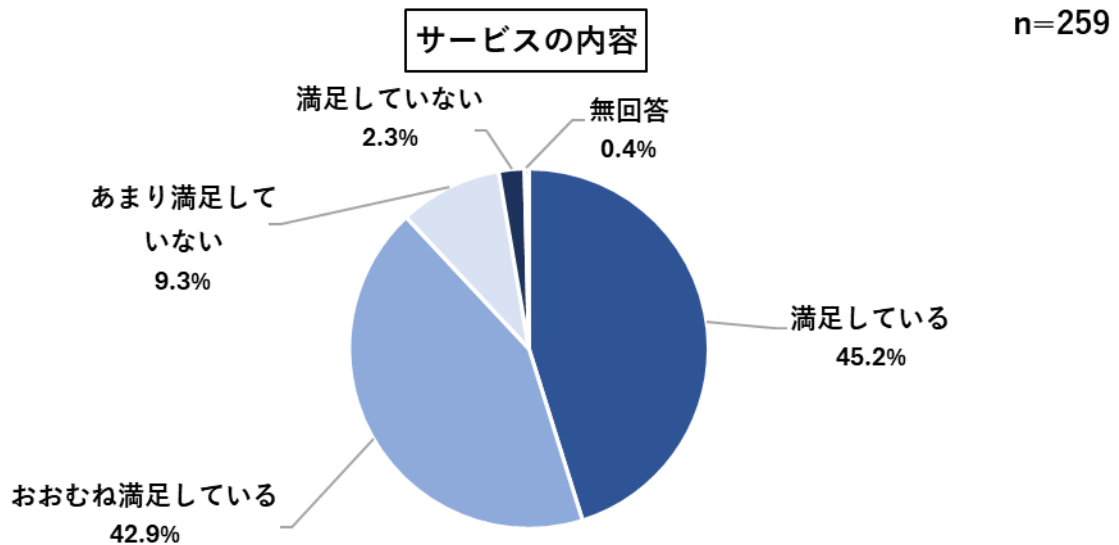
サービスの量

サービスの量については、「満足している」が47.9%と最も高く、次いで「おおむね満足している」が38.2%、「あまり満足していない」が11.2%となっている。



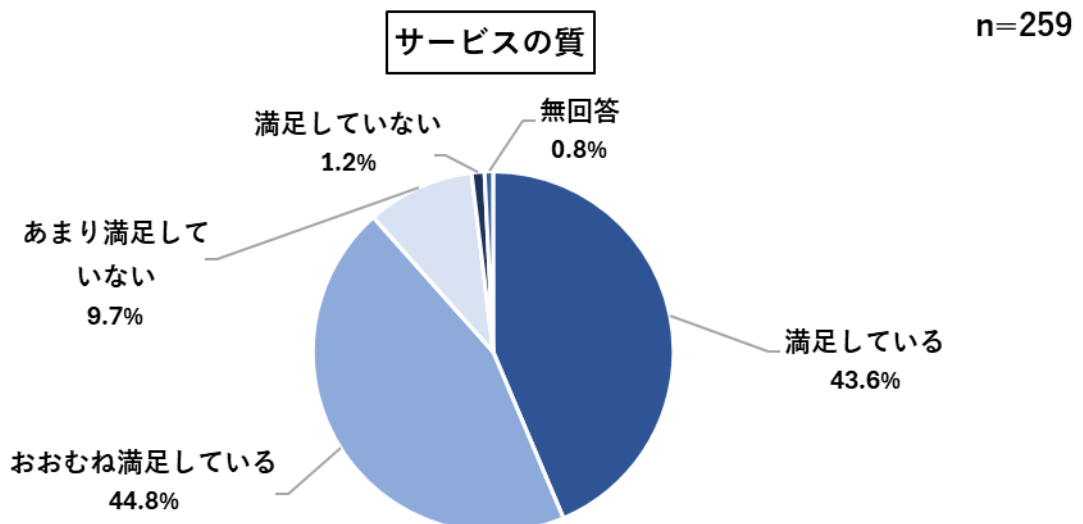
サービスの内容

サービスの内容については、「満足している」が45.2%と最も高く、次いで「おおむね満足している」が42.9%、「あまり満足していない」が9.3%となっている。



サービスの質

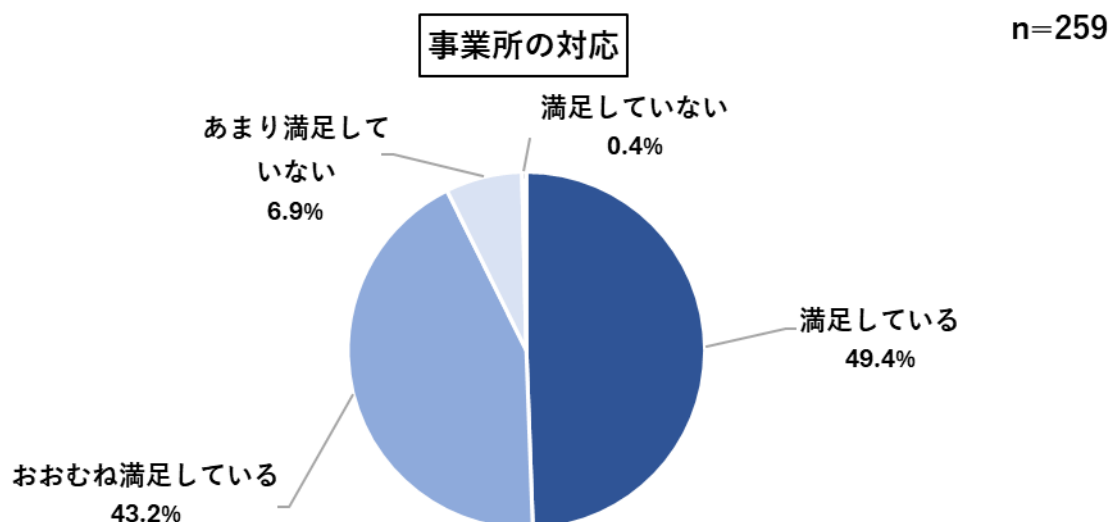
サービスの質については、「おおむね満足している」が44.8%と最も高く、次いで「満足している」が43.6%、「あまり満足していない」が9.7%となっている。



【2. 障がい児調査】

事業所の対応

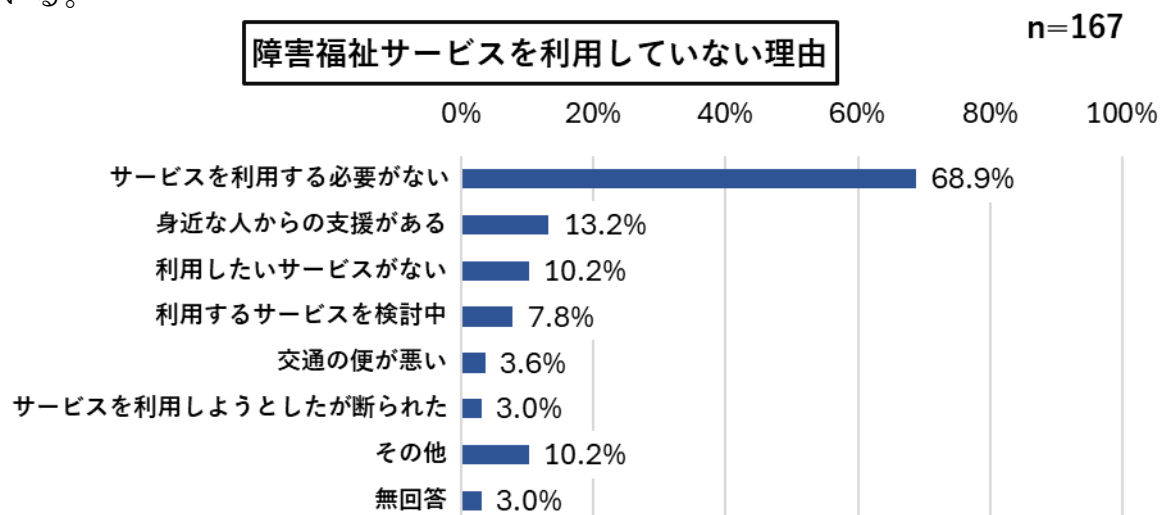
事業所の対応については、「満足している」が49.4%と最も高く、次いで「おおむね満足している」が43.2%、「あまり満足していない」が6.9%となっている。



問 11 で「2 利用していない」と回答した人にお聞きします。

問 13 利用していない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい福祉サービスを利用していない理由については、「サービスを利用する必要がない」が68.9%と最も高く、次いで「身近な人からの支援がある」が13.2%となっている。



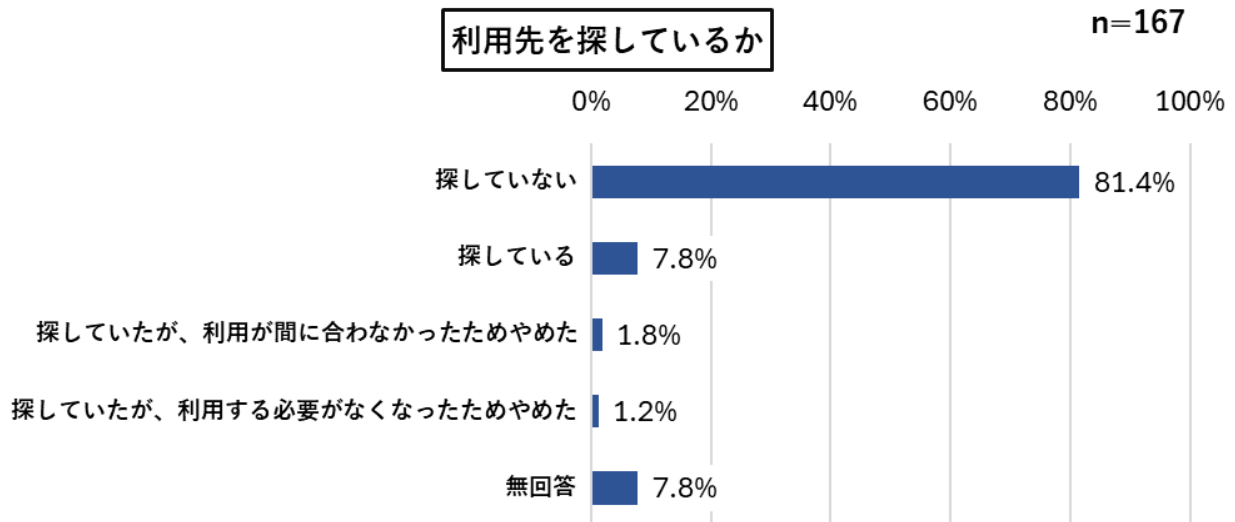
その他の回答の一部を抜粋する。

- サービス内容がわからない
- 本人の拒否
- 感染症への配慮
- 費用負担が高い
- 年齢・入所・部活等の事情

問 11 で「2 利用していない」と回答した人にお聞きします。

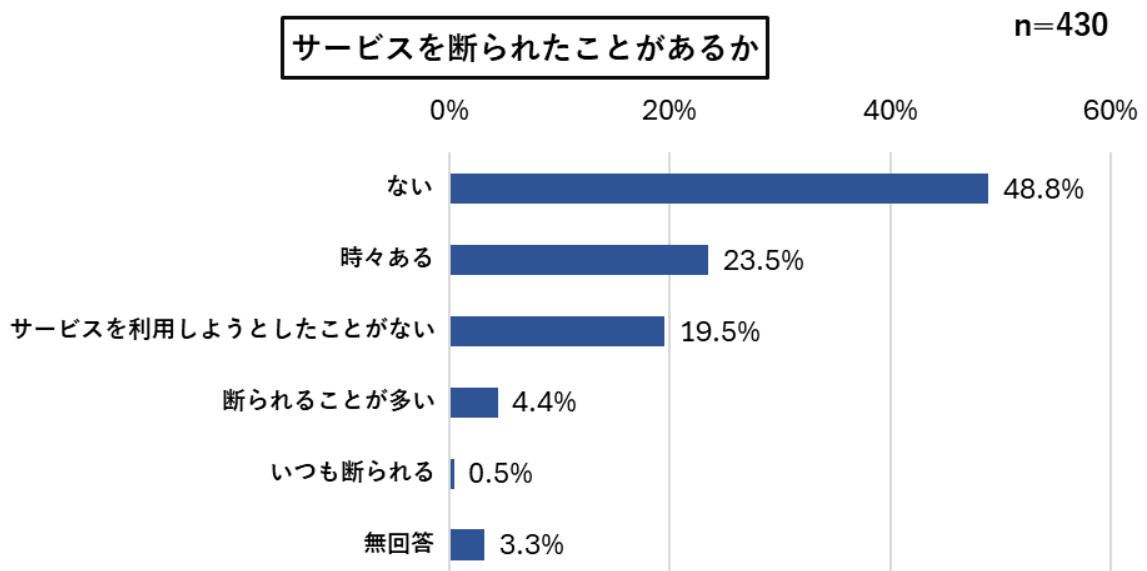
問 14 現在、利用先を探していますか。

受け入れ先を探しているかについては、「探していない」が 81.4%と最も高く、次いで「探している」「無回答」が 7.8%となっている。



問 15 サービスを利用しようとしたが断られたことはありますか。

断られた経験については、「ない」が 48.8%と最も高く、次いで「時々ある」が 23.5%、「サービスを利用しようとしたことがない」が 19.5%となっている。

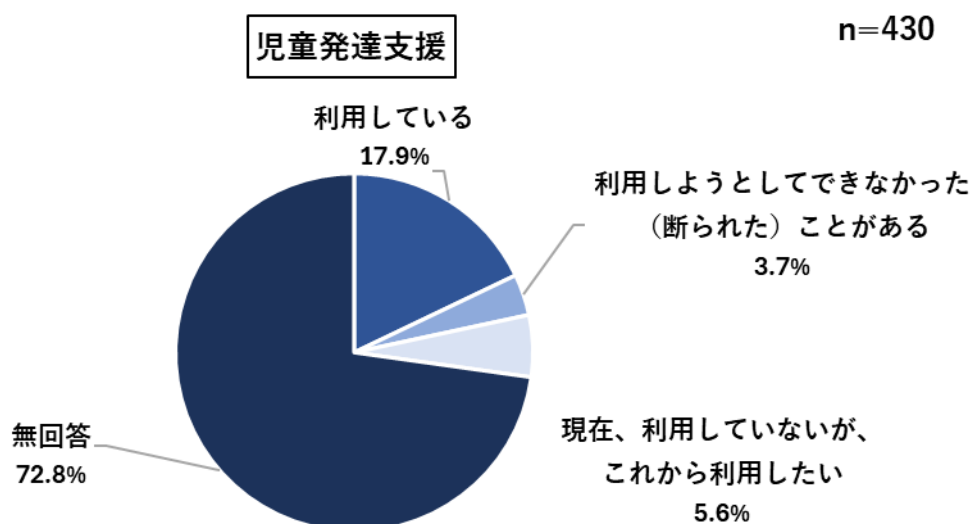


【2. 障がい児調査】

問 16 次のサービスについて、あてはまるものがあれば○をつけてください。
(児童発達支援について)

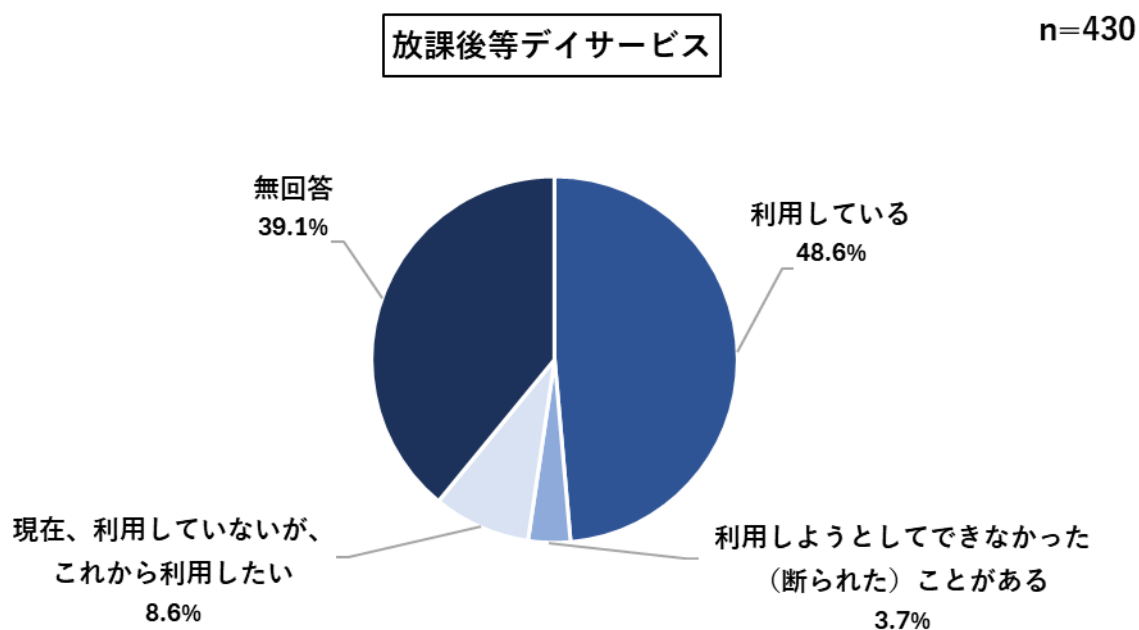
児童発達支援

児童発達支援については、「利用している」が17.9%と最も高く、次いで「現在、利用していないが、これから利用したい」が5.6%、「利用しようとしてできなかった（断られた）ことがある」が3.7%となっている。



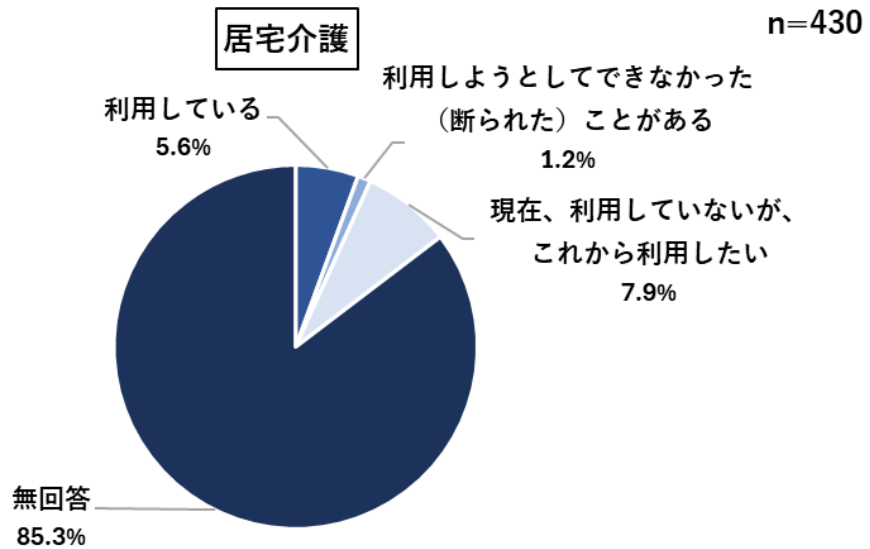
放課後等デイサービス

放課後等デイサービスについては、「利用している」が48.6%と最も高く、次いで「現在、利用していないが、これから利用したい」が8.6%、「利用しようとしてできなかった（断られた）ことがある」が3.7%となっている。



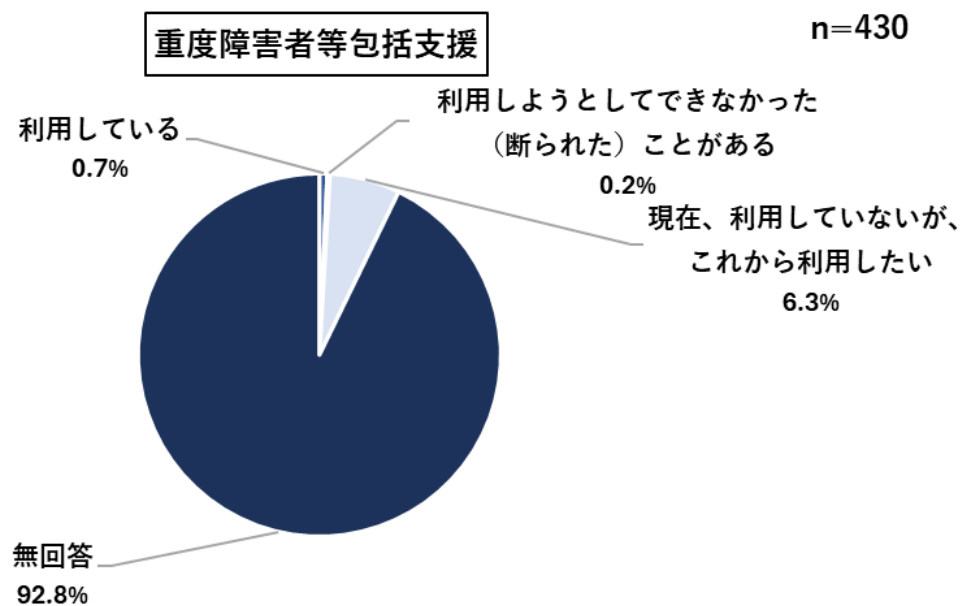
居宅介護

居宅介護については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が7.9%と最も高く、次いで「利用している」が5.6%、「利用しようとしてできなかった（断られた）ことがある」が1.2%となっている。



重度障害者等包括支援

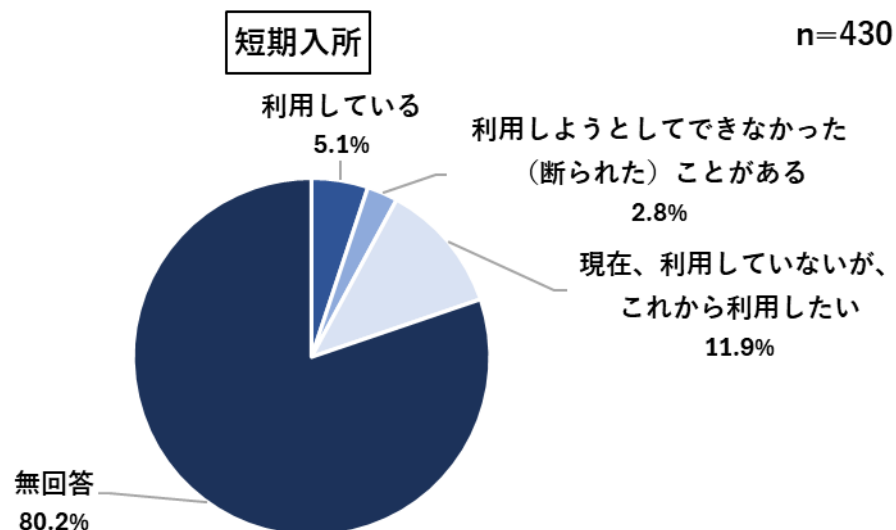
重度障害者等包括支援については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が6.3%と最も高く、次いで「利用している」が0.7%、「利用しようとしてできなかった（断られた）ことがある」が0.2%となっている。



【2. 障がい児調査】

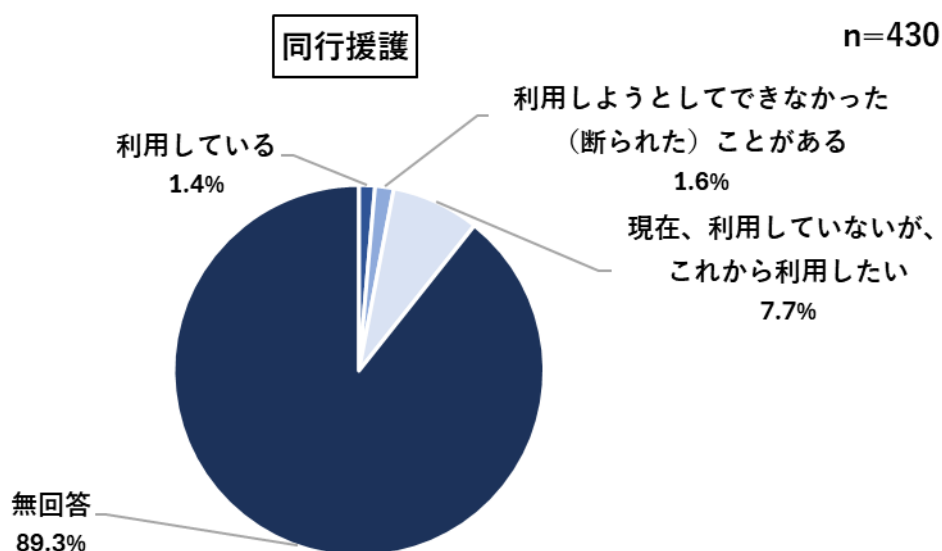
短期入所

短期入所については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が11.9%と最も高く、次いで「利用している」が5.1%、「利用しようとしてできなかった（断られた）ことがある」が2.8%となっている。



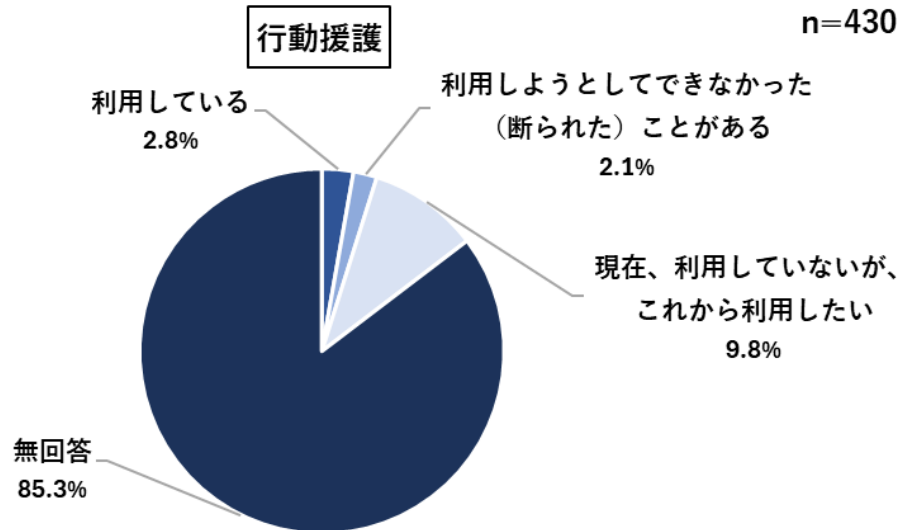
同行援護

同行援護については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が7.7%と最も高く、次いで「利用しようとしてできなかった（断られた）ことがある」が1.6%、「利用している」が1.4%となっている。



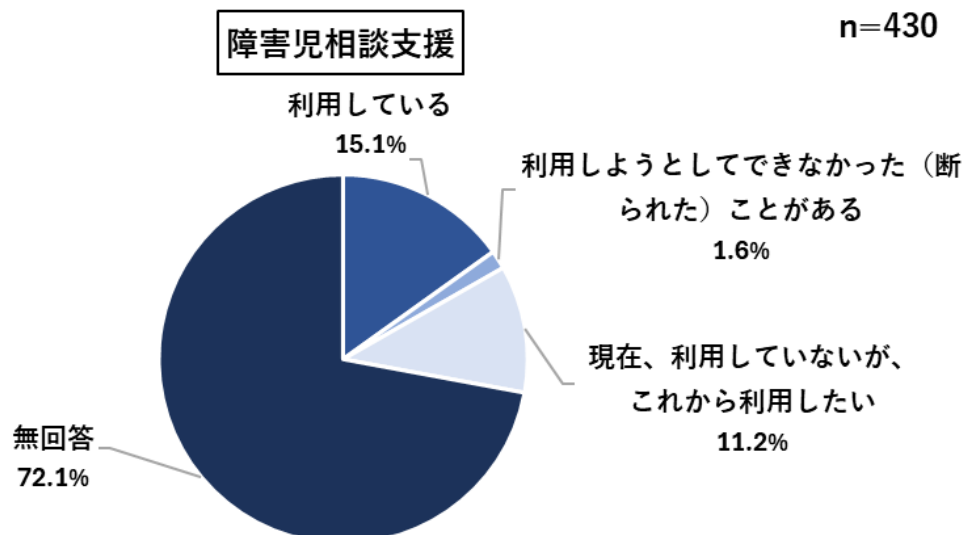
行動援護

行動援護については、「現在、利用していないが、これから利用したい」が9.8%と最も高く、次いで「利用している」が2.8%、「利用しようとしてできなかった（断られた）ことがある」が2.1%となっている。



障害児相談支援

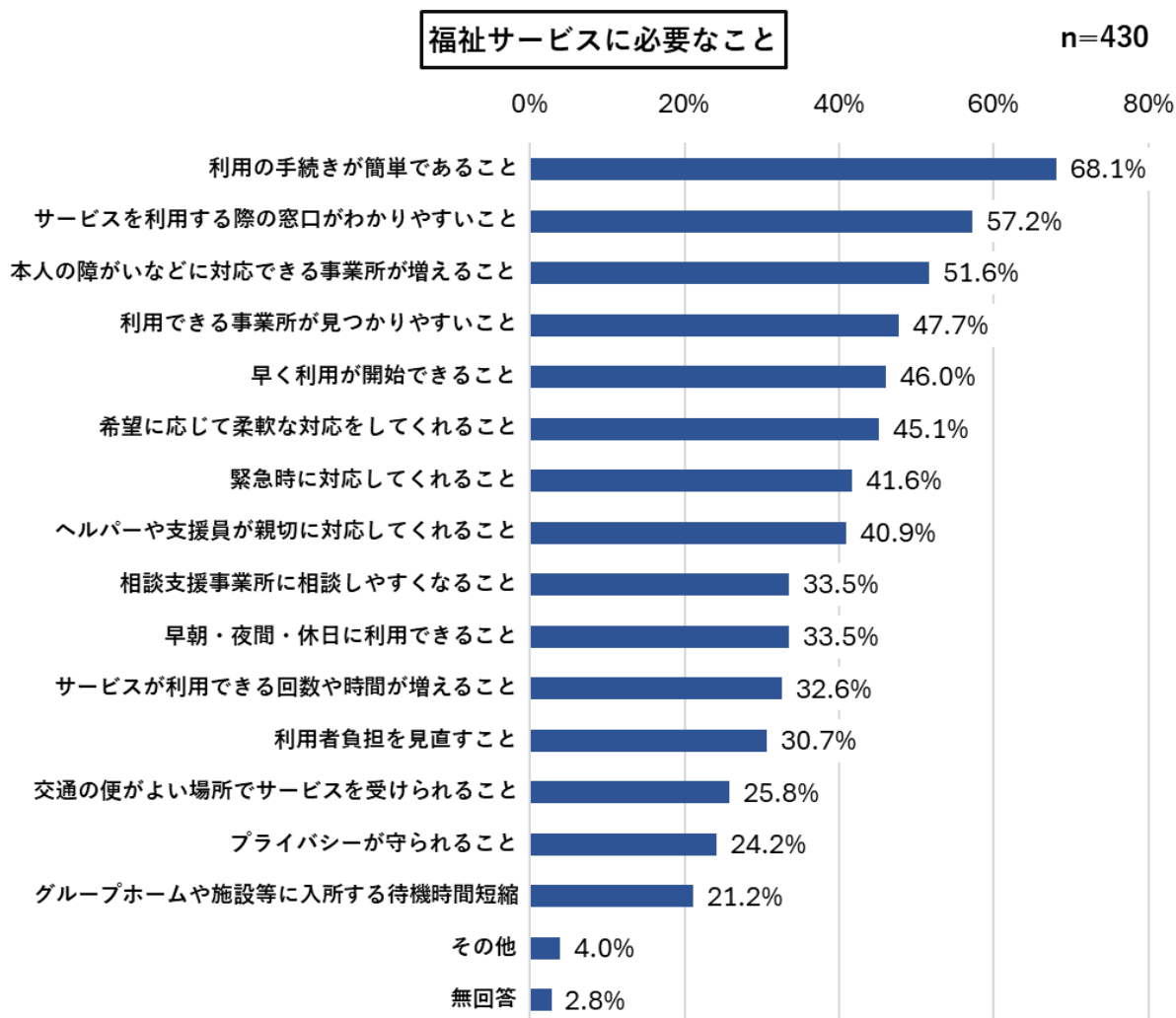
障害児相談支援については、「利用している」が15.1%と最も高く、次いで「現在、利用していないが、これから利用したい」が11.2%、「利用しようとしてできなかった（断られた）ことがある」が1.6%となっている。



【2. 障がい児調査】

問 17 あなたや保護者の方は、福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

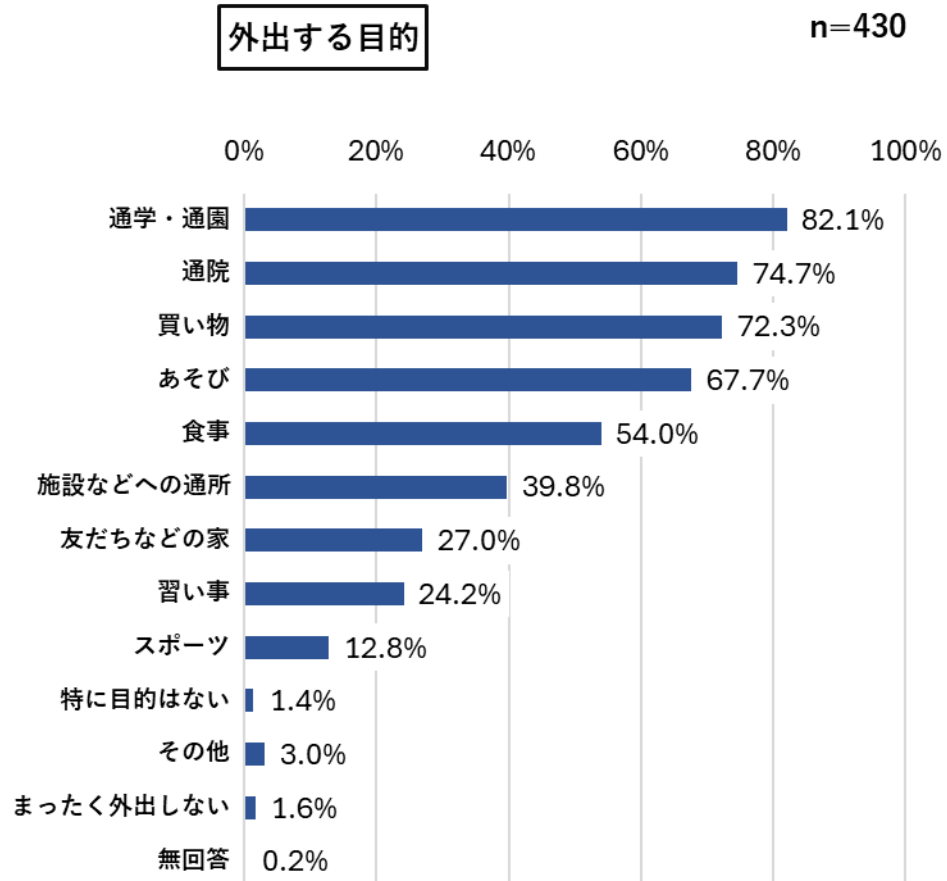
福祉サービスを利用しやすくするために必要な事項については、「利用の手続きが簡単であること（利用手続きの簡素化）」が68.1%と最も高く、次いで「サービスを利用する際の窓口がわかりやすいこと」が57.2%、「本人の障がいなどに対応できる事業所が増えること」が51.6%となっている。



4 外出の状況について

問 18 あなたが外出する目的は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

外出の目的については、「通学・通園」が82.1%と最も高く、次いで「通院」が74.7%、「買い物」が72.3%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

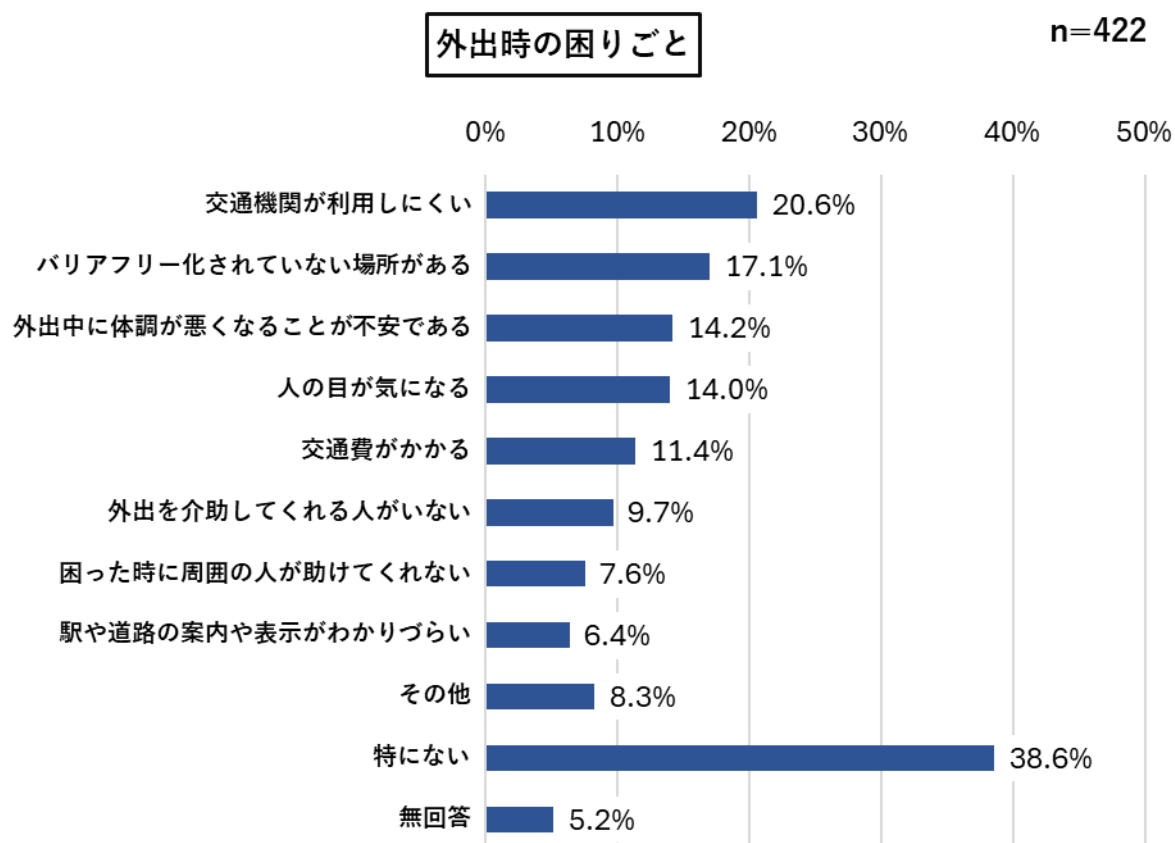
- 近所・公園の散歩・ウォーキング
- 仕事・アルバイト・塾
- 犬の散歩
- 施設や学校の行事・外出体験などの参加

【2. 障がい児調査】

問 18 で「まったく外出しない」以外を選んだ人にお聞きします。

問 19 外出するときに困っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

外出時の困りごとについては、「特にない」が 38.6%と最も高く、次いで「交通機関が利用しにくい」が 20.6%、「バリアフリー化されていない場所がある」が 17.1%となっている。

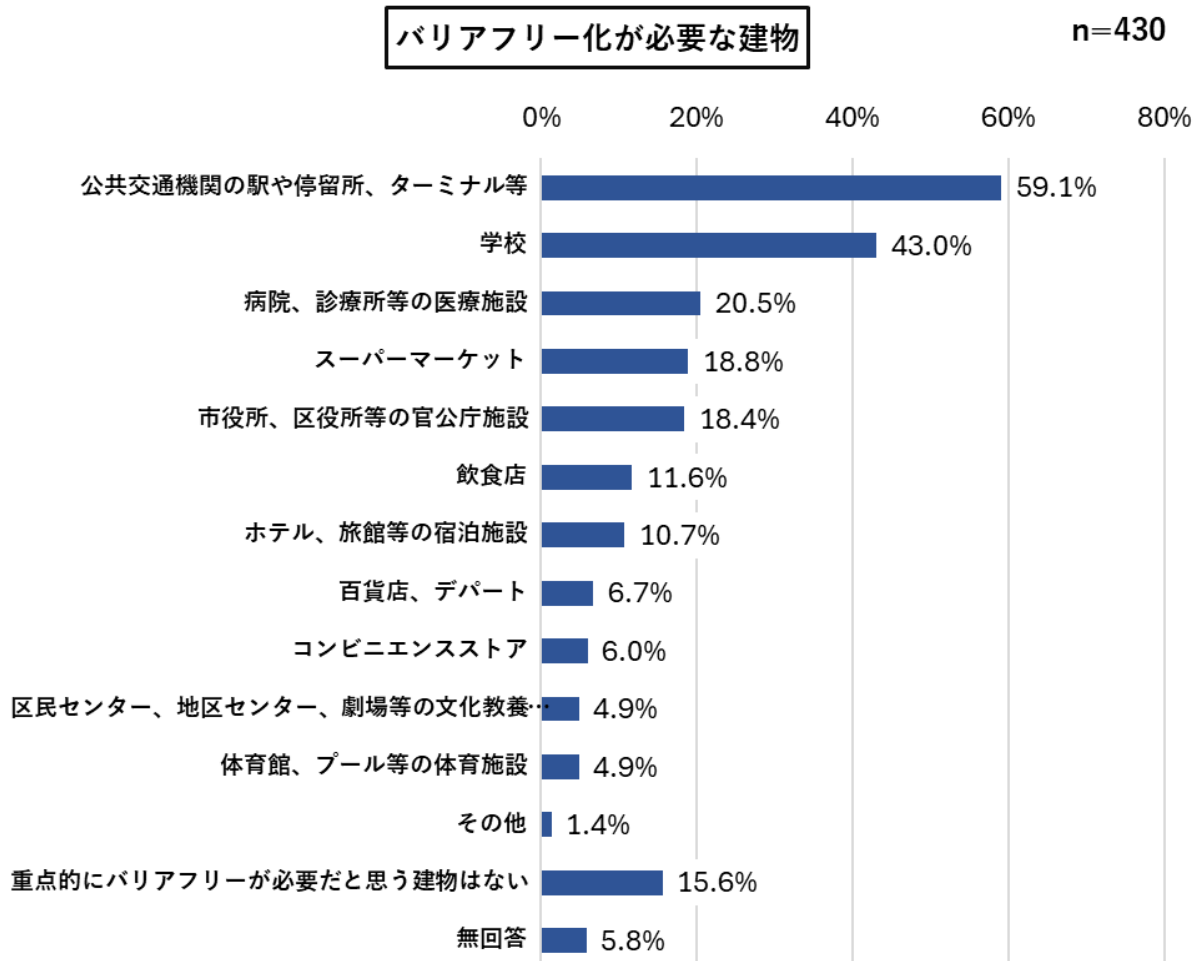


その他の回答の一部を抜粋する。

- トイレのユニバーサルシート不足
- 雪道での車椅子の通学手段がない
- 車椅子用駐車場の健常者利用

問 20 あなたは今後、特にどの建物を優先してバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

バリアフリー化が必要な施設については、「公共交通機関（地下鉄・バス・市電）の駅や停留所、ターミナル等」が59.1%と最も高く、次いで「学校」が43.0%、「病院、診療所等の医療施設」が20.5%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

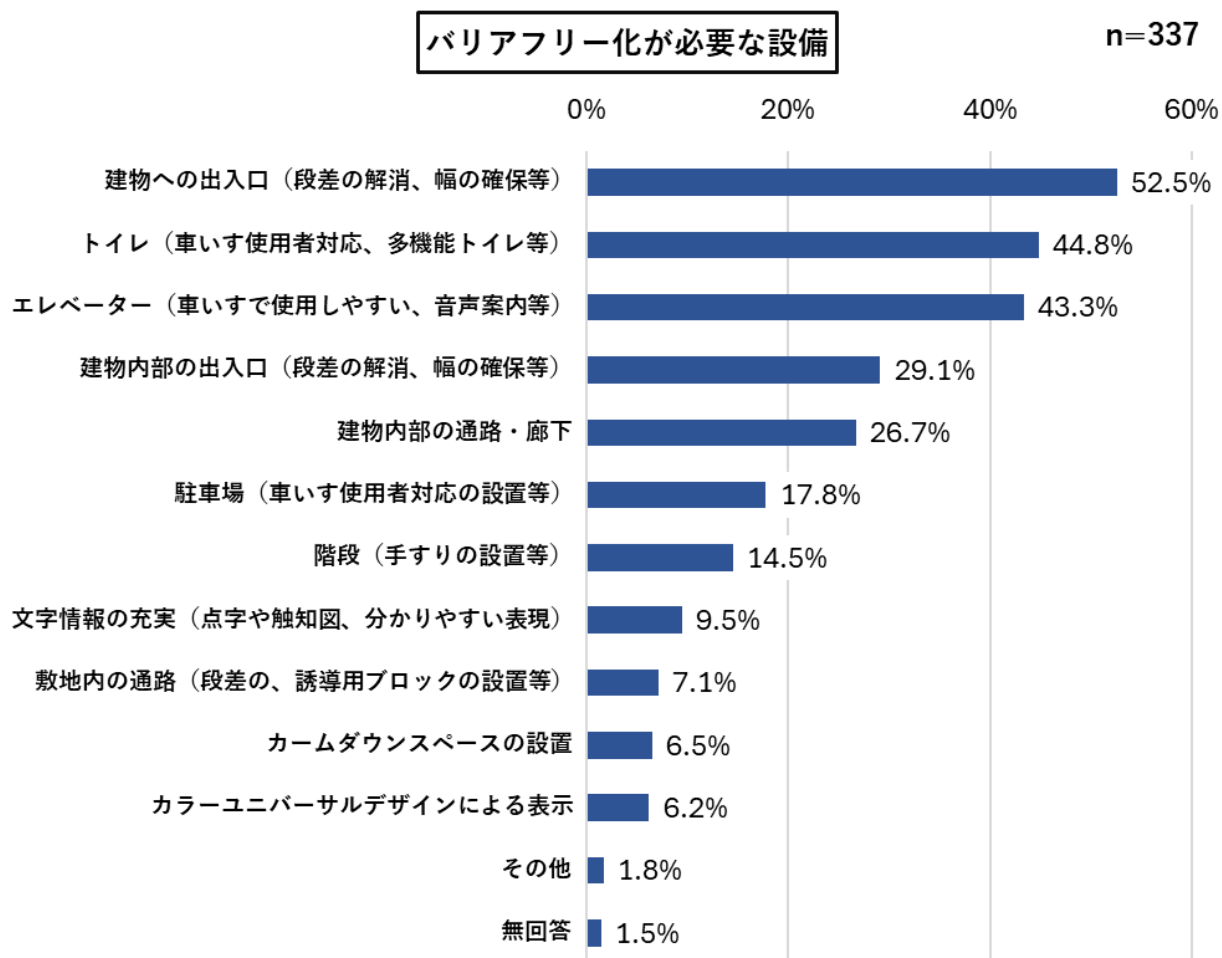
- 古い観光名所
- 大規模なイベントが開催される施設
- 階段しかない無人駅
- 郵便局や銀行(駐車場から建物へ冬は車椅子が使えない)

【2. 障がい児調査】

問 20 で「1 2 重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思う建物はなし」「1 3 その他」以外をひとつでも選んだ人にお聞きします

問 21 あなたは、問 20 で選択した建物について、今後、特にどの設備を優先してバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

バリアフリー化が必要な設備については、「建物への出入口」が 52.5%と最も高く、次いで「トイレ」が 44.8%、「エレベーター」が 43.3%となっている。



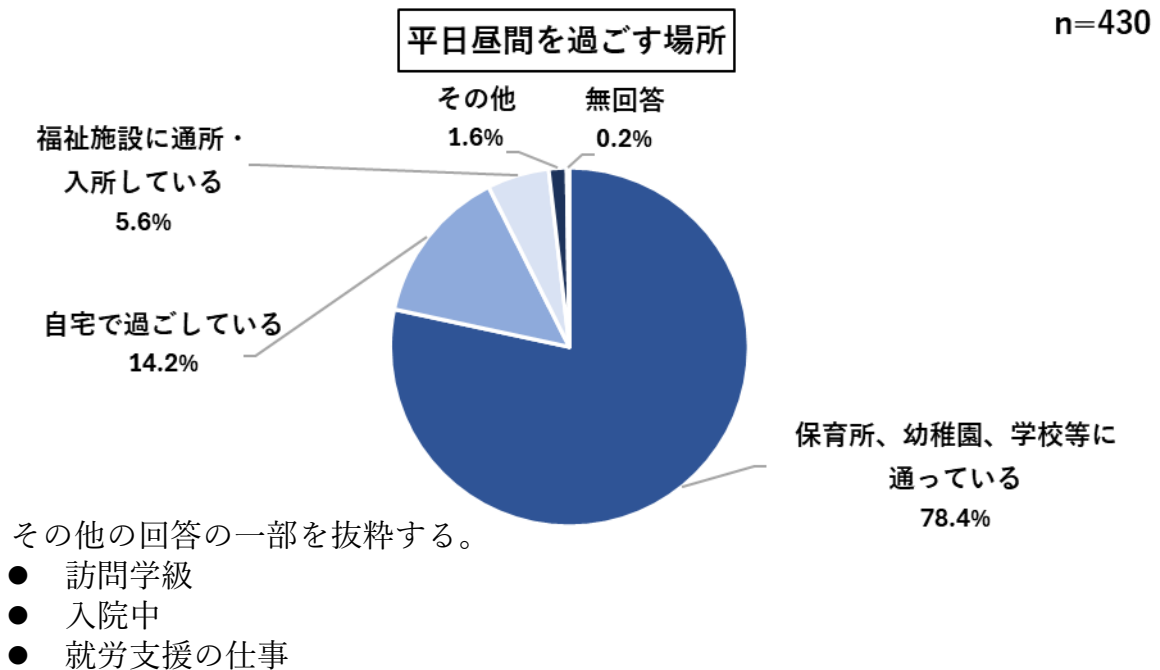
その他の回答の一部を抜粋する。

- 自動ドアを両開きでゆっくり閉まるようにしてほしい
- トイレのユニバーサルシートの設置

5 学校・日中の過ごし方などについて

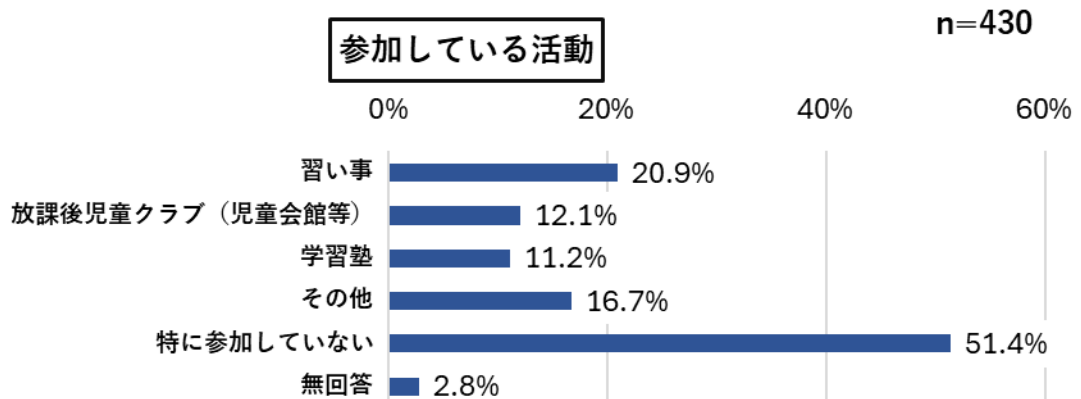
問 22 あなたは、平日の昼間を主にどこで過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

平日の昼間に過ごす場所については、「保育所、幼稚園、学校等に通っている」が78.4%と最も高く、次いで「自宅で過ごしている」が14.2%、「福祉施設に通所・入所している」が5.6%となっている。



問 23 あなたが参加している活動や通っている場所について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

参加している活動や通っている場所については、「特に参加していない」が51.4%と最も高く、次いで「習い事」が20.9%、「その他」が16.7%となっている。



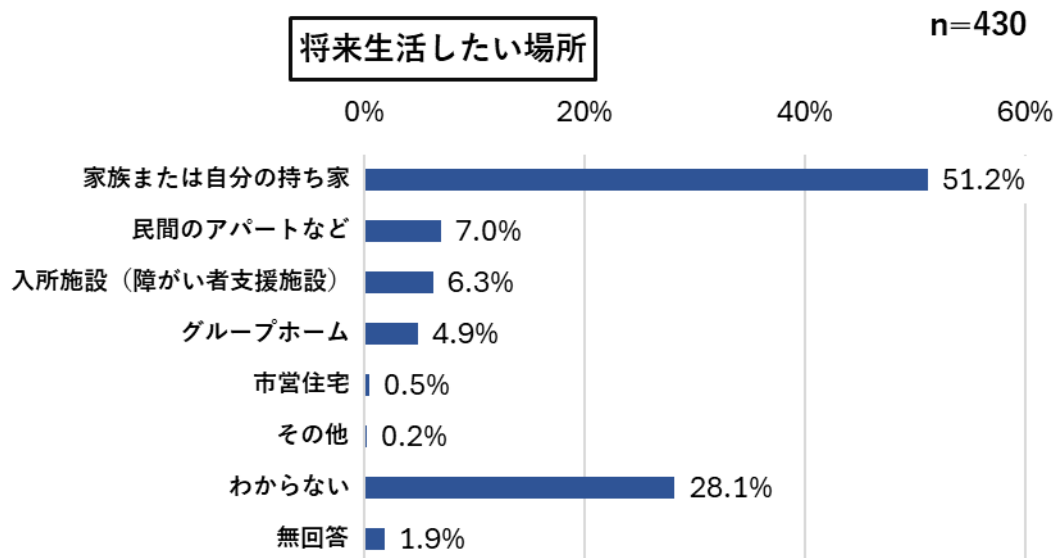
その他の回答の一部を抜粋する。

- 部活動
- 児童発達支援
- 放課後デイサービス

【2. 障がい児調査】

問 24 あなたは将来、どのような場所で生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

どのような場所で生活したいかについては、「家族または自分の持ち家」が51.2%と最も高く、次いで「わからない」が28.1%、「民間のアパートなど」が7.0%となっている。

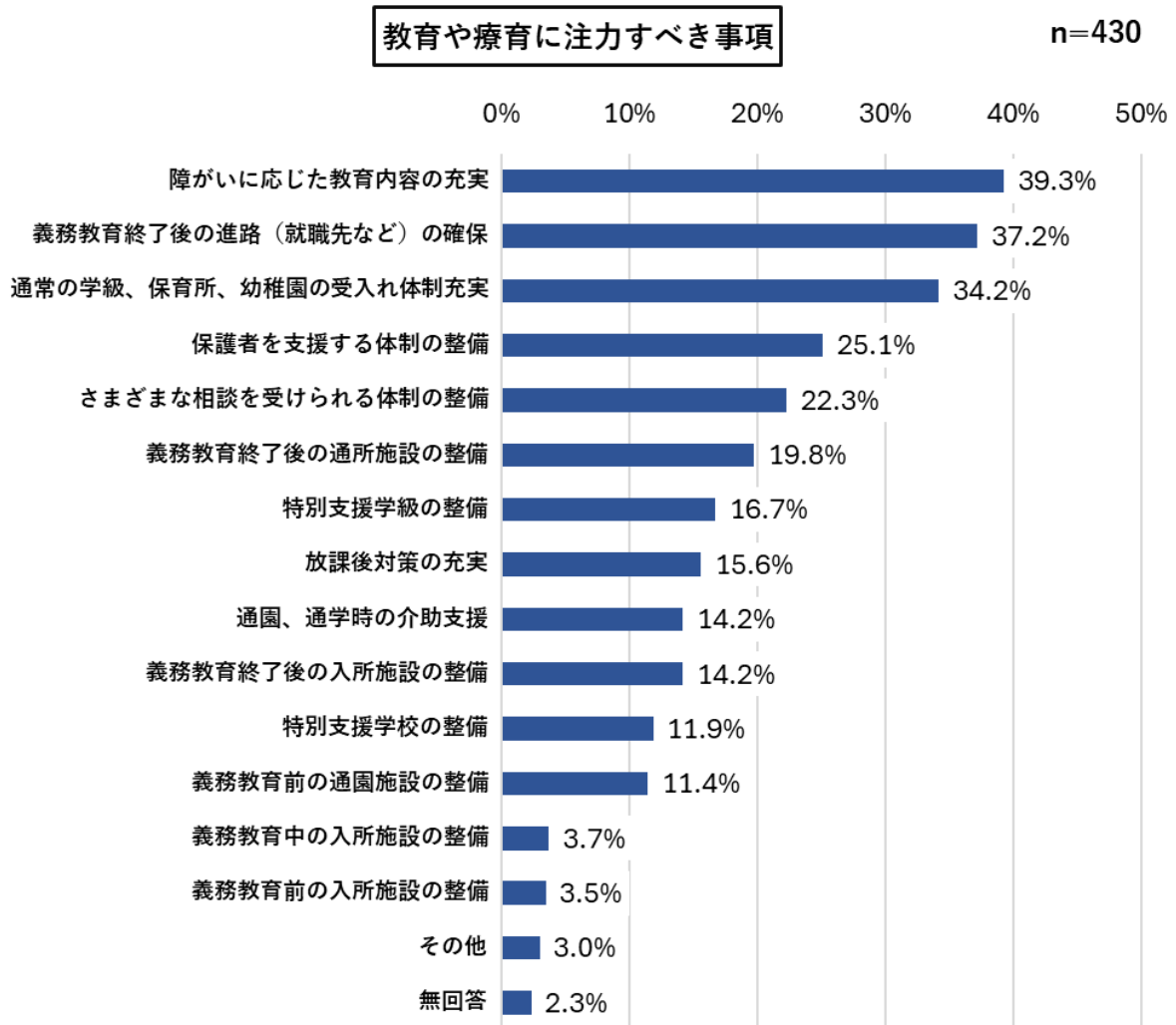


その他の回答の一部を抜粋する。

- まだ考えていない

問 25 保護者の方にお聞きします。今後の教育や療育について、どのような点に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

今後の教育や療育において注力すべき事項については、「障がいに応じた教育内容の充実」が39.3%と最も高く、次いで「義務教育終了後の進路の確保」が37.2%、「通常の学級、保育所、幼稚園への受け入れ体制の充実」が34.2%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

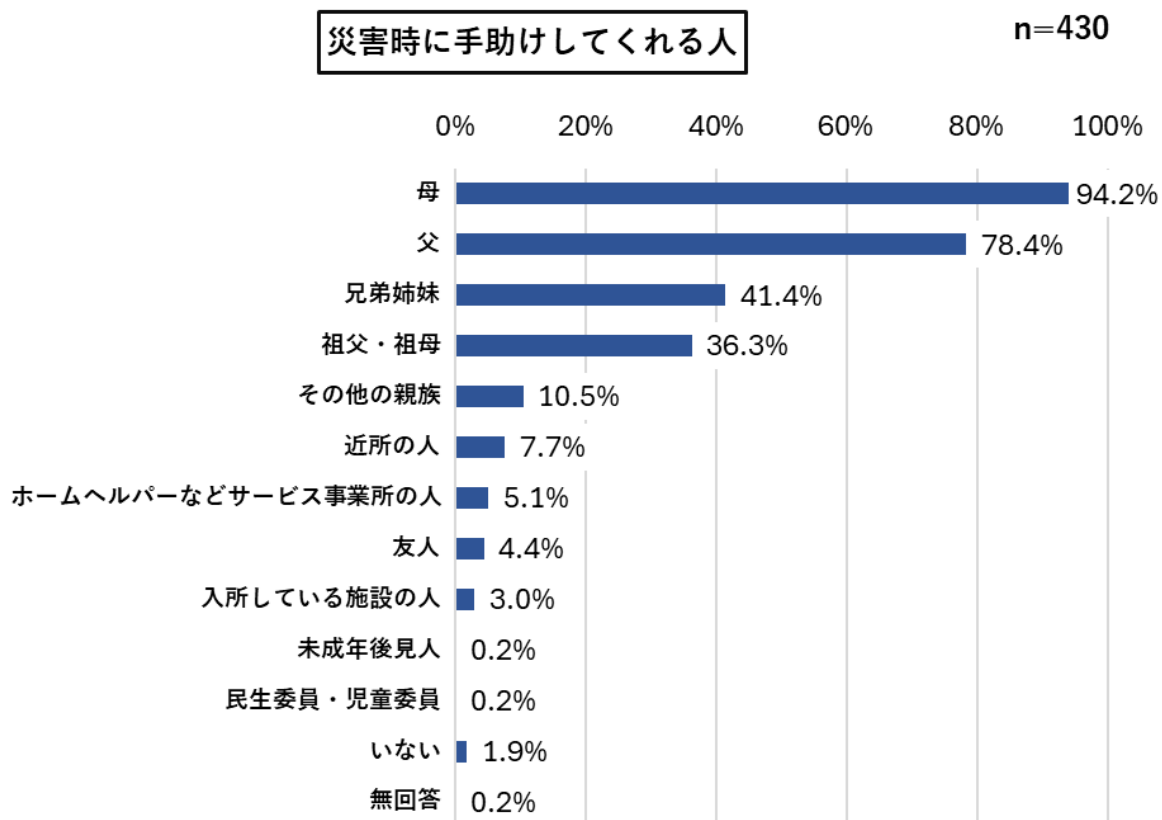
- 放課後児童デイサービスの質向上
- 障がい者の理解促進
- 支援学校の改築等
- 強度行動障害支援
- 通学手段（スクールバス等）

【2. 障がい児調査】

6 防災について

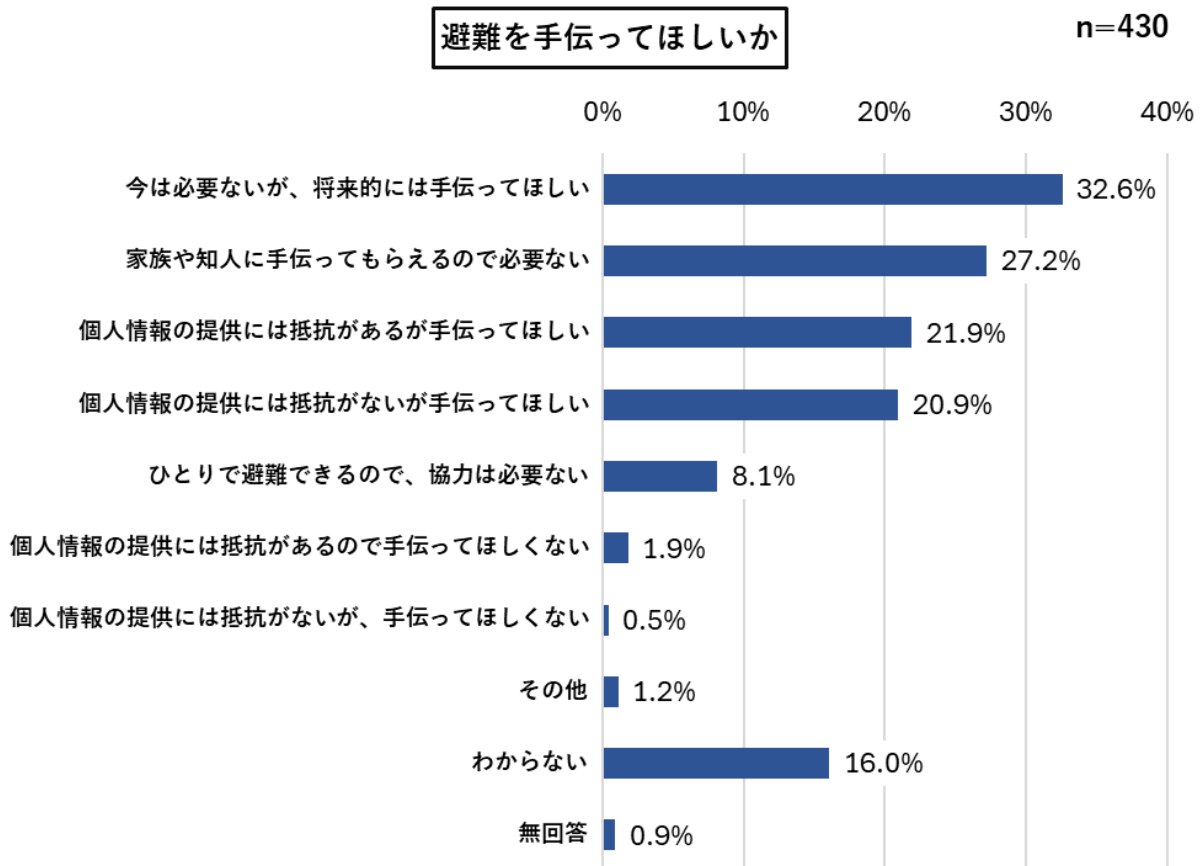
問 26 あなたは、災害時に手助けしてくれる人はいですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害時に手助けしてくれる人については、「母」が94.2%と最も高く、次いで「父」が78.4%、「兄弟姉妹」が41.4%となっている。



問 27 あなたは、あらかじめ近所の人やボランティアに避難の手伝いをお願いすることをどのように思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

避難の手伝いについては、「今は必要ないが、将来的には手伝ってほしい」が 32.6% と最も高く、次いで「家族や知人に手伝ってもらえるので必要ない」が 27.2%、「個人情報の提供には抵抗があるが手伝ってほしい」が 21.9%となっている。



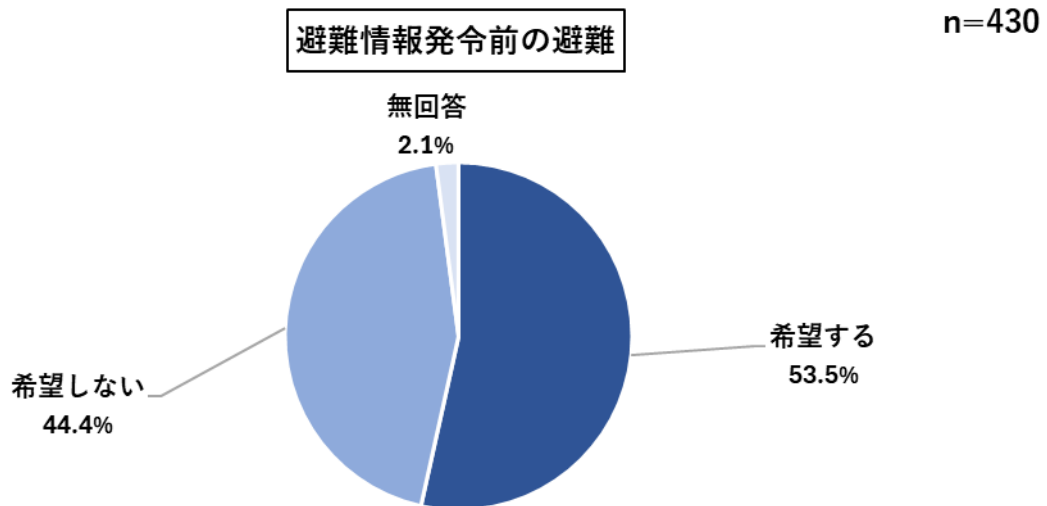
その他の回答の一部を抜粋する。

- 避難所での生活が難しいため避難できない

【2. 障がい児調査】

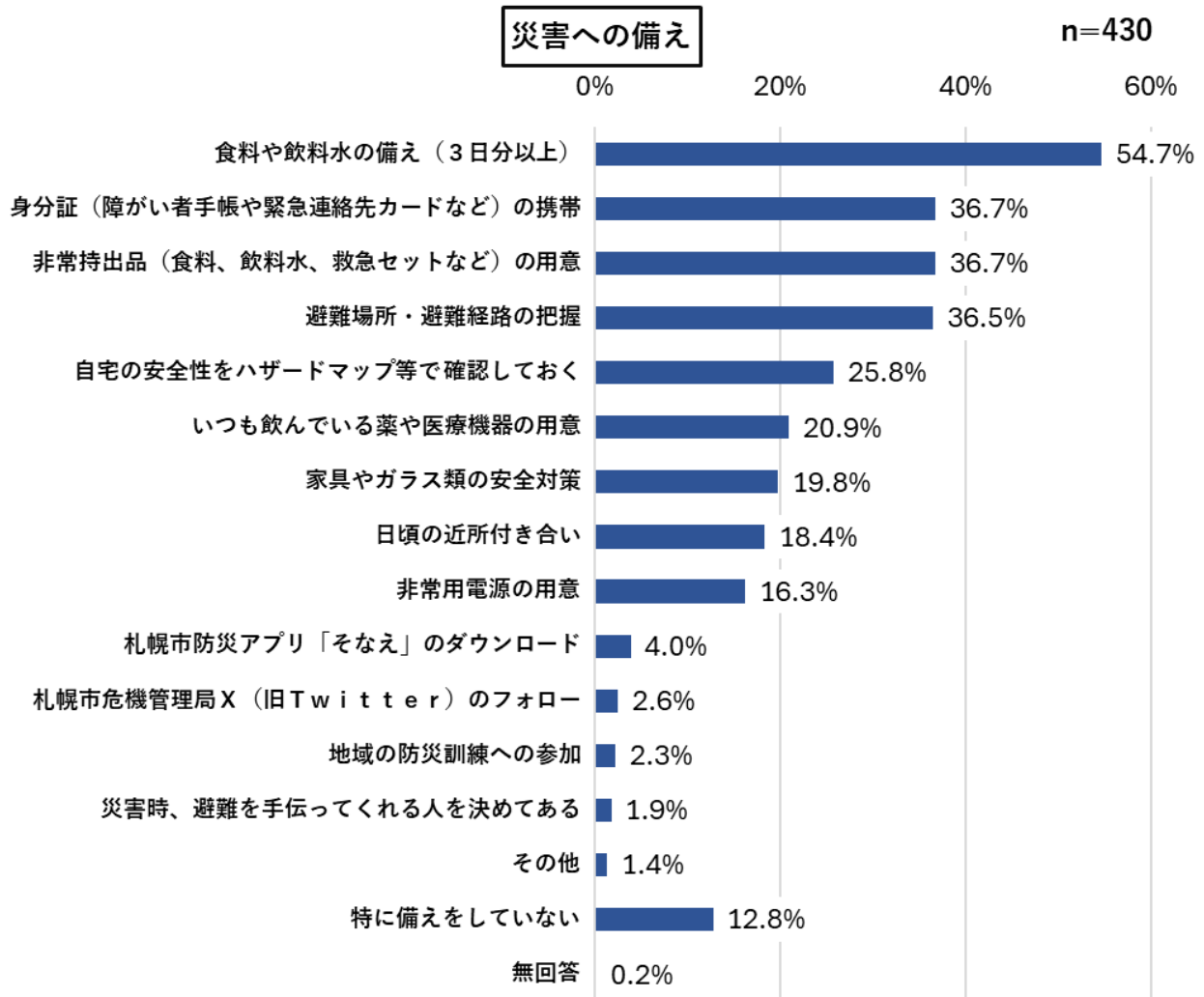
問 28 保護者の方にお聞きします。洪水や土砂災害の恐れがある場合、自治体から避難情報が発令される前の段階で、避難を希望しますか。

避難情報発令前の避難の希望については、「希望する」が53.5%と最も高く、次いで「希望しない」が44.4%、「無回答」が2.1%となっている。



問 29 あなたや保護者の方は、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害への備えについては、「食料や飲料水の備え」が54.7%と最も高く、次いで「身分証（障がい者手帳や緊急連絡先カードなど）の携帯」「非常持出品（食料、飲料水、救急セットなど）の用意」が36.7%となっている。



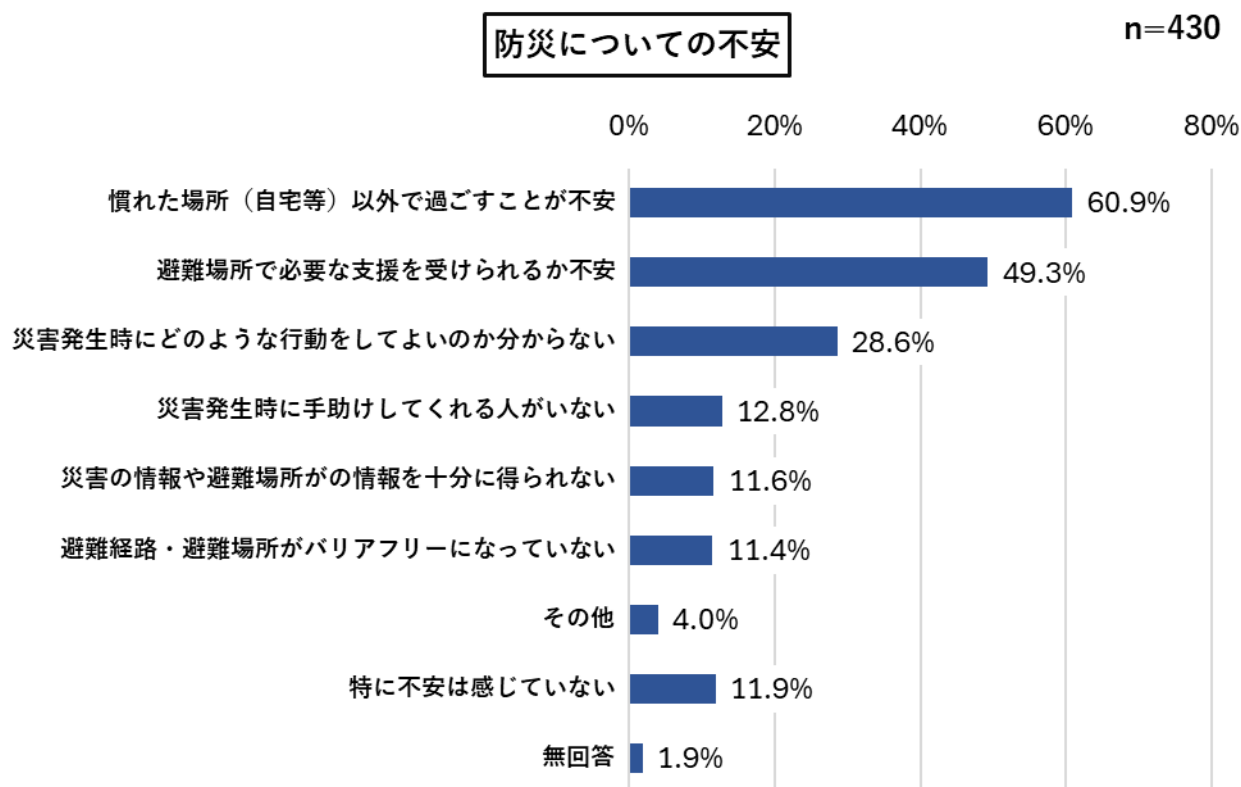
その他の回答の一部を抜粋する。

- 太陽光発電機
- ガソリンを切らさない

【2. 障がい児調査】

問 30 あなたや保護者の方は、防災に関して不安に感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

防災における不安については、「慣れた場所（自宅等）以外で過ごすことが不安」が60.9%と最も高く、次いで「避難場所に必要な支援を受けられるか不安」が49.3%、「災害発生時にどのような行動をしてよいのか分からない」が28.6%となっている。

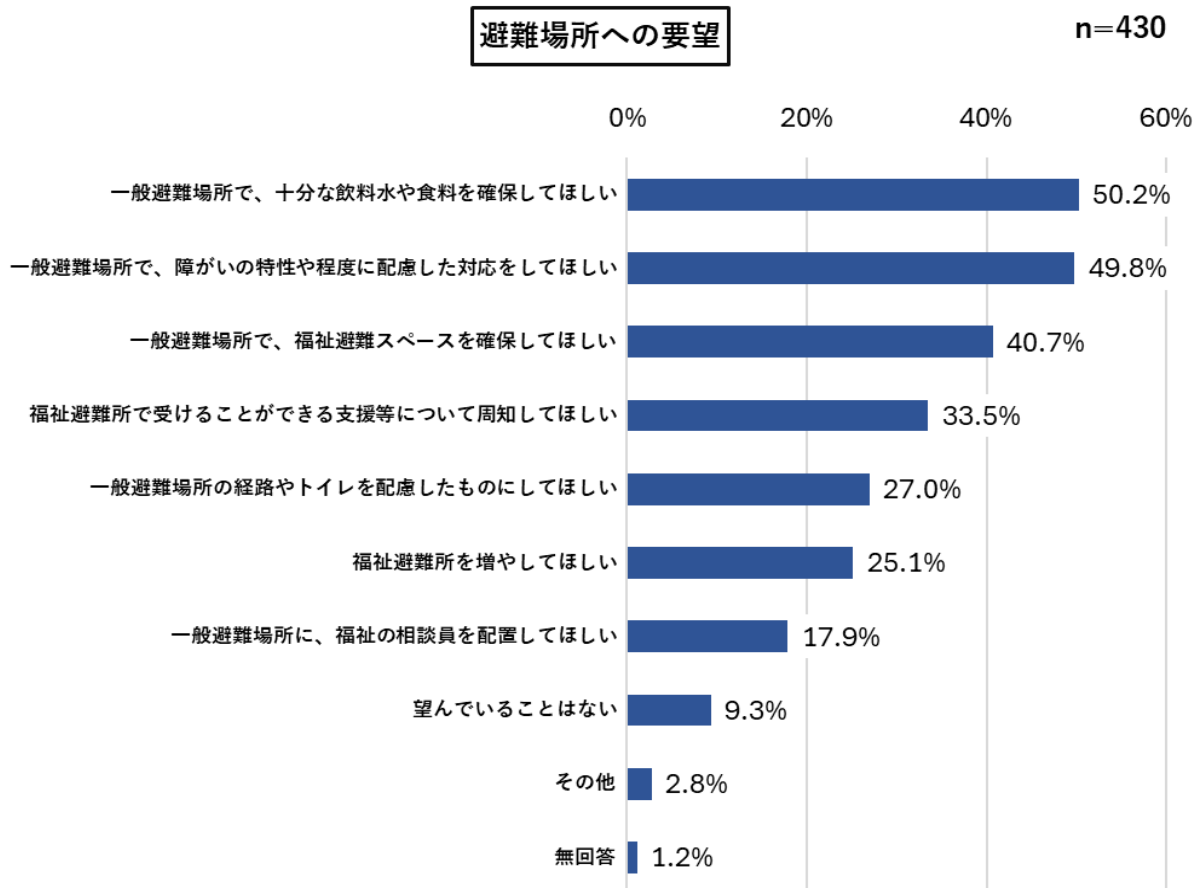


その他の回答の一部を抜粋する。

- 医療的ケアに必要な機材・酸素・薬を持って避難できない
- 避難所で生活できない
- 電源が必要な機器（人工内耳・在宅酸素など）が使えなくなる不安

問 31 避難場所について、あなたや保護者の方が望んでいることは、どのようなことでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

避難場所への要望については、「一般避難場所で、十分な飲用水や食料などを確保してほしい」が50.2%と最も高く、次いで「一般避難場所で、障がいの特性や程度に配慮した対応をしてほしい」が49.8%、「一般避難場所で、福祉避難スペースを確保してほしい」が40.7%となっている。



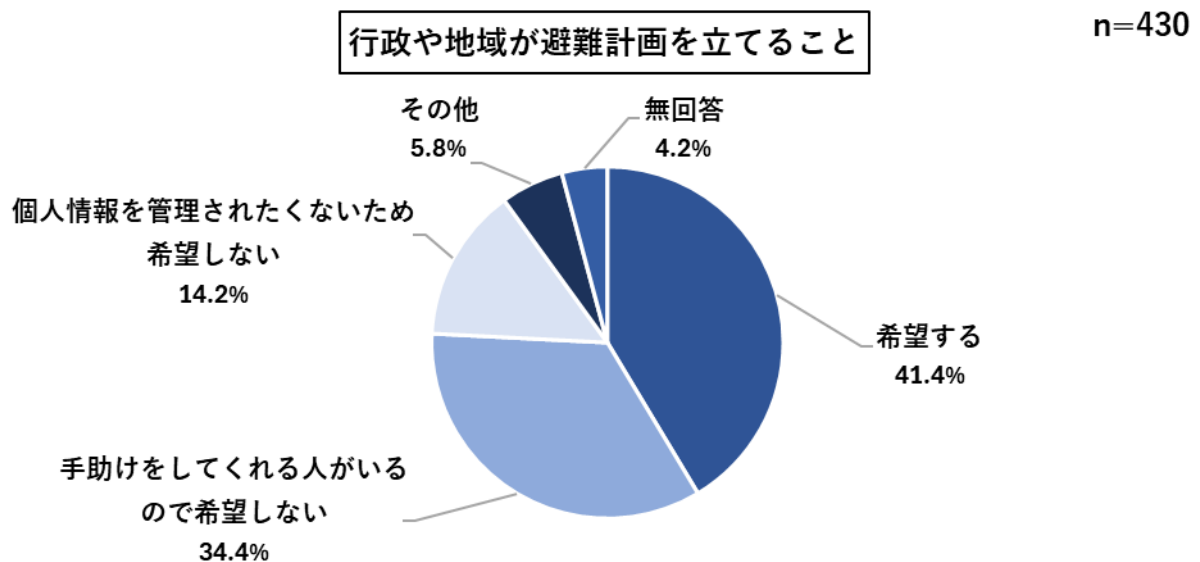
その他の回答の一部を抜粋する。

- 酸素など医療支援
- 犬と車で避難できる駐車場
- 暑さ、寒さへの対策

【2. 障がい児調査】

問 32 あなたや保護者の方は、あなたが避難のためにどのような避難行動をとればよいのかについて、行政や地域が、計画を立てることを希望しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

行政や地域が避難計画を立てることについては、「希望する」が41.4%と最も高く、次いで「手助けをしてくれる人がいるので希望しない」が34.4%、「個人情報を管理されたくないため希望しない」が14.2%となっている。



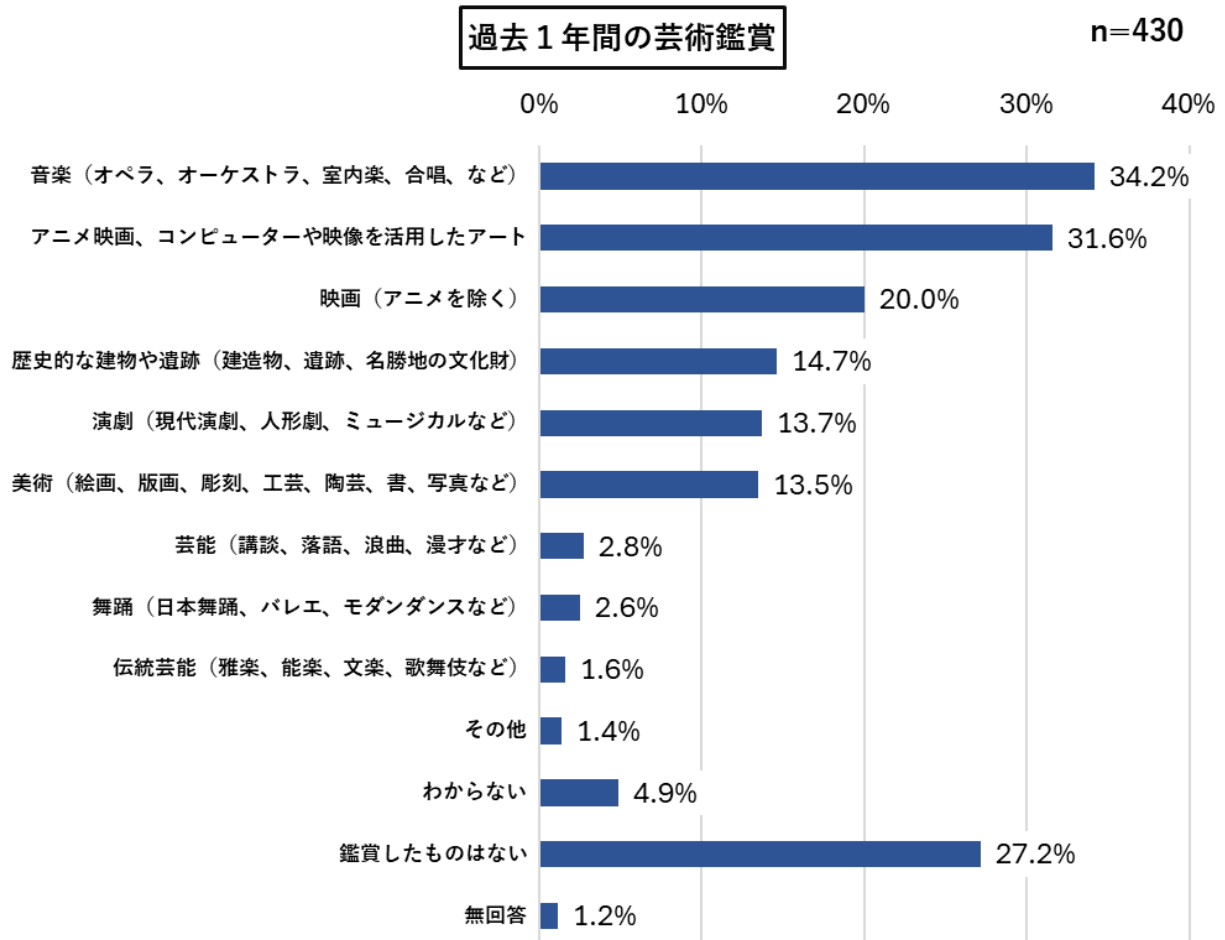
その他の回答の一部を抜粋する。

- よくわからない
- 状況次第
- 提案があれば判断したい

7 文化・芸術について

問 33 あなたは過去1年間に文化芸術を直接鑑賞しましたか。また、鑑賞した種類はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

過去1年間の文化芸術の鑑賞状況については、「音楽」が34.2%と最も高く、次いで「アニメ映画、コンピューターや映像を活用したアート」が31.6%、「鑑賞したものはない」が27.2%となっている。



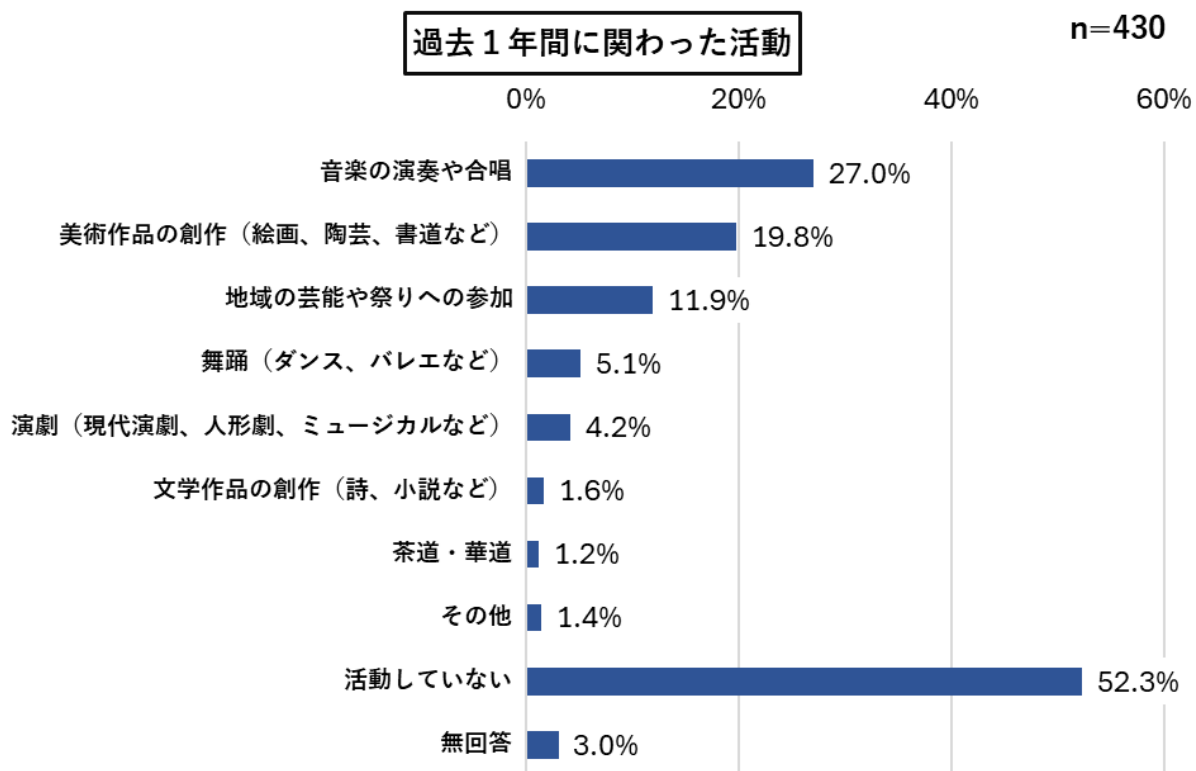
その他の回答の一部を抜粋する。

- 水族館
- プラネタリウム
- 万博科学館

【2. 障がい児調査】

問 34 あなたは過去1年間に文化芸術に関わる活動を実施しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

過去1年間の文化芸術活動実績については、「活動していない」が52.3%と最も高く、次いで「音楽の演奏や合唱」が27.0%、「美術作品の創作」が19.8%となっている。

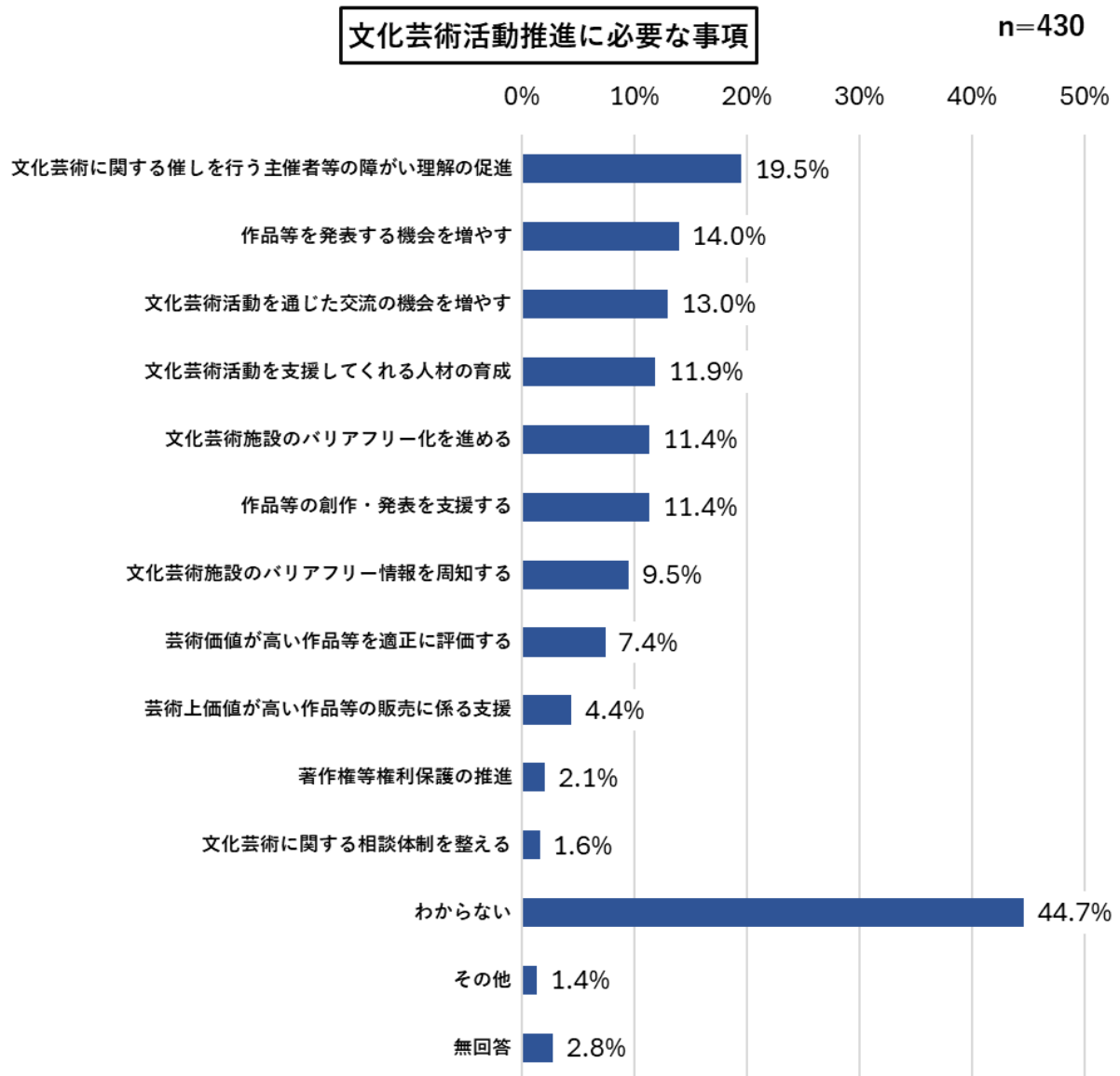


その他の回答の一部を抜粋する。

- 落語
- 学校祭
- よさこい参加

問 35 あなたや保護者の方は、障がいのある人による文化芸術活動の推進について、何が重要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

文化芸術活動の推進に必要な事項については、「わからない」が44.7%と最も高く、次いで「文化芸術に関する催しを行う主催者等の障がい理解の促進」が19.5%、「作品等を発表する機会を増やす」が14.0%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

- 医療的ケアへの理解
- 障がいの有無に関わらず活動できる環境
- 障がい者限定の鑑賞
- 何のために必要かわからない

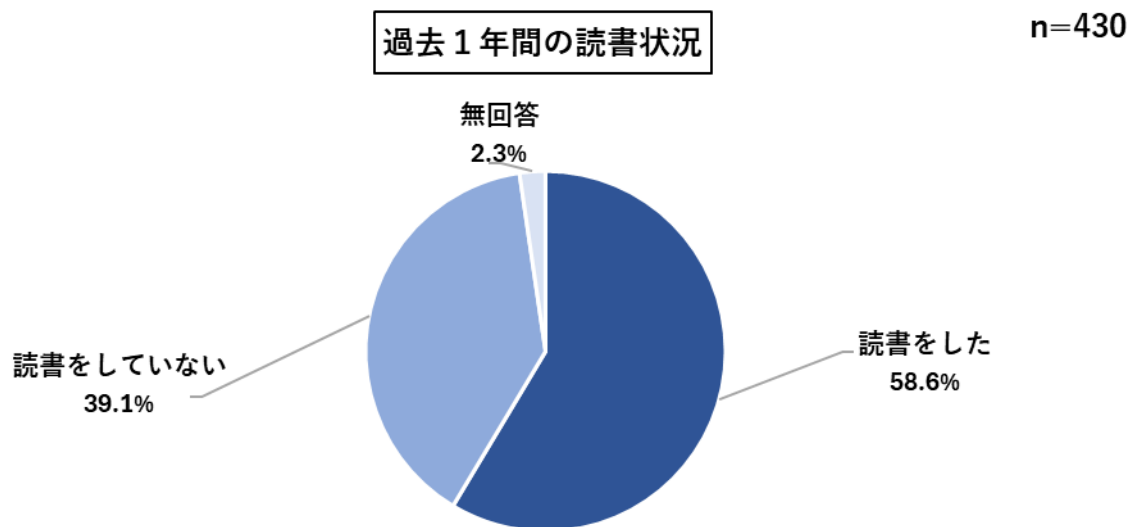
【2. 障がい児調査】

8 読書について

※以下の設問について、「読書」には一般書籍のほか、新聞やオーディオブックを含みますが、漫画は含みません。

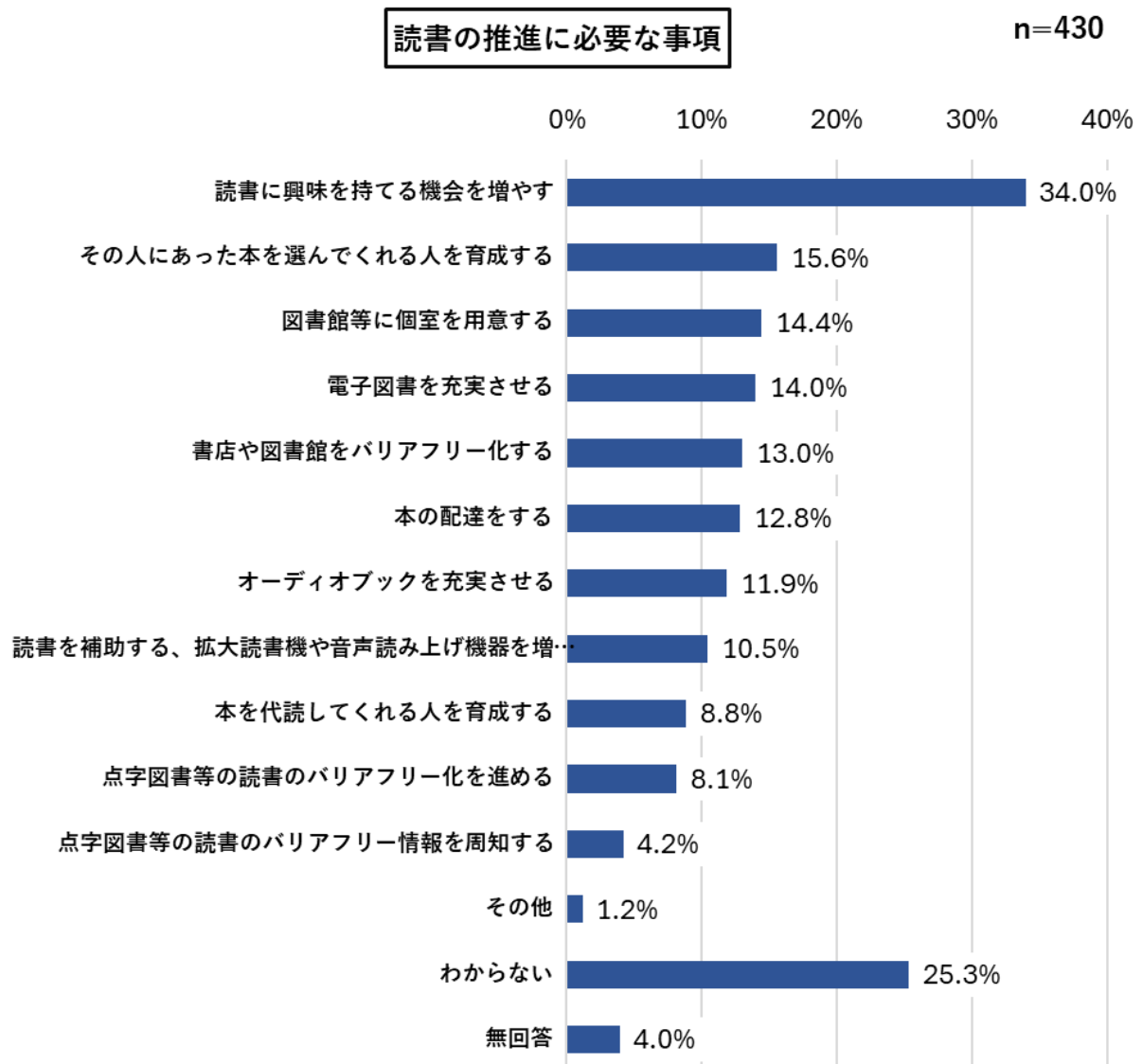
問 36 あなたは過去1年間に読書をしましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

過去1年間の読書状況については、「読書をした」が58.6%と最も高く、次いで「読書をしていない」が39.1%、「無回答」が2.3%となっている。



問 37 あなたは、障がいのある人の読書の推進について、何が必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

読書の推進に必要な事項については、「読書に興味を持てる機会を増やす」が34.0%と最も高く、次いで「わからない」が25.3%、「その人にあった本を選んでくれる人を育成する」が15.6%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

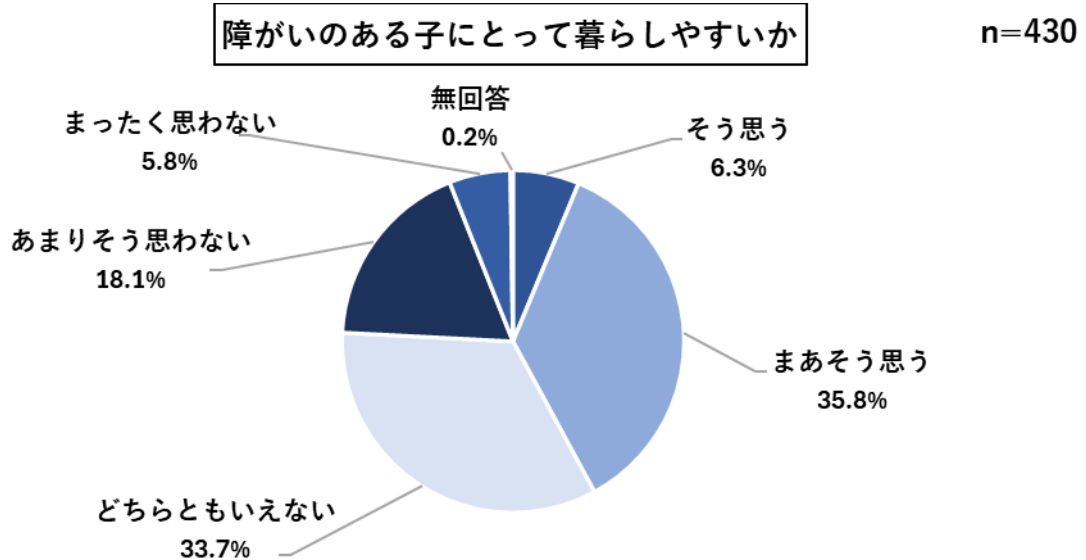
- 文字が読めない
- 蔵書の充実
- 書店や図書館の入りやすい環境
- 図書館職員の対応の改善

【2. 障がい児調査】

9 制度や政策等について

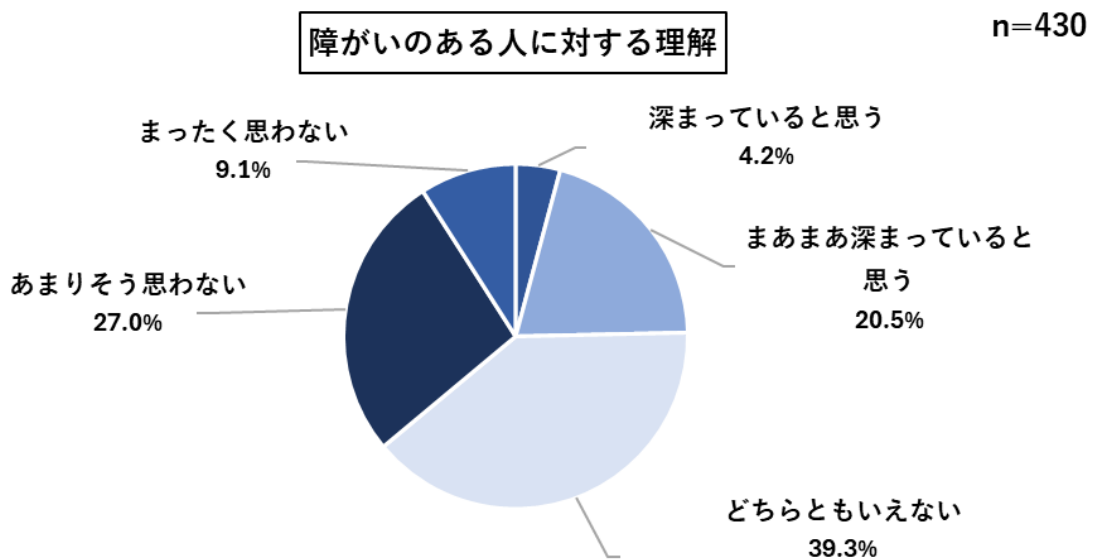
問 38 あなたや保護者の方は、札幌市が障がいのある子どもが暮らしやすいまちだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある子どもにとっての札幌市の暮らしやすさについては、「まあそう思う」が35.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が33.7%、「あまりそう思わない」が18.1%となっている。



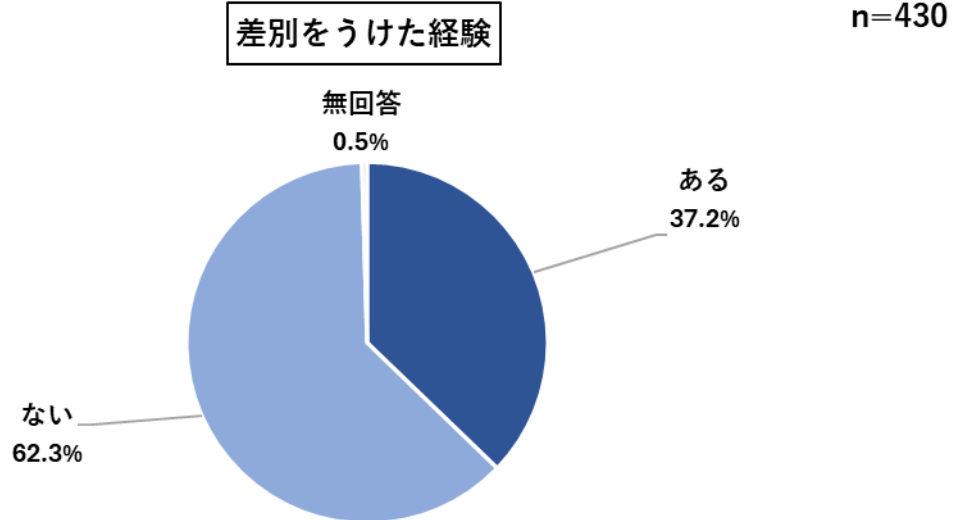
問 39 あなたや保護者の方は、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある人に対する市民の理解度については、「どちらともいえない」が39.3%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が27.0%、「まあまあ深まっていると思う」が20.5%となっている。



問 40 あなたや保護者の方は、過去3年間に、障がいがあるために差別をうけるなど、いやな思いをしたことがありますか。

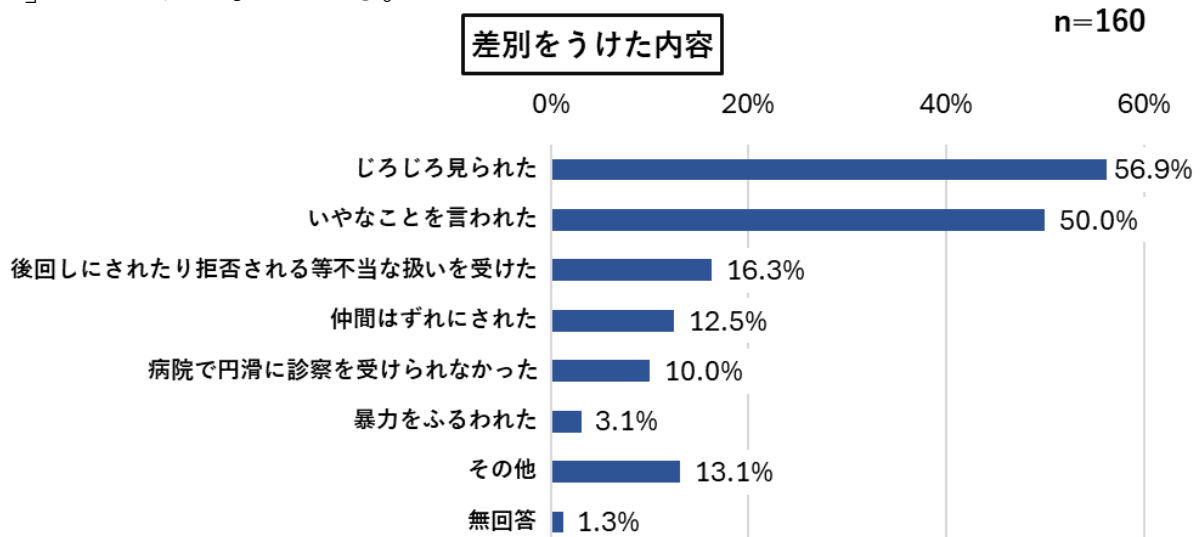
差別経験の有無については、「ない」が62.3%と最も高く、次いで「ある」が37.2%、「無回答」が0.5%となっている。



問 40 で「1 ある」と回答した人にお聞きします。

問 41 それはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

差別経験の内容については、「じろじろ見られた」が56.9%と最も高く、次でいやなことを言われた」が50.0%、「後回しにされたり拒否される等不当な扱いを受けた」が16.3%となっている。



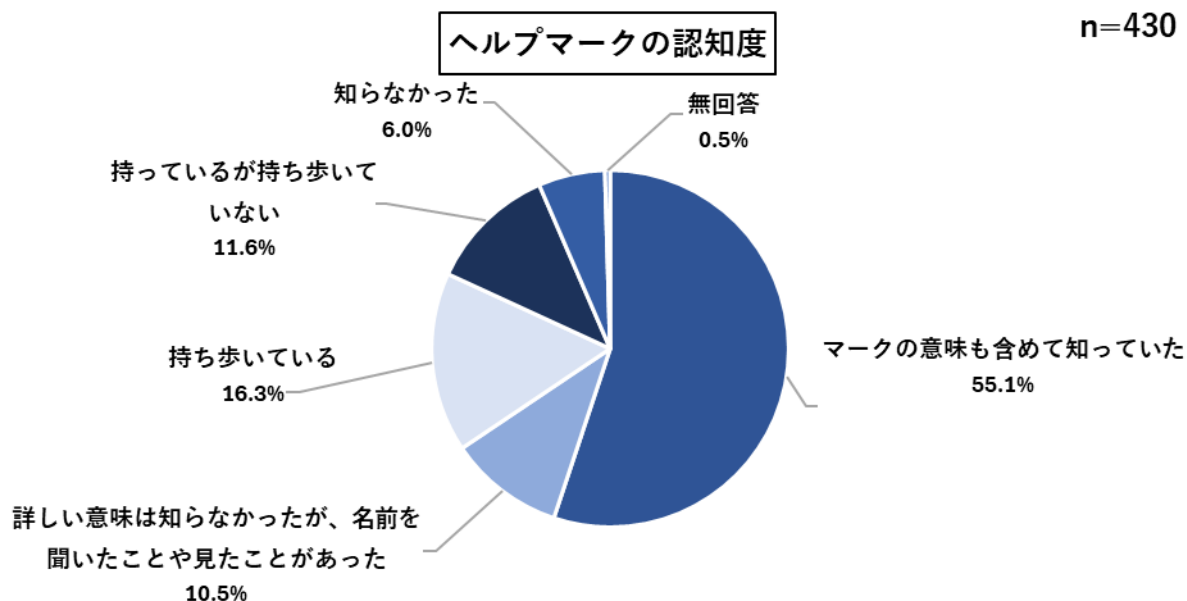
その他の回答の一部を抜粋する。

- 幼稚園の入園拒否
- アパート賃貸契約の拒否
- 学校での配慮不足

【2. 障がい児調査】

問 42 札幌市では、「ヘルプマーク」を配布しております。これは、外見からは障がいがあることがわからない人などが、周囲の方々に援助や配慮が必要なことを知らせることができるマークです。あなたや保護者の方は、このマークがあることを知っていたり、持っていたりしますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

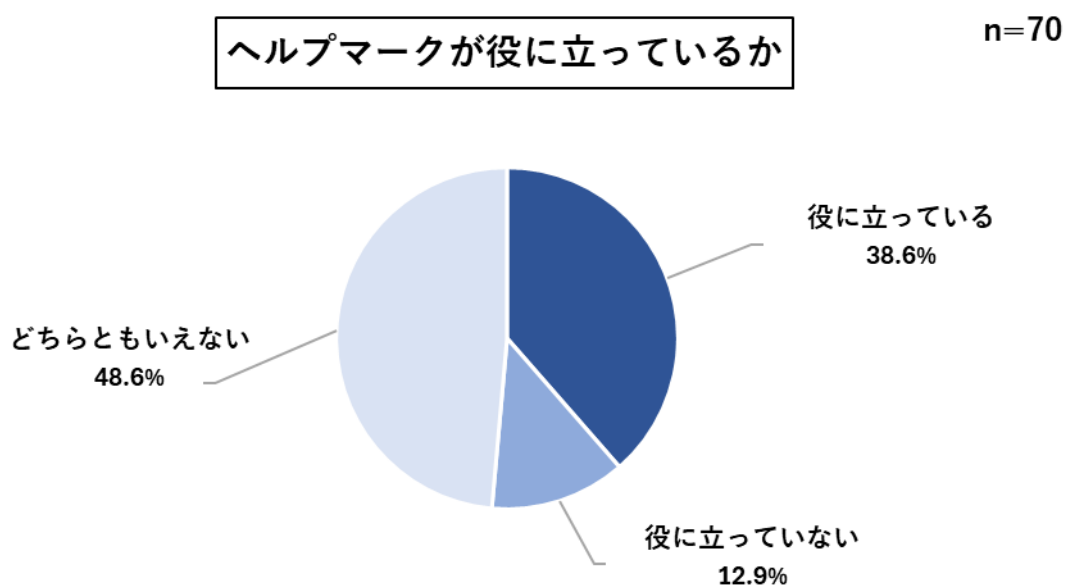
ヘルプマークの認知度については、「マークの意味も含めて知っていた」が55.1%と最も高く、次いで「持ち歩いている」が16.3%、「持っているが持ち歩いている」が11.6%となっている。



問 42 で「3持ち歩いている」と回答した人にお聞きします。

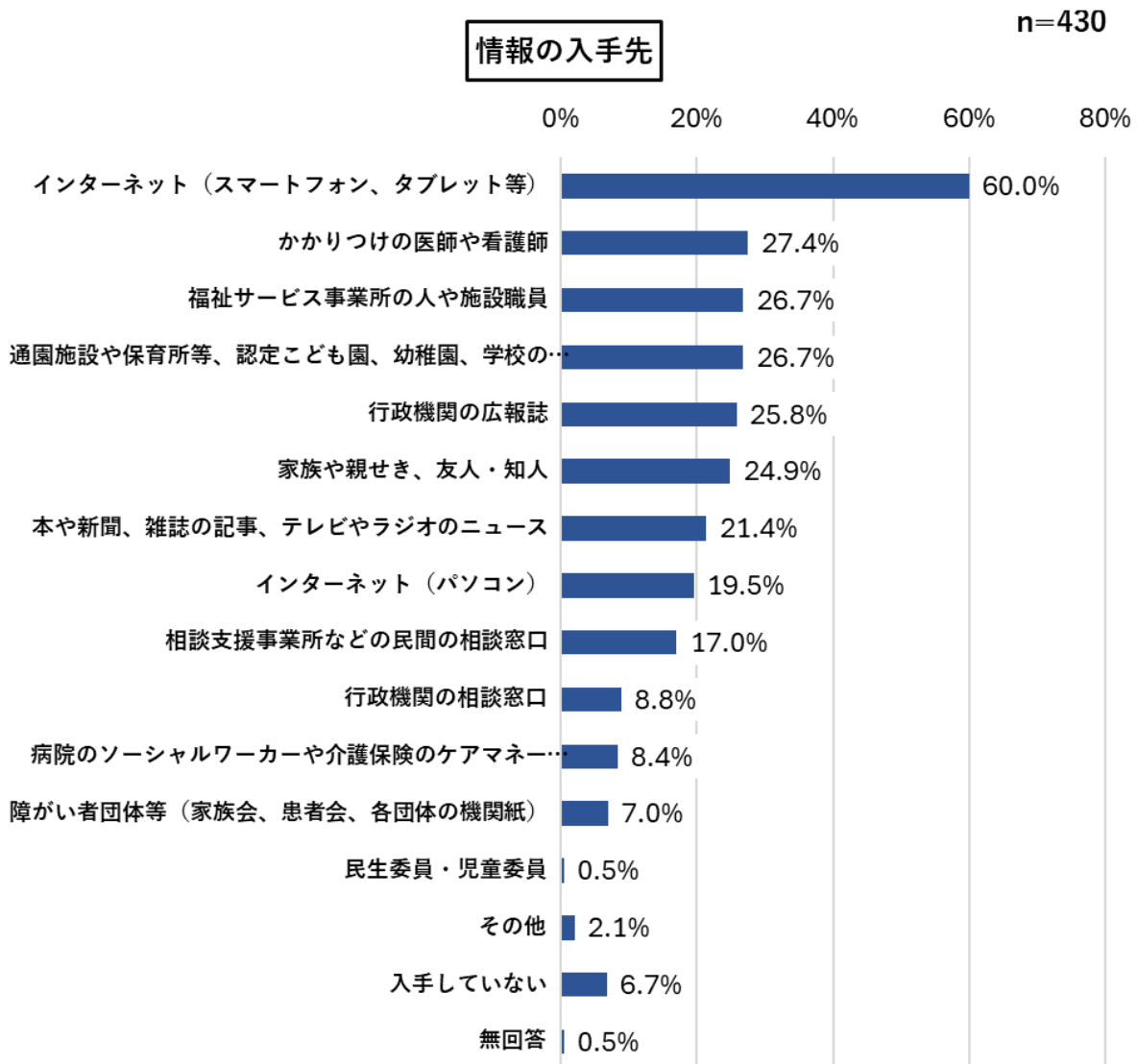
問 43 あなたはヘルプマークは役に立っていると思いますか。

ヘルプマークが役立っているかについては「どちらともいえない」が48.6%と最も高く、次いで「役に立っている」が38.6%、「役に立っていない」が12.9%となっている。



問 44 あなたや保護者の方は、障がいまたは障がい福祉サービスの情報をどのように入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

関連する情報の入手先については、「インターネット（スマートフォン等の携帯端末）」が60.0%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が27.4%、「福祉サービス事業所の人や施設職員」「通園施設や保育所等、認定こども園、幼稚園、学校の先生」が26.7%となっている。



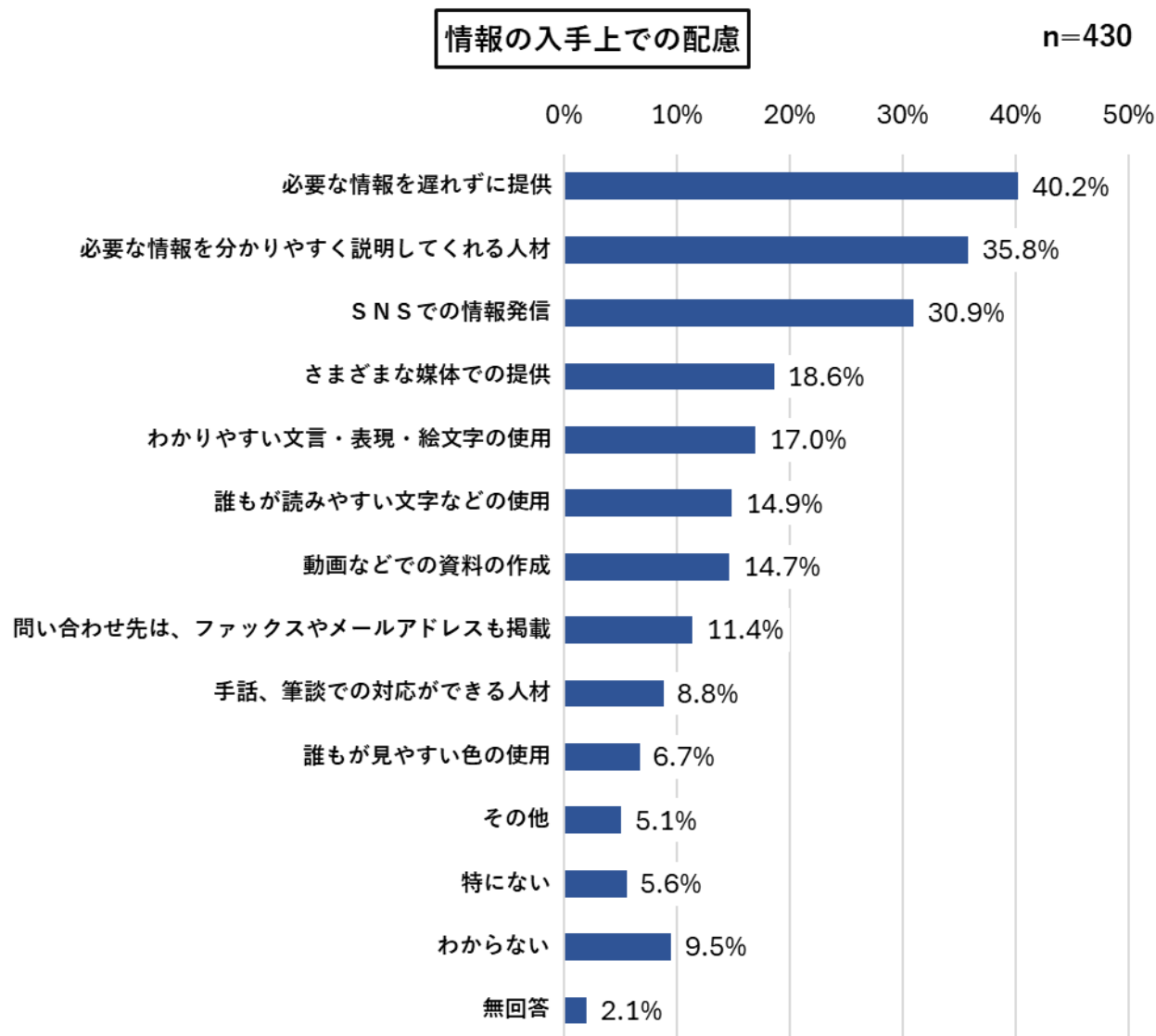
その他の回答の一部を抜粋する。

- 訪問看護師
- 保健センターの保健師
- 保護者同士の情報交換
- 区役所手続きで初めて知る
- 行政からの情報提供希望

【2. 障がい児調査】

問 45 あなたや保護者の方は、情報を入手する上で、どのような配慮があると良いと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

情報を入手する上での配慮については、「必要な情報を遅れずに提供」が40.2%と最も高く、次いで必要な情報を分かりやすく説明してくれる人材が35.8%、「SNSでの情報発信」が30.9%となっている。

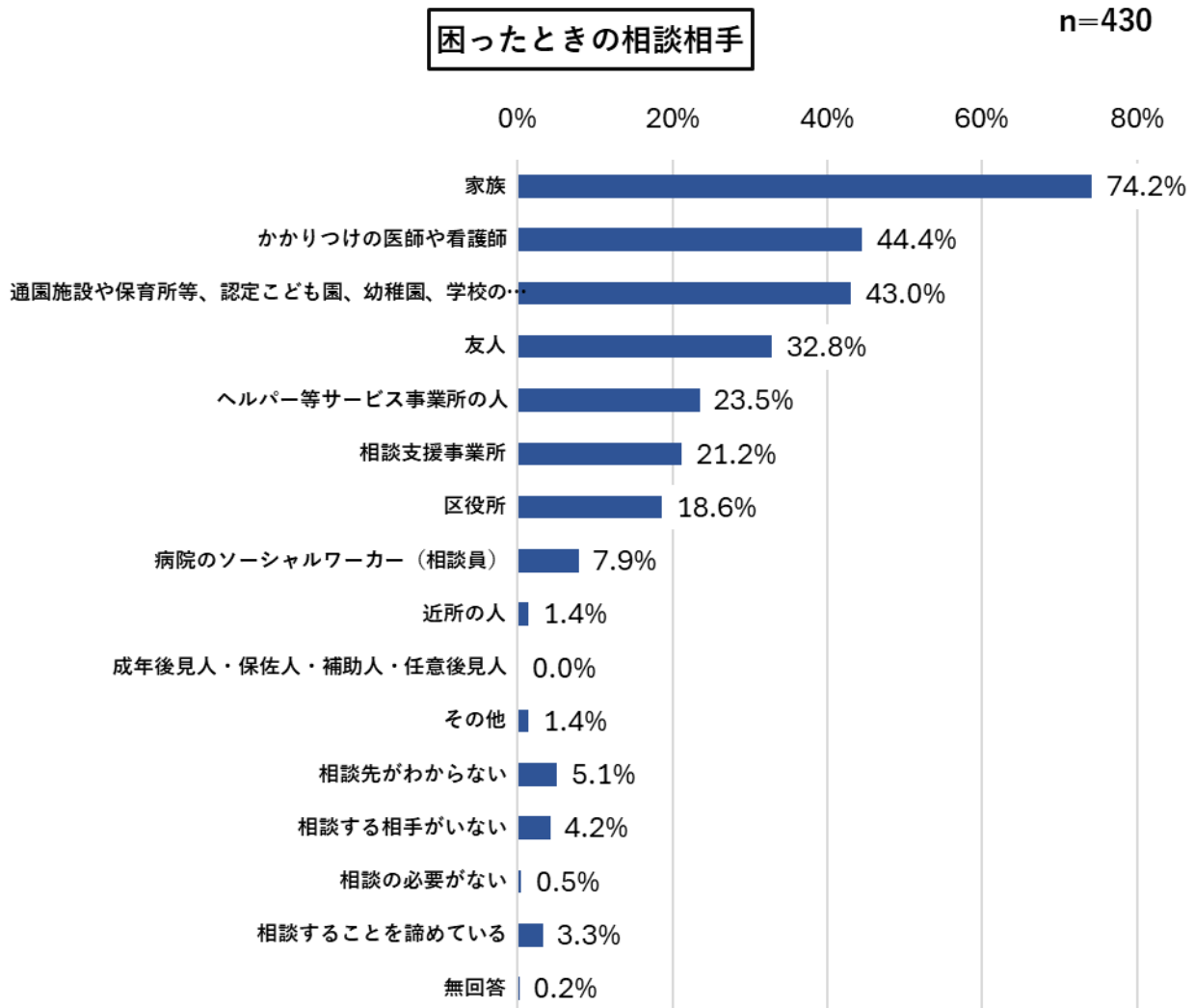


その他の回答の一部を抜粋する。

- 字が読めない人への配慮
- 情報を統合した資料
- 「広報さっぽろ」などの媒体に掲載

問 46 あなたや保護者の方は、困ったことがあった時、誰に相談していますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

困ったことの相談先については、「家族」が74.2%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が44.4%、「通園施設や保育所等、認定こども園、幼稚園、学校の先生」が43.0%となっている。



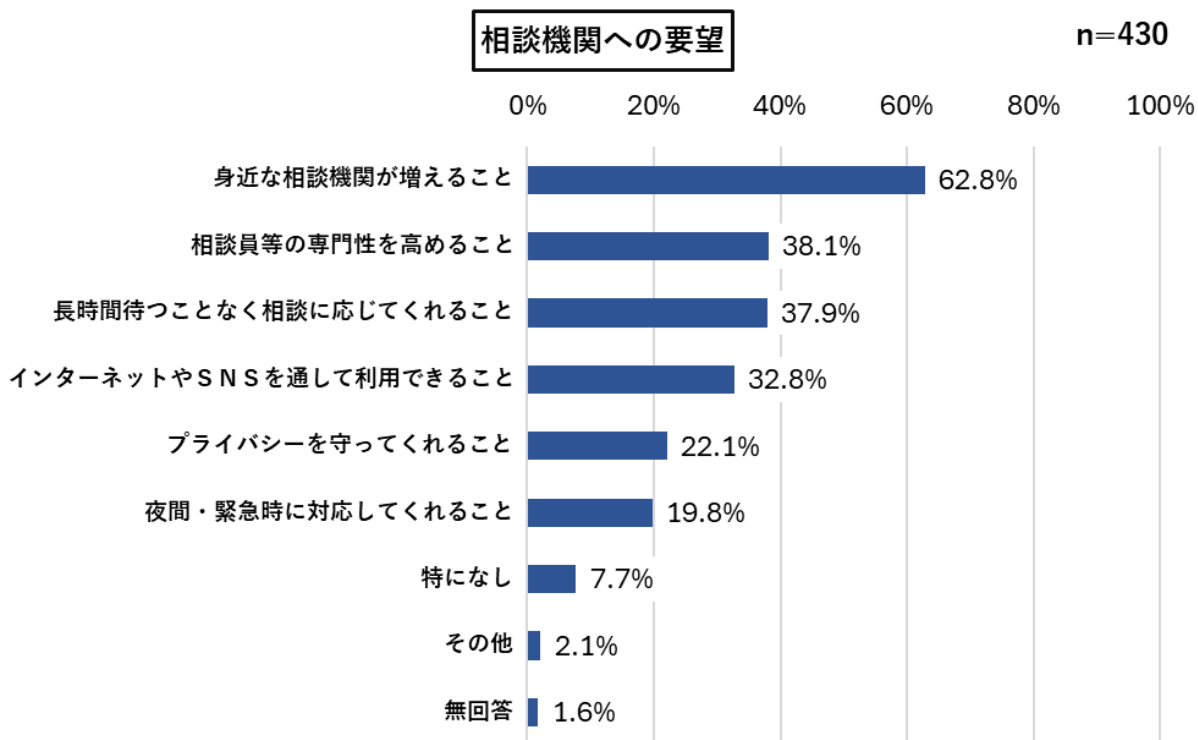
その他の回答の一部を抜粋する。

- 放課後デイサービスに相談
- 職場/通級/行政
- 区役所が頼りない
- AI チャット活用

【2. 障がい児調査】

問 47 あなたや保護者の方は、相談機関に関して、どのようなことがあれば、利用しやすいと思いますか。あてはまるものをすべてに○をつけてください。

相談機関への要望については、「身近な相談機関が増えること」が62.8%と最も高く、次いで「相談員等の専門性を高めること」が38.1%、「長時間待つことなく相談に応じてくれること」が37.9%となっている。

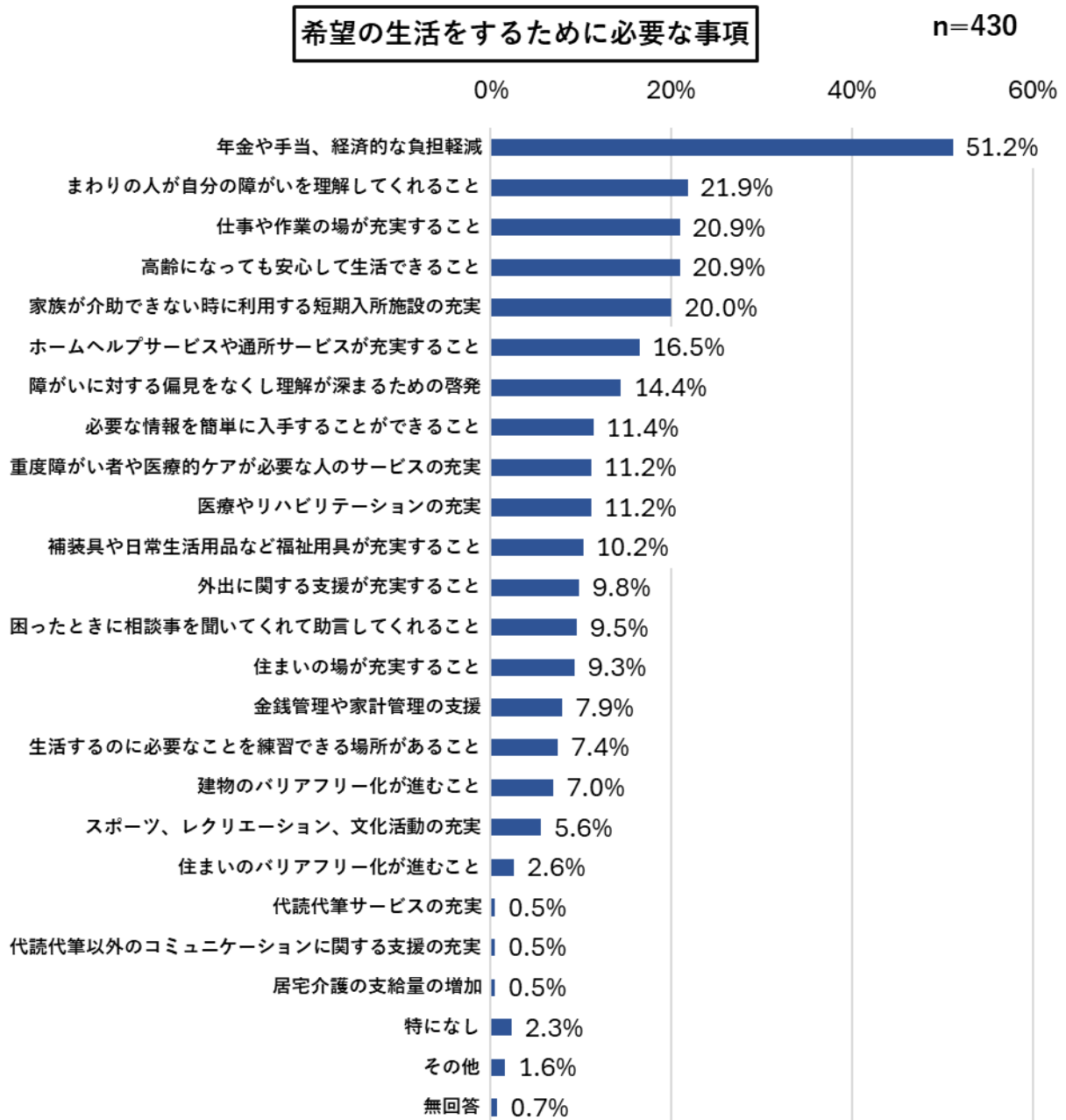


その他の回答の一部を抜粋する。

- 一覧表化
- メール対応
- 親身な相談体制
- 知識ある担当者
- AIチャット等で質問できる

問 48 あなたや保護者の方は、今後あなたが希望する生活をするためには、何が
あればよいと思いますか。あてはまるものを3つまで
選んで○をつけてください。

希望する生活をするために必要な事項については、「年金や手当、経済的な負担軽減」が51.2%と最も高く、次いで「まわりの人が自分の障がいを理解してくれること」が21.9%、「仕事や作業の場が充実すること」「高齢になっても安心して生活できること」が20.9%となっている。



その他の回答の一部を抜粋する。

- 知的障がいのない自閉症等の子が安心して通える公立の高校
- 医療費・デイサービスの上限額の一律化、小学生の負担額が多い
- 18歳以降の生活支援
- 駐車場利用に関する厳格な条例策定

【2. 障がい児調査】

問 49 その他、ご意見やご要望があればご記入ください。

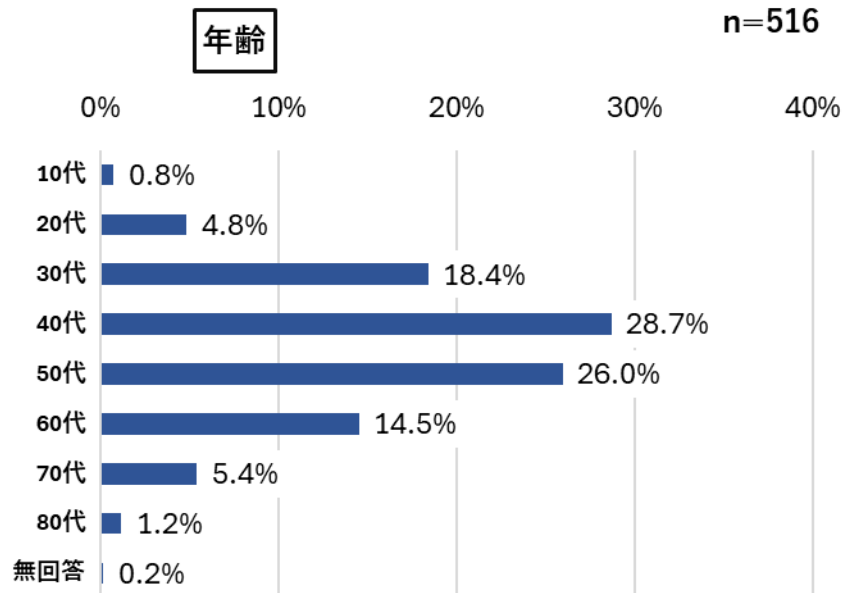
自由意見については、119 件の回答が寄せられた。回答の一部を以下に抜粋する。

- 現在介助している親が亡くなっても、安心して生きていける環境を整備して欲しいです。
- 区役所の窓口に行かず、郵送・インターネット等で済む手続が増えてほしいです。親亡き後に備えてゆくゆくは施設入所を考えていますが、親が生きていられる間に入所できるのか不安です。
- わからないことがあっても適切な回答を得るにはどこへ相談して良いかわからないです。親が亡くなった後の将来が不安しかありません。
- 保護者がいるうちはまだ良いが、将来本人が障害があっても仕事や生活に困らないかが非常に不安です。両親がいなくなった後でも、行政などがサポートできる体制が整って欲しいです。
- 自分の特性に合ったグループホームや入所施設を探しやすくなると良いです。
- 障がいのことを周りに言いたくない人もいます。障がいについて、もっと勉強をする機会があれば良いと思いました。
- 物価高で大変生活が苦しいです。経済的な負担軽減を求めます。そして私が亡くなったあと、障がいのある子が安心して暮らせる、他の兄弟たちにもなるべく迷惑をかけずに（金銭的にも）暮らしていけるような世の中になってほしいです。

3. 3 施設入所者調査

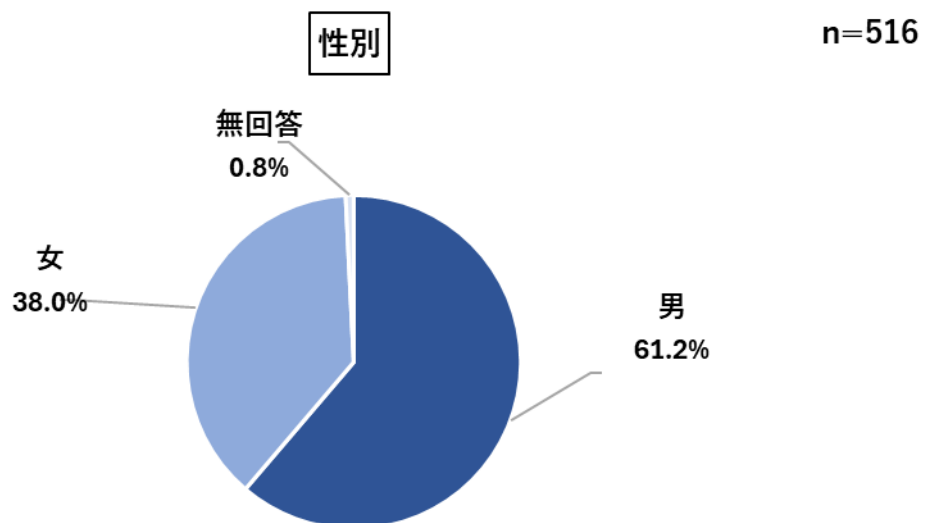
A 令和7年12月1日現在の満年齢を記入してください。

年齢は、「40代」が28.7%と最も高く、次いで「50代」が26.0%となっている。



B 性別を次の区分により記入してください。

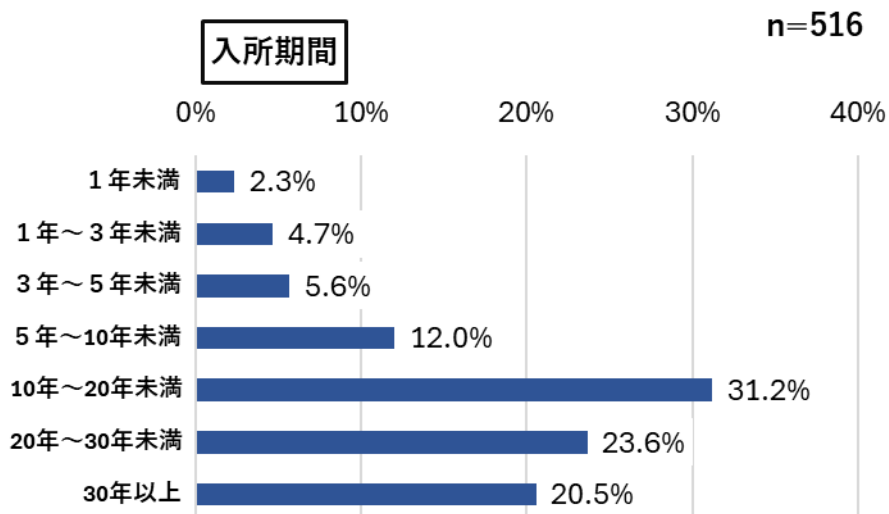
性別については、「男」が61.2%、「女」が38.0%となっている。



【3. 施設入所者調査】

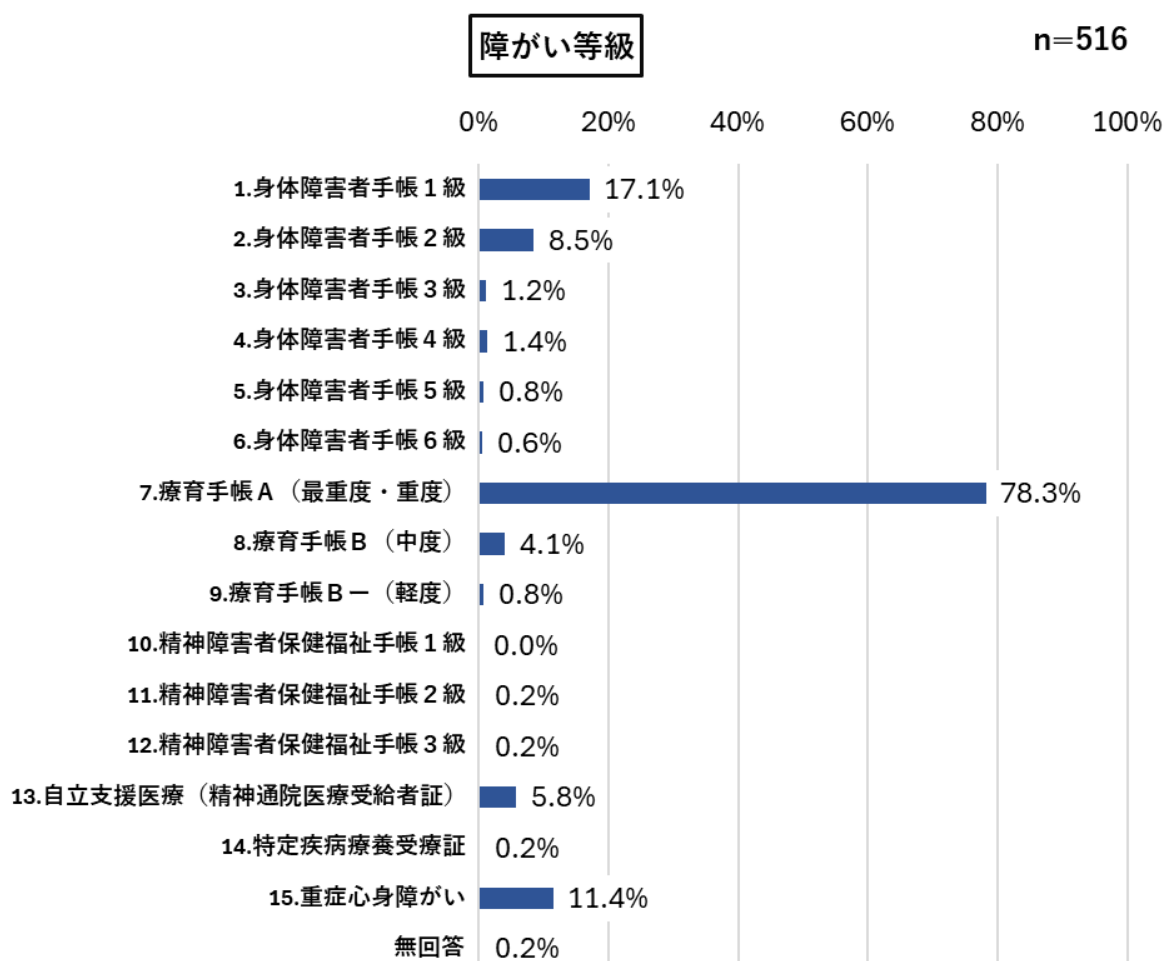
C 入所期間を次の区分により記入してください。

入所期間については、「10年～20年未満」が31.2%と最も高く、次いで「20年～30年」未満が23.6%となっている。



D 障がい等級（総合等級）等を次の区分により記入してください。

障がい等級については、「療育手帳 A（最重度・重度）」が78.3%と最も高く、次いで「身体障害者手帳1級」が17.1%となっている。

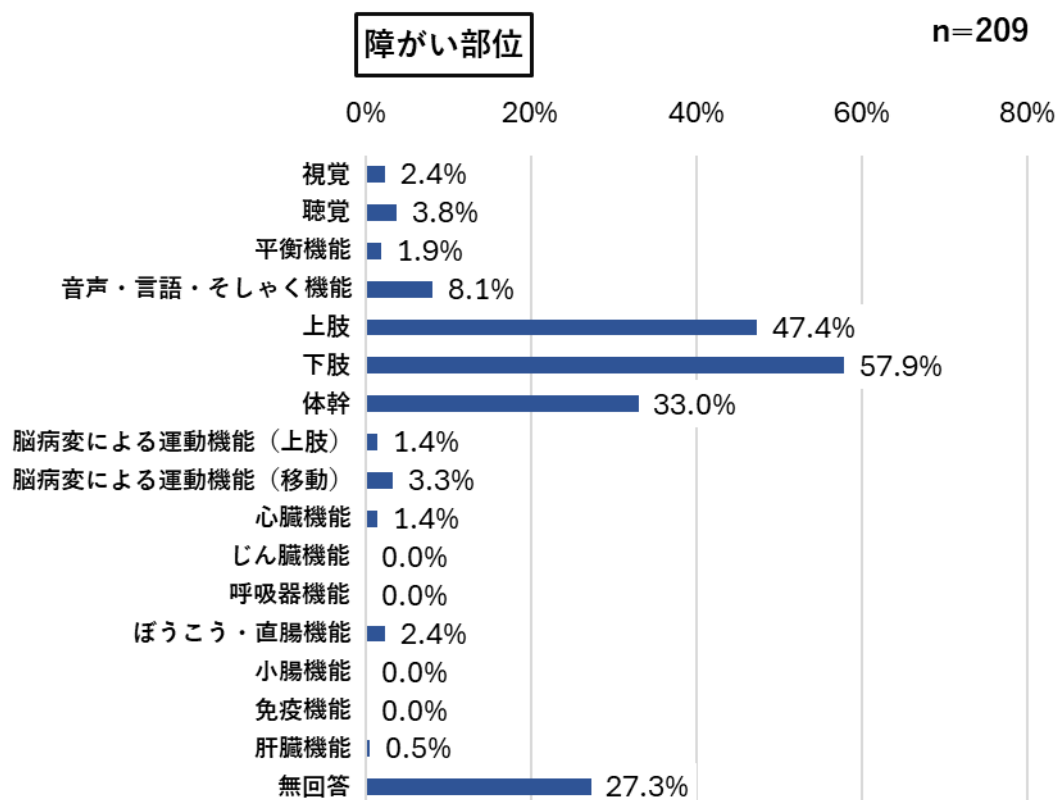


【3. 施設入所者調査】

Dの回答が「1～6」「15」にあてはまる場合のみ記入してください。

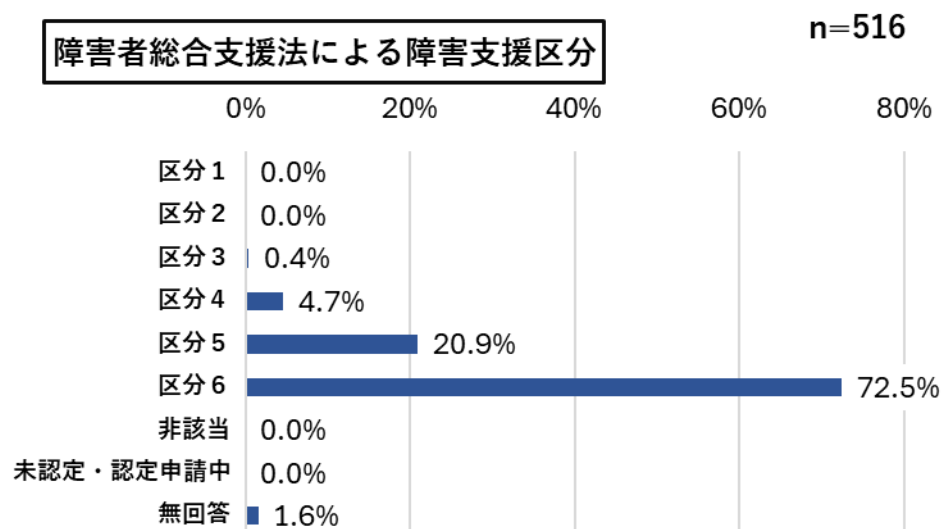
E 障がい部位を次の区分により記入してください。

障がい部位については、「下肢」が57.9%と最も高く、次いで「上肢」が47.4%、「体幹」が33.0%となっている。



F 障害者総合支援法による障害支援区分の認定状況を記入してください。

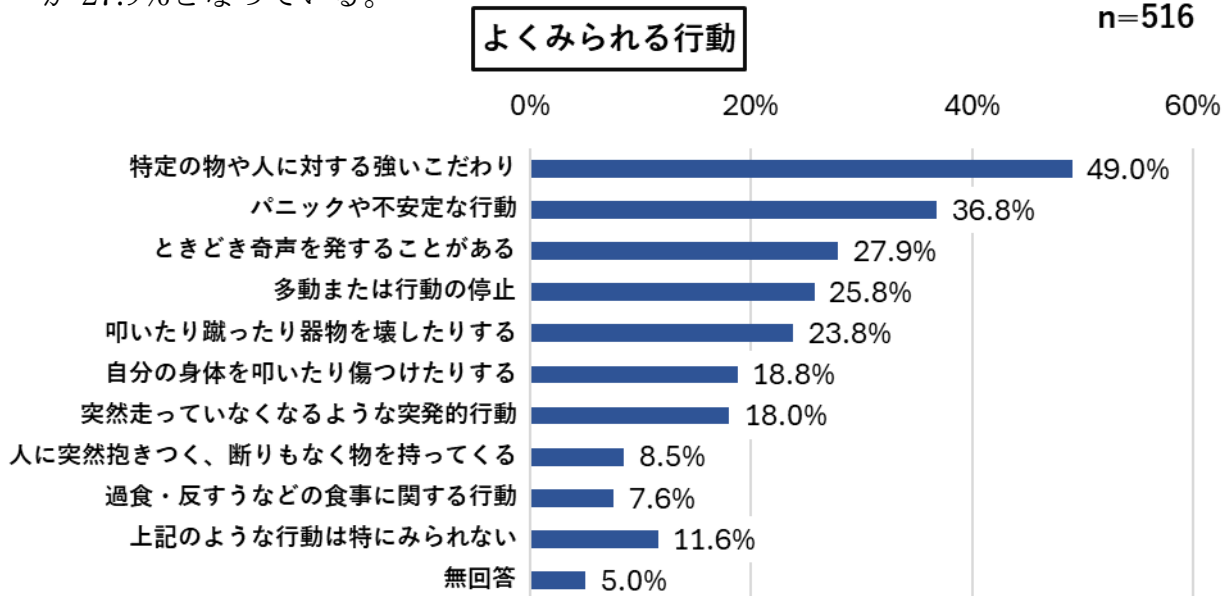
障害者総合支援法による障害支援については、「区分6」が72.5%と最も高く、次いで「区分5」が20.9%、「区分4」が4.7%となっている。



【3. 施設入所者調査】

G よく見られる行動のうち、3つまで選んで、次の区分により記入してください。

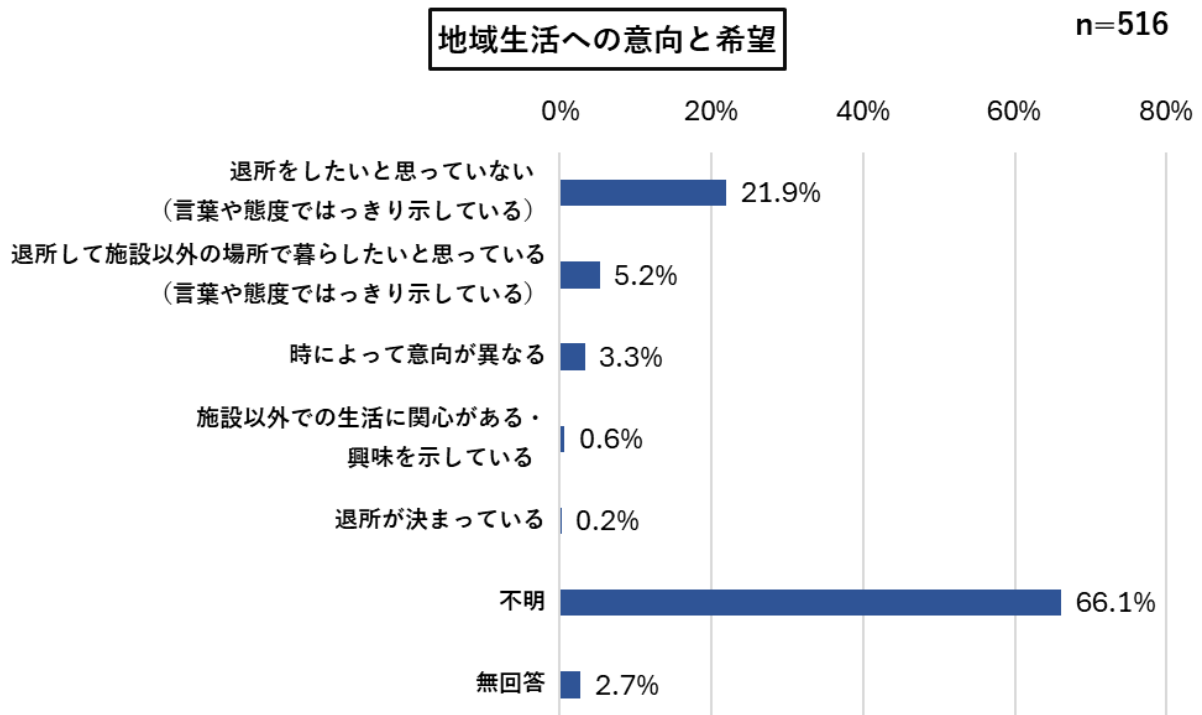
行動については、「特定の物や人に対する強いこだわり」が49.0%と最も高く、次いで「パニックや不安定な行動」が36.8%、「ときどき奇声を発することがある」が27.9%となっている。



H～Jは、入所者ご自身の意向や希望をお聞きするものです。可能な限りご本人にご確認のうえ回答してください。

H 地域生活への意向・希望について次の区分により記入してください。

地域生活への意向と希望については、「不明」が66.1%と最も高く、次いで「退所したいと思っていない」が21.9%、「退所して施設以外の場所で暮らしたいと思っている」が5.2%となっている。

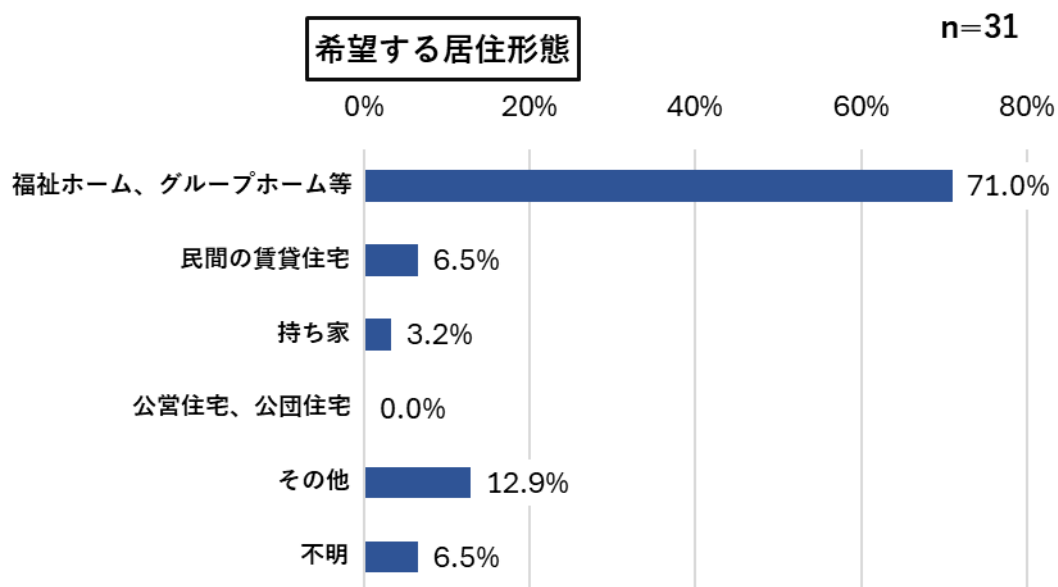


【3. 施設入所者調査】

Hの回答が「退所が決まっている」「退所して施設以外の場所で暮らしたいと思っている」「施設以外での生活に関心がある・興味を示している」の場合のみ記入してください。

I 希望する居住形態について次の区分により記入してください。

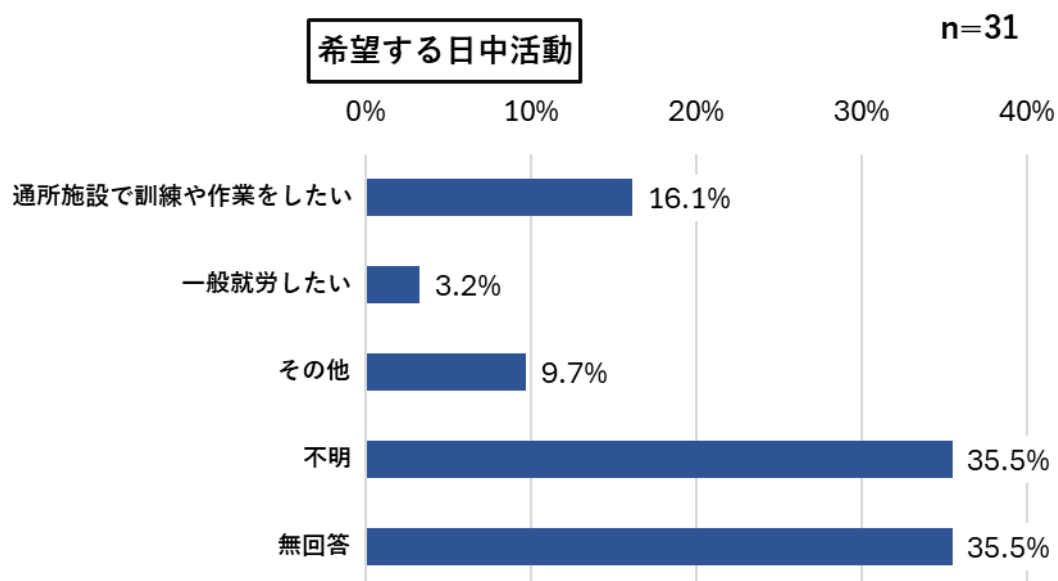
希望する居住形態については、「福祉ホーム・グループホーム等」が71.0%と最も高く、次いで「その他」が12.9%、「民間の賃貸住宅」が6.5%となっている。



Hの回答が「退所が決まっている」「退所して施設以外の場所で暮らしたいと思っている」「施設以外での生活に関心がある・興味を示している」の場合のみ記入してください。

J 希望する日中活動について次の区分により記入してください。

希望する日中活動については、「不明」「無回答」が35.5%と最も高く、「通所施設で訓練や作業をしたい」が16.1%となっている。

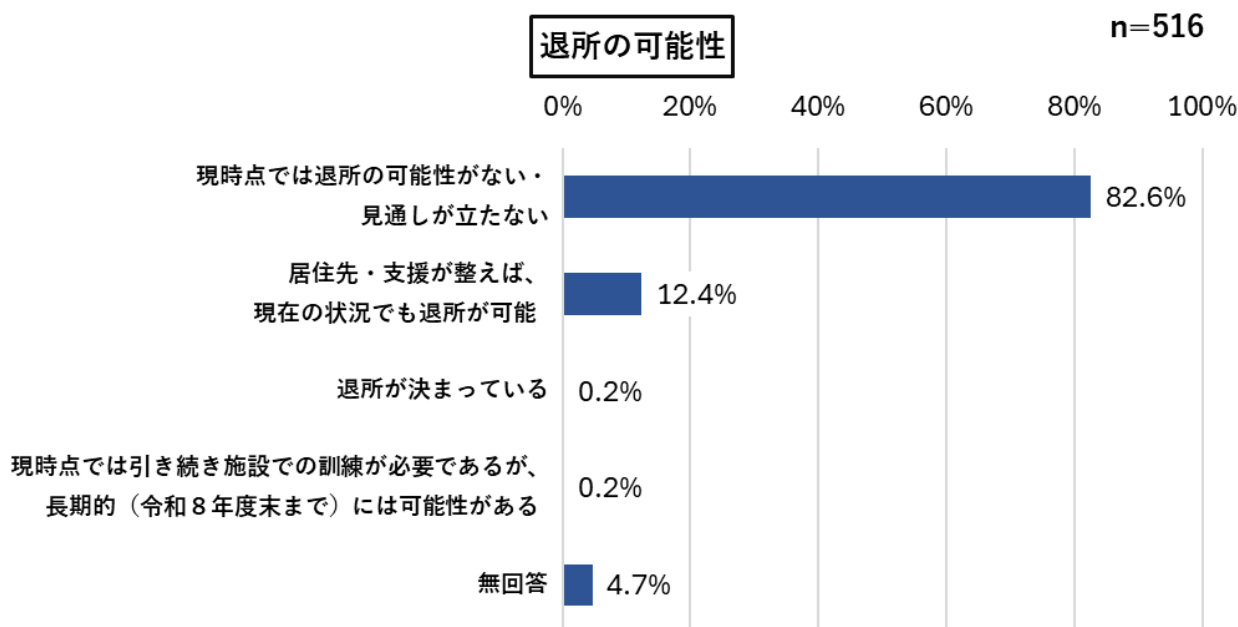


【3. 施設入所者調査】

K～Nは、入所者の意向とは別に客観的に回答してください。

K 退所の可能性について次の区分により記入してください。

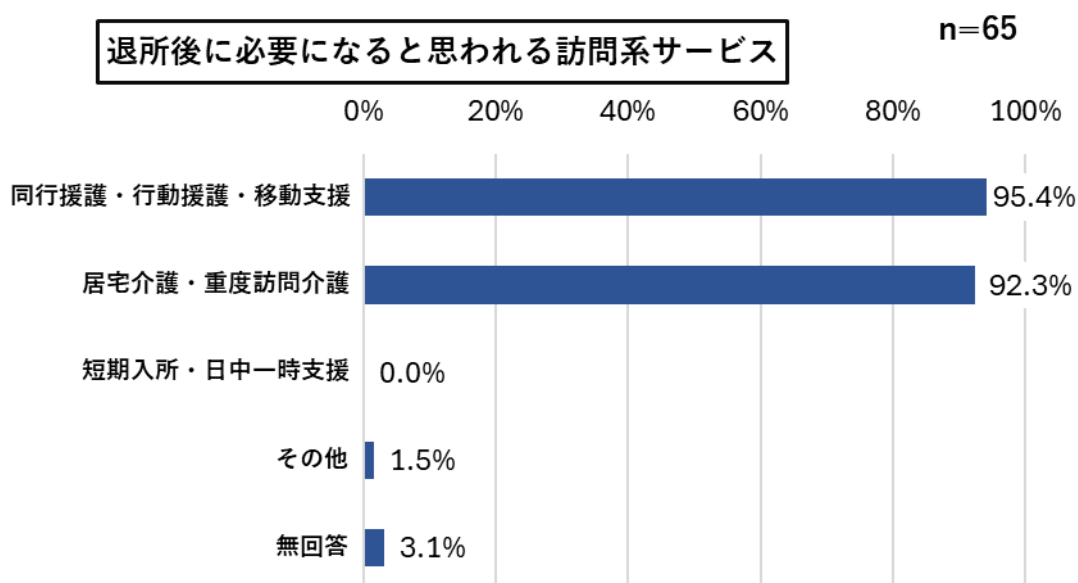
退所の可能性については、「現時点では退所の可能性がない・見通しが立たない」が82.6%と最も高く、次いで「居住先・支援が整えば、現在の状況でも退所が可能」が12.4%、「無回答」が4.7%となっている。



Kの回答が「退所が決まっている」「居住先・支援が整えば、現在の状況でも退所が可能」の場合のみ記入してください。

L 退所後に必要となると思われる訪問系サービスについて次の区分により記入してください。（複数回答可）

退所後に必要となると思われる訪問系サービスについては、「同行援護・行動援護・移動支援」が95.4%と最も高く、「居宅介護・重度訪問介護」が92.3%、「無回答」が3.1%となっている。

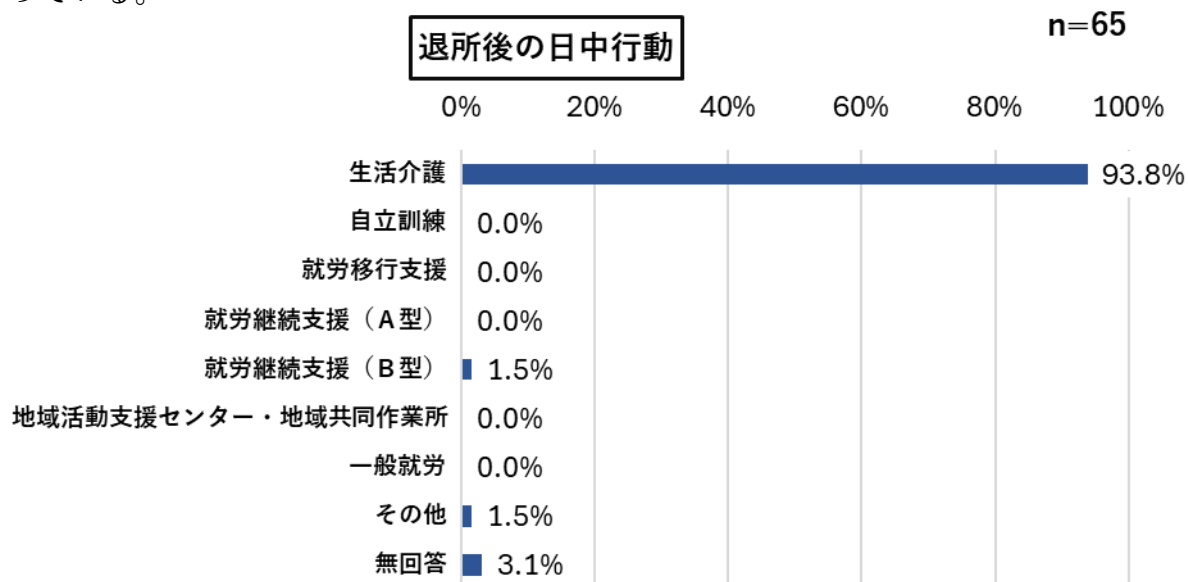


【3. 施設入所者調査】

Kの回答が「退所が決まっている」「居住先・支援が整えば、現在の状況でも退所が可能」の場合のみ記入してください。

M 退所後にふさわしいと思われる日中活動について次の区分により記入してください。

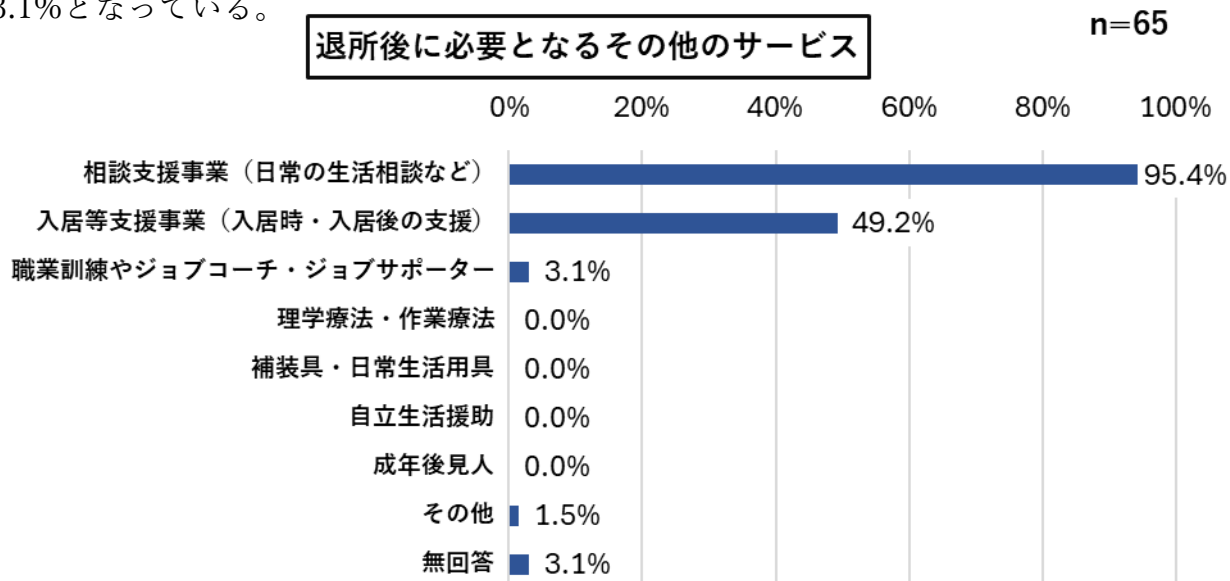
退所後にふさわしいと思われる日中活動については、「生活介護」が93.8%と最も高く、次いで「就労継続支援（B型）」「その他」が1.5%、「無回答」が3.1%となっている。



Kの回答が「退所が決まっている」「居住先・支援が整えば、現在の状況でも退所が可能」の場合のみ記入してください。

N 退所後に必要となるその他のサービスについて次の区分により記入してください。（複数回答可）

退所後に必要となるその他のサービスについては、「相談支援事業（日常の生活相談など）」が95.4%と最も高く、次いで「入居等支援事業（入居時・入居後の支援）」が49.2%、「職業訓練やジョブコーチ・ジョブサポーター」、「無回答」が3.1%となっている。



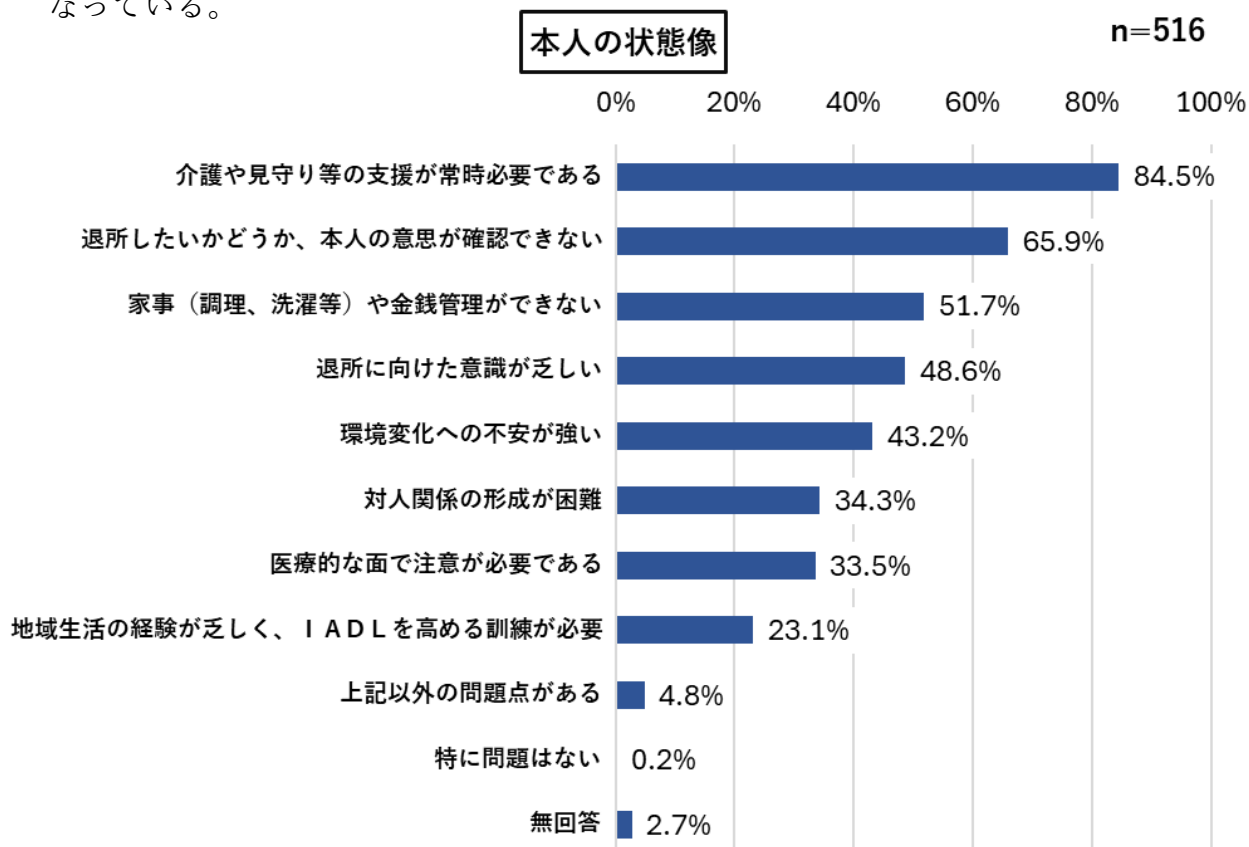
【3. 施設入所者調査】

全ての入所者について記入してください。

○ 退所に向けての問題点（不安な点）について次の区分で記入してください。
（複数回答可）

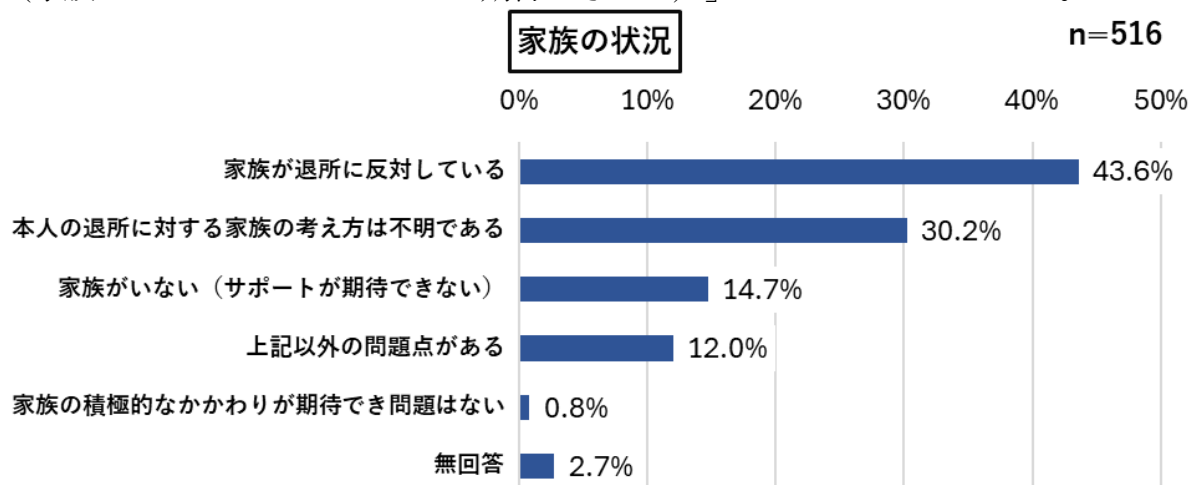
(1) 本人の状態像

退所に向けての問題点（不安な点）については、「介護や見守り等の支援が常時必要である」が84.5%と最も高く、次いで「退所したいかどうか、本人の意思が確認できない」が65.9%、「家事（調理、洗濯等）や金銭管理ができない」が51.7%となっている。



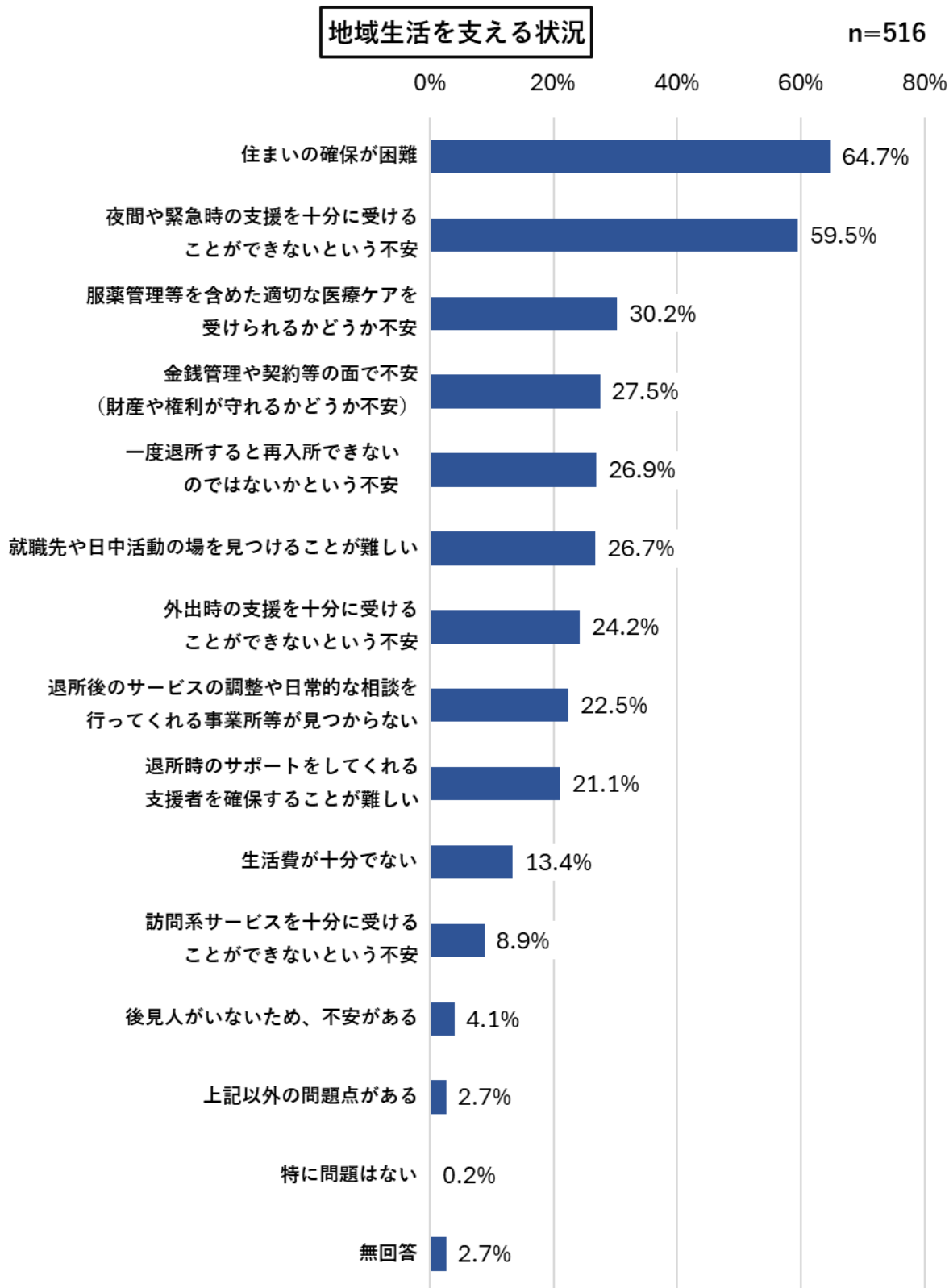
(2) 家族の状況

家族の状況については、「家族が退所に反対している」が43.6%と最も高く、次いで「本人の退所に対する家族の考え方は不明である」が30.2%、「家族がいない（家族によるサポートがまったく期待できない）」が14.7%となっている。



(3) 地域の状況（地域生活を支える周辺環境）

地域の状況（地域生活を支える周辺環境）については、「住まいの確保が困難」が64.7%と最も高く、次いで「夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安」が59.5%、「服薬管理等を含めた適切な医療ケアを受けられるかどうか不安」が30.2%となっている。

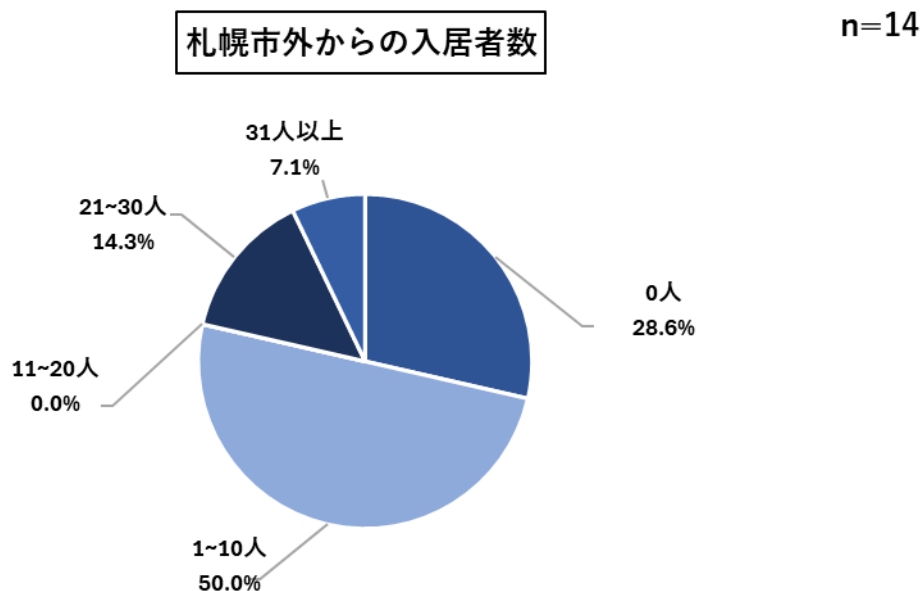


【3. 施設入所者調査】

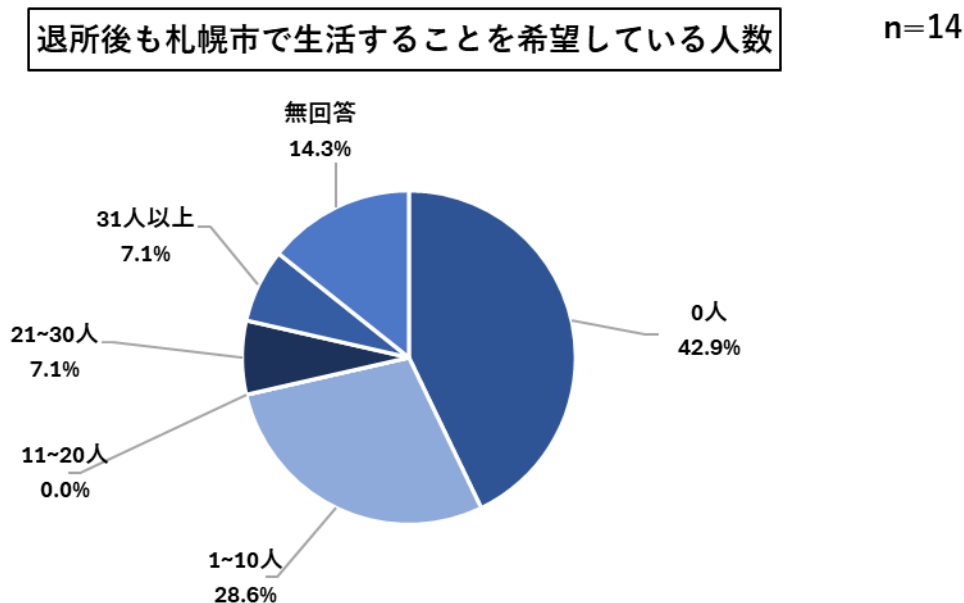
以下の区分は、施設の取組などに関する設問です。

P 市外からの入所者（援護の実施機関が札幌市以外の人）のうち、退所後も札幌市で生活することを希望している人は、何人いますか。
（市外からの入所者数と併せてお答えください。）

札幌市外からの入所者数は「1～10人」が50.0%と最も高く、次いで「0人」が28.6%となっている。

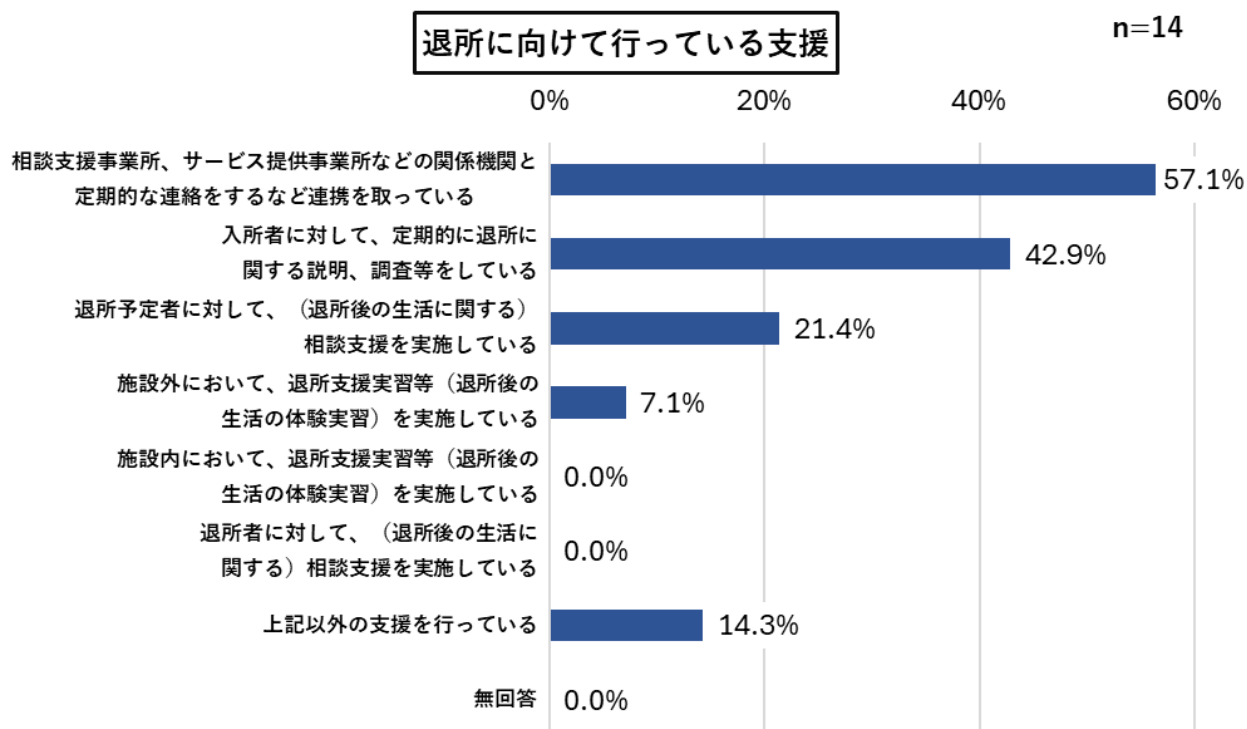


市外からの入所者のうち、退所後も札幌市で生活を希望している数は「0人」が42.9%と最も高く、次いで「1～10人」が28.6%となっている。



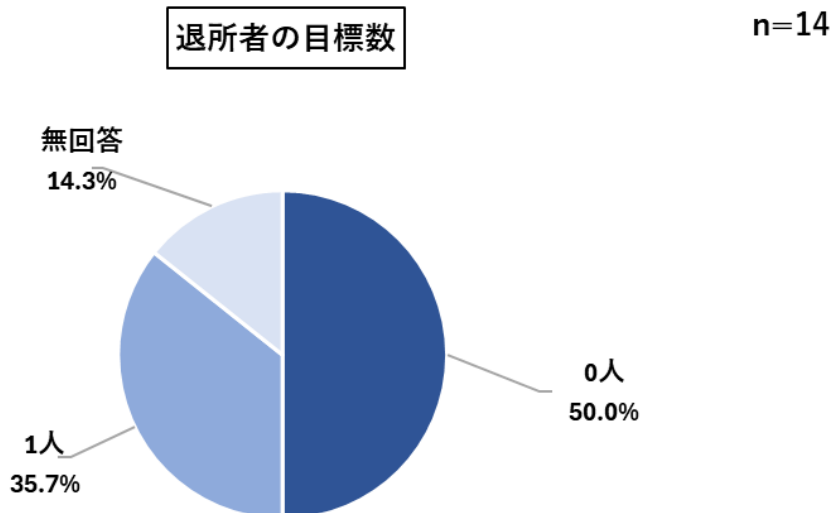
Q 入所者の退所に向けて行っている支援について次の区分で記入してください。
(複数回答可)

入所者の退所に向けて行っている支援については、「相談支援事業所、サービス提供事業所などの関係機関と定期的な連絡をするなど連携を取っている」が57.1%と最も高く、次いで「入所者に対して、定期的に退所に関する説明、調査等をしている」が42.9%、「退所者に対して、（退所後の生活に関する）相談支援を実施している」が21.4%となっている。



R 今後、毎年1年間の退所者の目標数を記入してください。

退所者の目標数については、「0人」が50.0%で最も高く、次いで「1人」が35.7%となっている。



【3. 施設入所者調査】

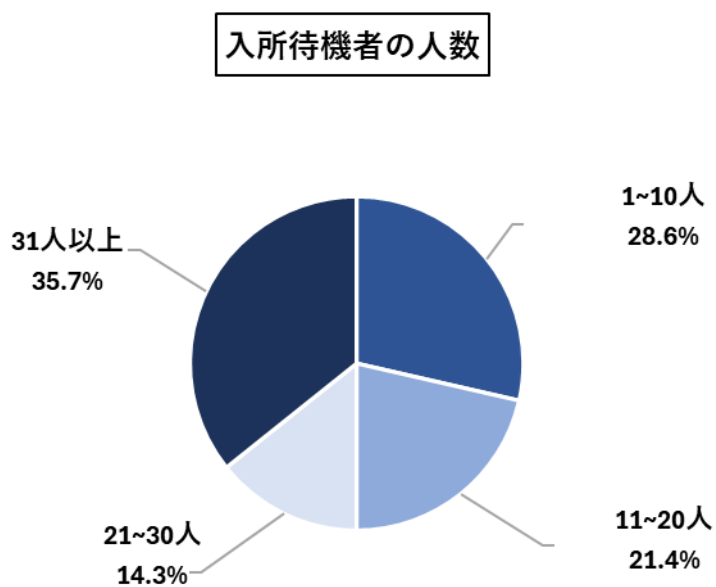
S 入所者の地域生活移行について、工夫していること、課題に感じていること、ご意見等があれば、ご自由に記入してください。

自由意見については、8件の回答が寄せられた。回答の一部を以下に抜粋する。

- 地域資源が不足しているように感じます。利用期間が長い人が多く、今の生活を望む人が殆どです。市外から入所した若い利用者も地域や近隣施設・グループホームで利用を断られ入所したため、家族も家庭での支援が難しく施設を出る選択肢が今のところない現況です。
- 地域生活を意識し、日中活動、余暇、健康を意識して支援をしています。地域移行が停滞しています。要因としては人材不足から新規グループホーム事業が開設できなくなっているからです。強度行動障がいの方を支える事業所が足りないと感じています。
- 個別支援計画面談時に、ご本人様、ご家族様等に地域移行等について意向確認をしています。当方を長年利用されている方はご高齢となった方が多く、基本的には安定的に過ごされたいようです（環境の変化に弱い方が多い）。ご本人様だけではなくご家族様もそれ以上にご高齢ですので、新しい挑戦等ハードルが高いようです。

T 貴施設における、入所待機者の人数を記入してください。

入所待機者の人数については、「31人以上」が35.7%と最も高く、次いで「1~10人」が28.6%、「11~20人」が21.4%となっている。



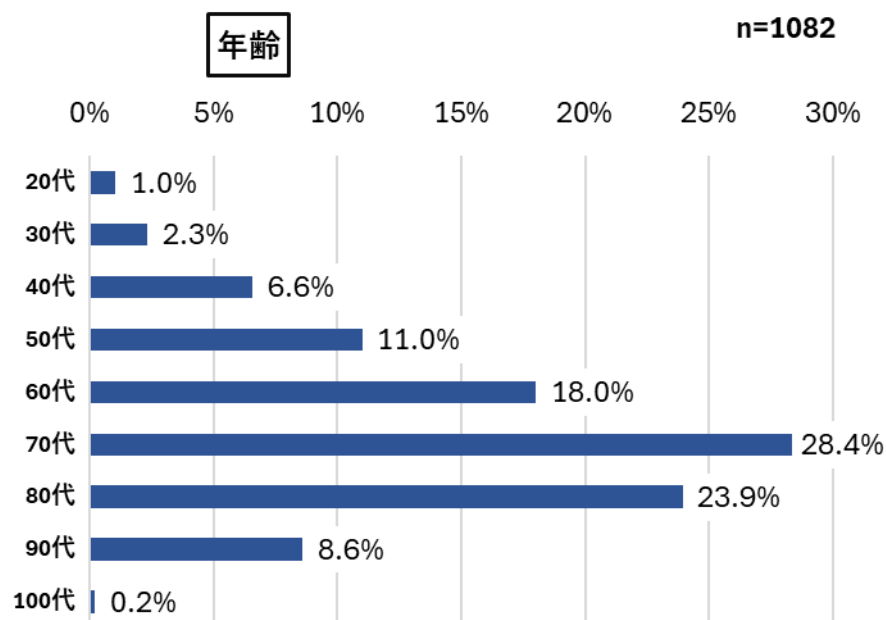
【4. 精神科病院調査】

3. 4 精神科病院調査

1 病院調査

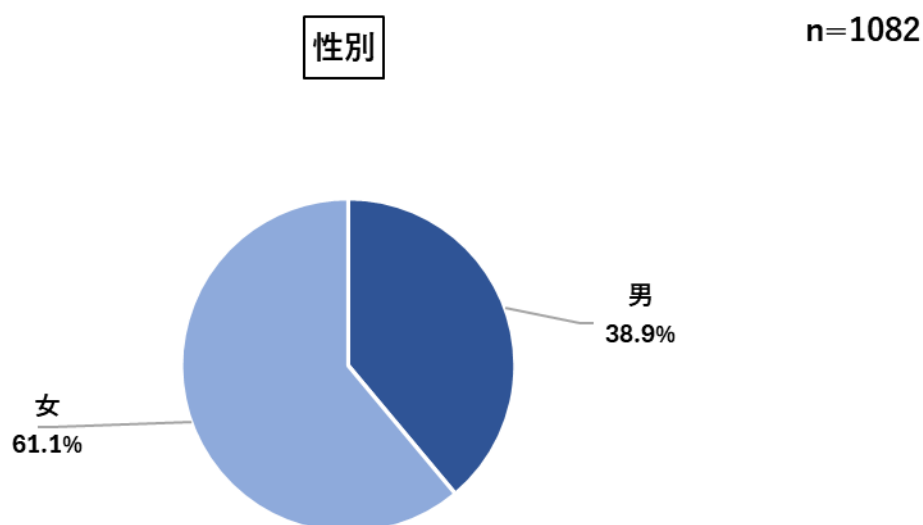
A 令和7年12月1日現在の満年齢を記入してください。

年齢は、「70代」が28.4%と最も高く、次いで、「80代」が23.9%となっている。



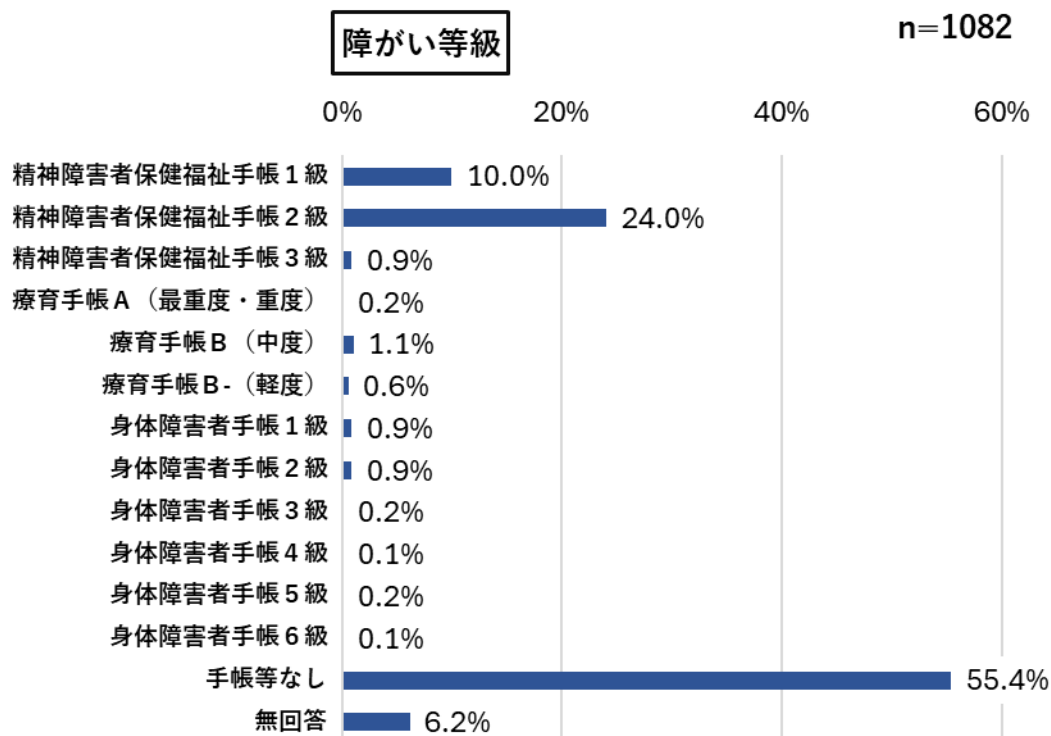
B 性別を次の区分により記入してください。

性別については、「女」が61.1%、「男」が38.9%となっている。



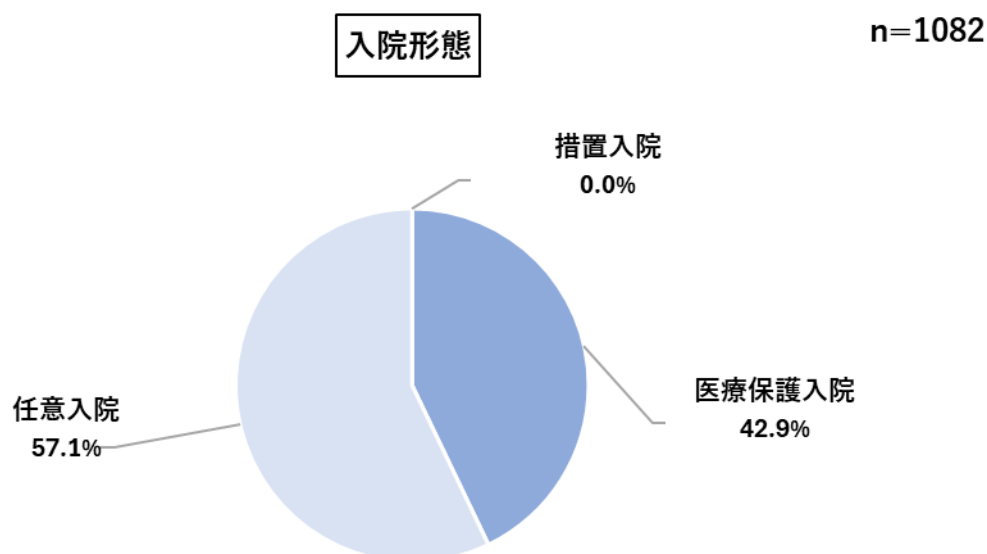
C ご本人が持っている障害者手帳等の種類はどれですか。次の区分により記入してください。（複数回答可）

障害者手帳の種類については、「手帳等なし」が55.4%と最も高く、次いで「身体障害者手帳2級」が24.0%、「精神障害者保健福祉手帳1級」が10.0%となっている。



D 入院形態を次の区分より記入してください。

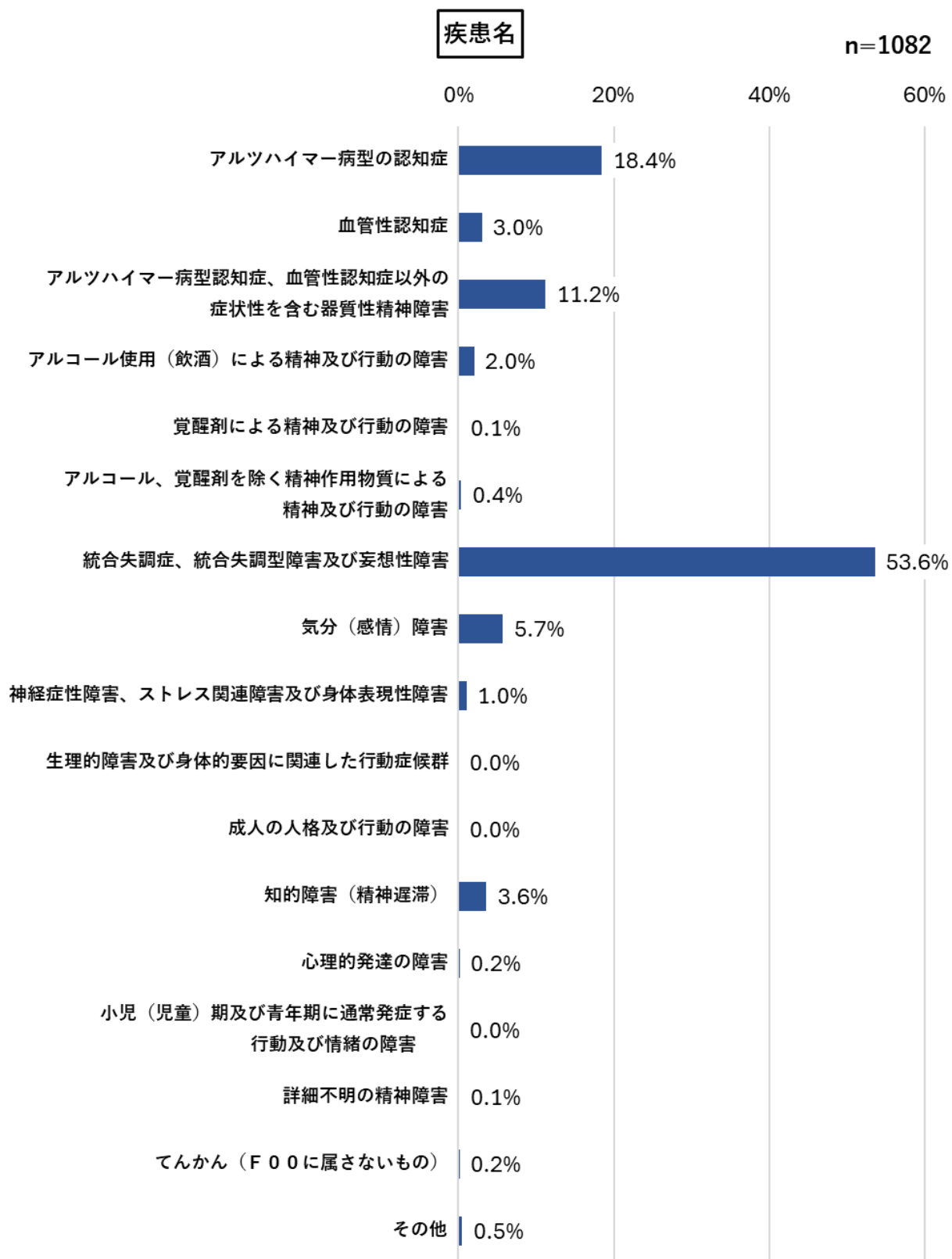
入院形態については、「任意入院」が57.1%と最も高く、次いで「医療保護入院」42.9%となっている。「措置入院」は0.0%であった。



【4. 精神科病院調査】

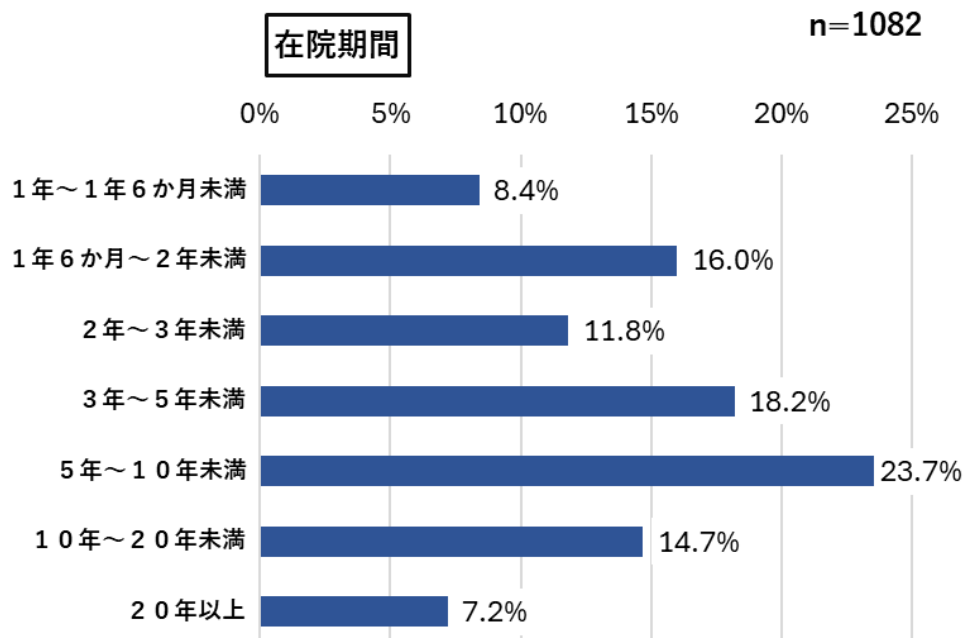
E 疾患名を次の区分により記入してください。

疾患名については、「統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害」が 53.6%と最も高く、次いで「アルツハイマー病型の認知症」が 18.4%となっている。



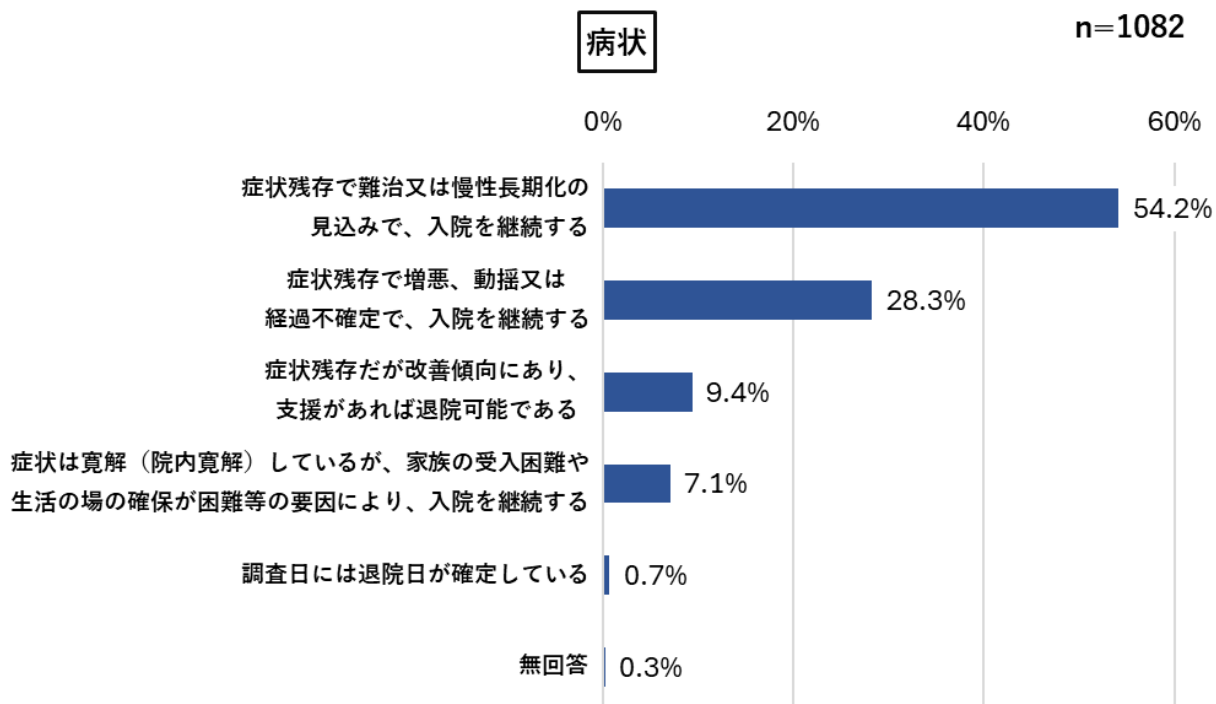
F 在院期間を次の区分により記入してください。

在院期間については、「5年～10年未満」が23.7%と最も高く、次いで「3年～5年未満」が18.2%、「1年6か月～2年未満」が16.0%となっている。



G 症状を次の区分で記入してください。

症状については、「症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する」が54.2%と最も高く、次いで「症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する」が28.3%、「症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院可能である」が9.4%となっている。

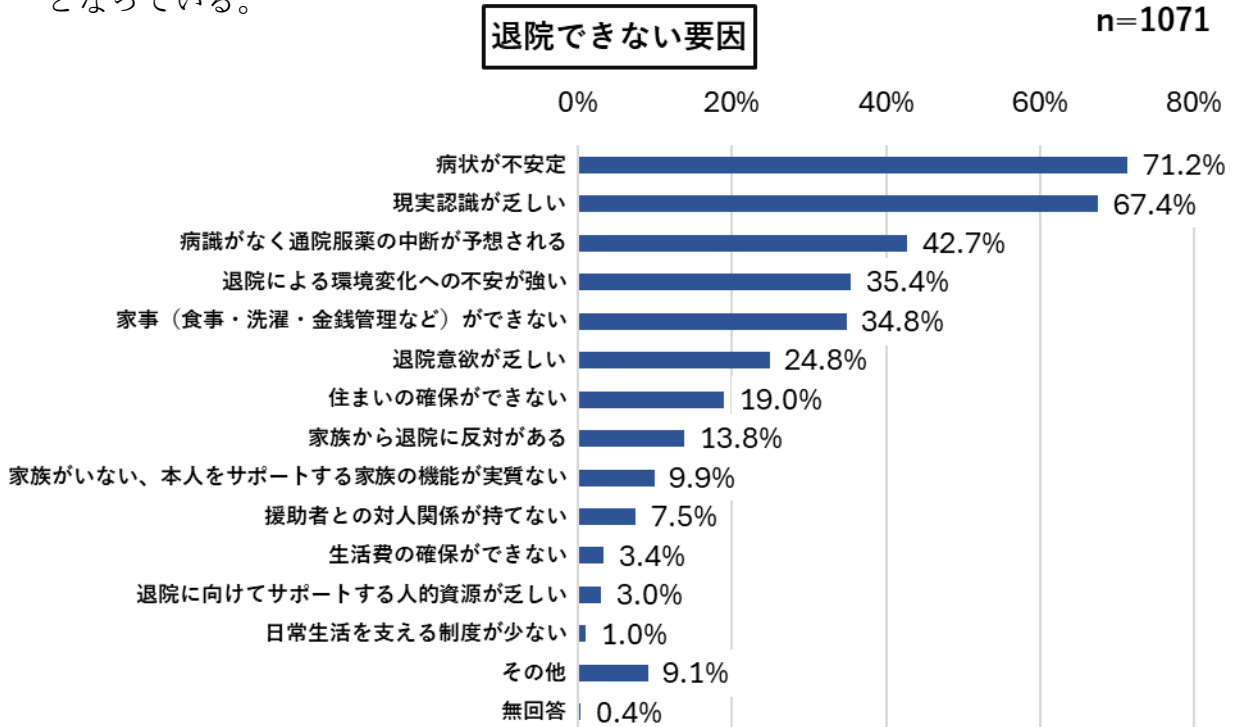


【4. 精神科病院調査】

Gの回答が「調査日には退院日が確定している」以外の方について記入してください。

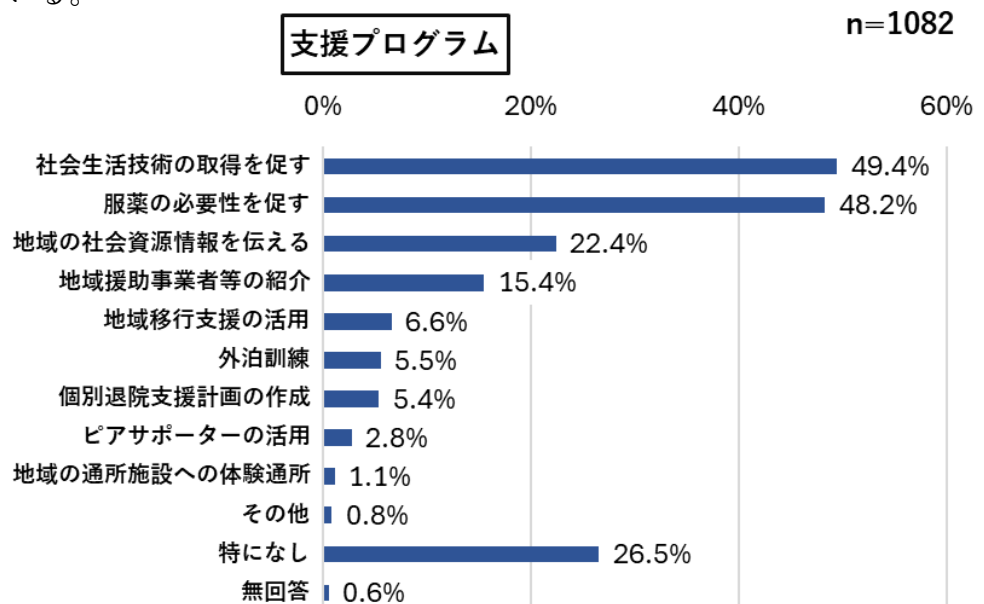
H 退院に向けての課題となっている主たる要因を記入してください
(複数回答可)。

退院に向けての課題については、「病状が不安定」が71.2%と最も高く、次いで「現実認識が乏しい」が67.4%、「病識がなく通院服薬の中断が予想される」が42.7%となっている。



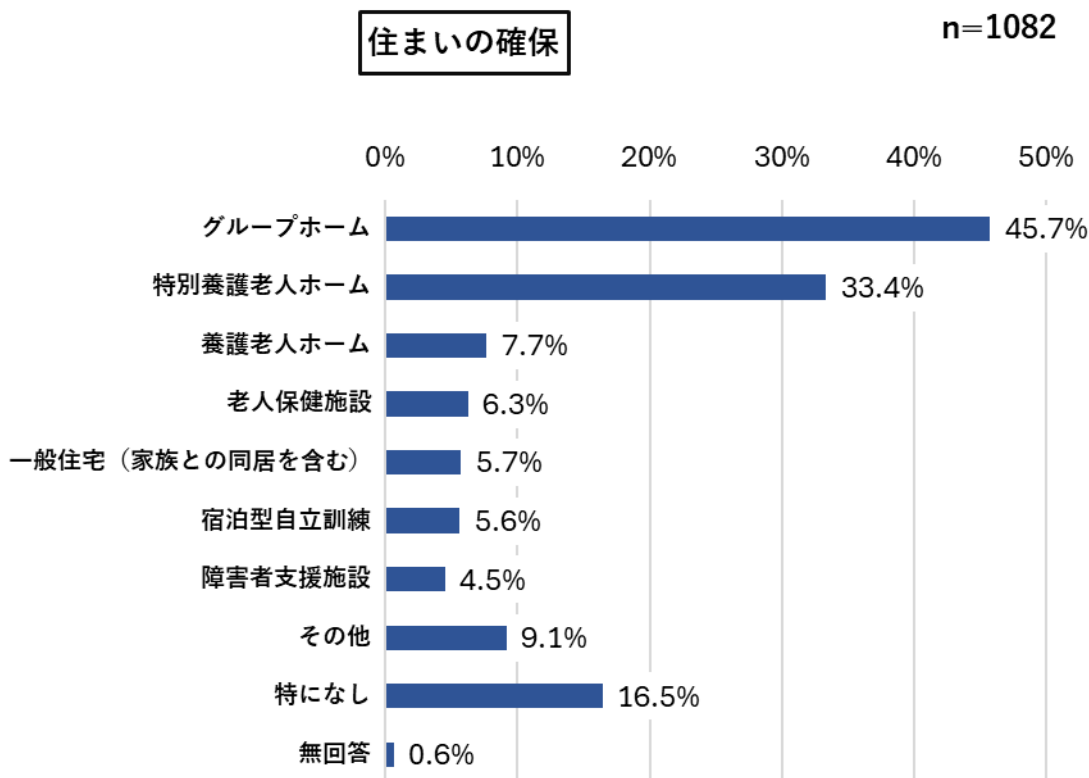
I 病院内にて行っている支援プログラムについて記入してください
(複数回答可)。

病院内にて行っている支援プログラムについては、「社会生活技術の取得を促す」が49.4%と最も高く、次いで「服薬の必要性を促す」が48.2%、「特になし」が26.5%となっている。



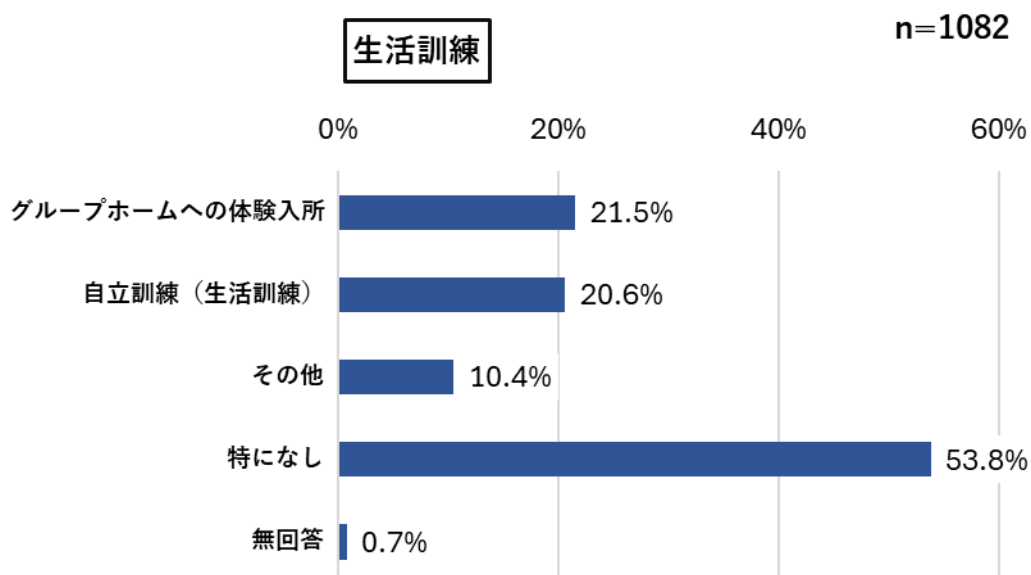
J 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください（複数回答可）。
（必要な資源・住まいの確保について）

住まいの確保については、「グループホーム」が45.7%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」が33.4%、「特になし」が16.5%となっている。



K （必要な資源・生活訓練について）

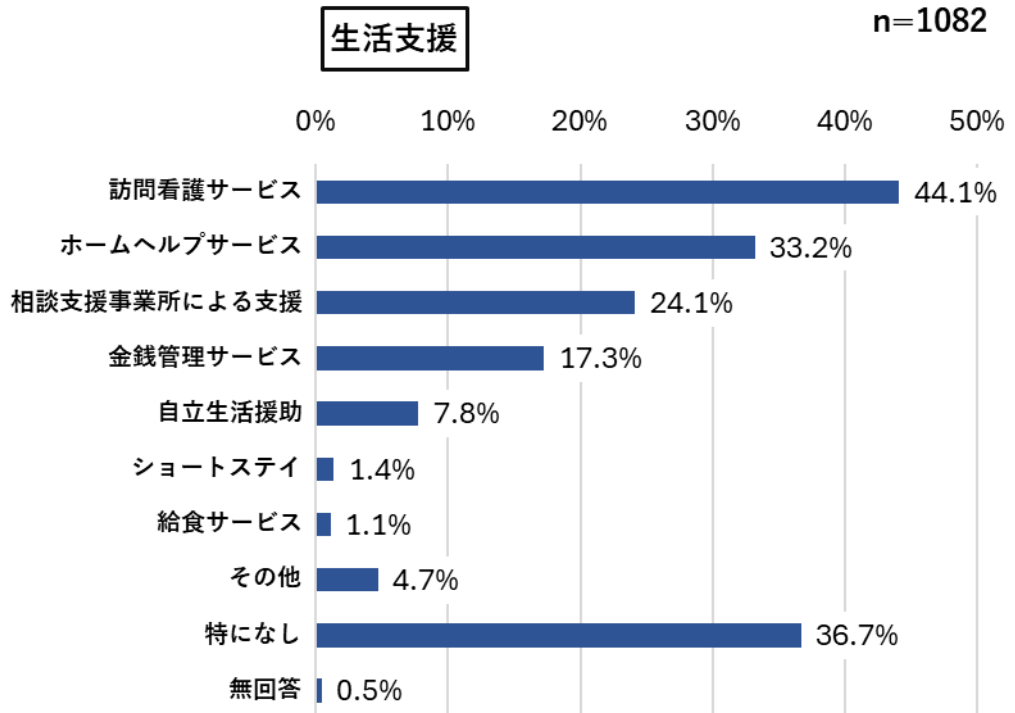
生活訓練については、「特になし」が53.8%と最も高く、次いで「グループホームへの体験入所」が21.5%、「自立訓練（生活訓練）」が20.6%となっている。



【4. 精神科病院調査】

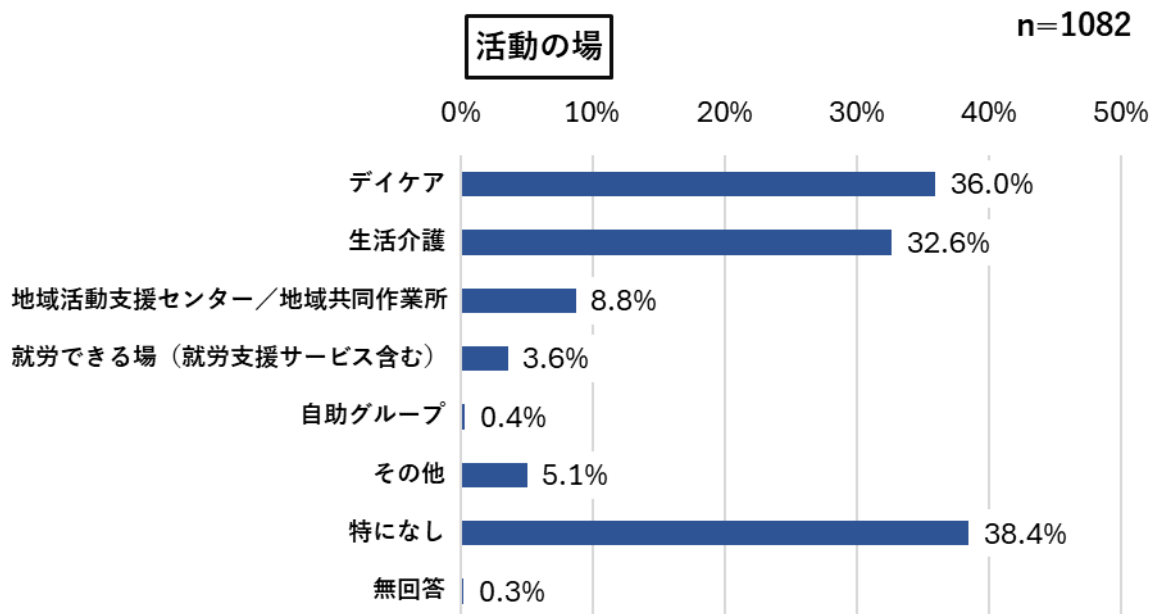
L (必要な資源・生活支援について)

生活支援については、「訪問看護サービス」が44.1%と最も高く、次いで「特になし」が36.7%、「ホームヘルプサービス」が33.2%となっている。



M (必要な資源・活動の場について)

活動の場については、「特になし」が38.4%と最も高く、次いで「デイケア」が36.0%、「生活介護」が32.6%となっている。



N (必要な資源・自由記述)

自由記述には12件の回答があった。医療的なケアが充実している高齢者施設や特別養護老人ホームなど、本人の状態にあった高齢者施設への調整を要している場合が多かった。

必要資源	内容の概要	回答数
高齢者施設	特別養護老人ホーム、医療的なケアが充実している高齢者施設など、本人の状態にあった高齢者施設への調整	6
医療機関	症状安定を優先、療養病院への転院検討、退院後の生活先未定	3
成年後見制度	成年後見人の申請予定・検討中	3

【参考】精神科デイケアからみえる課題

市内精神科デイケア職員にヒアリングを行いました。入院経験をされたことのある方も利用している精神科デイケアからみえる、地域移行の課題として、以下が挙げられました。

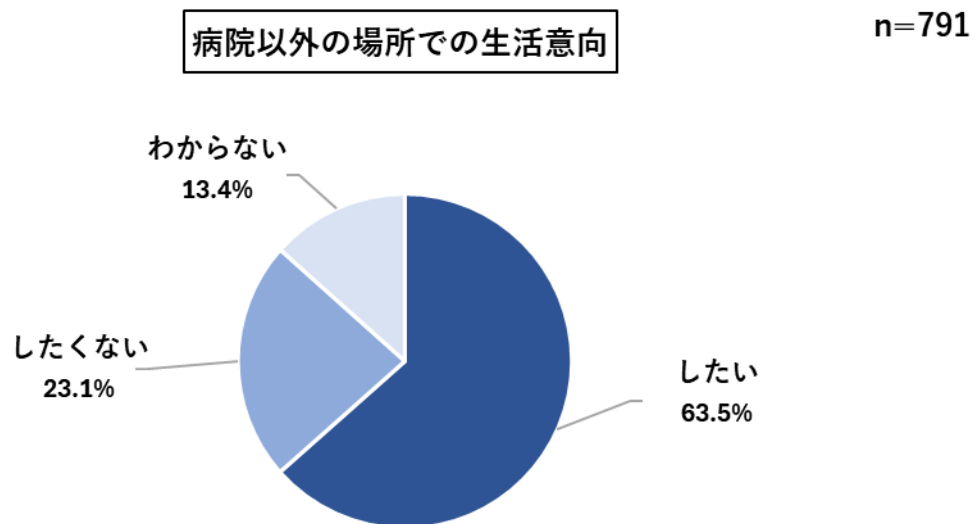
- ・地域生活へ移行する際には、本人が地域生活にイメージを持つのが難しい場合も多いが、地域生活を初めてから一つずつ支援者らと解決していくことで、地域生活が軌道にのっていくこともある。
- ・病院から地域生活へ移行すると、地域生活をして始めて始めて分かる本人の課題が見られる。例えば、入院していた病院の近くで、もともと暮らしていたところとは別の土地で地域生活を始める方もいて、土地勘がない場合は、バスの乗り方、買い物の行先など、日常生活の細かなところでの困り事が聞かれることがある。また、金銭管理に課題を抱える方も多く、実際に生活しながら、本人が訪問看護やデイケアなどで相談をしながら工夫していくこともある。地域のなかで、本人が安心して相談できることが大切である。
- ・本人が高齢になったり、結婚したり、お子さんが生まれた時など、ライフステージの変化に伴い、生活環境を変えることが必要になった際に、本人に負担がかかりやすい。特に、高齢になった際にサービス種別を変更する必要があったり、家族と一緒に住めるグループホームがなかったりすることが見られる。
- ・札幌は社会資源が、他地域に比べると多いようにみえるが、そこと繋がるかどうか、本人の安心した地域生活には重要である。

【4. 精神科病院調査】

2 本人調査

問1 あなたは、退院して、「病院以外の場所で」生活をしたいと思いますか。
あてはまるものに○をつけてください。

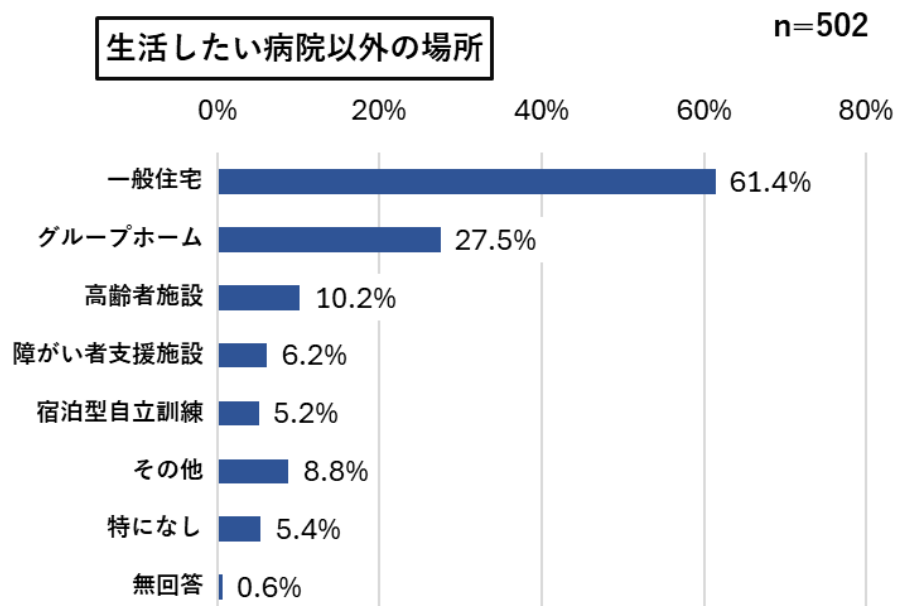
病院以外の場所での生活意向については、「したい」が63.5%と最も高く、次いで「したくない」が23.1%、「わからない」が13.4%となっている。



問1で「1したい」と回答した方にお聞きします

問2 「病院以外の場所」はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

病院以外の場所については、「一般住宅」が61.4%と最も高く、次いで「グループホーム」が27.5%、「高齢者施設」が10.2%となっている。



問1で「1したい」と回答した方にお聞きします

問3 退院に向けて準備していくとき、不安になることがあれば、どのようなことが不安になるかお書きください。

病院以外の場所で生活したい回答 502 件（63.5%）のうち、280 件の回答があった。主な内容は、退院後の生活に対する不安が多く、特に 金銭面・健康面・住まいの確保に関する不安が多くを占めた。長期入院による生活スキルの低下や社会経験の不足、人間関係への不安も多かった。

不安になること	主な内容	回答数
金銭・生活費の不安	生活費、家賃、食費、光熱費、準備金、金銭管理、貯金、生活保護、だまし取られないか	約 90
健康・体調・病状の不安	歩行困難、食事困難、体調悪化、再発、薬管理、睡眠、身体の痛み、長期入院後の体力低下	約 70
住まい・環境の不安	住む場所が見つかるか、家財道具の準備、引っ越し、部屋の広さ、設備、交通手段、治安	約 55
日常生活・身の回りの不安	家事、入浴、排泄、買い物、荷物整理、外出、通院、生活スキルの不足	約 40
人間関係・家族関係の不安	家族との関係、同居人との相性、いじめ・暴力、孤独、相談相手がいない	約 20
将来・社会復帰の不安	就労、社会経験の不足、外の生活がわからない、再入院の不安、社会とのつながり	約 15

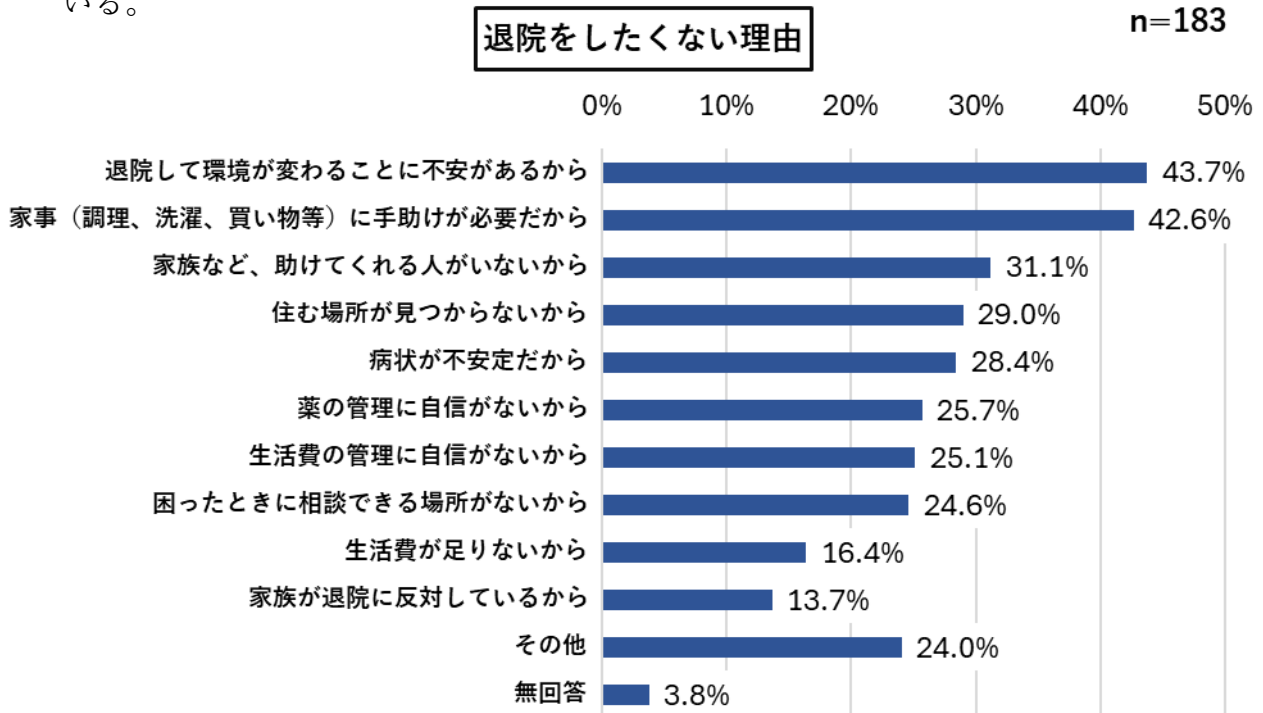
※件数は内容の重複を整理した「目安」です（1つの記述に複数の不安が含まれるため、合計は280と一致しない）。

【4. 精神科病院調査】

問1で「2したくない」と回答した方にお聞きします

問4 退院をしたくない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

退院をしたくない理由については、「退院して環境が変わることに不安があるから」が43.7%と最も高く、次いで「家事（調理、洗濯、買い物等）に手助けが必要だから」が42.6%、「家族など、助けてくれる人がいないから」が31.1%となっている。



「その他」と回答した44件（24.0%）の理由としては、病院での安心感や慣れた環境への信頼が最も多く、次いで身体的な不安や生活上の自立困難が挙げられた。帰る場所や家族への負担を心配する声もあった。

退院したくない理由	主な内容	回答数
病院での安心感・環境の安定	医療者が近くにいる安心、見守り、規則正しい生活、慣れた環境、居心地の良さ	18
身体的・健康上の不安	歩行困難、車いす、体調不良、転倒リスク、手術後、症状悪化の不安	12
生活上の困難さ・退院後の不安	一人で生活できない、家事・食事が困難、帰省先がない、家で動けない	8
新しい環境への不安・過去の経験	外の生活が不安、過去の嫌な経験、環境変化への抵抗感	6

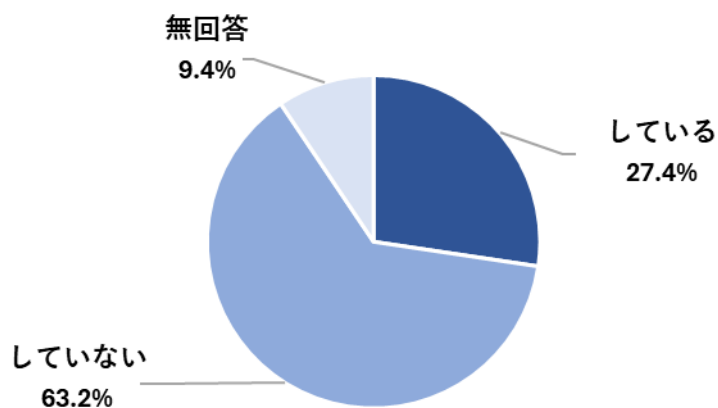
問1で「3わからない」と回答した方にお聞きします

問5 退院に関する話を病院の職員としていますか？あてはまるものに○をつけてください。

退院に関する話を病院の職員と「していない」が、63.2%、「している」が27.4%となっている。

退院に関する話をしているか

n=106



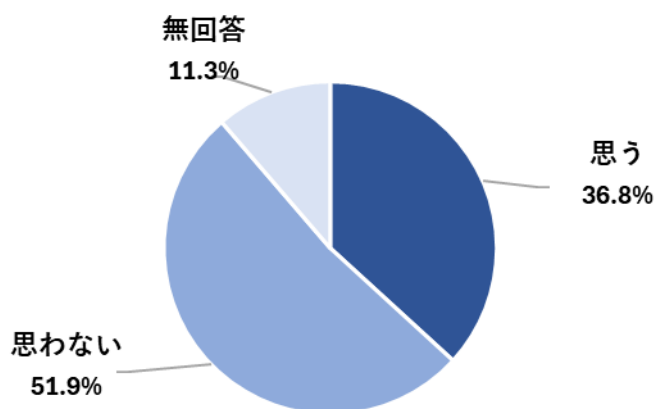
問1で「3わからない」と回答した方にお聞きします

問6 退院に関する話を誰かしてほしいと思いますか？

退院に関する話を誰かしてほしいと「思わない」が51.9%、「思う」が36.8%となっている。

退院に関する話をしたいと思うか

n=106



【4. 精神科病院調査】

退院に関する話をしたいと思う 39 件（36.8%）のうち、誰としたいかについて 27 件の回答があった。主治医や看護師などの医療職、ケースワーカーなどの支援職、家族・親族を挙げる回答が多かった。一方で、話し相手がないとする回答もみられた。

相手	具体的な記述	回答数
医療職	医師、主治医、院長、看護師、担当看護師	8
家族・親族	母親、父、息子、娘、姉、兄弟、めい、内縁の妻	8
支援職	ケースワーカー、PSW（精神保健福祉士）、病院の職員	4
不明	相談相手がない、不明・わからない	2

※複数回答に該当するものは主たる内容で分類。